

第 3 部

關係通知（案）

保医発 第 号
平成 年 月 日

地方厚生（支）局医療課長
都道府県民生主管部（局）
国民健康保険主管課（部）長 殿
都道府県後期高齢者医療主管部（局）
後期高齢者医療主管課（部）長

厚生労働省保険局医療課長
(公印省略)

D P C 制度への参加等の手続について

標記について、「D P C 制度への参加等の手続きについて」を別添のとおり定め、平成28年4月1日から適用するので、その取扱いに遺漏のないよう貴管下の保険医療機関及び審査支払機関等に対し、周知徹底を図られたい。なお、従前の「D P C 制度への参加等の手続きについて」については、平成28年3月31日限り廃止する。

第1 DPC対象病院

1 DPC対象病院の基準について

- (1) DPC対象病院とは、厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院、基礎係数、暫定調整係数、機能評価係数Ⅰ及び機能評価係数Ⅱ（平成24年厚生労働省告示第165号）（以下「係数告示」という。）別表第一から第三の病院の欄に掲げる病院とする。
- (2) DPC対象病院とは、以下の基準を満たす病院とする。
 - ① 急性期入院医療を提供する病院として、診療報酬の算定方法（平成20年厚生労働省告示第59号）別表第一医科診療報酬点数表（以下「医科点数表」という。）に掲げるA100一般病棟入院基本料、A104特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）又はA105専門病院入院基本料について、7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行っていること。また、急性期入院医療を担う病院として、A205救急医療管理加算の届出を行っていることが望ましい。
 - ② 医科点数表に掲げるA207診療録管理体制加算に係る届出を行っていること。なお、診療録管理体制加算1の届出を行っていることが望ましい。
 - ③ 厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法（平成20年厚生労働省告示第93号）（以下「算定告示」という。）第5項第三号の規定に基づき実施される調査（以下「DPC調査」という。）に適切に参加し、入院診療及び外来診療に係るデータを提出すること。
 - ④ ③の調査において、適切なデータを提出し、かつ、調査期間1月あたりの（データ/病床）比が0.875以上であること。

ア データ数

調査期間中において、診断群分類点数表による算定の対象となる病床に入院していた患者に係る提出データ数（診断群分類点数表による算定の対象外となる患者（厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者（平成24年厚生労働省告示第140号）に定める患者を除く。）に係るデータ等は除外する。）とする。

イ 病床数

~~当該病院における一般病棟における病床のうち、診断群分類点数表による算定の対象外となる病棟（A106障害者施設等入院基本料、A306特殊疾患入院医療管理料、A308回復期リハビリテーション病棟入院料、A308-3地域包括ケア病棟入院料、A309特殊疾患病棟入院料、A310緩和ケア病棟入院料、A400短期滞在手術等基本料（短期滞在手術等基本料3を除く。）における病床等を除いたものであり、以下に掲げるものに係る届出を行っている病床の入院基本料等を算定することを地方厚生（支）局へ届け出ている病床数を合算したものとする。~~

A100 一般病棟入院基本料

A104 特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）

A105 専門病院入院基本料

A300 救命救急入院料

A301 特定集中治療室管理料

- A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料
- A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料
- A301-4 小児特定集中治療室管理料
- A302 新生児特定集中治療室管理料
- A303 総合周産期特定集中治療室管理料
- A303-2 新生児治療回復室入院医療管理料
- A305 一類感染症患者入院医療管理料
- A307 小児入院医療管理料

- ⑤ 「適切なコーディングに関する委員会（以下「コーディング委員会」という。）」を設置し、年~~4~~回以上（開催月と同月内に2回以上開催した場合、2回目以降の開催は当該基準である4回には含まない。開催月の翌月の初日から起算して6か月以内に開催すること。）当該委員会を開催しなければならない。なお、当該委員会は毎月開催することが望ましい。

また、DPC調査等において、コーディング委員会の開催を確認できなかった場合は、確認後1月以内にコーディング委員会を開催するとともに地方厚生（支）局へ使用した資料を提出すること。

コーディング委員会とは、標準的な診断及び治療方法について院内で周知を徹底し、適切なコーディング（適切な診断を含めた診断群分類の決定をいう。）を行う体制を確保することを目的として設置するものであって、診療報酬の多寡に関する議論を行う場ではないことに留意すること。また、コーディング委員会の開催に当たっては、コーディングに関する責任者の他に少なくとも診療部門に所属する医師、薬剤部門に所属する薬剤師及び診療録情報を管理する部門又は診療報酬の請求事務を統括する部門に所属する診療記録管理者を構成員とし、実症例を扱う際には当該症例に携わった医師等の参加を求めるものとする。~~する委員会のことをいう。~~

なお、病院内の他の委員会において、目的及び構成員等がコーディング委員会の要件を満たしている場合には、当該委員会をコーディング委員会とみなすことができる。ただし、当該委員会の設置規程等に適切なコーディングに関する事項を明記し、適切なコーディングに関するテーマについて、年~~4~~回以上、委員会を開催すること。当該委員会はコーディング委員会と同様、毎月開催することが望ましい。

また、コーディング委員会開催時には、「DPC/PDPS傷病名コーディングテキスト（厚生労働省保険局医療課）」を活用することが望ましい。

2 DPC制度への参加について

- (1) DPC制度への参加とは、当該医療機関名が係数告示別表第一から第三の病院の欄に掲載されることをいう。
- (2) DPC制度への参加時期・参加要件について
 - ① DPC制度への参加時期は、診療報酬改定時とする。
 - ② DPC制度に参加できる病院は、~~DPC制度に参加することを希望しているDPC準備~~病院であって、DPC制度への参加の届出を行う時点において、1の(2)に定めるDPC対象病院の基準を全て満たしている病院であること。なお、1の(2)の④については、

診療報酬改定に使用する当該病院のデータ（当該病院がD P C制度に参加する前々年度の10月から前年度の9月までのデータ）により、厚生労働省保険局医療課において判断する。

(3) D P C制度への参加の届出について

~~D P C準備病院であって、~~D P C制度に参加を希望する病院は、直近に予定している診療報酬改定の6か月前までに、別紙1「D P C制度への参加に係る届出書」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出することとする。なお、当該届出書の受付については、厚生労働省において診療報酬改定の6か月前以前の一定期間を受付期間として設定し各D P C準備病院に連絡するので、当該期間に提出すること。

3 D P C対象病院の合併又は分割について

(1) D P C対象病院の合併について

D P C対象病院が、D P C対象病院等（D P C制度参加病院以外を含む。）と合併の予定があり、合併後もD P C制度への継続参加を希望している場合は、合併（予定）年月日の6か月前までに、別紙2「D P C対象病院等の合併に係る申請書」及び別紙3「D P C対象病院等の合併に係る申請書（別紙）」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。

(2) D P C対象病院の分割について

D P C対象病院が分割の予定があり、分割後もD P C制度への継続参加を希望している場合は、分割（予定）年月日の6か月前までに、別紙4「D P C対象病院等の分割に係る申請書」及び別紙5「D P C対象病院等の分割に係る申請書（別紙）」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。

(3) D P C制度に継続参加を希望する場合は、合併又は分割の対象となる病院全てが、原則として以下の基準を満たしていること。

- ① 合併の場合は、合併前の主たる病院がD P C対象病院であること。
- ② 申請の直近1年以上、継続してデータが提出されていること。
- ③ 申請の直近1年の（データ／病床）比が1か月あたり0.875以上であること。

(4) 合併又は分割に係る申請の審査について

(1) 又は(2)の申請書が提出された場合、(3)に掲げる基準及び申請書の記載内容からD P C制度への継続参加の可否について中央社会保険医療協議会において審査及び決定することとする。申請が認められた場合は、合併又は分割後もD P C対象病院としてD P C制度に継続参加するものとする。

(5) 申請が認められなかった場合について

申請が認められなかった病院は、合併又は分割年月日にD P C制度から退出するものとする。この場合、当該病院は別紙6「D P C制度からの退出に係る届出書」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること（合併又は分割年月日の前々月の初日以降新たに入院する患者から医科点数表による算定を行うものとする。）。

(6) ~~審査後の~~決定内容~~については、予め~~当該病院に通知するものとし、通知した決定~~案~~に不服がある病院は、1回に限り別紙9に定める「不服意見書」を厚生労働省保険局医療課長に提出することができるものとする。この場合、提出された不服意見書を踏まえ、中央社会保険医療協議会において再度審査を行い、申請内容の可否を決定するものとする。また、当該

審査の内容については必要に応じ、厚生労働省保険局医療課より中央社会保険医療協議会に報告を行うものとする。

(7) 申請が認められた病院が以下の基準を満たしていないことが確認された場合は、確認された月の4か月後の初日にDPC制度から退出するものとする。

- ① 合併又は分割年月日の直近1年間のデータが遅滞なく提出されていること。
- ② 合併又は分割年月日の直近1年間の（データ/病床）比が1か月あたり0.875以上であること。
- ③ 合併又は分割後、6か月以上のデータが遅滞なく提出されていること。
- ④ 合併又は分割後、6か月の（データ/病床）比が1か月あたり0.875以上であること。

この場合、当該病院は別紙6「DPC制度からの退出に係る届出書」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。なお、第2の1の（1）の基準を満たしており、別紙6「DPC制度からの退出に係る届出書」と併せて、別紙11「DPC準備病院届出書」及び別紙12「DPC準備病院届出書（別紙）」を提出した場合は、DPC準備病院となることができる。

4 DPC制度からの退出について

(1) DPC制度からの退出日と診療報酬の取扱い

① 退出日について

DPC制度からの退出日とは、全ての入院患者について、医科点数表により算定を行うこととなる日をいう。

② 診療報酬の取扱い

DPC制度から退出する場合は、退出日の前々月の初日以降新たに入院する患者から医科点数表により算定を行うものとする。

(例) 4月1日退出の場合

ア 1月31日以前に入院した患者は、3月31日までは診断群分類点数表にて算定し、4月1日以降は医科点数表にて算定

イ 2月1日以降新たに入院した患者は、2月1日より医科点数表にて算定

(2) 退出の手続き

① 通常の場合

DPC制度から退出する意向がある病院（特定機能病院を除く。）は、直前に予定している診療報酬改定の6か月前までに、別紙6「DPC制度からの退出に係る届出書」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出することとし、当該届出を行った病院は、当該診療報酬改定の時期に合わせてDPC制度から退出するものとする。（診療報酬改定の前々月初日以降新たに入院する患者から医科点数表により算定を行うものとする。）

なお、当該届出の内容は、厚生労働省保険局医療課より中央社会保険医療協議会に報告を行うものとする。

② DPC対象病院の基準を満たさなくなった場合

ア 1の（2）の①又は②の基準を満たさなくなった場合

該当する病院（特定機能病院を除く。）は、別紙7「DPC対象病院の基準に係る届出書」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出するこ

とし、3か月間の猶予期間を設け、基準を満たさなくなった日から起算して3か月を超えてもなお基準を満たせない場合には、3か月を超えた月の3か月後の初日にDPC制度から退出するものとする。（3か月の猶予期間を超えた翌月初日以降新たに入院する患者から医科点数表により算定を行うものとする。）この場合、当該病院は速やかに別紙6「DPC制度からの退出に係る届出書」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。――

イ 1（2）③又は⑤の基準を満たさなくなった場合

DPC調査に適切に参加していないこと又はコーディング委員会が適切に開催されていないことを厚生労働省が確認した場合は、該当する病院（特定機能病院を除く。）が基準を満たしているかを中央社会保険医療協議会において審査及び決定することとし、基準を満たしていないと決定された場合は、決定された月の4か月後の初日にDPC制度から退出するものとする（決定された月の翌々月初日以降新たに入院する患者から医科点数表による算定を行うものとする。）。この場合、当該病院は速やかに、別紙6「DPC制度からの退出に係る届出書」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。

なお、審査後の決定内容は当該病院に通知するものとし、通知した決定に不服がある病院は、1回に限り別紙9に定める「不服意見書」を厚生労働省保険局医療課長に提出することができるものとする。この場合、提出された不服意見書を踏まえ、中央社会保険医療協議会において再度審査及び決定するものとする。

ウ 1の（2）の④の基準を満たさなくなった場合

~~については、当該病院における各年10月から翌年9月までのデータにより、厚生労働省保険局医療課において~~各年10月から翌年9月までのデータにより判定~~判断~~し、基準を満たしていない病院に対して結果を通知するものとする。当該基準を満たしていない病院（特定機能病院を除く。）は、判定後の直近の翌年4月1日にDPC制度から退出するものとする（判定後の直近の翌年2月1日以降新たに入院する患者から医科点数表により算定を行うものとする。）。この場合、当該病院は速やかに、別紙6「DPC制度からの退出に係る届出書」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。

③ 特別の理由により緊急に退出する必要がある場合

特別の理由により、上記①、②の手続きによらず緊急にDPC制度から退出する必要がある病院（特定機能病院は除く。）は、別紙8「DPC制度からの退出に係る届出書（特別の理由がある場合）」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。

当該届出が行われた場合は、退出の可否について厚生労働省保険局医療課にて審査及び決定することとし、必要に応じて中央社会保険医療協議会において審査及び決定することとする。退出が認められた場合には、認められた月の4か月後の初日にDPC対象病院から退出するものとする（退出が認められた月の翌々月初日以降新たに入院する患者から医科点数表による算定を行うものとする。）。~~また、決定内容については当該病院に対し通知することとする。~~

なお、審査後の決定内容案~~については、予め~~当該病院に通知するものとし、通知した決

定~~案~~に不服がある病院は、1回に限り別紙9に定める「不服意見書」を厚生労働省保険局医療課長に提出することができるものとする。この場合、提出された不服意見書を踏まえ、中央社会保険医療協議会において再度審査を行い、退出の可否を決定するものとする。

また、当該審査の内容については必要に応じ、厚生労働省保険局医療課より中央社会保険医療協議会に報告を行うものとする。

(特別な理由の例)

- 医師の予期せぬ退職等により、急性期入院医療を提供することが困難となった場合
- 当該病院の地域での役割が変化し、慢性期医療を提供する病院となった場合
- 「D P C導入の影響評価に係る調査（特別調査を含む。）」に適切に参加できなくなった場合

④ 保険医療機関を廃止する場合

保険医療機関を廃止することにより、D P C制度から退出する場合は、保険医療機関廃止届等と併せて、別紙10「保険医療機関廃止に伴うD P C制度からの退出届」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。

(3) 退出する場合の患者への周知について

D P C制度から退出する病院においては、当該病院が算定告示により費用を請求しなくなる旨を退出決定後速やかに院内に掲示するとともに、入院患者及び関係者に対して、診療報酬の算定方法等について十分に説明しなければならない。

(4) 退出した病院のD P C調査への参加について

① 通常の場合

診療報酬改定の時期に合わせてD P C制度から退出した病院は、次回診療報酬改定までの間、D P C調査に適切に参加しなければならないものとする。ただし、当該調査期間中にA100一般病棟入院基本料、A104特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）又はA105専門病院入院基本料を算定している場合に限る。

なお、第2の1の（1）の基準を満たしており、別紙6「D P C制度からの退出に係る届出書」と併せて、別紙11「D P C準備病院届出書」及び別紙12「D P C準備病院届出書（別紙）」を提出した場合は、D P C準備病院となることができる。

② D P C対象病院の基準を満たさなくなった場合

1の（2）に定めるD P C対象病院の基準のうち、~~①、②又は④~~を満たさないことによりD P C制度から退出した病院は、厚生労働省保険局医療課において定める期間について、D P C調査に適切に参加しなければならないものとする。ただし、当該調査期間中にA100一般病棟入院基本料、A104特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）又はA105専門病院入院基本料を算定している場合に限る。

なお、第2の1の（1）の基準を満たしており、別紙6「D P C制度からの退出に係る届出書」と併せて、別紙11「D P C準備病院届出書」及び別紙12「D P C準備病院届出書（別紙）」を提出した場合は、D P C準備病院となることができる。

③ D P C対象病院の合併又は分割後のD P C制度への継続参加が認められなかった場合等

3の（5）又は（7）に該当しD P C制度から退出した病院は、厚生労働省保険局医療課において定める期間について、D P C調査に適切に参加しなければならないものとする。

ただし、当該調査期間中にA100一般病棟入院基本料、A104特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）又はA105専門病院入院基本料を算定している場合に限る。

なお、第2の1の（1）の基準を満たしており、別紙6「DPC制度からの退出に係る届出書」と併せて、別紙11「DPC準備病院届出書」及び別紙12「DPC準備病院届出書（別紙）」を提出した場合は、DPC準備病院となることができる。

④ 特別の理由により緊急に退出する必要がある場合

特別の理由により緊急に退出した病院は、厚生労働省保険局医療課において定める期間について、DPC調査に適切に参加しなければならないものとする。

第2 DPC準備病院

1 DPC準備病院の基準について

（1）DPC準備病院とは、DPC制度に参加することを希望している病院であって、以下の基準を満たす病院をいう。

- ① 急性期入院医療を提供する病院として、医科点数表に掲げるA100一般病棟入院基本料、A104特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）又はA105専門病院入院基本料について、7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行っていること、又は当該基準を満たすべく計画を策定していること。
- ② 医科点数表に掲げるA207診療録管理体制加算に係る届出を行っていること、又はそれと同等の診療録管理体制を有しており、当該基準を満たすべく計画を策定していること
- ③ DPC調査に適切に参加し、入院診療に係るデータを提出すること。また、外来診療に係るデータを提出することが望ましい。
- ④ コーディング委員会を設置し、年~~4~~回以上（開催月と同月内に2回以上開催した場合、2回目以降の開催は当該基準である4回には含まない。開催月の翌月の初日から6か月以内に開催すること。）当該委員会を開催しなければならない。なお、当該委員会は毎月開催することが望ましい。

なお、病院内の他の委員会において、目的及び構成員等がコーディング委員会の要件を満たしている場合には、当該委員会をコーディング委員会とみなすことができる。ただし、当該委員会の設置規程等に適切なコーディングに関する事項を明記し、適切なコーディングに関するテーマについて、年~~4~~回以上、委員会を開催しなければならない。当該医療機関はコーディング委員会と同様、毎月開催することが望ましい。

また、コーディング委員会を開催時には、「DPC/PDPS傷病名コーディングテキスト（厚生労働省保険局医療課）」を活用することが望ましい。

（2）DPC準備病院となることを希望する病院は、別紙11「DPC準備病院届出書」及び別紙12「DPC準備病院届出書（別紙）」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。

なお、新たにDPC準備病院を募集する場合は、募集期間等について中央社会保険医療協議会の了承を得た上で、厚生労働省ホームページにおいて周知を行うものとする。

2 DPC準備病院の辞退について

DPC準備病院を辞退する場合は、別紙13「DPC準備病院辞退届」を地方厚生（支）局医療

課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。

3 D P C 準備病院の合併又は分割について

D P C 準備病院が D P C 準備病院等（D P C 対象病院以外）と合併の予定があり、合併後も D P C 準備病院として継続を希望している場合、又は D P C 準備病院が分割の予定があり、分割後も D P C 準備病院として継続を希望している場合は、第 1 の 3 に準じた取扱いとする。

第 3 その他

1 患者への周知等

(1) D P C 対象病院においては、当該病院が算定告示により費用を算定する旨を院内に掲示するとともに、入院患者及び関係者に対して、診療報酬の算定方法等について十分に説明 ~~することもなければならない。~~

また、入院患者等に対して入院診療計画を説明する際には診断群分類区分の名称などを説明 ~~することが望ましい~~ ~~なければならない。~~

(2) 包括範囲内の診療行為がわかる明細書の交付については、「医療費の内容の分かる領収証及び個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書の交付について」（平成 年 月 日付け保発 第 号）により取り扱うこと。

2 名称等の変更

~~係数告示に定める D P C 対象~~病院及び D P C 準備病院の名称 ~~又は及び~~所在地が変更となる場合には、遅くとも 2 か月前までに、別紙 14 「D P C 対象病院等名称変更届」を地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。

(別紙1)

D P C 制度への参加に係る届出書

参加基準（該当する項目の□をチェックすること。）

- 7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行っている。^(※1)
- A207診療録管理体制加算に係る届出を行っている。
- 「D P C 導入の影響評価に関する調査（特別調査を含む。）」に適切に参加し、入院診療及び外来診療に係るデータを提出できる。
 ~~入院診療データ及び外来診療データを提出できる。~~
- 調査期間1か月当たりの（データ／病床）比が0.875以上となる見込みである。
- 適切なコーディングに関する委員会を設置し、年4-2回以上、当該委員会を開催することができる。

当院は、上記基準の~~全すべて~~を満たしているので、届出を行います。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

厚生労働省保険局医療課長 殿

事 項	担 当 者 1	担 当 者 2
保険医療機関名		
所 属 部 署		
役 職		
氏 名		
電 話 番 号		
F A X 番 号		
E - m a i l		

(注意事項)

※1 7対1入院基本料、10対1入院基本料とは、A100 一般病棟入院基本料、A104 特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）及びA105 専門病院入院基本料の7対1入院基本料、10対1入院基本料をいう。

(別紙2)

D P C 対象病院等の合併に係る申請書

(保険医療機関名称)

当院 _____ は、

(保険医療機関名称)

次の _____ と、

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ に合併を予定しています。

合併後も D P C 対象 (準備) 病院の基準を満たす予定であり、D P C 制度に継続参加を希望しています。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先)

担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

(注意事項)

- ※1 本申請書は、D P C対象病院等（D P C制度参加病院以外含む）がD P C対象病院等と合併の予定があり、合併後もD P C制度への継続参加を希望している場合に、合併（予定）年月日の6か月前までに、地方厚生（支）局医療課長を經由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。
- ※2 本申請書には、必要事項を記載した、別紙3「D P C対象病院等の合併に係る申請書（別紙）」を添付して提出すること。
- ※3 本申請書の提出後、申請内容等の合併に係る資料の提出が求められた場合は厚生労働省保険局医療課に速やかに提出すること。
- ※4 D P C制度継続参加の可否については、中央社会保険医療協議会において審査及び決定することとする。
- ※5 審査後の決定内容案については、~~予め~~当該病院に通知するものこととし、通知した決定案に不服がある病院は、1回に限り別紙9「不服意見書」を提出することができる。
- ※6 審査の内容については必要に応じて中央社会保険医療協議会に報告を行うものであること。

(別紙3)

D P C 対象病院等の合併に係る申請書 (別紙)

	合併前病院① (※1)	合併前病院② (※1)	合併後病院 (※1)
保険医療機関コード			変更の 有 ・ 無 ・ 不明
保険医療機関名称(予定)			
開設者(予定)			
保険医療機関の所在地 (予定)			
所属する医療圏(予定)			
総病床数(予定)			
D P C 算定病床数(予定)			
診療科目数 (予定)			
主たる診療科目 (予定)			
入院中の患者の引き継ぎ			有 ・ 無
病院職員(医師、看護師 等)の引き継ぎ			有 ・ 無
届出(予定)入院基本料			
診療録管理体制加算の届 出(予定)	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
適切なコーディネィングに関 する委員会の設置 (予定)	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先)

担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

(注意事項)

※1 病院における状況（予定）について記入、該当する項目に○を付けること。

「合併前病院①」・・・合併にあたり主となる病院

「合併前病院②」・・・合併にあたり従となる病院

「合併後病院」・・・合併後の病院

(別紙4)

D P C対象病院等の分割に係る申請書

(保険医療機関名称)

当院_____は、

平成_____年_____月_____日に、

(保険医療機関名称(予定))

_____と、

(保険医療機関名称(予定))

_____に分割を予定しています。

分割後もD P C対象(準備)病院の基準を満たす予定であり、D P C制度に継続参加を希望しています。

平成_____年_____月_____日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先)

担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

(注意事項)

- ※1 本申請書は、D P C対象病院等（D P C制度参加病院以外含む）が分割の予定があり、分割後もD P C制度への継続参加を希望している場合に、分割（予定）年月日の6か月前までに、地方厚生（支）局医療課長を経由して厚生労働省保険局医療課長に提出すること。
- ※2 本申請書には、必要事項を記載した、別紙5「D P C対象病院等の分割に係る申請書（別紙）」を添付して提出すること。
- ※3 本申請書の提出後、申請内容等の分割に係る資料の提出が求められた場合は厚生労働省保険局医療課に速やかに提出すること。
- ※4 D P C制度の継続参加の可否については、中央社会保険医療協議会において審査及び決定することとする。
- ※5 審査後の決定~~内容案については~~、~~争め~~当該病院に通知するものこととし、通知した決定案に不服がある病院は、1回に限り別紙9「不服意見書」を提出することができる。
- ※6 審査の内容については必要に応じ、中央社会保険医療協議会に報告を行うものであること。

(別紙5)

D P C 対象病院等の分割に係る申請書 (別紙)

	分割前病院 (※1)	分割後病院① (※1)	分割後病院② (※1)
保険医療機関コード		変更の 有 ・ 無 ・ 不明	変更の 有 ・ 無 ・ 不明
保険医療機関名称(予定)			
開設者 (予定)			
保険医療機関の所在地 (予定)			
所属する医療圏 (予定)			
総病床数 (予定)			
D P C 算定病床数(予定)			
診療科目数 (予定)			
主たる診療科目 (予定)			
入院中の患者の引き継ぎ		有 ・ 無	有 ・ 無
病院職員(医師、看護師 等)の引き継ぎ		有 ・ 無	有 ・ 無
届出(予定)入院基本料			
診療録管理体制加算の届 出(予定)	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
適切なコーディングに 係る委員会の設置(予定)	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
分割後のD P C 制度継続 参加の希望の有無		有 ・ 無	有 ・ 無

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先)

担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

(注意事項)

※1 病院における状況（予定）について記入、該当する項目に○を付けること。

「分割前病院」・・・分割前の病院

「分割後病院①」・・・分割後に主となる病院

「分割後病院②」・・・分割後に従となる病院

(別紙6)

D P C 制度からの退出に係る届出書

(退出理由)

当院は、上記理由により、D P C 制度から退出します。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先) 担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

(注意事項)

- ※1 本退出届を直前に予定している診療報酬改定の6か月前までに提出した病院は、当該診療報酬改定の時期に合わせてDPC制度から退出する。(診療報酬改定の前々月初日以降新たに入院する患者から医科点数表により算定を行うものとする。)
- ※2 DPC対象病院の基準について猶予期間(3か月)を超えてもなお基準を満たせない病院は、猶予期間終了後速やかに本退出届を提出することとし、当該病院は3か月の猶予期間を超えた月の3か月後の初日にDPC制度から退出する。(3か月の猶予期間を超えた翌月初日以降新たに入院する患者から医科点数表により算定を行うものとする。)
- ※3 DPC対象病院等の合併又は分割後のDPC制度への継続参加が認められなかった病院は、速やかに本退出届を提出することとし、合併又は分割年月日にDPC制度から退出する。また、DPC制度への継続参加が認められた病院が合併又は分割時点及び合併又は分割後の継続参加の基準を満たしていない場合は、本退出届を提出すること。基準を満たしていないことが確認された月の4か月後の初日にDPC制度から退出する。
- ※4 通常の場合によりDPC制度から退出した病院(診療報酬改定の時期に合わせてDPC制度から退出した病院)は、次回診療報酬改定までの間、「DPC導入の影響評価に係る調査(特別調査を含む。)」に適切に参加しなければならないものとする。ただし、当該調査期間中にA100 一般病棟入院基本料、A104 特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又はA105 専門病院入院基本料を算定している場合に限る。
- ※5 DPC対象病院の基準を満たさなくなった場合によりDPC制度から退出した病院~~(第1の1の(2)に定めるDPC対象病院の基準のうち、①、②及び④を満たさないことによりDPC制度から退出した病院に限る。)~~は、厚生労働省保険局医療課において定める期間について、「DPC導入の影響評価に係る調査(特別調査を含む。)」に適切に参加しなければならないものとする。ただし、当該調査期間中にA100 一般病棟入院基本料、A104 特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又はA105 専門病院入院基本料を算定している場合に限る。
- ※6 DPC対象病院等の合併又は分割後のDPC制度への継続参加が認められなかった病院、DPC制度への継続参加が認められた病院が合併又は分割時点及び合併又は分割時点後の継続参加の基準を満たしていない場合によりDPC制度から退出した病院は、厚生労働省保険局医療課において定める期間について、「DPC導入の影響評価に係る調査(特別調査を含む。)」に適切に参加しなければならないものとする。ただし、当該調査期間中にA100 一般病棟入院基本料、A104 特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)又はA105 専門病院入院基本料を算定している場合に限る。
- ※7 本退出届は、中央社会保険医療協議会に報告を行うものであること。

(別紙7)

D P C対象病院の基準に係る届出書

1. D P C対象病院の基準（基準を満たさなくなった項目の□をチェックすること。）

該当する項目の□をチェックすること。

- 7対1入院基本料又は10対1入院基本料
- A207診療録管理体制加算

2. 上記基準を満たすための計画^(※1)

D P C対象病院の基準を満たすための計画は、別添資料のとおりです。

3. D P C対象病院の基準を満たす期限^(※2)

平成 年 月 日

上記のとおり届出を行います。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

厚生労働省保険局医療課長 殿

(注意事項)

※1 D P C対象病院の基準を満たすための計画について詳細に記述した資料を添付すること。

※2 D P C対象病院の基準を満たす期限は、基準を満たさなくなった月本届出日の3か月後の初日を記載すること。

※3 D P C対象病院の基準を満たす期限までに基準を満たせない場合は、期限が到来した月の3か月後の初日にD P C制度から退出するものとする。（期限が到来した月の翌月初日以降新たに入院する患者から医科点数表により算定を行うものとする。）

(別紙8)

D P C制度からの退出に係る届出書

(特別な理由がある場合)

当院は、D P C制度からの退出を申請します。
退出の理由については、添付資料のとおりです。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先) 担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

(注意事項)

- ※1 本申請書には、退出理由について詳細に記述した資料を添付すること。
- ※2 退出の可否については必要に応じて、中央社会保険医療協議会において審査~~及び~~決定することとする。
- ※3 審査後の決定~~内容案については、予め~~当該病院に通知する~~ものこと~~とし、通知した決定~~案~~に不服がある病院は、1回に限り別紙9「不服意見書」を提出することができる。
- ※4 特別の理由により緊急にD P C制度から退出した病院は、厚生労働省保険局医療課において定める期間について「D P C導入の影響評価に係る調査(特別調査を含む。)」に適切に参加すること。
- ※5 審査の内容については必要に応じて、中央社会保険医療協議会に報告を行うものであること。

(別紙9)

不服意見書

(通知された決定案)

(決定案に対する意見)

当院は、上記理由により、通知された決定案に対する意見を提出します。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先) 担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

(別紙 10)

保険医療機関廃止に伴う D P C 制度からの退出届

当院は、平成 年 月 日付で廃止するため、D P C 制度から退出します。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先) 担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

D P C 準備病院届出書

参加基準（該当する項目の□をチェックすること。）

- 7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行っている。^(※1)
- 現在、7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行っていないが、当該基準を満たすべく計画を策定している。^(※2)
- A207診療録管理体制加算に係る届出を行っている。
- A207診療録管理体制加算に係る届出を行っていないが、それと同等の診療録管理体制を有しており、当該基準を満たすべく計画を策定している。^(※2)
- 「D P C 導入の影響評価に関する調査（特別調査を含む。）」に適切に参加し、入院診療に係るデータを提出できる。
 ~~入院診療データを提出できる。~~
- 適切なコーディングに関する委員会を設置し、年4-2回以上、当該委員会を開催することができる。

当院は、上記基準の全すべてを満たしているので、届出を行います。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

厚生労働省保険局医療課長 殿

事 項	担 当 者 1	担 当 者 2
保険医療機関名		
所 属 部 署		
役 職		
氏 名		
電 話 番 号		
F A X 番 号		
E - m a i l		

(注意事項)

- ※1 7対1入院基本料、10対1入院基本料とは、A100 一般病棟入院基本料、A104 特定機能病院入院基本料（一般病棟に限る。）及びA105 専門病院入院基本料の7対1入院基本料、10対1入院基本料をいう。
- ※2 現在、7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行っていないが当該基準を満たすべく計画を策定している病院、又はA207 診療録管理体制加算に係る届出を行っていないが同等の診療録管理体制を有しており、当該基準を満たすべく計画を策定している病院は、別紙12「DPC準備病院届出書（別紙）」に必要事項を記載し、本届出書に添付すること。
- ※3 DPC準備病院の募集期間等については、中央社会保険医療協議会の了承を得た上で、厚生労働省ホームページにおいて周知を行うため、留意すること。

(別紙 12)

D P C 準備病院届出書 (別紙)

保険医療機関名：

所在地住所：

1. 7対1入院基本料又は10対1入院基本料を算定していない場合、当該基準を満たすための計画を記載すること。

7対1又は10対1入院基本料の届出予定日	平成 年 月 日

2. A207 診療録管理体制加算を算定していない場合、同等の診療録管理体制の具体的な内容及び当該基準を満たすための計画を記載すること。

A207 診療録管理体制加算の届出予定日	平成 年 月 日

(注意事項)

- ※1 計画の期限を含めて計画を策定すること。
- ※2 計画等が変更になった場合には、速やかにその内容を申し出ること。
- ※3 7対1又は10対1入院基本料の届出を行っており、かつ、A207 診療録管理体制加算の届出を行っている場合は、本別紙の提出は不要。

(別紙 13)

D P C 準備病院辞退届

(辞退理由)

- データ作成のための人員が確保できなかったため。
- データ作成のためのシステムの構築が困難だったため。
- D P C 制度への参加を予定しなくなったため。
- その他 ()

当院は、上記理由により、D P C 準備病院を辞退します。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先) 担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

(別紙 14)

D P C 対象病院等名称等変更届

変更予定年月日	年 月 日
新保険医療機関名	
旧保険医療機関名	
移転の有無	0. 無 1. 有
移転前所在地住所	
移転後所在地住所	
電話番号	
F A X 番号	
病床数変更の有無	0. 無 1. 有
保険医療機関番号変更の有無	0. 無 1. 有

当院は、上記のとおり、保険医療機関の名称等を変更します。

平成 年 月 日

保険医療機関の所在地住所及び名称

開設者名

印

(連絡先) 担当者名

所属部署

電話番号

E-mail

厚生労働省保険局医療課長 殿

保 医 発 第 号
平 成 年 月 日

地方厚生（支）局医療課長
都道府県民生主管部（局）
国民健康保険主管課（部）長
都道府県後期高齢者医療主管部（局）
後期高齢者医療主管課（部）長

） 殿

厚生労働省保険局医療課長
（公印省略）

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の
一部改正等に伴う実施上の留意事項について

標記については、本日、厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部を改正する件（平成28年厚生労働省告示第 号。以下「算定告示」という。）が公布され、平成28年4月1日より適用されることとなったところであるが、実施上の留意事項は、別添のとおりであるので、その取扱いに遺漏のないよう貴管下の保険医療機関及び審査支払機関等に対し、周知徹底を図られたい。

なお、本通知は、平成28年4月1日から適用することとし、従前の「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」は、平成28年3月31日限り廃止する。

第1 DPC対象患者について

- 1 DPC対象患者は、算定告示に定める診断群分類点数表に掲げる分類区分（以下「診断群分類区分」という。）に該当する入院患者とする。
- 2 1にかかわらず、以下の患者の診療報酬は、診療報酬の算定方法（平成20年厚生労働省告示第59号）別表第一医科診療報酬点数表（以下、「医科点数表」という。）若しくは別表第二歯科診療報酬点数表（以下「歯科点数表」という。）、入院時食事療養に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準（平成18年厚生労働省告示第99号）又は保険外併用療養費に係る療養についての費用の額の算定方法（平成18年厚生労働省告示第496号）により算定する。
 - (1) 当該病院に入院した後24時間以内に死亡した患者又は生後1週間以内に死亡した新生児
 - (2) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養（平成18年厚生労働省告示第495号）第1条に規定する評価療養又は第1条の2に規定する患者申出療養を受ける患者
 - (3) 臓器移植を受ける患者であつて、医科点数表のうち次の区分番号の点数を算定するもの
 - ア K014 皮膚移植術（生体・培養）
 - イ K014-2 皮膚移植術（死体）
 - ウ K514-4 同種死体肺移植術
 - エ K514-6 生体部分肺移植術
 - オ K605-2 同種心移植術
 - カ K605-4 同種心肺移植術
 - キ K697-5 生体部分肝移植術
 - ク K697-7 同種死体肝移植術
 - ケ K709-3 同種死体膵移植術
 - コ K709-5 同種死体膵腎移植術
 - サ K780 同種死体腎移植術
 - シ K780-2 生体腎移植術
 - ス K922 造血幹細胞移植
 - (4) 医科点数表のうち次の区分番号の点数を算定する患者
 - ア A106 障害者施設等入院基本料
 - イ A306 特殊疾患入院医療管理料
 - ウ A308 回復期リハビリテーション病棟入院料
 - エ A308-3 地域包括ケア病棟入院料
 - (1) 地域包括ケア病棟入院料1又は2
 - (2) 地域包括ケア入院医療管理料1又は2（当該入院医療管理料を算定する直前に療養に要する費用の額を算定告示別表により区分番号を算定する前に当該病院の一般病棟（同アからウまで、エの(1)及びオからキまでを算定していた患者を除く。）に入院していた患者を除く。）
 - オ A309 特殊疾患病棟入院料
 - カ A310 緩和ケア病棟入院料
 - キ A400 短期滞在手術等基本料（3を除く。）
 - (5) 厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五

号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者（平成24年厚生労働省告示第140号）（以下「五号告示」という。）に該当する患者~~算定告示第1項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者に該当する患者~~

- (6) 算定告示第4項の規定に基づき以下のいずれかに該当する病院の病棟に入院する患者
ア 月平均の入院患者数が、医療法（昭和23年法律第205号）の規定に基づき許可を受け、若しくは届出をし、又は承認を受けた病床数に100分の105を乗じて得た数以上の病院
イ 医師又は歯科医師の員数が医療法（昭和23年法律205号）第21条第1項第1号又は第22条の2第1号の規定により有しなければならないこととされている員数に100分の70を乗じて得た数以下の病院の病棟に入院している患者

- 3 ~~主治医により診断群分類区分に該当しないと判断された患者の診療報酬は、医科点数表若しくは歯科点数表、入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準又は保険外併用療養費に係る療養についての費用の額の算定方法により算定する。なお、診断群分類区分に該当しないと判断された患者については、医科点数表に基づき算定することとなった理由及び医療資源を最も投入した傷病名を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。~~

第2 診断群分類区分等について

1 診断群分類区分の適用の考え方

- (1) 入院患者に対する診断群分類区分の該当の有無は、厚生労働大臣が定める傷病名、手術、処置等及び定義副傷病名（平成20年厚生労働省告示第95号）（以下「定義告示」という。）に定める傷病名、手術、処置等及び定義副傷病名等から、診断群分類定義樹形図（別添1。以下「ツリー図」という。）及び診断群分類定義表（別添2。以下「定義テーブル」という。）に基づき主治医が判断すること。

ツリー図は、定義テーブルに定める診断群分類ごとに、手術、処置等又は定義副傷病の有無等に応じた分岐及び当該分岐ごとに設定された14桁のコード（以下「DPCコード」という。）で構成され、DPCコードのうち、診断群分類区分に該当する分岐の14桁のコード（診断群分類点数表に定める診断群分類番号を指す。）を実線で、診断群分類区分に該当しない分岐の14桁コード（以下「医科点数表算定コード」という。）を点線で表したものであり、主治医はこれに基づき適切なDPCコードを選択するものとする。

なお、診断群分類区分に該当しないと判断された患者等、診断群分類点数表により診療報酬を算定しない患者については、医科点数表に基づき算定することとなった理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載し、当該患者のうち以下に該当するものに限り、併せてDPCコードを記載すること。

- ① 五号告示第二号に該当した患者
- ② 診断群分類点数表に定める入院日Ⅲを超えた患者
- ③ 医科点数表算定コードに該当した患者

~~診断群分類点数表に掲げる傷病名、手術、処置等又は定義副傷病名の内容は、厚生労働大臣が定める傷病名、手術、処置等及び定義副傷病名（平成20年厚生労働省告示第95号）（以下「定義告示」という。）に定められており、入院患者に対する診断群分類区分の適用は、当該患者の傷病名、手術、処置等、定義副傷病名等に基づき主治医が判断するものとする。~~

~~なお、主治医は、診断群分類区分の適用に際し、定義告示、診断群分類定義樹形図（別添 1。以下「ツリー図」という。）及び診断群分類定義表（別添 2。以下「定義テーブル」という。）に基づき診断群分類区分を判断すること。~~

(2) 「傷病名」は、入院期間において治療の対象となった傷病のうち医療資源を最も投入した傷病（医療資源を最も投入した傷病が確定していない場合は入院の契機となった傷病をいう。）について、主治医が「疾病及び関連保健問題の国際統計分類 ICD-10 2003 年版準拠（以下、「ICD-10」という。）」から選択すること。

ただし、以下の ICD-10 については、選択しないこと。

- ・ 詳細不明の寄生虫症（B89）
- ・ 他章に分類される疾患の原因であるレンサ球菌及びブドウ球菌（B95）からその他及び詳細不明の感染症（B99）
- ・ 心拍の異常（R00）からその他の診断名不明確及び原因不明の死亡（R99）まで（ただし、鼻出血（R040）、咯血（R042）、気道のその他の部位からの出血（R048）、気道からの出血、詳細不明（R049）、熱性けいれん（R560）、限局性発汗過多（R610）、全身性発汗過多（R611）、発汗過多、詳細不明（R619）及びブドウ糖負荷試験異常（R730）を除く。）また、独立した多部位の悪性腫瘍（C97）については選択せず、主たる部位の悪性腫瘍のいずれかを選択すること。

(3) 手術等が実施されていない期間に診断群分類区分の適用を判断する場合には、予定されている手術等（入院診療計画等により確認されるものに限る。）も勘案した上で診断群分類区分の適用を判断すること。

(4) 一の入院期間において複数の傷病に対して治療が行われた場合においても、一の診断群分類区分を決定すること。

(5) 同一の傷病に対して複数の手術等が行われた場合等においても、一の診断群分類区分を決定するものとし、決定するに当たっては次の点に留意すること。

入院中に、定義告示に掲げられた複数の手術等の診療行為が行われ、同一疾患内の複数の ~~D P C コード~~ 診断群分類区分 に該当する可能性がある場合の取扱いについては、「手術」、「手術・処置等 1」及び「手術・処置等 2」の全ての項目において、ツリー図において、下に掲げられた ~~D P C コード~~ 診断群分類 を優先して選択すること。

(6) 医科点数表において「区分番号 K○○○の○○術に準じて算定する」と規定されている手術について診断群分類区分を決定するに当たっては、準用元の手術で判断すること。

(7) 主治医による診断群分類区分の適用の決定は、患者の退院（D P C 算定対象となる病棟等以外の病棟への転棟を含む。）時請求時に行うものとする。

2 診断群分類点数表の入院期間等

(1) 診断群分類点数表の入院期間

診断群分類点数表の入院期間は、~~同表定義告示~~に掲げられた入院日（日）に応じ、以下によるものとする。

- ① 入院期間Ⅰ：入院日Ⅰ に掲げる日数 以下の期間
- ② 入院期間Ⅱ：入院日Ⅰ に掲げる日数 を超え ~~≠~~ 入院日Ⅱ に掲げる日数 以下の期間
- ③ 入院期間Ⅲ：入院日Ⅱ に掲げる日数 を超え ~~≠~~ 入院日Ⅲ に掲げる日数 以下の期間

(2) 定義副傷病

- ① 定義副傷病は、手術あり・なし別に、定義テーブルの定義副傷病欄のフラグによるものとする。なお、フラグは以下のとおり定義する。
 - ア 手術あり・なし共通の定義副傷病（定義副傷病欄フラグ1）
 - イ 手術なしの場合の定義副傷病（定義副傷病欄フラグ2）
 - ウ 手術ありの場合の定義副傷病（定義副傷病欄フラグ3）
- ② 定義副傷病は、入院時併存症（入院当初に患者が既に持っている傷病）及び入院後発症傷病（入院後に発症した傷病）の両方を含むものである（疑い病名は除く。）。

3 用語等

- (1) 「JCS」はJapan Coma Scaleの略である。
- (2) 「GAF」はGlobal Assessment of Functioningの略である。
- (3) 「15歳以上」等の年齢については、診断群分類区分が適用される入院時の年齢等による。
- (4) 定義告示中の「手術」の欄において「+」により複数の手術が並列されている手術（以下「複数手術」という。）は、同一入院期間中に並列された全ての手術が実施された場合に該当するものとする。
- (5) 定義告示及び算定告示中の手術、処置等の定義は、次に掲げるものを除き、医科点数表の区分によるものとする。
 - ① 「化学療法」とは、悪性腫瘍に対する抗腫瘍用薬、ホルモン療法、免疫療法等の抗腫瘍効果を有する薬剤の使用（当該入院中に処方されたものに限ることとし、手術中の使用及び外来又は退院時に処方されたものは含まない。）をいい、抗生剤のみの使用及びG-CSF製剤、鎮吐剤等の副作用に係る薬剤のみの使用等は含まない。
 - ② 「放射線療法」とは、医科点数表第2章第12部に掲げる放射線治療（血液照射を除く。）をいう。
- (6) 「電気生理学的検査」とは、医科点数表第2章第3部に掲げる検査において、保険医療材料（特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）（平成20年厚生労働省告示第61号。以下「材料価格基準」という。）別表Ⅱ区分114(2)に掲げる保険医療材料を、「050070 頻脈性不整脈」では3本以上、「050210 徐脈性不整脈」では2本以上使用して実施した電気生理学的検査をいう。
- (7) 「動注化学療法」とは、医科点数表第2章第6部に掲げる注射のうちG002動脈注射により化学療法を実施することをいう。
- (8) 手術あり又は手術なしにおける「手術」とは、医科点数表第2章第10部に掲げる手術（輸血管管理料を除く。）の有無をいう。
- (9) 「全身麻酔」とは、医科点数表第2章第11部に掲げる麻酔のうちL007開放点滴式全身麻酔又はL008マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔をいう。
- (10) 「メトトレキサート大量療法」とは、骨肉腫に対してメトトレキサート5g以上（バイアル換算で25本以上）投与する化学療法をいう。
- (11) 「神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素）神経根ブロック」、「神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素）腰部硬膜外ブロック」及び「神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素）仙骨部硬膜外ブロック」とは、医科点数表第2章第11部に掲げる麻酔に規定されるL100神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用）に掲げる「1」の神経根ブロック、「2」の腰部硬膜外ブロック及び「5」の仙骨部硬膜外ブロックをいう。

- (12) 060350急性膵炎における重症度等の「重症」とは、急性膵炎の重症度判定基準（2008年改訂）（厚生労働科学研究補助金難治性膵疾患克服研究事業 難治性膵疾患に関する調査研究班）により重症（予後因子3点以上又は造影CT grade 2以上）として判定される病態をいう。なお、重症度が判定できない「不明」の場合にあっては「軽症」の診断群分類区分を選択するものにより請求を行うこととする。
- (13) 定義告示における~~おいて~~慢性肝炎等の分類中に規定するインターフェロンβのにおける「一定期間以上の投与した場合に限る。」とは、一入院期間中における7日以上の投与をいうものであり、連続7日以上投与に限るものではない。
- (14) 010060脳梗塞における年齢、出生時体重等の発症時期及びJCSは、診断群分類区分の適用開始時を起点として選択するものとする。なお、診断群分類区分の適用開始後に発症した場合は、発症後3日以内、発症時点でのJCSを選択すること。
また、重症度等の「発症前Rankin Scale」とは、発症前概ね1週間のADLを病歴等から推定し、以下に掲げる0から5までのうちいずれかを選択すること。なお、病歴からも全く推定ができない場合にあっては、5を選択すること。
- 0 全く症候がない
 - 1 明らかな障害はない：日常の勤めや活動は行える
 - 2 軽度の障害：自分の身の回りのことは介助なしで行える
 - 3 中等度の障害：何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える
 - 4 中等度から重度の障害：歩行や身体的要求には介助が必要である
 - 5 重度の障害：寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする
- (15) 040080肺炎等における病態等分類の「市中肺炎」への該当の有無は、主治医の判断によるものとするが、肺炎のうち以下に該当しないものを市中肺炎の例として示すので、参考にすること。
- ・ 入院48時間以降に病院内で発症した肺炎
 - ・ 重篤な免疫抑制状態
 - ・ 老人施設と長期療養施設で発症した肺炎
 - ・ 慢性下気道感染症の急性増悪
- また、重症度等の「A-DROP スコア」とは、以下の5項目のうち入院時（入院中に発生した場合は発症時）の状態に該当する項目の合計数をいう。
- ・ 男性70歳以上、女性75歳以上
 - ・ BUN 21 mg/dL 以上又は脱水あり
 - ・ SpO2 90%以下（PaO2 60Torr 以下）
 - ・ 意識障害あり
 - ・ 血圧（収縮期）90 mmHg 以下

第3 費用の算定方法

1 診療報酬の算定

- (1) 診断群分類点数表等による1日当たりの診療報酬は、患者の入院期間に応じて、診断群分類点数表の「点数」欄に掲げる点数に医療機関別係数を乗じて得た点数に基づき算定する。
各月の診療報酬は、1日当たりの診療報酬に当該月の入院日数を乗じて得た点数に基づき

算定する。この場合において、月ごとの合計点数に端数が生じた場合には、当該点数の小数点以下第1位を四捨五入するものとする。

(2) 医療機関別係数

医療機関別係数は、厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院、基礎係数、暫定調整係数、機能評価係数Ⅰ及び機能評価係数Ⅱ（平成24年厚生労働省告示第165号）（以下「係数告示」という。）に定める基礎係数、暫定調整係数、機能評価係数Ⅰ及び機能評価係数Ⅱを合算したもの（医療機関別係数に小数点以下第5位がある場合には、小数点以下第5位を四捨五入するものとする。）とする。

① 機能評価係数Ⅰの算定方法

機能評価係数Ⅰの算定については、「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」（平成 年 月 日保医発 第 号）に基づき、地方厚生（支）局長に届出を行い、各月の末日までに要件審査を終え、届出を受理した場合は、翌月の1日から合算する。また、月の最初の開庁日に要件審査を終え、届出を受理した場合には当該月の1日から合算する。なお、平成 年 月 日までに届出書の提出があり、同月末日までに要件の審査を終え届出の受理が行われたものについては、同月1日に遡って合算できるものとする。

ただし、機能評価係数Ⅰの算定については、係数告示に定める病院のDPC算定対象となる病棟等における医科点数表の届出に基づく診療料について算定することとし、DPC算定対象となる病棟等以外の病棟における医科点数表の届出に基づく診療料については算定できないものとする。

なお、次に掲げる機能評価係数Ⅰの適用日は、他の機能評価係数Ⅰの適用日と取扱いが異なるので十分に留意すること。

ア 地域医療支援病院入院診療加算の取扱い

区分番号A204に掲げる地域医療支援病院入院診療加算については、当該病院が月の初日に医療法第4条第1項の規定により地域医療支援病院として都道府県知事の承認を受けた場合は同日より、月の途中で当該承認を受けた場合は翌月1日より、新たに入院した患者であるか否かにかかわらず入院中の全ての患者に対して加算することができる。

イ 臨床研修病院入院診療加算の取扱い

区分番号A204-2に掲げる臨床研修病院入院診療加算については、実際に臨床研修を実施している月に限り加算することができる。

ウ データ提出加算

区分番号A245に掲げるデータ提出加算については、実際にデータを提出し、当該加算が算定可能な月に限り、加算することができる。

② 病棟群単位による届出を行っている病院における機能評価係数Ⅰの算定方法

7対1入院基本料の届出を行っている病棟の一部を10対1入院基本料に段階的に変更するものとして届出を行ったものは、係数告示別表第四から別表第六の「医科点数表に規定する診療料」欄に掲げる診療料のうち、入院基本料については10対1入院基本料に係る項の「機能評価係数Ⅰ」欄に掲げる数を選択すること。なお、当該病院が医科点数表第1章第2部通則第8号又は月平均夜勤時間超過減算に該当する場合等は、それぞれに応じた機能評価係数Ⅰも併せて選択する必要があることに留意すること。

当該病院において、7対1入院基本料の算定要件を満たす患者については、算定告示別表13から15に規定する点数を所定点数に加算するものとする。

(3) 診断群分類点数表等により算定される診療報酬

診断群分類点数表には、医科点数表に掲げる点数の費用のうち、①に掲げる点数（②に掲げる点数の費用を除く。）の費用が含まれるものとする。なお、②に掲げる点数の費用のほか、診断群分類点数表に含まれていない費用については、医科点数表又は歯科点数表により算定する。

① 診断群分類点数表に含まれる費用

- ア 第1章第2部第1節 入院基本料
- イ 第1章第2部第2節 入院基本料等加算
- ウ 第1章第2部第4節 短期滞在手術等基本料
- エ 第2章第1部 医学管理等の費用
- オ 第2章第3部 検査の費用
- カ 第2章第4部 画像診断の費用
- キ 第2章第5部 投薬の費用
- ク 第2章第6部 注射の費用
- ケ 第2章第7部第2節 薬剤料
- コ 第2章第8部第2節 薬剤料
- サ 第2章第9部 処置の費用
- シ 第2章第13部第1節 病理標本作製料

② ①に掲げる点数の費用から除かれる費用

- ア 入院基本料のうち、A100一般病棟入院基本料の注4重症児（者）受入連携加算から注7一般病棟看護必要度評価加算まで及び注12ADL維持向上等体制加算、A104特定機能病院入院基本料の注5看護必要度加算及び注10ADL維持向上等体制加算、A105専門病院入院基本料の注3看護必要度加算、注4一般病棟看護必要度評価加算及び注9ADL維持向上等体制加算に掲げる費用
- イ 入院基本料等加算のうち、A205救急医療管理加算からA206在宅患者緊急入院診療加算まで、A208乳幼児加算・幼児加算からA213看護配置加算まで、A219療養環境加算からA233-2栄養サポートチーム加算まで、A234-3患者サポート体制充実加算、~~及び~~A236褥瘡ハイリスク患者ケア加算からA243後発医薬品使用体制加算まで、A244病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）及びA246退院支援加算からA250薬剤総合評価調整加算までに掲げる費用
- ウ 短期滞在手術等基本料のうち、A400短期滞在手術等基本料1及び短期滞在手術等基本料2に掲げる費用
- エ 医学管理等の費用のうち、B000特定疾患療養管理料からB001-3-2ニコチン依存症管理料まで及びB001-6肺血栓栓塞症予防管理料からB014退院時薬剤情報管理指導料までに掲げる費用
- オ 検査の費用のうち、D206心臓カテーテル法による諸検査、D295関節鏡検査からD325肺臓カテーテル法、肝臓カテーテル法、膵臓カテーテル法まで及びD401脳室穿刺からD419その他の検体採取までに掲げる費用

カ 画像診断の費用のうち、通則第4号及び第6号に掲げる画像診断管理加算1並びに通則第5号及び第7号に掲げる画像診断管理加算2並びに区分番号E003造影剤注入手技（3のイ及びイの（注1及び2を含む。）に規定する費用~~血流予備能測定検査を実施する場合~~に限る。）に掲げる費用

キ 注射の費用のうち、区分番号G020無菌製剤処理料に掲げる費用

ク 処置の費用のうち、区分番号J001熱傷処置（5に限る。）、J003局所陰圧閉鎖処置（入院）、J010-2経皮的肝膿瘍等穿刺術、J017エタノールの局所注入、J017-2リンパ管腫局所注入、J027高気圧酸素治療（1に限る。）、J038人工腎臓からJ042腹膜灌流まで、J043-6人工膀胱療法、J045-2一酸化窒素吸入療法、J047カウンターショック、J047-2心腔内除細動、J049食道圧迫止血チューブ挿入法、J052-2熱傷温浴療法、J054-2皮膚レーザー照射療法、J062腎盂内注入、J122四肢ギプス包帯（5及び6に限る。ただし、既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）、J123体幹ギプス包帯からJ128脊椎側弯矯正ギプス包帯まで（既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）、J129治療装具の採型ギプス（4に限る。ただし、既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）並びにJ129-2練習用仮義足又は仮義手（2に限る。ただし、既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）に掲げる処置料並びにJ038に掲げる人工腎臓（1及び2に限る。）に当たって使用した保険医療材料（材料価格基準別表Ⅱ区分040(1)及び(5)に掲げる材料に限る。）並びにJ042に掲げる腹膜灌流（1に限る。）に当たって使用した薬剤（腹膜灌流液に限る。）及び保険医療材料（材料価格基準別表Ⅱ区分051から区分053までに掲げる材料に限る。）に係る費用

ケ 病理標本作製料のうち、区分番号N003術中迅速病理組織標本作製に掲げる費用

コ HIV感染症の患者に使用する抗HIV薬に係る費用

サ 血友病等の患者に使用する遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅶ因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅷ因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅸ因子製剤、乾燥人血液凝固第Ⅶ因子製剤及び、乾燥人血液凝固第Ⅸ因子製剤（活性化プロトロンビン複合体及び乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体を含む。）及び乾燥濃縮人血液凝固第Ⅹ因子加活性化第Ⅶ因子製剤に係る費用

(4) 特定入院料の取扱い

医科点数表に掲げる特定入院料のうち、A300救命救急入院料、A301特定集中治療室管理料、A301-2ハイケアユニット入院医療管理料、A301-3脳卒中ケアユニット入院医療管理料、A301-4小児特定集中治療室管理料、A302新生児特定集中治療室管理料、A303総合周産期特定集中治療室管理料、A303-2新生児治療回復室入院医療管理料、A305一類感染症患者入院医療管理料又はA307小児入院医療管理料の算定要件を満たす患者については、当該病院が医科点数表に基づく届出を行っている場合には、特定入院料を算定することができる期間に応じ、算定告示別表4から6の表の右欄に掲げる点数を加算する。なお、当該点数を算定する際の包括範囲は、(3)に定める範囲とし、特定入院料を算定している間に算定できる入院基本料等加算は、次に掲げるものとする。

- ① A300救命救急入院料を算定している間に算定できる入院基本料等加算 （クについては、A300救命救急入院料の注2に係る加算を算定しない場合に限り算定できる。）

- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - エ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~オ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
 - ~~カ A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - オ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - カ A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - キ A247 認知症ケア加算
 - ク A248 精神疾患診療体制加算
- ② A301特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A230-4 精神科リエゾンチーム加算
 - エ A232 がん診療連携拠点病院加算
 - オ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~キ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
 - ~~ク A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - ~~ケ A238-5 救急搬送患者地域連携受入加算~~
 - キ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - ク A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - ケ A247 認知症ケア加算
 - コ A248 精神疾患診療体制加算
- ③ A301-2ハイケアユニット入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A230-4 精神科リエゾンチーム加算
 - エ A232 がん診療連携拠点病院加算
 - オ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~キ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
 - ~~ク A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - ~~ケ A238-5 救急搬送患者地域連携受入加算~~
 - キ A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - ク A247 認知症ケア加算
 - ケ A248 精神疾患診療体制加算
- ④ A301-3脳卒中ケアユニット入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算

- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A230-4 精神科リエゾンチーム加算
 - エ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - オ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~カ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
 - ~~キ A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - ~~ク A238-5 救急搬送患者地域連携受入加算~~
 - カ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - キ A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - ク A247 認知症ケア加算
 - ケ A248 精神疾患診療体制加算
- ⑤ A301-4小児特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ウ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~エ A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - ~~オ A238-5 救急搬送患者地域連携受入加算~~
 - エ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - オ A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - カ A248 精神疾患診療体制加算
- ⑥ A302新生児特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ウ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~エ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
 - ~~オ A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - エ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - オ A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
- ⑦ A303総合周産期特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - エ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~オ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
 - ~~カ A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - オ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - カ A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - キ A248 精神疾患診療体制加算

- ⑧ A303-2新生児治療回復室入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ウ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~エ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
 - ~~オ A238-5 救急搬送患者地域連携受入加算~~
 - エ A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
- ⑨ A305一類感染症患者入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - エ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~オ A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - オ A246 退院支援加算（1のイに限る。）
- ⑩ A307小児入院医療管理料1、2、3又は4~~小児入院医療管理料2~~を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A206 在宅患者緊急入院診療加算
 - ウ A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算
 - エ A221-2 小児療養環境特別加算
 - オ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ~~キ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
 - ~~ク A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - キ A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - ク A248 精神疾患診療体制加算
- ~~⑪ A307小児入院医療管理料3又は小児入院医療管理料4を算定している間に算定できる入院基本料等加算~~
- ~~ア A205-2 超急性期脳卒中加算~~
 - ~~イ A206 在宅患者緊急入院診療加算~~
 - ~~ウ A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算~~
 - ~~エ A221-2 小児療養環境特別加算~~
 - ~~オ A234-3 患者サポート体制充実加算~~
 - ~~カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算~~
 - ~~キ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
 - ~~ク A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
 - ~~ケ A238-5 救急搬送患者地域連携受入加算~~
- ⑪~~⑩~~ A307小児入院医療管理料5を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算

- イ A206 在宅患者緊急入院診療加算
- ウ A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算
- エ A221-2 小児療養環境特別加算
- オ A231-2 強度行動障害入院医療管理加算
- カ A231-4 摂食障害入院医療管理加算
- キ A234-3 患者サポート体制充実加算
- ク A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ~~ケ A238-3 新生児特定集中治療室退院調整加算~~
- ~~コ A238-4 救急搬送患者地域連携紹介加算~~
- ~~サ A238-5 救急搬送患者地域連携受入加算~~
- ケ A246 退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
- コ A248 精神疾患診療体制加算

(5) 短期滞在手術等基本料3の算定対象となる患者の取扱い

入院5日以内に次の表の左欄に掲げる手術~~等~~検査を行う患者であって、同表の右欄に掲げる診断分類番号に該当する場合は、診断群分類点数表による算定の対象外となり、区分番号A400に掲げる短期滞在手術等基本料3により算定する。

	区分番号	手術・検査名	診断群分類番号
ア	D237	終夜睡眠ポリグラフィー 1 携帯用装置を使用した場合	<u>全ての診断群分類番号</u> 030250xx991xxx
イ	D237	終夜睡眠ポリグラフィー 2 多点感圧センサーを有する睡眠評価装置を使用した場合	<u>全ての診断群分類番号</u> 030250xx991xxx
ウ	D237	終夜睡眠ポリグラフィー 3 1及び2以外の場合	<u>全ての診断群分類番号</u> 010230xx99x00x 010300xxxxxxxx 030250xx991xxx 170040xxxxxxxx
エ	D291-2	小児食物アレルギー負荷検査	<u>全ての診断群分類番号</u> 080270xxxx1xxx
オ	D413	前立腺針生検法	<u>全ての診断群分類番号</u> 110080xx991xxx 110200xx99xxxx
カ	K008	腋臭症手術 2 皮膚有毛部切除術	全ての診断群分類 <u>番号</u>
キ	K093-2	関節鏡下手根管開放手術	全ての診断群分類 <u>番号</u>
ク	K196-2	胸腔鏡下交感神経節切除術（両側）	全ての診断群分類 <u>番号</u>
ケ	K282	水晶体再建術 1 眼内レンズを挿入する場合 ロ その他のもの	全ての診断群分類 <u>番号</u>
コ	K282	水晶体再建術 2 眼内レンズを挿入しない場合	全ての診断群分類 <u>番号</u>
サ	K474	乳腺腫瘍摘出術 1 長径5センチメートル未	全ての診断群分類 <u>番号</u>

		満	
<u>シ</u>	<u>K 616-4</u>	<u>経皮的シャント拡張術・血栓除去術</u>	<u>全ての診断群分類番号</u>
<u>ス</u>	K 617	下肢静脈瘤手術 1 抜去切除術	全ての診断群分類番号
<u>セ</u>	K 617	下肢静脈瘤手術 2 硬化療法（一連として）	全ての診断群分類番号
<u>ソ</u>	K 617	下肢静脈瘤手術 3 高位結紮術	全ての診断群分類番号
<u>タ</u>	K 633	ヘルニア手術 5 鼠径ヘルニア	全ての診断群分類番号
<u>チ</u>	K 634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	全ての診断群分類番号
<u>ツ</u>	K 721	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 1 長径 2センチメートル未満	全ての診断群分類番号
<u>テ</u>	K 721	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 2 長径 2センチメートル以上	全ての診断群分類番号
<u>ト</u>	K 743	痔核手術（脱肛を含む） 2 硬化療法（四段 階注射法によるもの）	全ての診断群分類番号
<u>ナ</u>	<u>K 768</u>	<u>体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（一連につき）</u>	<u>全ての診断群分類番号</u>
<u>ニ</u>	K 867	子宮頸部（腔部）切除術	全ての診断群分類番号
<u>ヌ</u>	K 873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	全ての診断群分類番号
<u>ネ</u>	<u>M001-2</u>	<u>ガンマナイフによる定位放射線治療</u>	<u>全ての診断群分類番号</u>

ただし、当該手術等~~検査~~を入院5日以内に実施した場合であっても、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」（平成 年 月 日保医発 第 号）のA400短期滞在手術等基本料の規定に基づき、短期滞在手術等基本料3を算定しない場合は、~~下記に該当する場合は、~~診断群分類点数表による算定の対象となるので留意すること。

~~ア 該当する診断群分類番号以外で実施した場合~~

~~イ 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」（平成26年3月5日保医発0305第3号）の「A400短期滞在手術等基本料」の規定に基づき、短期滞在手術等基本料3を算定しない場合~~

(6) 入院日Ⅲを超えた場合の取扱い

入院期間が診断群分類点数表に掲げる入院日Ⅲを超えた日以降の診療報酬は医科点数表により算定する。ただし、次の点に留意すること。

① ~~ただし、~~悪性腫瘍患者等（化学療法等を実施されたものに限る。）に対して、診断群分類点数表に掲げる入院日Ⅲまでに化学療法等を実施されない場合は、入院日Ⅲを超えた日以降も当該患者に投与する抗悪性腫瘍剤等の当該薬剤料及び当該薬剤に関する医科点数表に掲げる第2章第5部投薬、同章第6部注射（G020無菌製剤処理料の費用を除く。）の費用は算定することはできない（当該抗悪性腫瘍剤等以外の薬剤に関する医科点数表に掲

げる第2章第5部投薬、同章第6部注射の費用は算定することができる。)

なお、「化学療法等を実施された」診断群分類区分とは、次のいずれかに該当する診断群分類区分をいう。

ア 悪性腫瘍患者に対する化学療法(第2の3の(5)の①に掲げる「化学療法」)に係る診断群分類区分(いわゆる「化学療法あり」の診断群分類区分を含む。)

イ イ以外であって、特定の薬剤名(成分名)を含む~~冠する~~診断群分類区分(イの場合にあっては悪性腫瘍患者以外の患者が含まれるため留意すること。)

この際、入院日Ⅲを超えた日以降に算定できない「抗悪性腫瘍剤等の当該薬剤料」とは、アに該当する診断群分類区分にあっては、悪性腫瘍に対する抗腫瘍用薬、ホルモン療法、免疫療法等の抗腫瘍効果を有する薬剤(第2の3の(5)の①に掲げる「化学療法」に定義される薬剤)に係る薬剤料であり、イに該当する診断群分類区分にあっては、明示された薬剤(ただし、明示された薬剤以外の薬剤と併用療法とすることが添付文書等により医学的に明らかなものについては当該併用薬剤も含む。)に係る薬剤料である。

上記以外の薬剤(例：糖尿病に係る薬剤料)については別に薬剤料を算定することができる。 —

② 入院日Ⅲを超えた日以降に手術を実施した場合は、「手術あり」の分岐を選択すること。

(7) 外泊の取扱い

① 入院患者の外泊期間中の入院料等については、患者の入院している病棟について病院が届け出ている入院基本料の基本点数の15%又は特定入院料の15%を算定するが、精神及び行動の障害の患者について治療のために外泊を行わせる場合は更に15%を算定できる。

ただし、当該入院基本料の基本点数又は特定入院料の30%を算定することができる期間は、連続して3日以内に限り、かつ、月(同一暦月)6日以内に限る。

② 入院中の患者が在宅医療に備えて一時的に外泊する場合に、当該在宅医療に関する指導管理が行われた場合には、上記の点数に加え、区分番号C100に掲げる退院前在宅療養指導管理料を外泊初日1回に限り算定できる。

③ 外泊期間は、診断群分類点数表等による診療報酬の算定にあたり、入院期間として算入するものとする。

(8) 同一傷病での再入院に係る取扱い

① D P C算定対象となる**病棟等病床**に入院していた患者(地域包括ケア入院医療管理料を算定する病床において診断群分類点数表によって算定する患者を含む。)が、当該**病棟等病床**より退院した日の翌日又は転棟した日から起算して7日以内にD P C算定対象となる**病棟等病床**(地域包括ケア入院医療管理料を算定する一般病棟の病床を含む。)に再入院(D P C算定対象とならない**病棟等病床**へ転棟した後の再転棟及び当該保険医療機関と特別な関係にある保険医療機関に再入院した場合も含む。以下、「再入院」という。)した場合について、次に該当する場合は、当該再入院は前回入院と一連の入院とみなすこととし、当該再入院の入院期間の起算日は初回の入院日とする。なお、退院期間は入院期間として算入しない(D P C算定対象とならない病棟への転棟期間は入院期間として算入する)。

ア 直近のD P C算定対象となる**病棟等病床**に入院していた際の「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院の際の「入院の契機となった傷病名」の診断群分類番号の上2桁が同一である場合(以下、「同一傷病」という。) —

イ 再入院の際の「入院の契機となった傷病名」に、定義テーブルにおいて診断群分類ごとに定める「医療資源を最も投入した傷病名」欄に掲げる ICDコード以外の ICDコードを選択した場合当該再入院は前回入院と一連の入院とみなすこととし、~~当該再入院の入院期間の起算日は初回の入院日とする。なお、退院期間は入院期間として算入しない（DPC算定対象とならない病床への転棟期間は入院期間として算入する）。~~

また、直近の入院における「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院時の「入院の契機となった傷病名」の診断群分類番号の上2桁~~コード~~が異なり同一傷病の一連の入院に該当しないにも関わらず、直近の入院の際の「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院の際の「医療資源を最も投入した傷病名」の診断群分類番号の上2桁が同一である場合は、再入院の際の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容と経過について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

② 予め当該病院に再入院することが決まっております、再入院時の「医療資源を最も投入した傷病名」が悪性腫瘍であり、かつ、化学療法（第2の3の(5)の①に掲げる「化学療法」）に係る診断群分類区分（いわゆる「化学療法あり」の診断群分類区分を含む。）に該当する場合は、①に該当する場合でも同一傷病での再入院に係る取扱いから除き一連の入院とは見なさない。当該規定を適用する場合には、化学療法の実施日（予定日）及びレジメンを含む化学療法の概要を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。なお、当該規定は、再転棟の場合は適用されないので留意すること。

(9) 同一傷病による7日以内の再入院に当たっての特定入院料の加算については、前回入院と一連の入院と見なした日数を限度日数とすること。

(10) 地域包括ケア入院医療管理料を算定する病室に転室する場合等の取扱い

DPC算定対象となる病棟から地域包括ケア入院医療管理料に係る届出を行っている~~を算定する~~病室（一般病棟に限る。）に転室した場合、第2の2の(1)の③に掲げる診断群分類点数表に定める入院日Ⅲまでの期間は、引き続き転室前と同じ診断群分類区分により算定することとし、起算日は当該入院日とする。なお、診断群分類点数表で算定する期間は、地域包括ケア入院医療管理料を算定することはできない。

また、DPC算定対象となる病棟に入院していた患者が退院の翌日から起算して7日以内に地域包括ケア入院医療管理料を算定する病室に再入院（転室）する場合は、「入院の契機となった傷病名」の診断群分類番号の上6桁を決定し診療報酬明細書の摘要欄に記載することとし、当該診断群分類番号に基づき（8）の規定に該当する場合は、一連の入院として直近のDPC算定対象となる病棟において算定した診断群分類区分と同じ区分により引き続き算定することとし、起算日は初回の入院日とする。

なお、（8）の規定に該当しない場合は、地域包括ケア入院医療管理料を算定する病室への当該再入院（転室）となった際の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容及び経過について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

(11) 退院時処方取扱い

~~医療資源を最も投入した傷病名及び~~診断群分類区分の決定に当たり、退院時処方（退院後に在宅において使用するための薬剤を退院時に処方することをいう。以下同じ。）した場合は、当該薬剤の処方投入した医療資源に含めないこと。

ただし、その場合において、別に薬剤料のみを算定することができる。

(12) 入院中の患者に係る対診・他医療機関受診の取扱い

診療上必要があり、入院中の患者に対し他の保険医療機関の保険医の立合診察（以下「対診」という。）が実施された場合又は入院中の患者が他の保険医療機関を受診し診療が実施された場合における診療の費用（対診が実施された場合の初・再診料及び往診料を除く。）は、当該保険医療機関の保険医が実施した診療の費用と同様に取扱い、当該保険医療機関において算定すること。

なお、この場合の医療機関間での診療報酬の分配は、相互の合議に委ねるものとする。

(13) ~~医療法に規定する医師等の員数を満たさない場合の取扱い~~ 第1(6)に該当する場合は、以下のとおり取り扱うこと。なお、再度診断群分類点数表により算定することとなった場合の入院期間の算定の起算日は、入院の日とする。

① 月平均の入院患者数が、医療法の規定に基づき許可を受け、若しくは届出をし、又は承認を受けた病床数に100分の105を乗じて得た数以上となった場合は、当該月の翌月から医科点数表により算定すること。その後、100分の105を乗じて得た数未満となった場合は、当該月の翌月から再度診断群分類点数表により算定すること。

② 医師等の員数が医療法で有することとされている医師等の員数の100分の70以下となった場合は、当該月の翌月から医科点数表により算定すること。その後また、医師等の員数が100分の70を超えた以上となった場合は、当該月の翌月から再度診断群分類点数表により算定すること。

~~なお、診断群分類点数表により算定することとなった場合の入院期間の算定の起算日は入院の日とする。~~

(14) ~~診断群分類番号~~ 120290産科播種性血管内凝固症候群及び130100播種性血管内凝固症候群

（以下「DIC」という。）~~≡~~によって請求する際は、一連の入院の中で医療資源を最も投入したのがDICであるか否かについて、よりの確な診療報酬明細書審査を行うため、以下の内容が記載された症状詳記を添付すること。

- ・DICの原因と考えられる基礎疾患
- ・厚生労働省DIC基準によるDICスコア又は急性期DIC診断基準（日本救急医学会DIC特別委員会）によるDICスコア
- ・入院期間中に実施された治療内容（DIC及びDICの原因と考えられる基礎疾患に対する治療を含む。）及び検査値等の推移

(15) 診断群分類点数表等による診療報酬の算定方法

対象患者の診療報酬は、(1)から(14)により算定する。

なお、入院時食事療養費に係る食事療養の費用については、入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準により算定する。

2 診療報酬の調整等

(1) 診療報酬の請求方法は、患者の退院時に決定された請求方法をもって一の入院期間において統一するものとする。

(2) 入院当初は診断群分類点数表により療養に要する費用の額を算定していた患者が、退院時には医科点数表により療養に要する費用の額を算定することとなった場合等、入院期間内において診療報酬の請求方法が複数存在する場合は、退院（DPC算定対象となる病棟等以外の病棟に転棟する場合を含む。）時に決定された請求方法により必要な請求を行うものとする。

る。

(3) 退院の日、DPC算定対象となる病棟等以外の病棟に転棟（地域包括ケア入院医療管理料に係る届出を行っている病室において診断群分類点数表により診療報酬を算定していた患者の当該病室以外への転室を含む。）した日の前日又は入院日Ⅲを超えた日の前日（以下「退院の日等」という。）における療養に適用する診断群分類区分と退院の日等の前日までにける療養に適用した診断群分類区分とが異なる場合には、退院の日等の属する月の前月までに療養に要する費用の額として算定した額と同月までの療養について退院の日等における療養に適用する診断群分類区分により算定した額との差額を、退院の日等の属する月の分の費用の額を算定する際の点数において調整する。

~~各月における費用の算定時に適用した診断群分類区分と退院の日（一般病棟以外の病棟（以下「対象外病棟」という。）へ転棟した日の前日、入院日Ⅲを超えた日の前日、その他診断群分類点数表等による診療報酬の算定から医科点数表による算定に変更した日の前日を含む。以下同じ。）に適用した診断群分類区分とが異なる場合には、退院の日に適用した診断群分類区分に基づいて算定した入院の日を含む月から退院の日を含む月の前月までの費用の額と、入院の日を含む月から退院の日を含む月の前月までの費用の額の差を、退院の日を含む月の費用の請求において調整する。~~

~~(2) 診断群分類区分に該当しなくなった患者の取扱い~~

~~① 入院当初は診断群分類区分に該当すると判断され、診断群分類点数表等により算定されていた患者が、その後、診断群分類区分に該当しないと判断された場合には、その日より医科点数表により診療報酬を算定するものとする。~~

~~② 入院当初は診断群分類区分に該当しないと判断され、医科点数表により算定されていた患者が、その後、診断群分類区分に該当すると判断された場合には、その日より診断群分類点数表等により診療報酬を算定するものとする。~~

~~③ ①の場合の入院期間の算定の起算日は入院の日、②の場合の入院期間の算定の起算日は、医療資源を最も投入した傷病名が同一である場合には入院の日、同一ではない場合には診断群分類区分に該当すると判断された日とする。~~

~~(3) 転棟した場合等の取扱い~~

~~① 対象外病棟に転棟した場合には、転棟した日の診療報酬の算定は医科点数表によるものとする。この場合において、対象外病棟における入院料等の算定に当たっては、入院期間の算定の起算日は入院の日とする。~~

~~② 対象外病棟から一般病棟に転棟し、診断群分類点数表等により診療報酬を算定する場合には、当該病棟に転棟した日を診断群分類点数表等による入院期間の算定の起算日とする。~~

~~なお、一般病棟から対象外病棟に転棟し、その後、一般病棟に再転棟した場合についても同様の取扱いとする。ただし、1の(8)に該当する場合はこの限りではない。~~

~~③ 入院途中に評価療養を実施することを決定し、月途中の日から医科点数表により算定することとなる場合においては、入院期間の算定の起算日は入院の日とする。~~

(4) 同一傷病名での7日以内の再入院となった患者の取扱いについては、初回入院、再入院を合わせて一入院とし、上記(1)～(3)に準じて取り扱うこと。

3 その他

(1) 外泊及び転棟した場合等の取扱いについては、適切に取り扱われるよう十分に留意するこ

と。

- (2) 入院中の患者に対して使用する薬剤は、入院する病院において入院中に処方することが原則であり、入院が予定されている場合に、当該入院の契機となる傷病の治療に係るものとして、あらかじめ当該又は他の病院等で処方された薬剤を患者に持参させ、当該病院が使用することは特別な理由がない限り認められない。なお、特別な理由とは、単に病院や医師等の方針によるものではなく、個々の患者の状態等に応じた個別具体的な理由であることが必要である（やむを得ず患者が持参した薬剤を入院中に使用する場合については、当該特別な理由を診療録に記載すること。）。

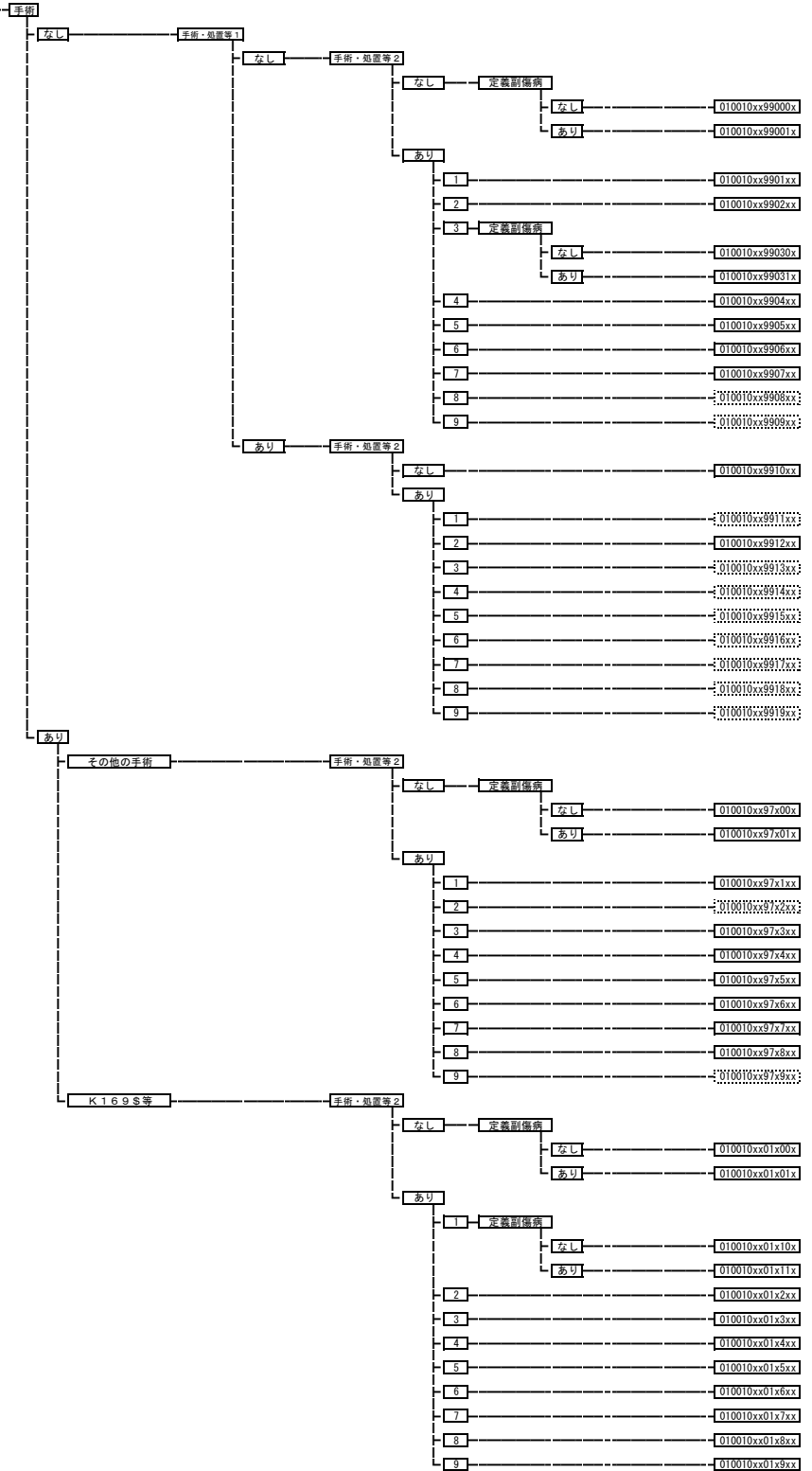
第4 その他

1 経過措置

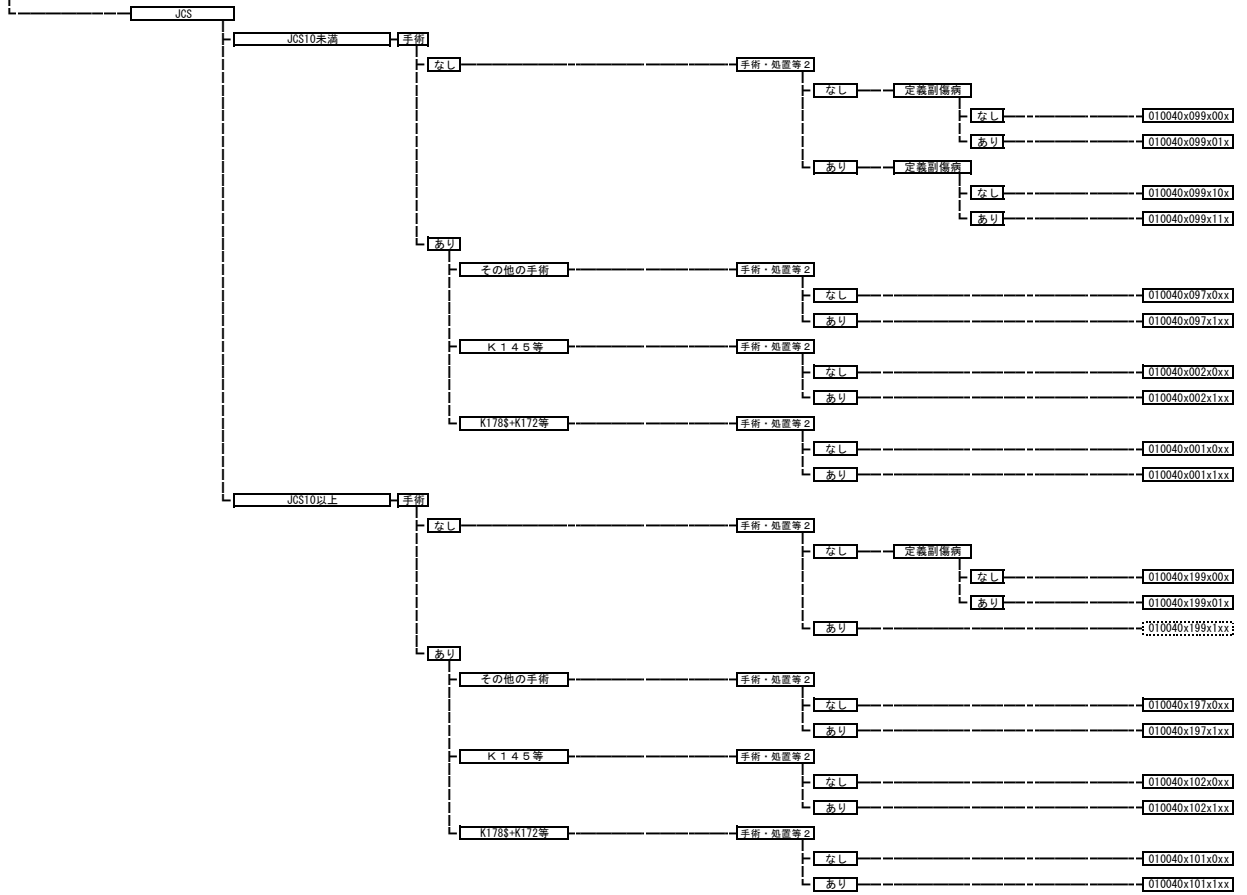
- (1) 係数告示別表第一 から別表第三 に掲げる病院の一般病棟について、平成28~~同~~年2月29日までに診療報酬として算定した額と、同月までの療養について同年3月31日における療養に適用する算定告示別表 2017~~17~~ の診断群分類点数表に掲げる分類区分により算定した額との差額を、同月分の費用の額を算定する際に調整し、退院の日において調整する場合には、同年4月分以降の費用の額について調整する。なお、この場合において、入院期間の起算日は入院の日とする。
- ~~(2) 改正前の医科点数表 A308-2 亜急性期入院医療管理料の規定については、平成26年9月30日までの間、なおその効力を有するものとする。~~
- ~~(3) 改正前の医科点数表 A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料の規定については、平成26年9月30日までの間、なおその効力を有するものとする。この場合において、改正前の算定告示別表の4中「ハイケアユニット入院医療管理料（14日以内の期間）2,488点」とあるのは「2,561点」と、「ハイケアユニット入院医療管理料（15日以上21日以内の期間）2,993点」とあるのは「3,066点」と、同表5中「ハイケアユニット入院医療管理料（14日以内の期間）2,688点」とあるのは「2,761点」と、「ハイケアユニット入院医療管理料（15日以上21日以内の期間）2,993点」とあるのは「3,066点」と、同表6中「ハイケアユニット入院医療管理料（14日以内の期間）2,750点」とあるのは「2,823点」と、「ハイケアユニット入院医療管理料（15日以上21日以内の期間）3,008点」とあるのは「3,081点」とする。~~

010010 脳腫瘍

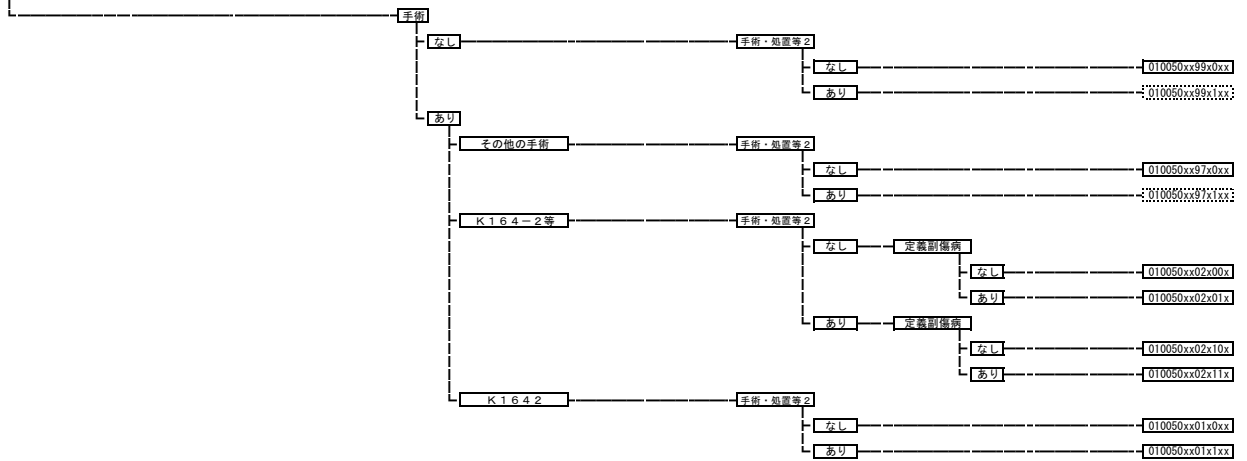
手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: PET、SPECT
 3: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 5: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 6: メトトレキサート（注射薬に限る。）
 7: テモゾロミド（内服薬による初発の初回治療に限る。）
 8: エベロリムス
 9: ベバンスマブ
 9: テモゾロミド（注射薬に限る。）



010040 非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）



010050 非外傷性硬膜下血腫



脳卒中の発症時期
JCS

手術・処置等 1
1: 胃腸造設術 (経皮的内視鏡下胃腸造設術、
腹腔鏡下胃腸造設術を含む。) など
2: 造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法
主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影
した場合

手術・処置等 2
1: 人工呼吸など
2: 脳血管疾患等リハビリテーション科、
麻痺症候群リハビリテーション科
3: 非放射線性キセノン脳血流動態検査など
4: エタラボン
5: tPA

定義副傷病
1: 水腫症など
2: 肺炎など

発症4日目以降又は無症候性
JCS10未満

手術

なし

手術・処置等 1

なし

手術・処置等 2

なし

定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990000

1 010060x0990001

あり

1-1 重症度等

0 010060x0990010

1 010060x0990011

2-1 重症度等

0 010060x0990020

1 010060x0990021

あり

1-1 定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990100

1 010060x0990101

あり

1-1 重症度等

0 010060x0990110

1 010060x0990111

2-1 重症度等

0 010060x0990120

1 010060x0990121

2-2 定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990200

1 010060x0990201

あり

1-1 重症度等

0 010060x0990210

1 010060x0990211

2-1 重症度等

0 010060x0990220

1 010060x0990221

3-1 定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990300

1 010060x0990301

あり

1-1 重症度等

0 010060x0990310

1 010060x0990311

2-1 重症度等

0 010060x0990320

1 010060x0990321

4-1 定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990400

1 010060x0990401

あり

1-1 重症度等

0 010060x0990410

1 010060x0990411

2-1 重症度等

0 010060x0990420

1 010060x0990421

5-1 定義副傷病

なし

重症度等

0 010060x0990500

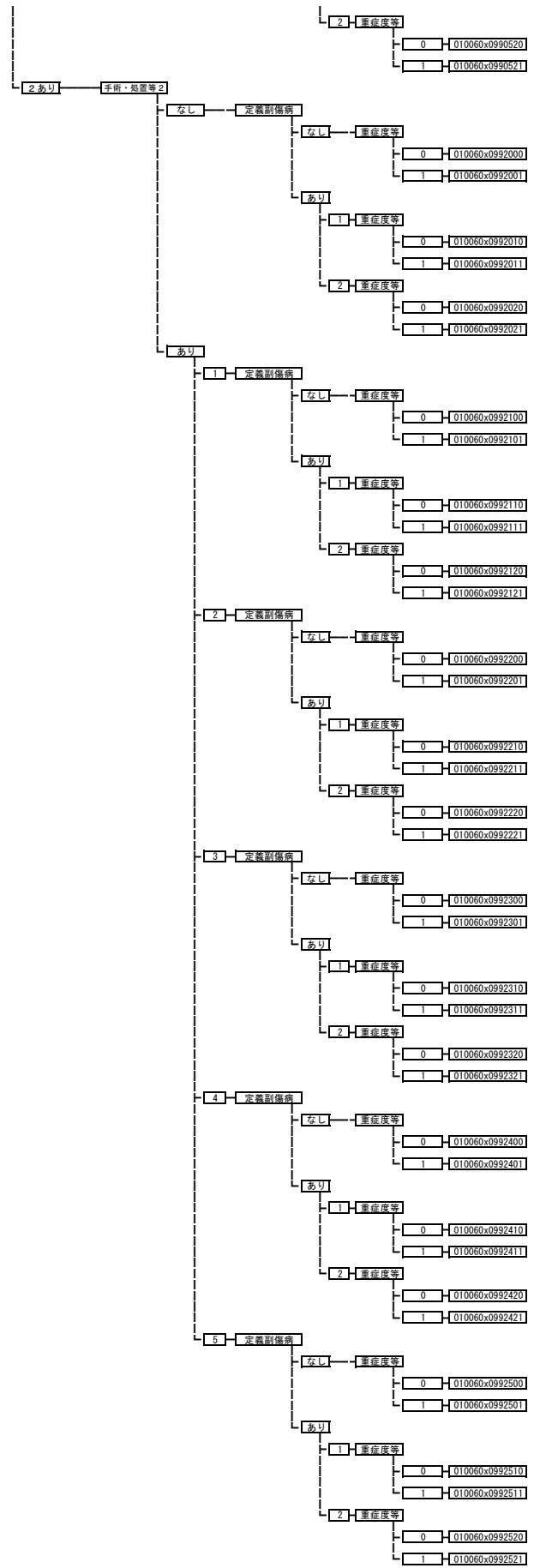
1 010060x0990501

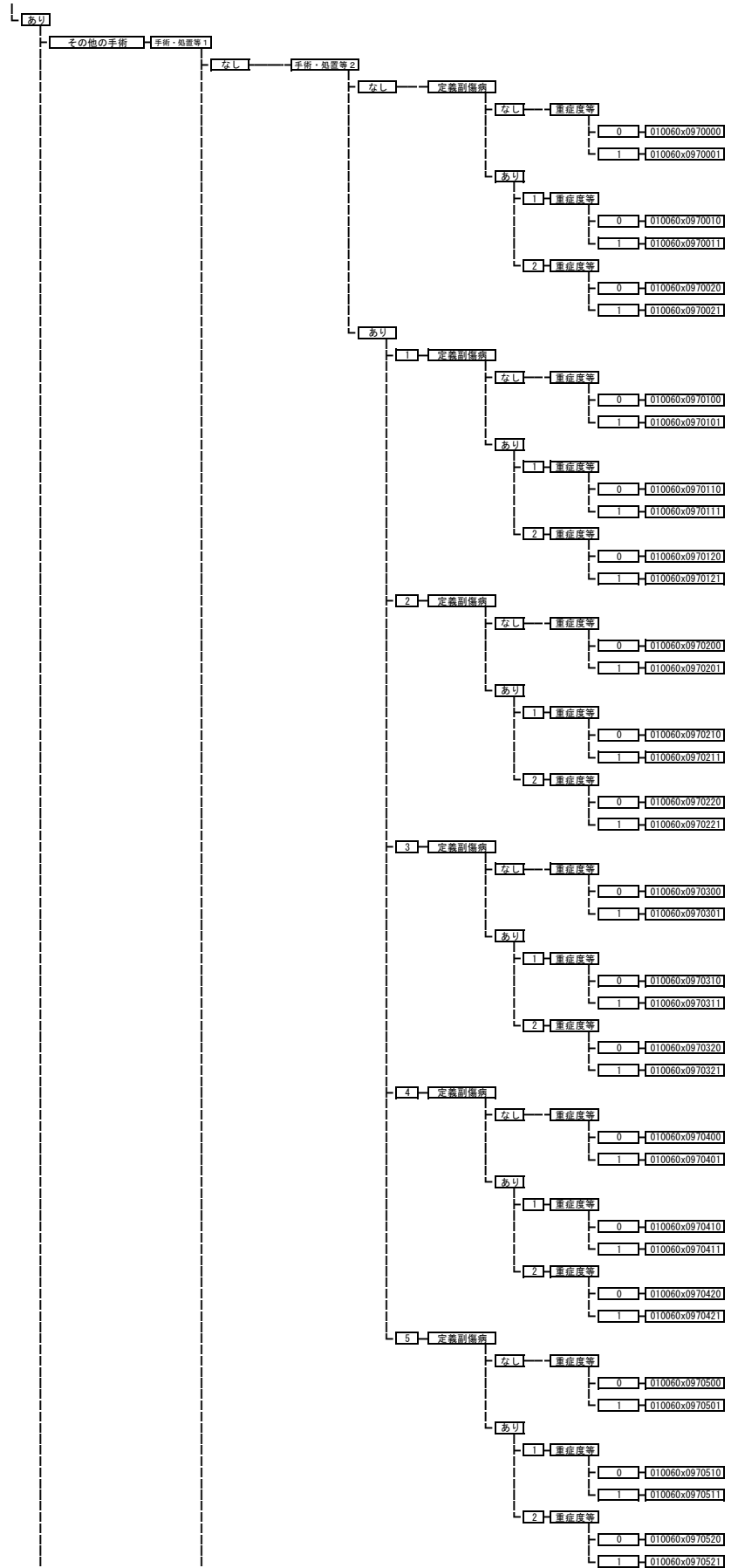
あり

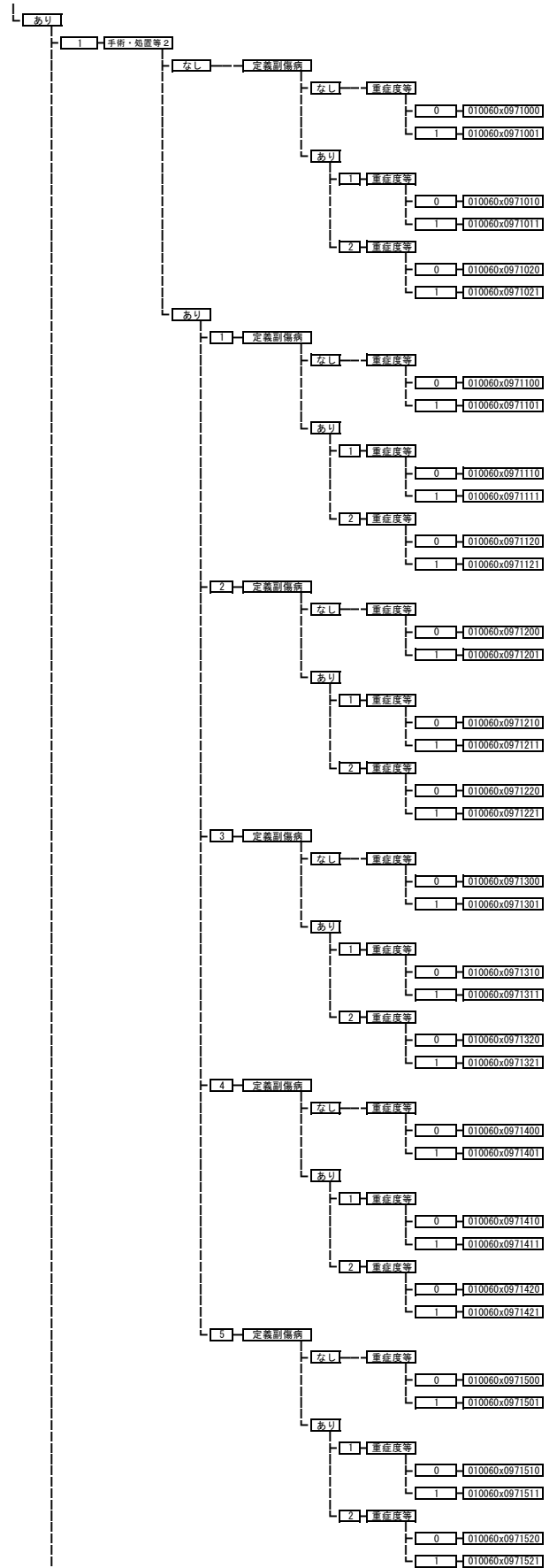
1-1 重症度等

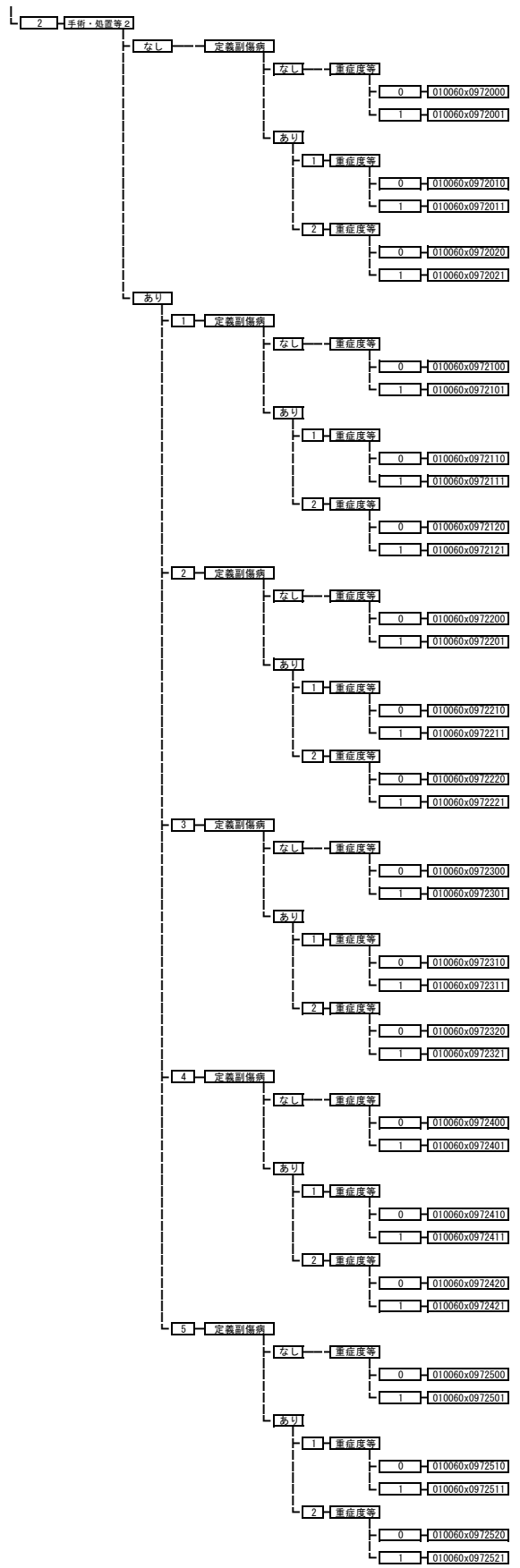
0 010060x0990510

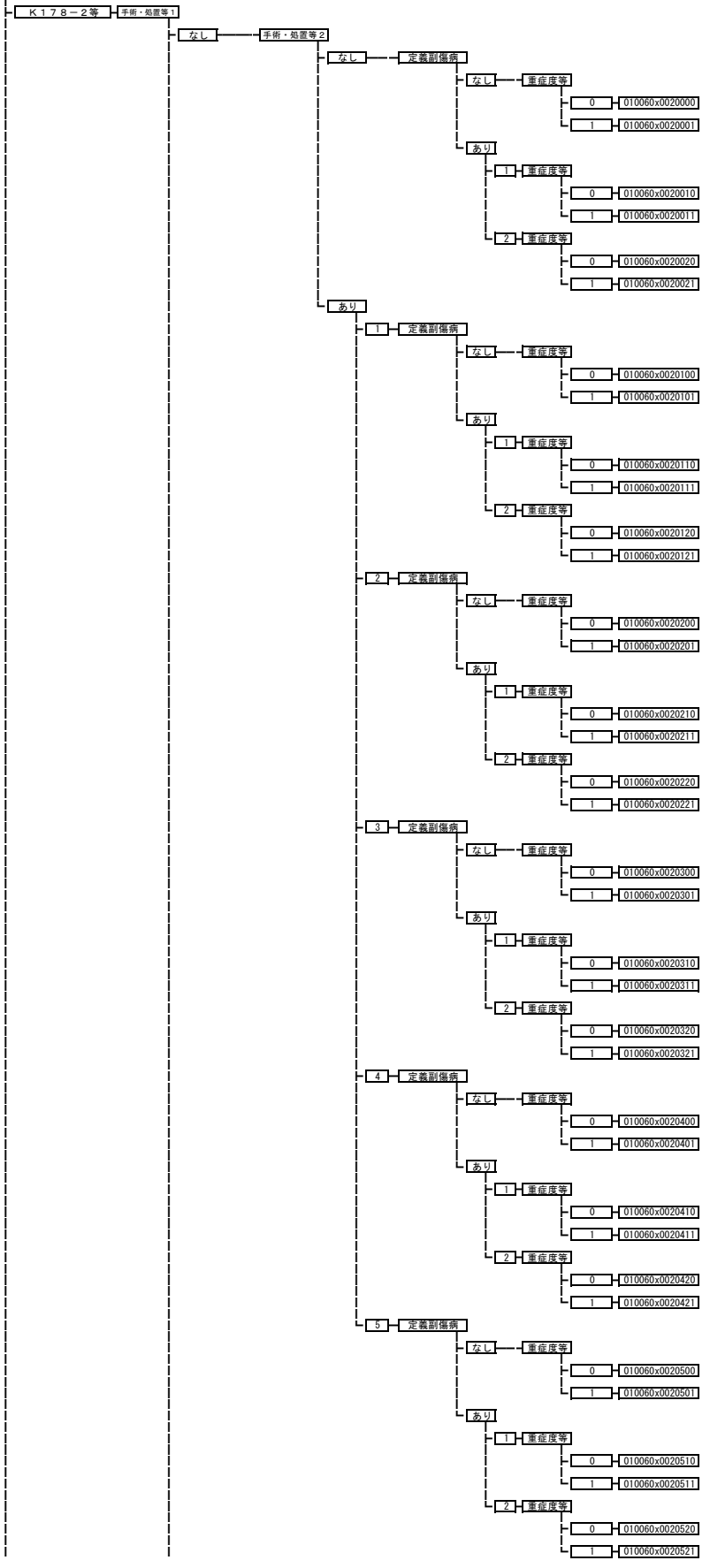
1 010060x0990511

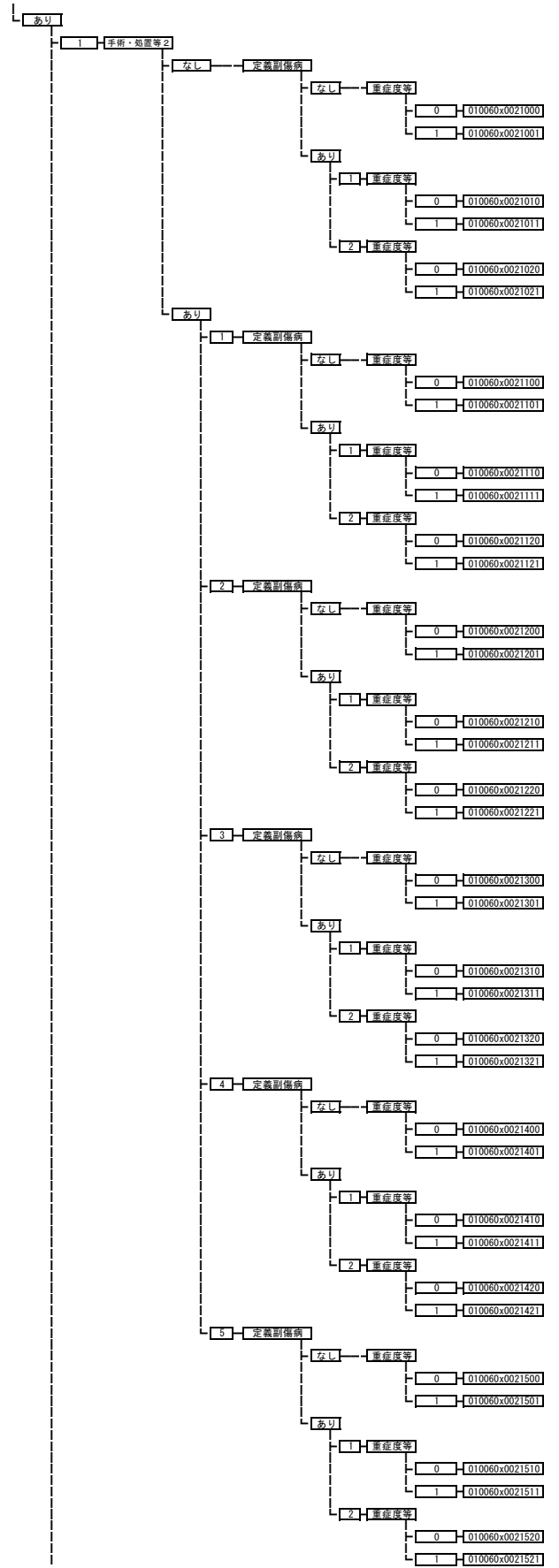


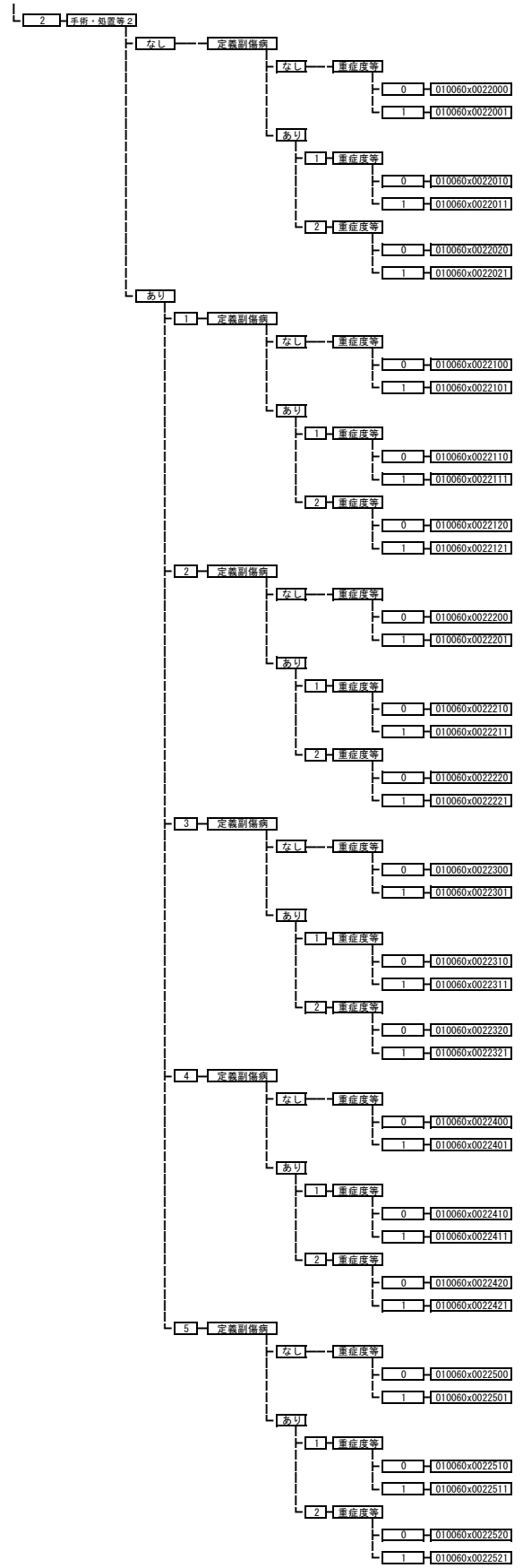


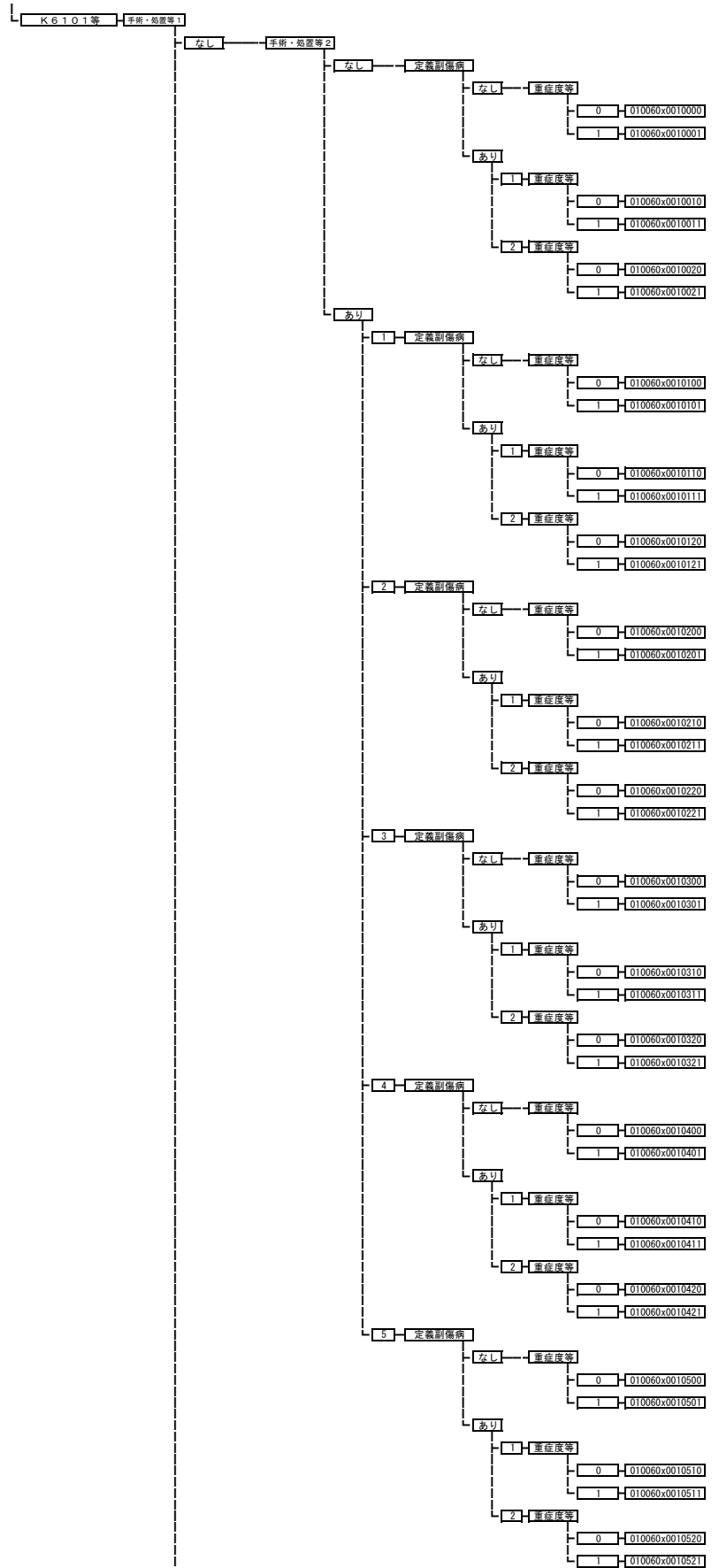


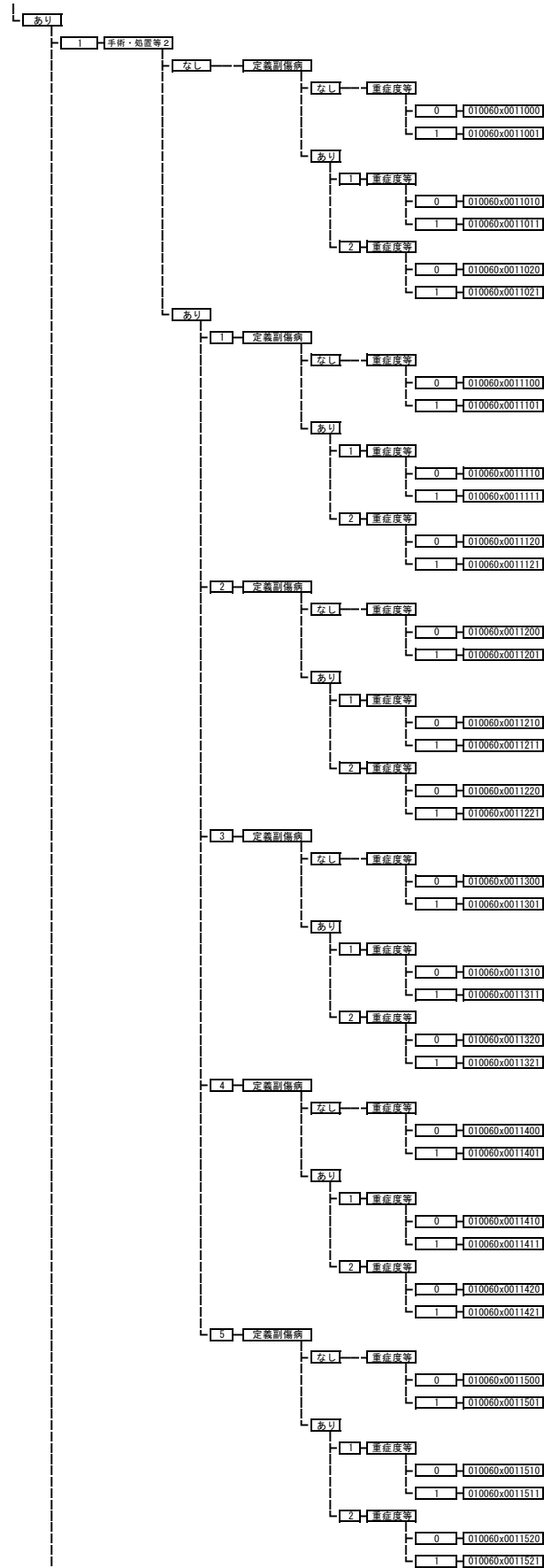


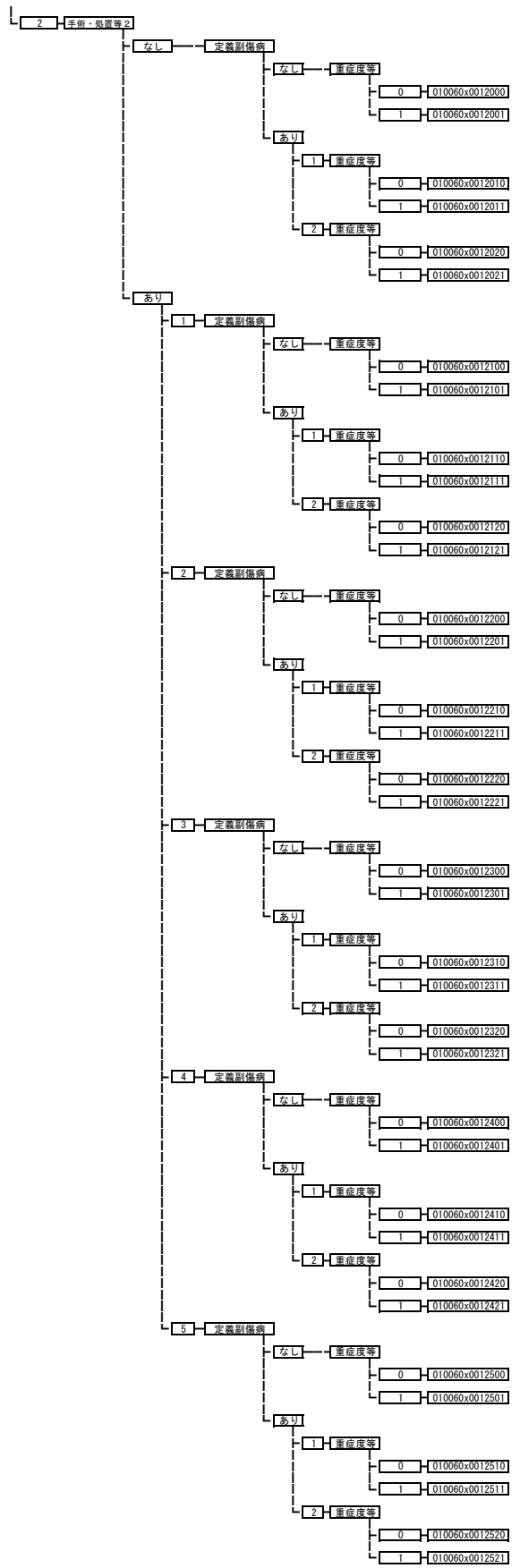


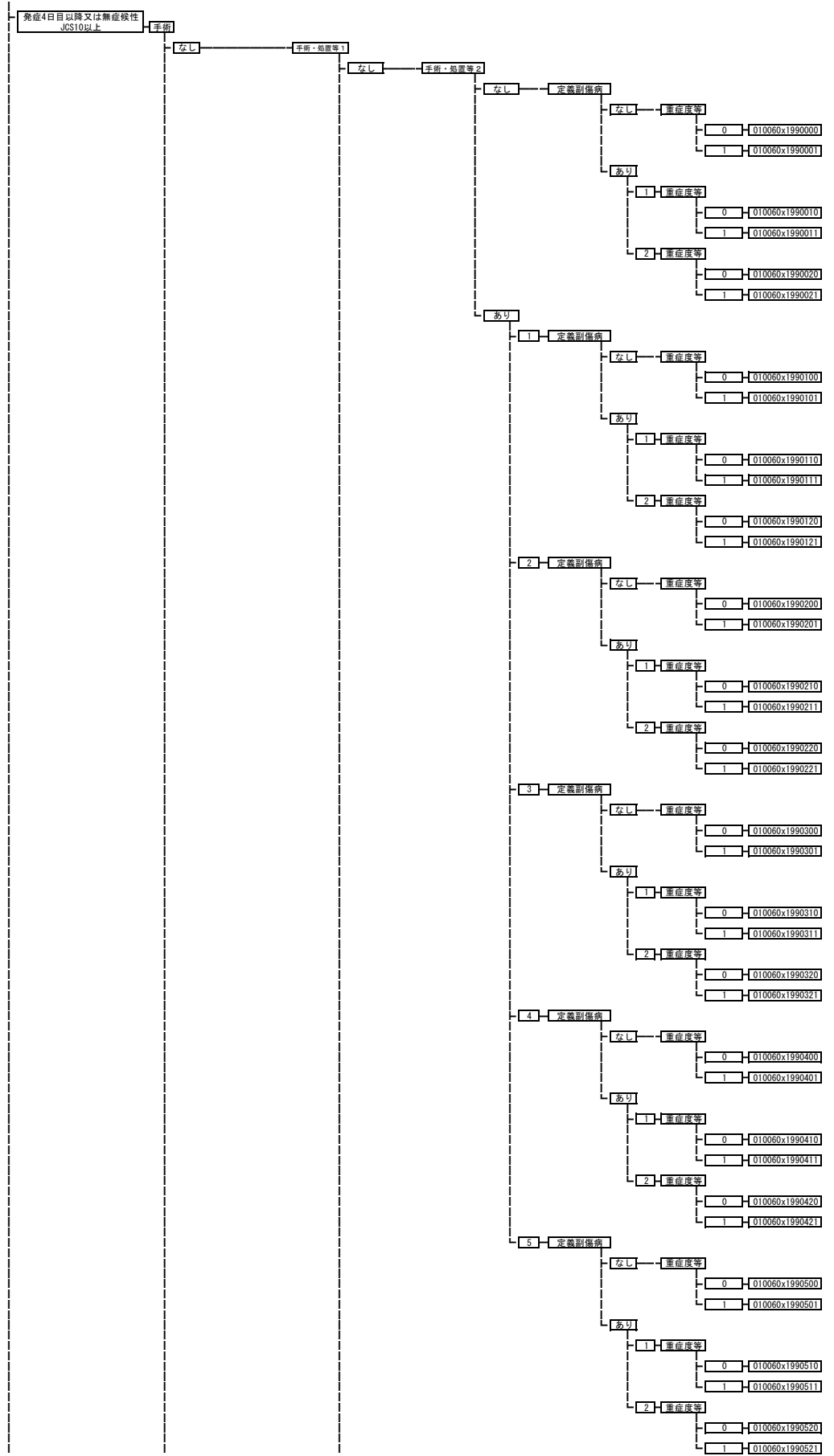


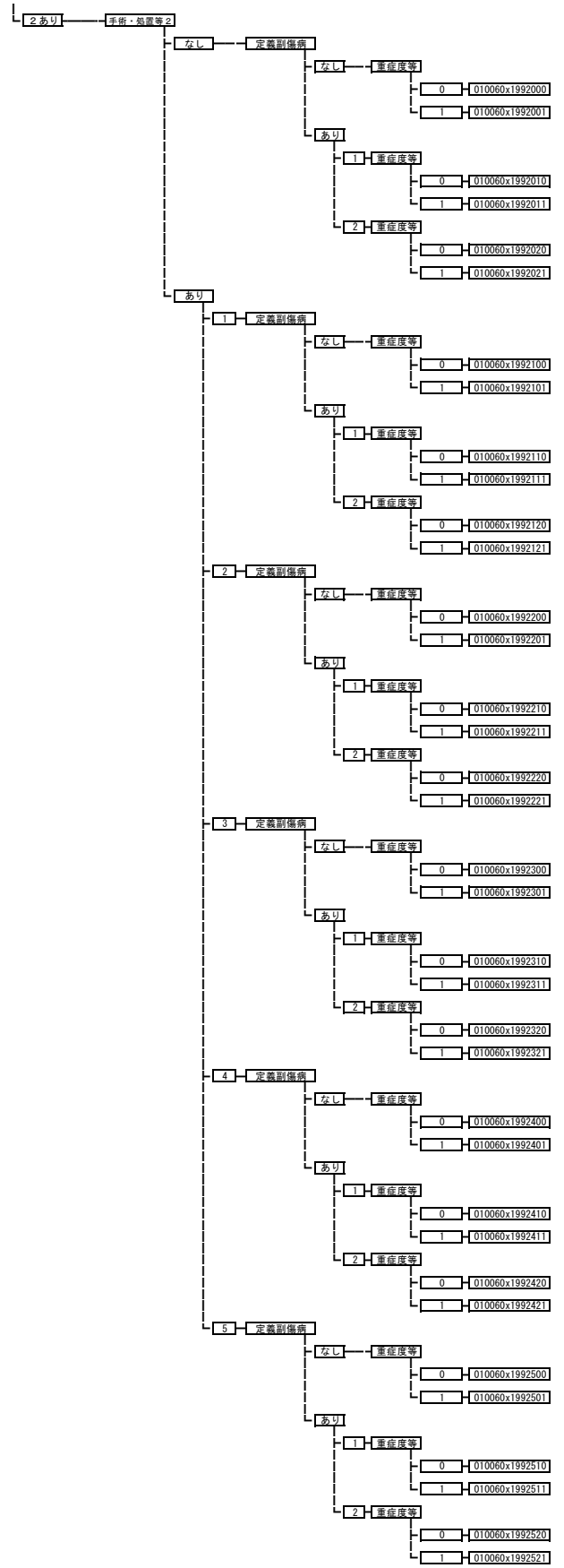


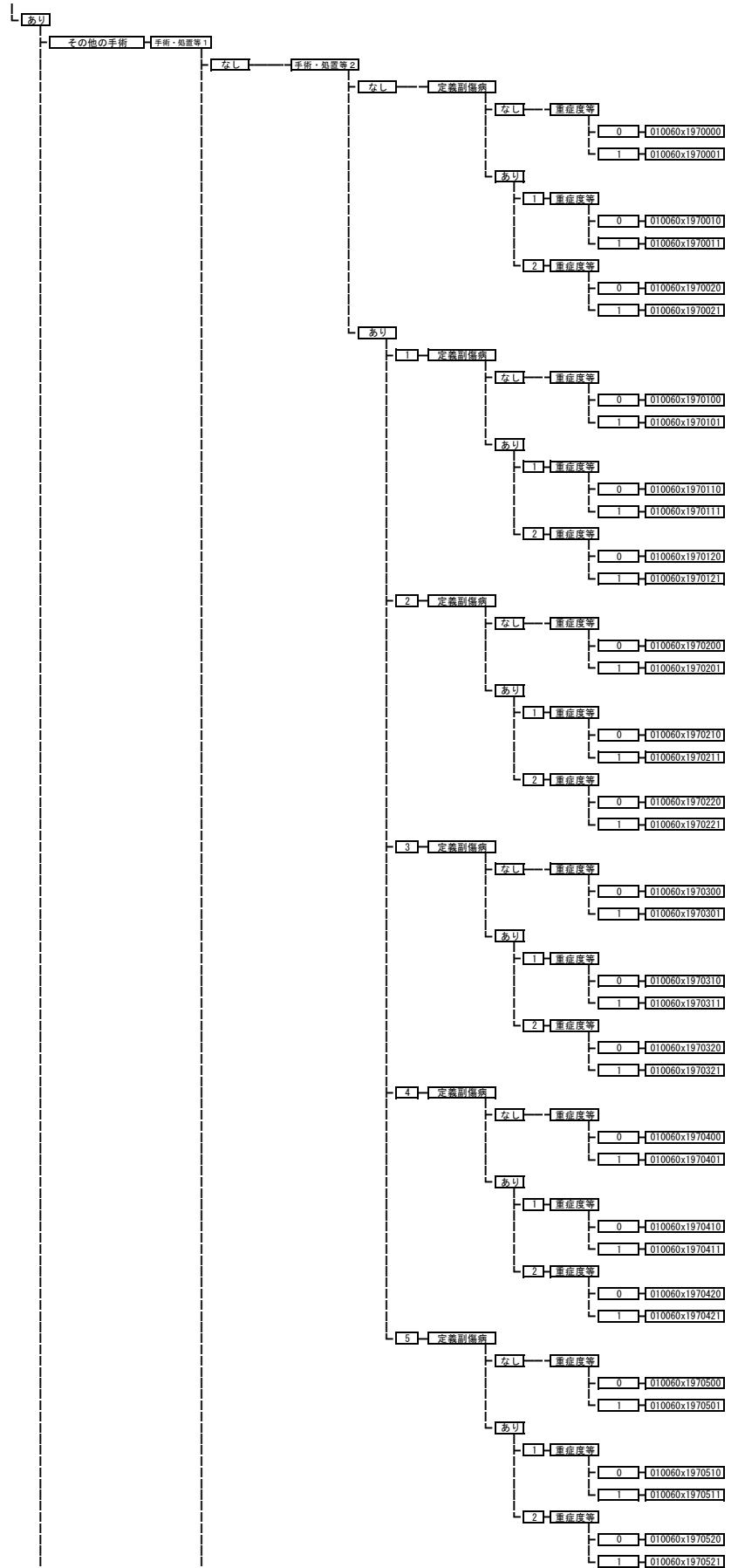


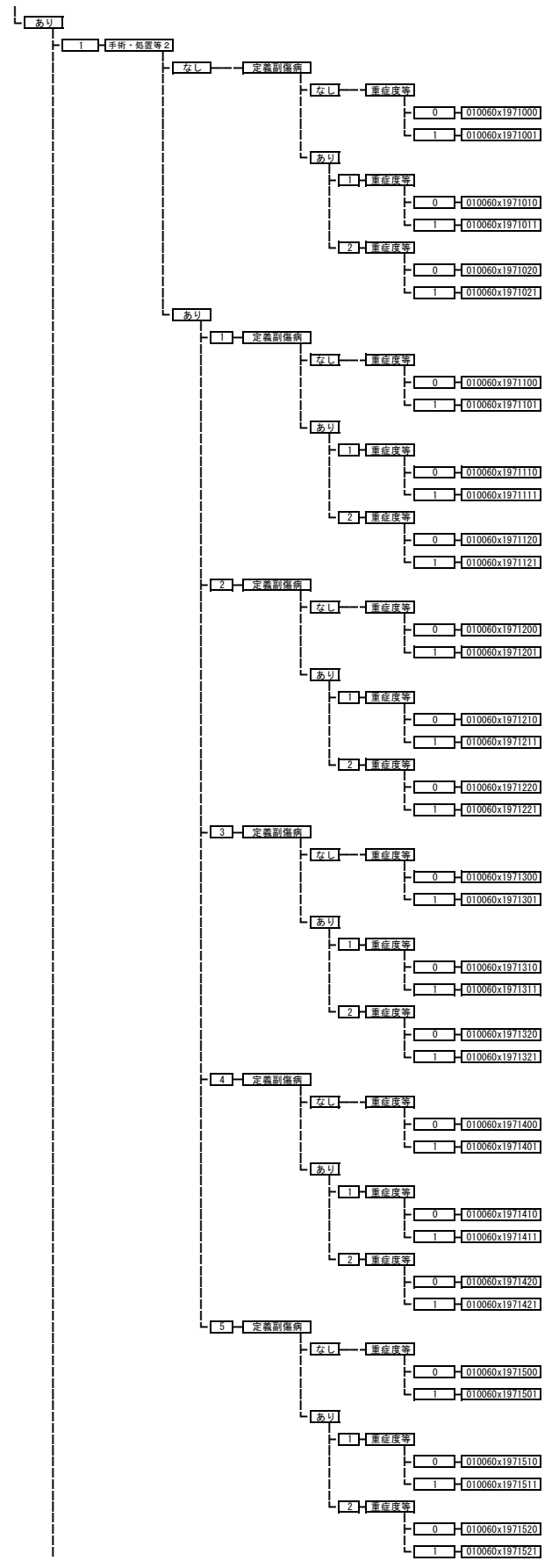


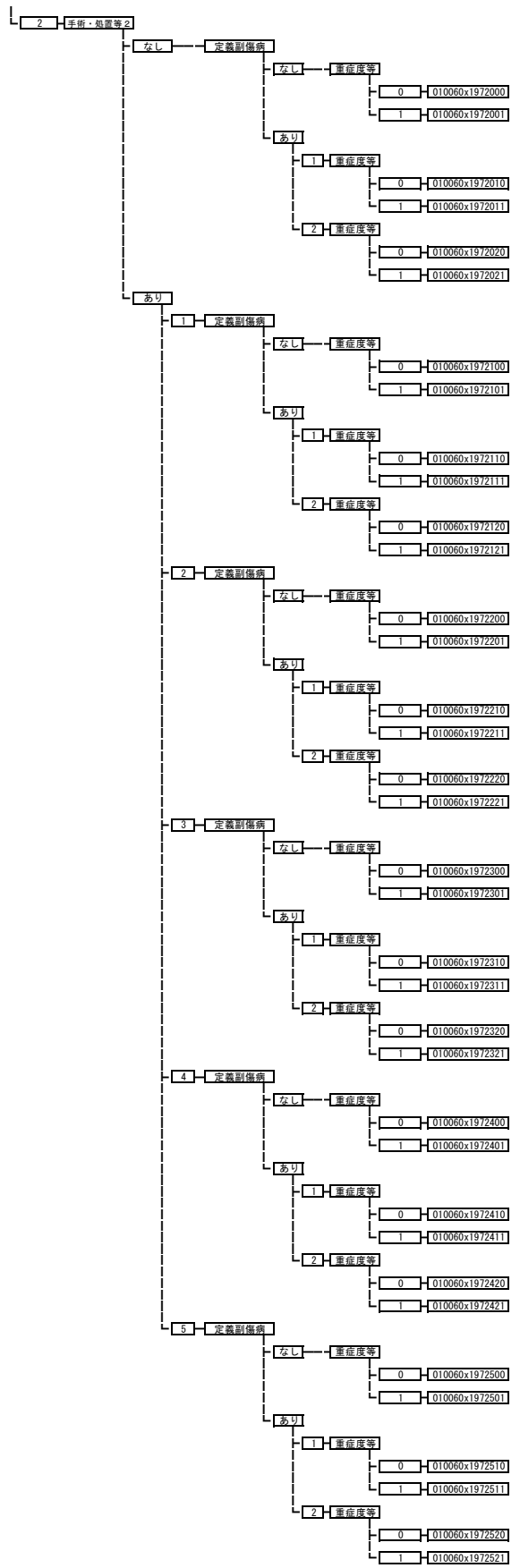


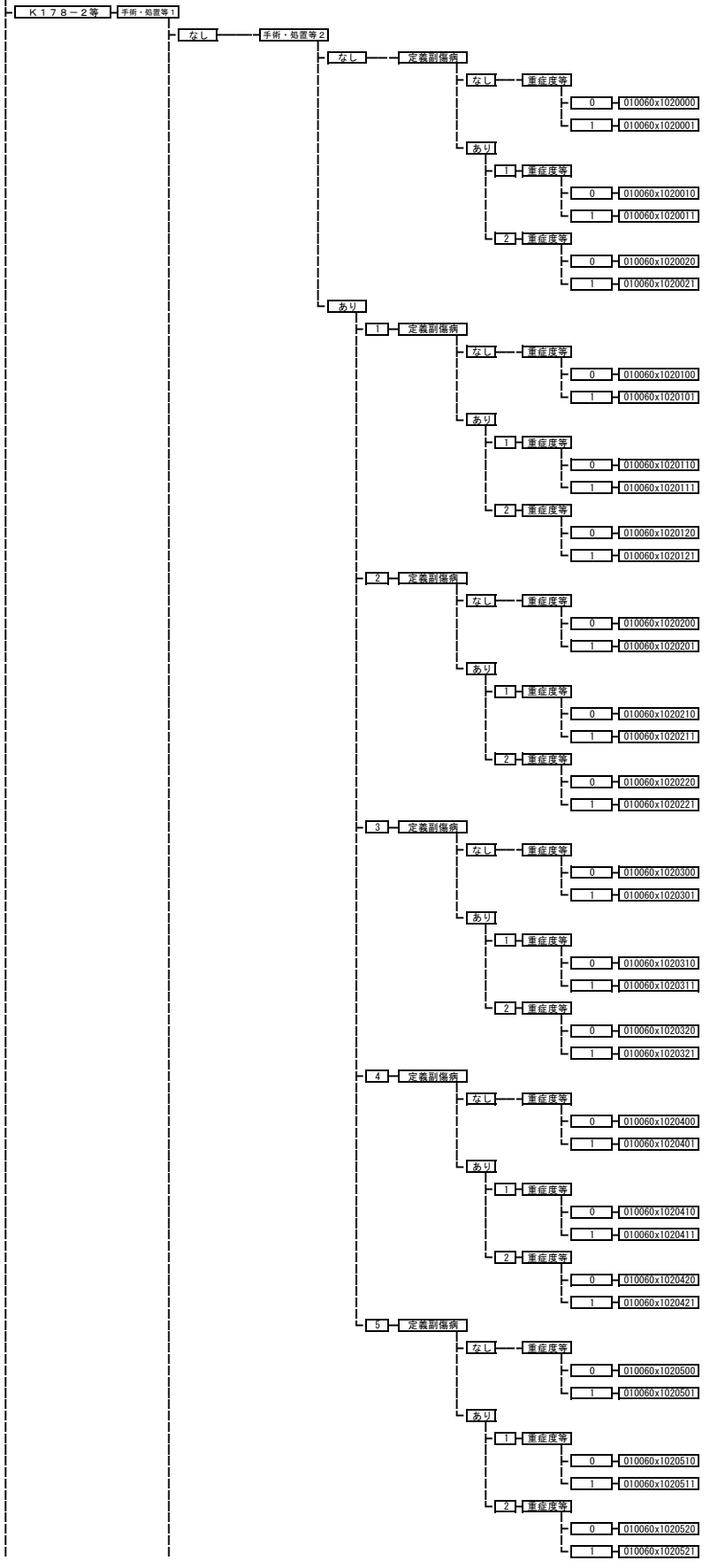


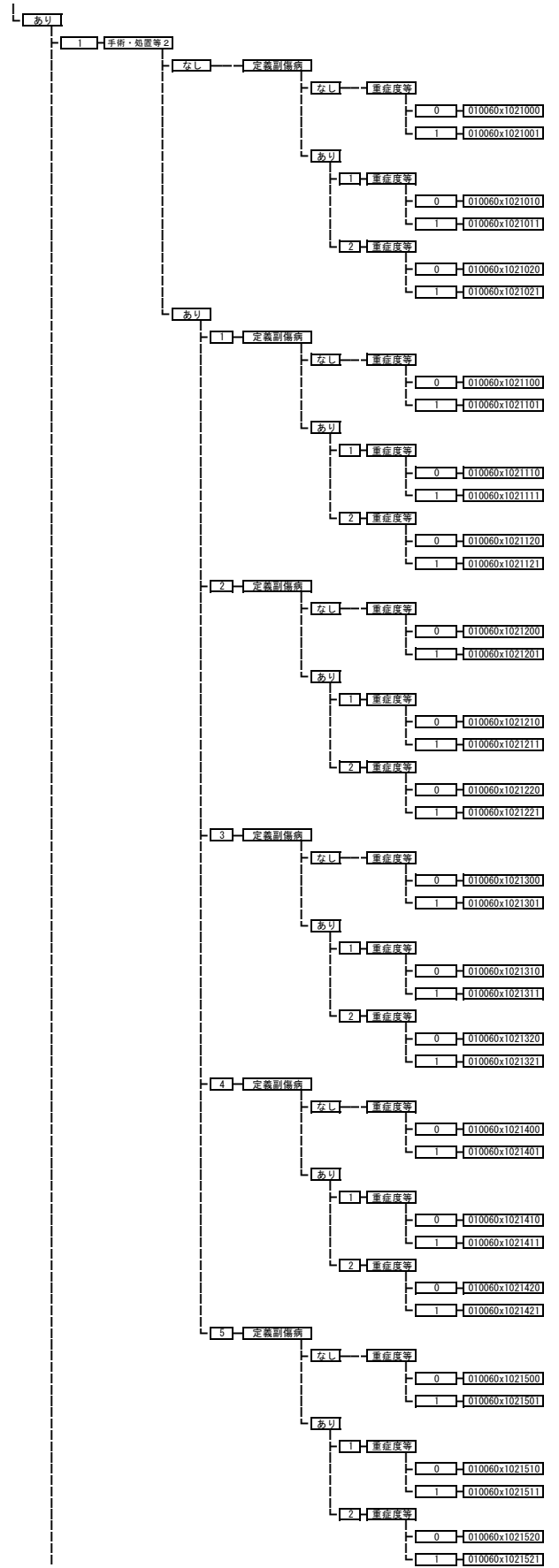


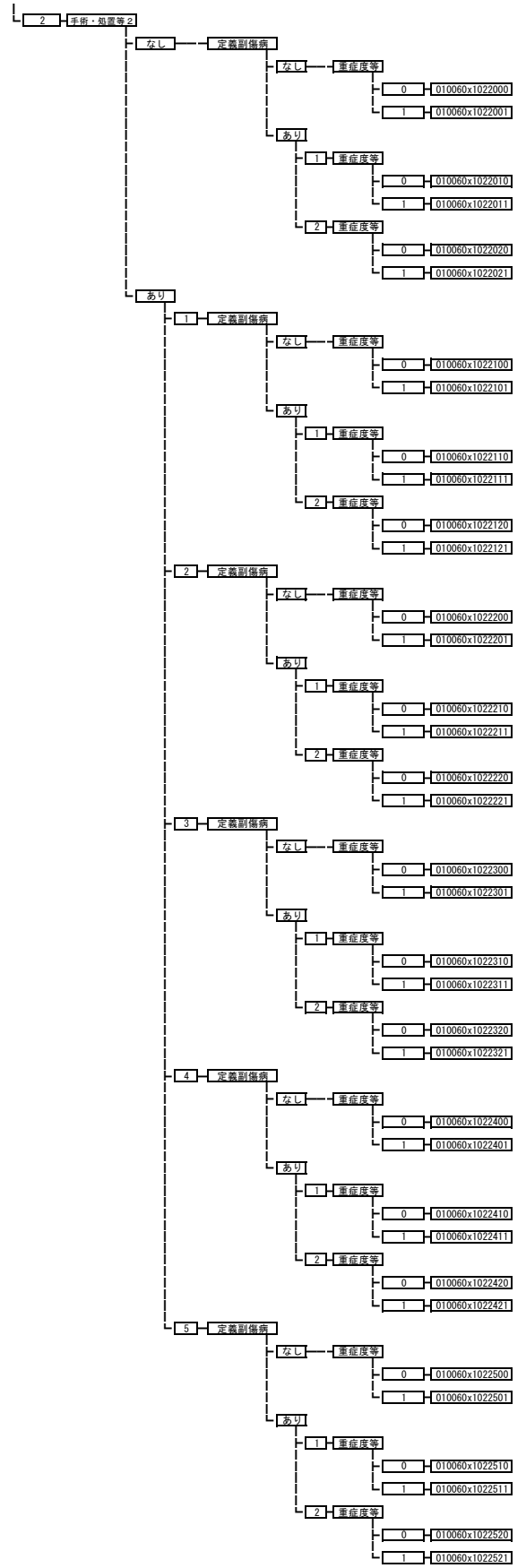


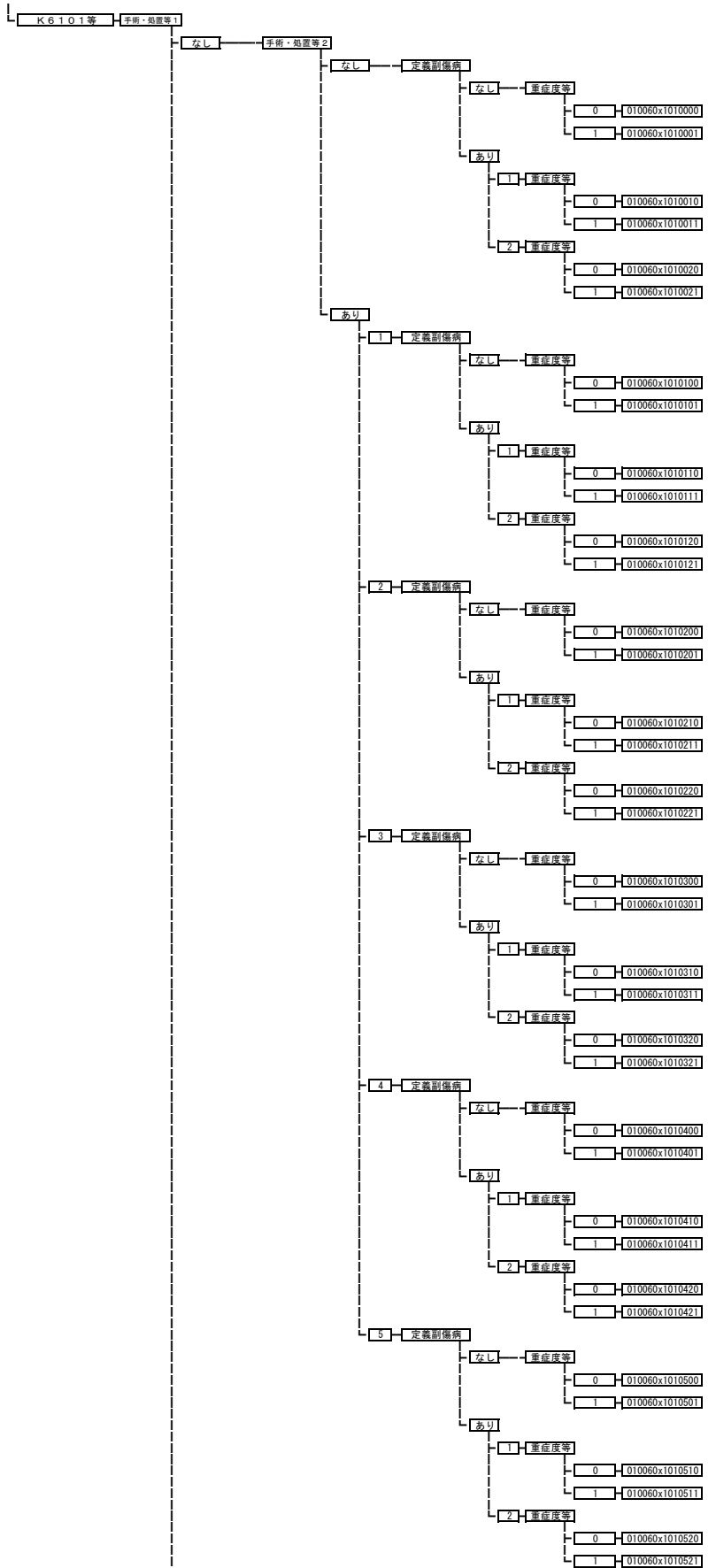


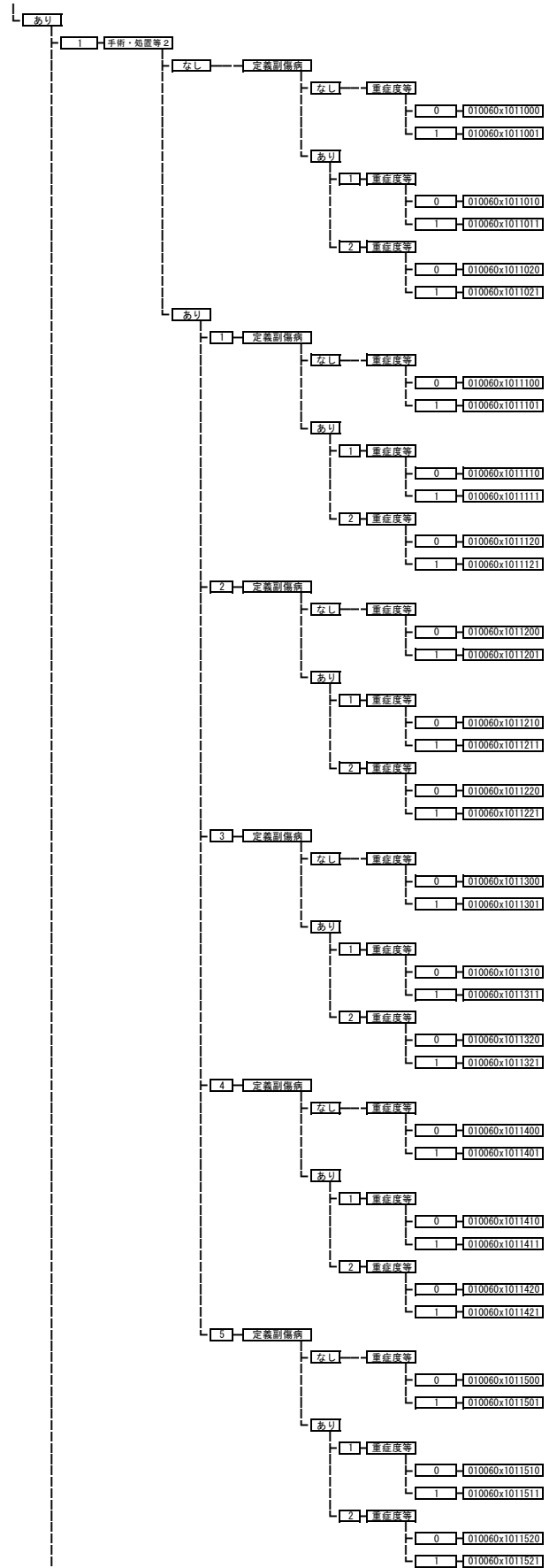


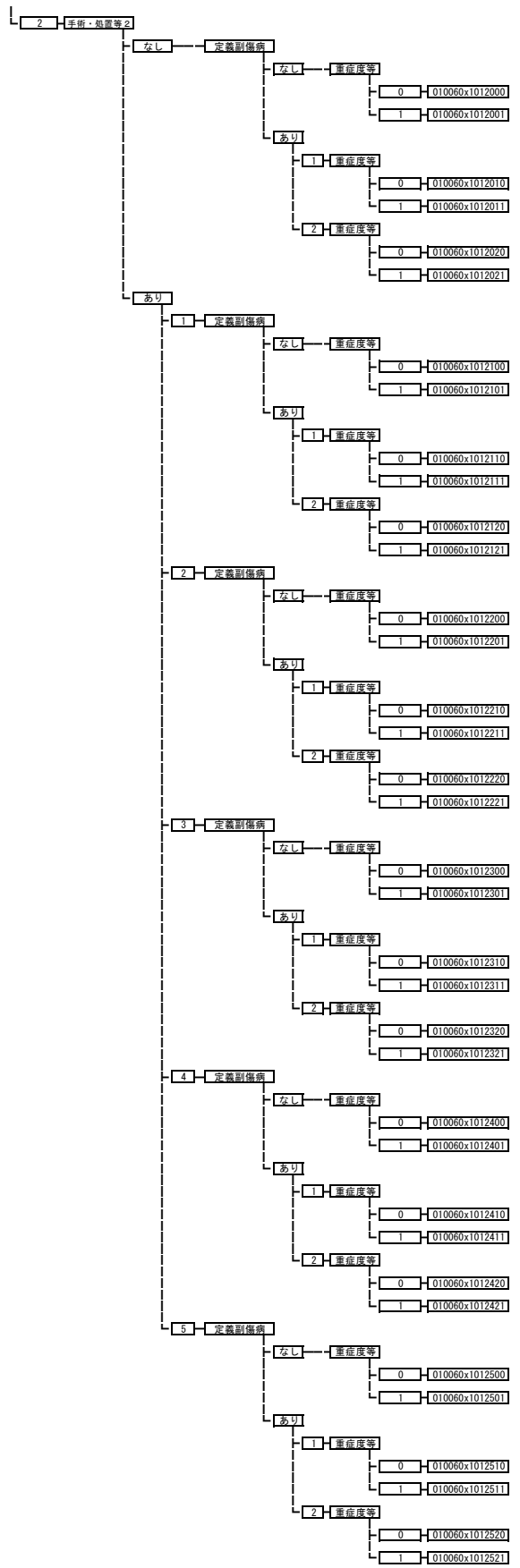


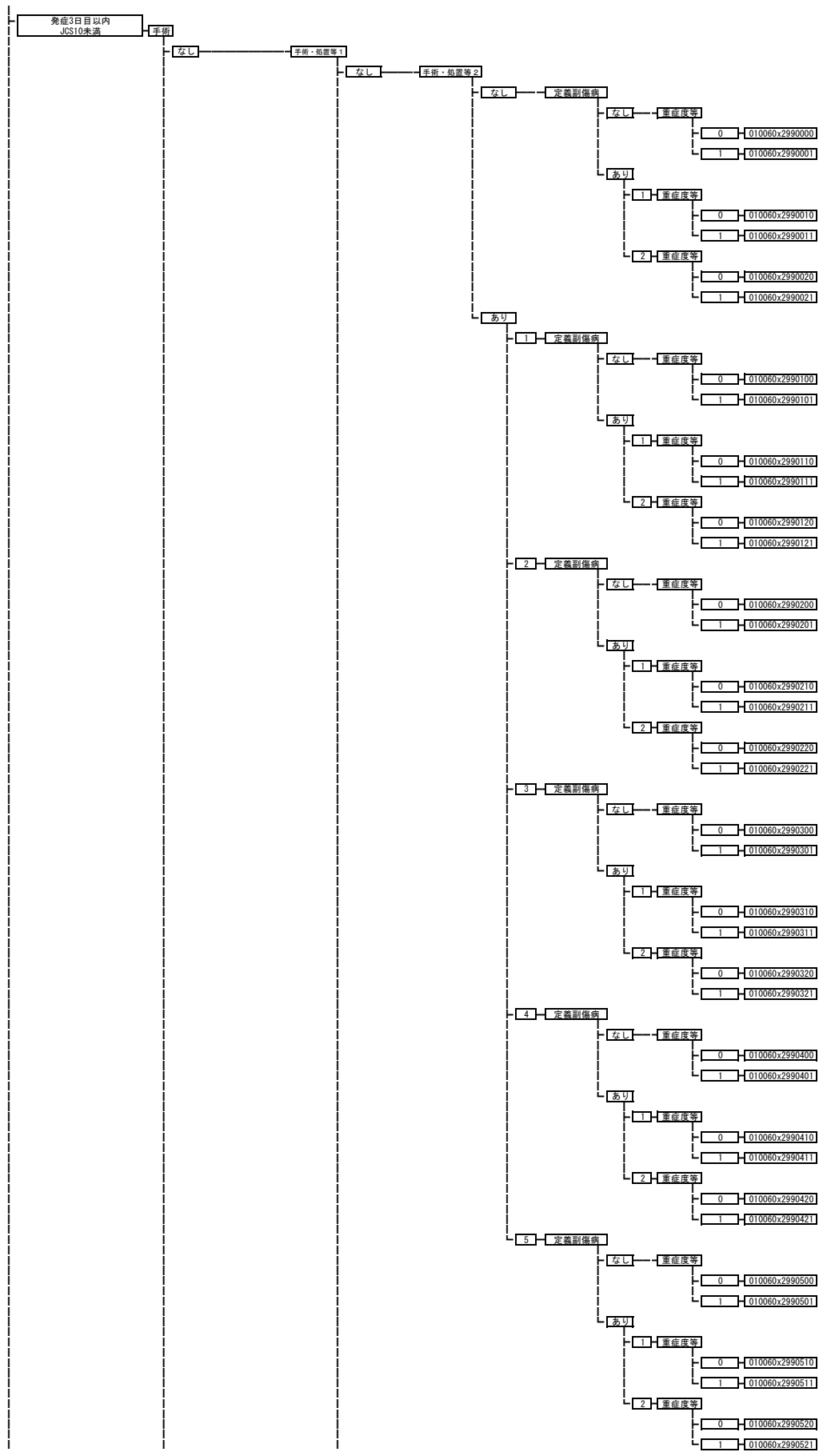


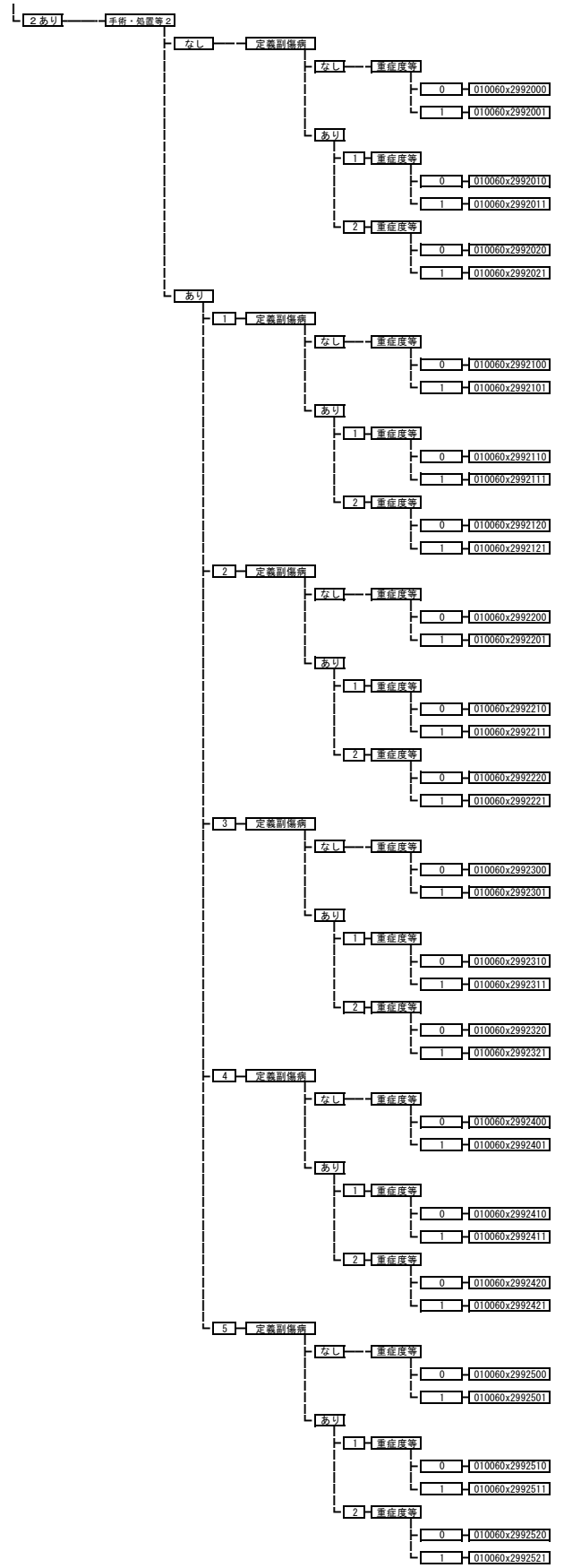


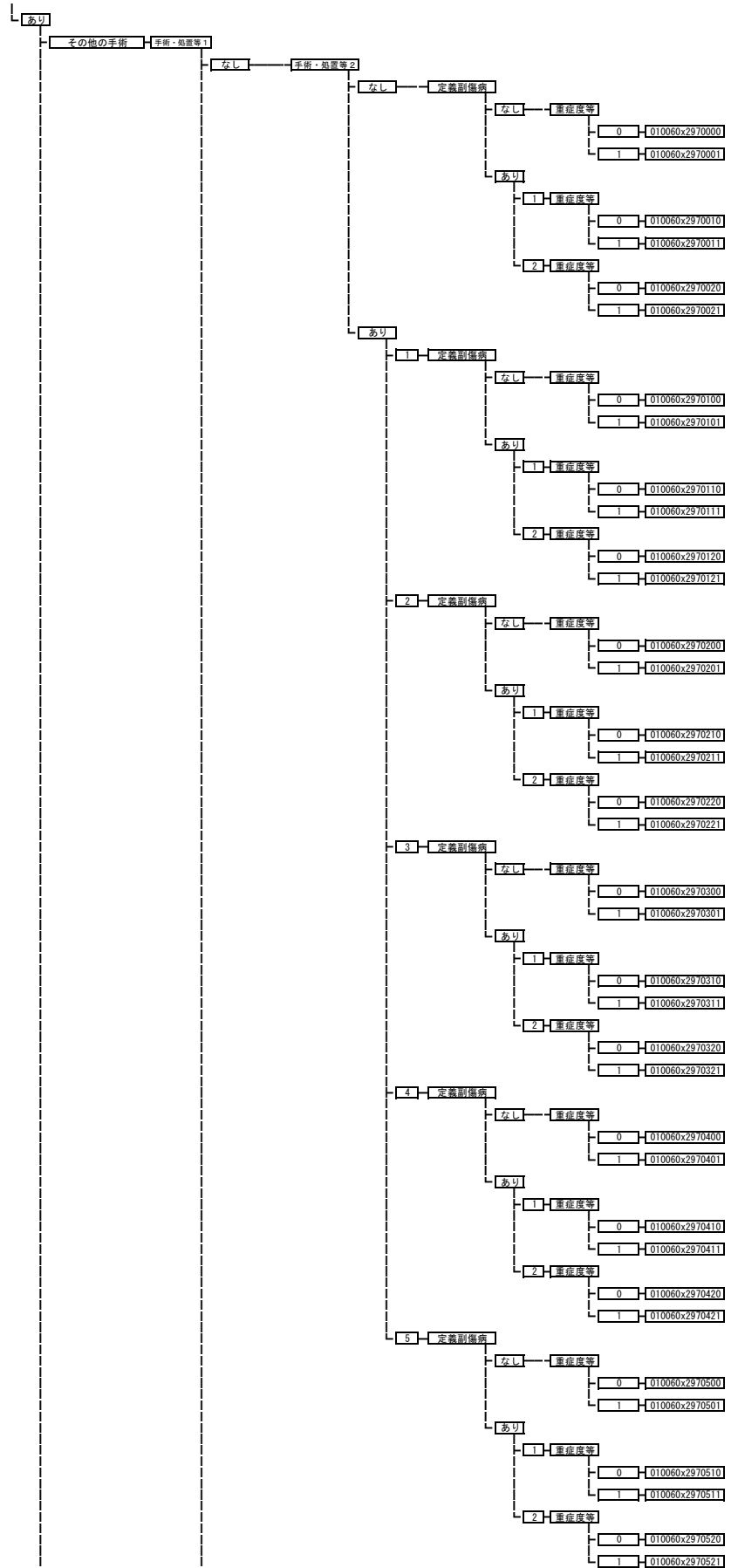


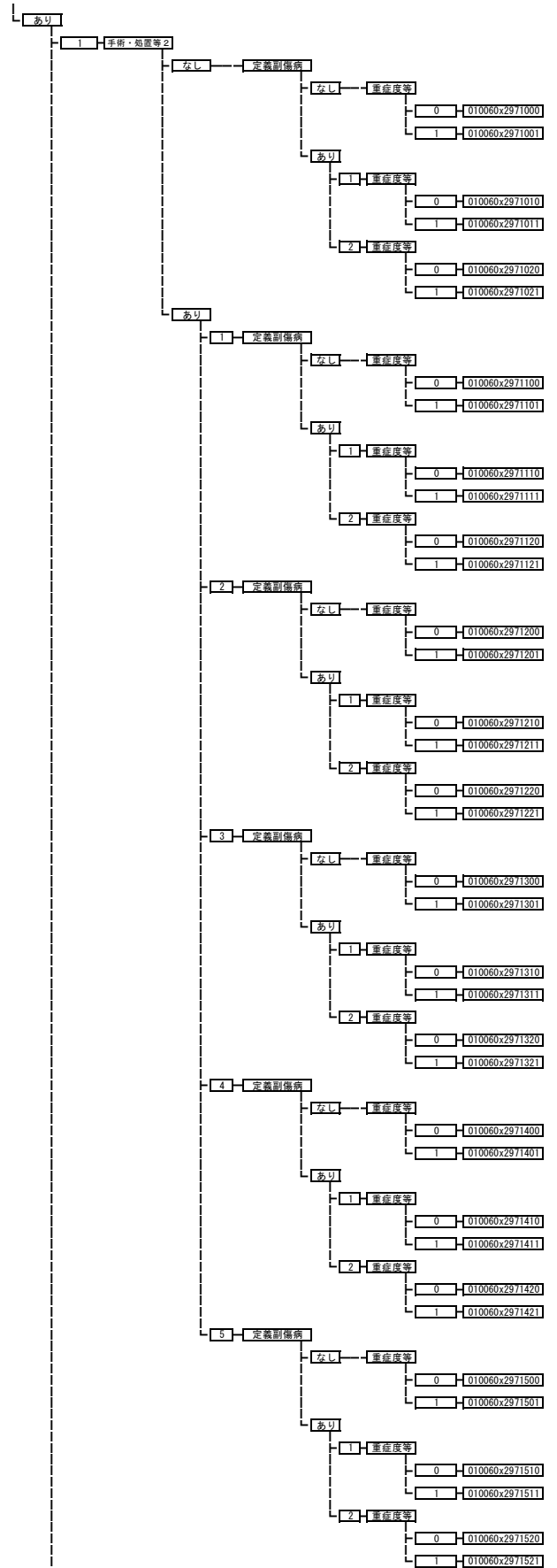


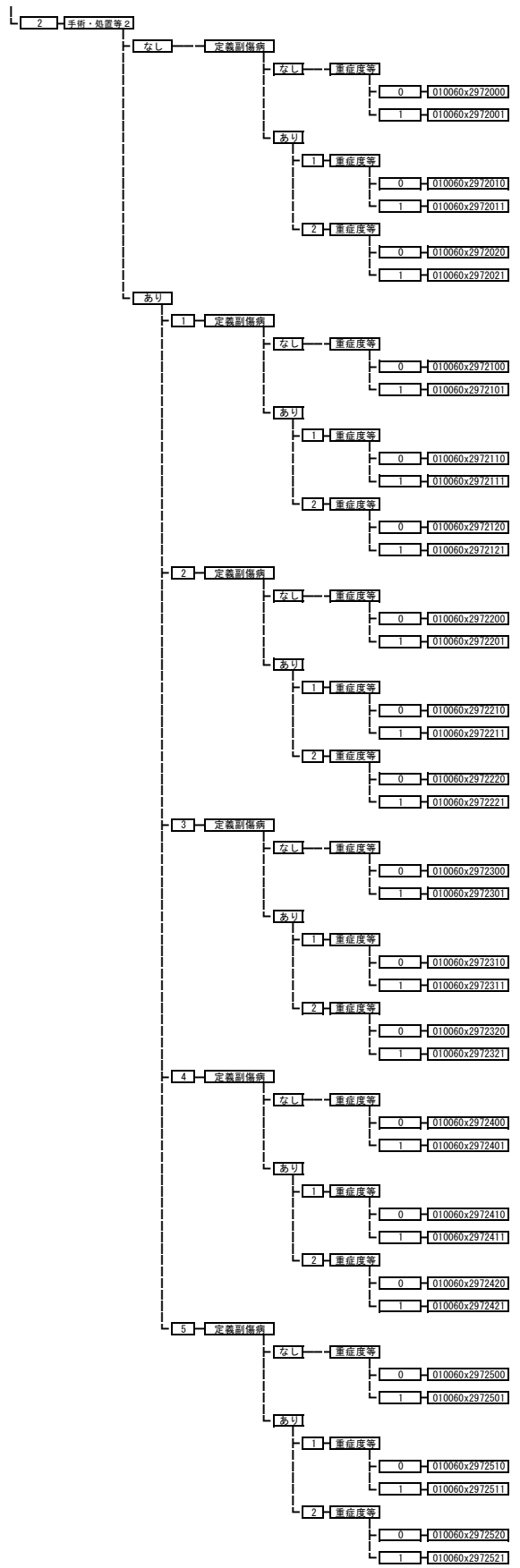


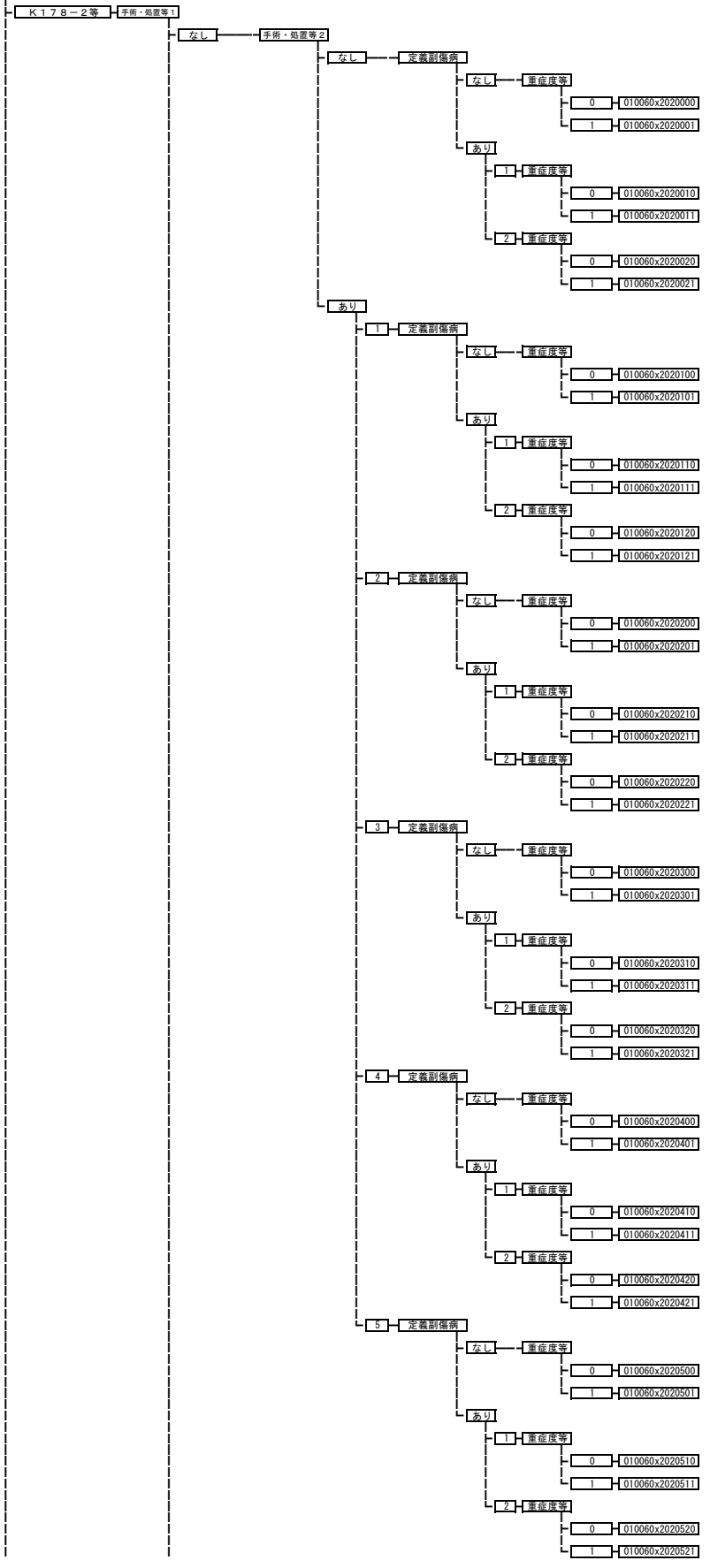


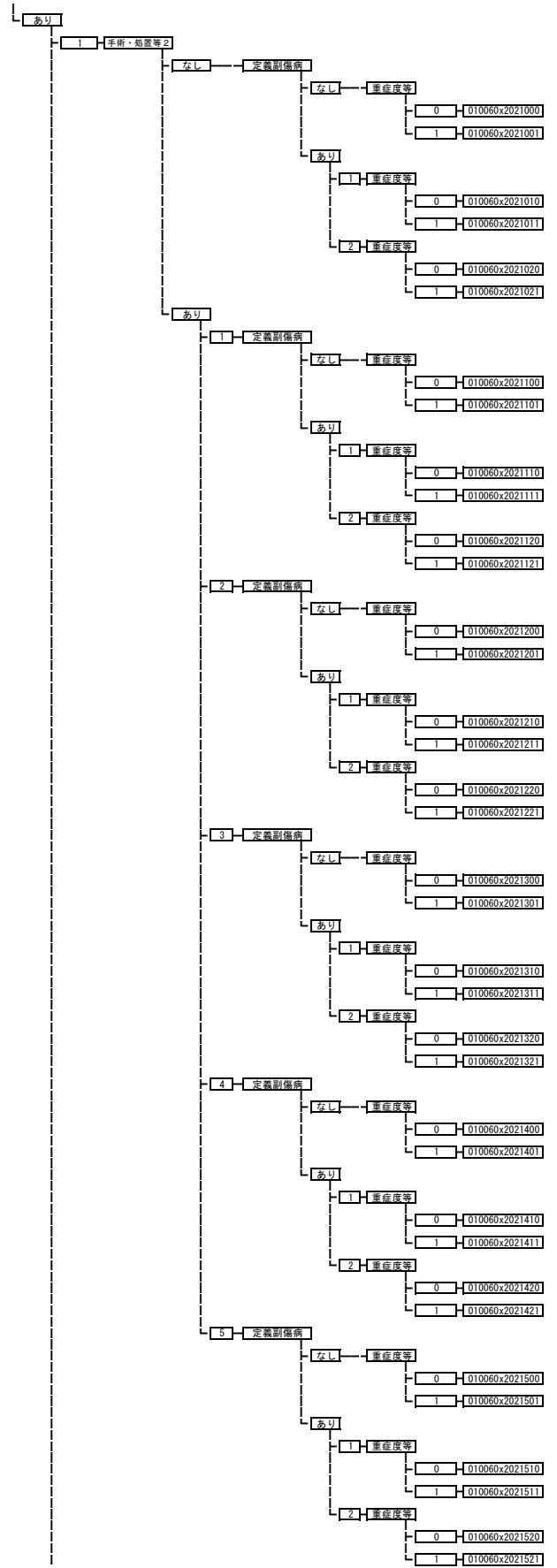


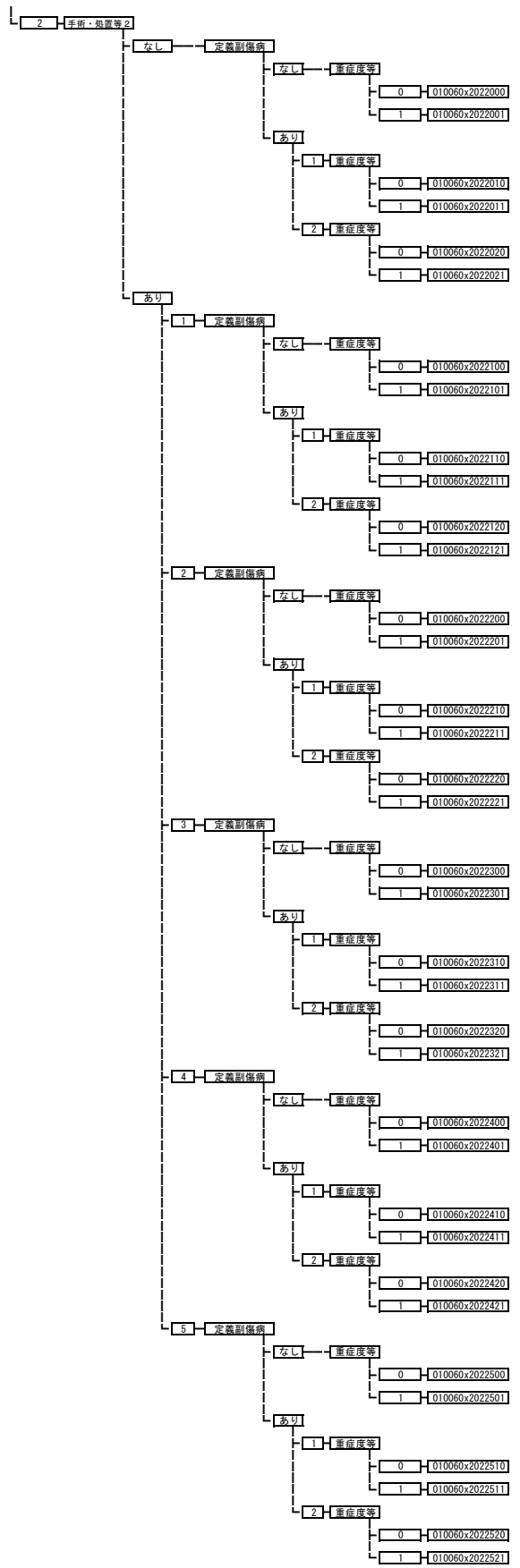


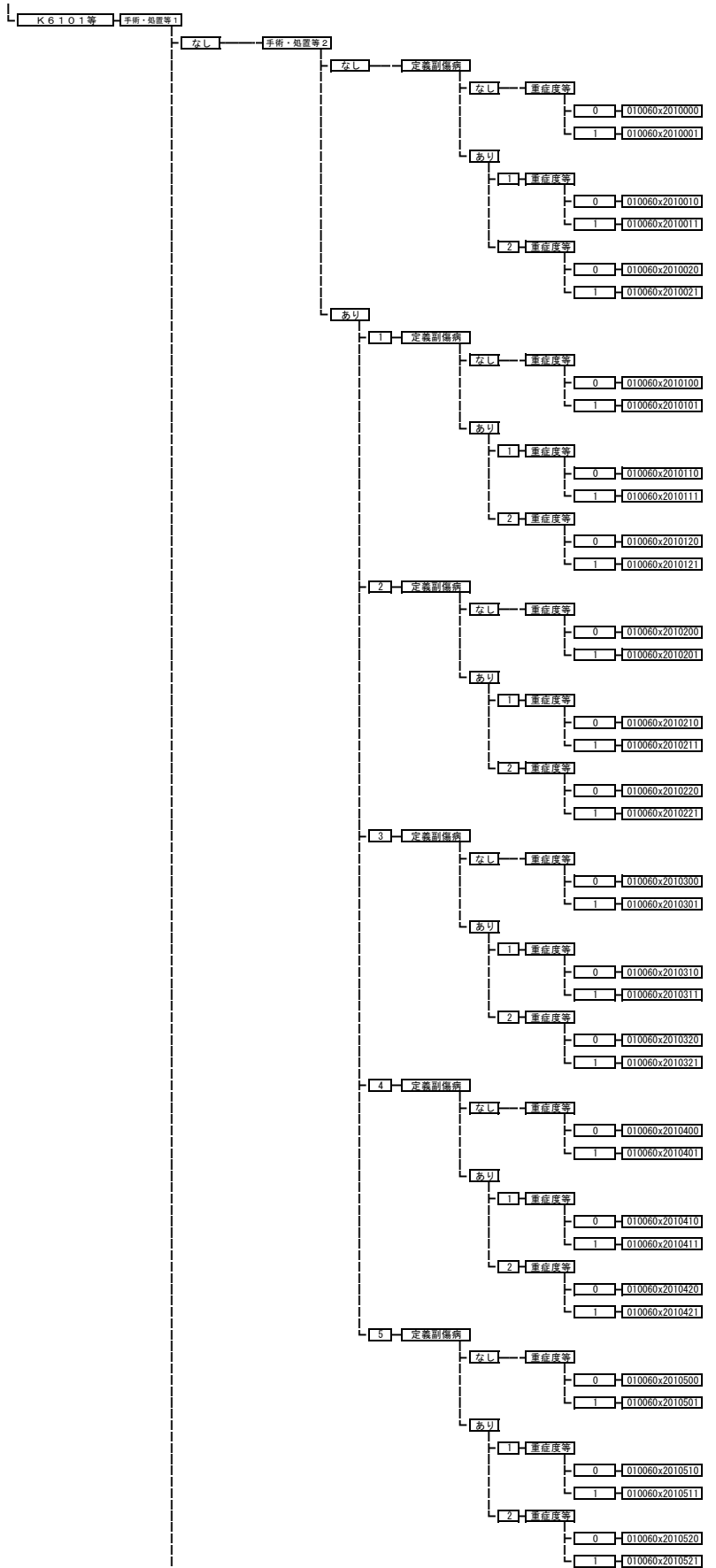


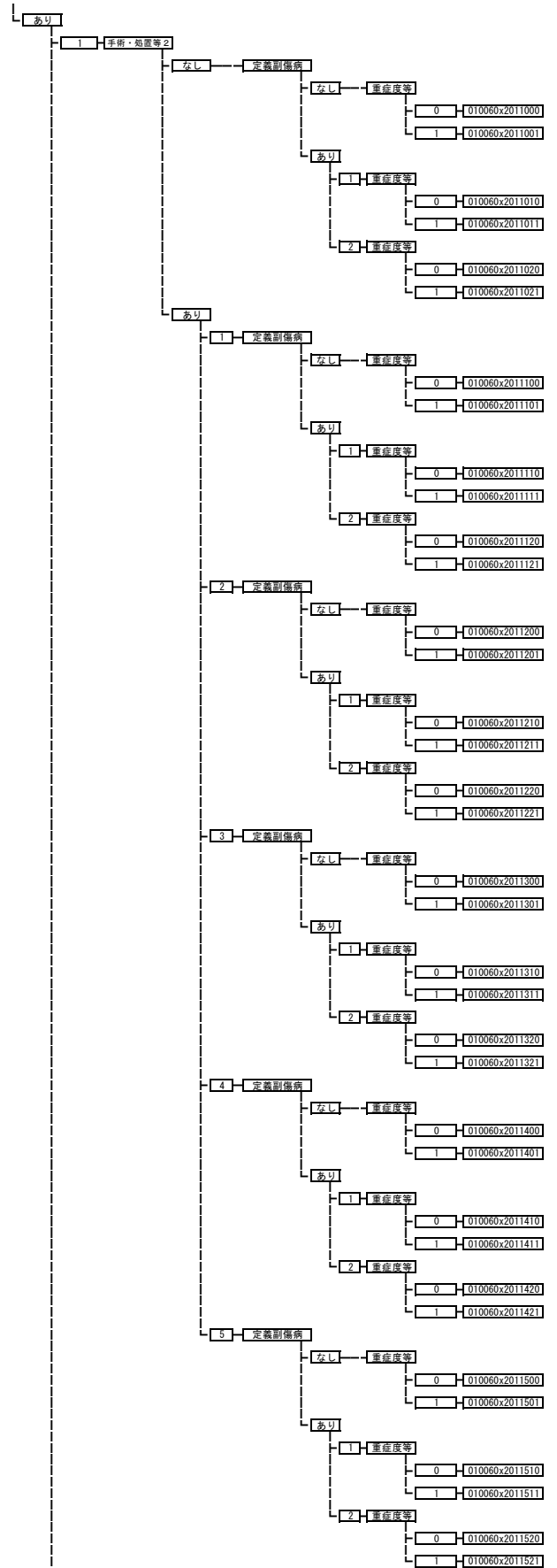


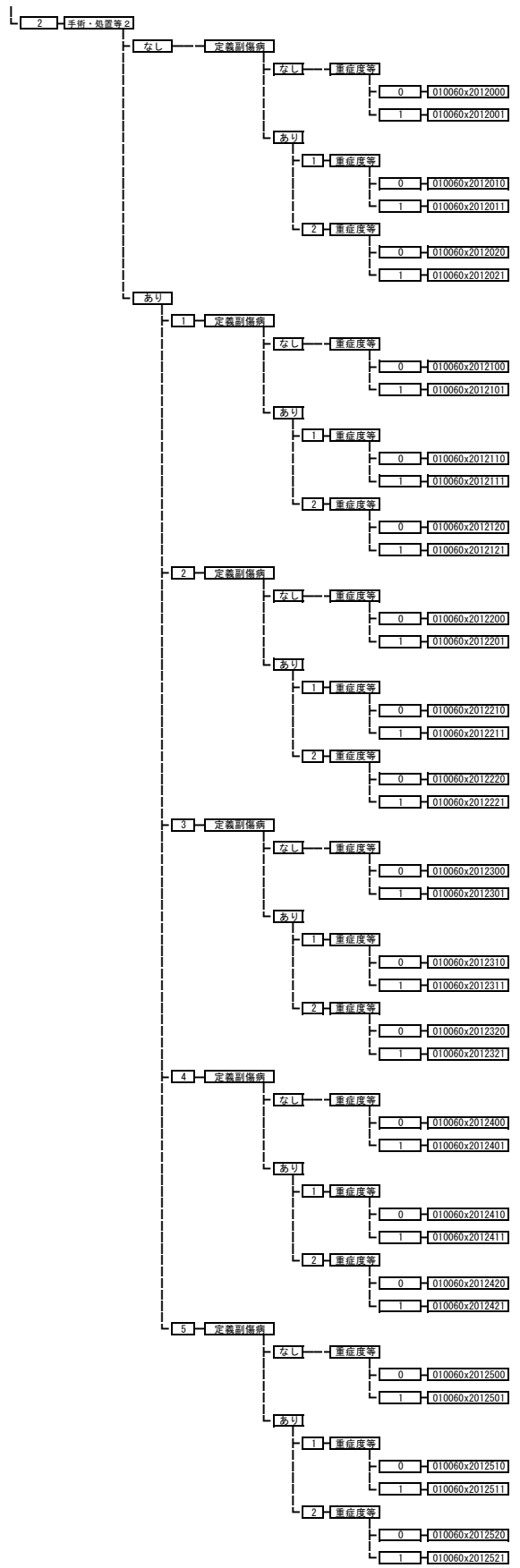


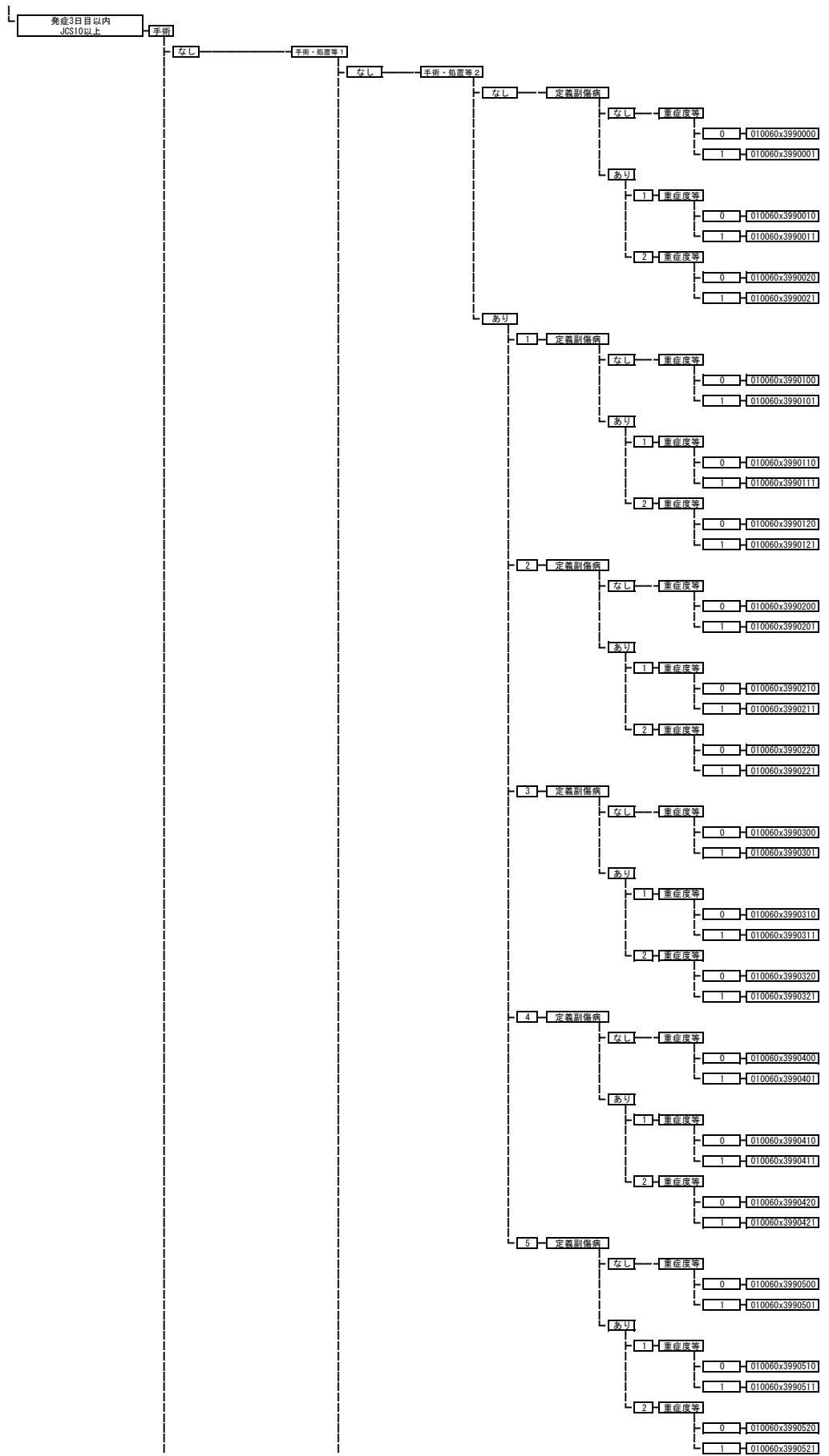


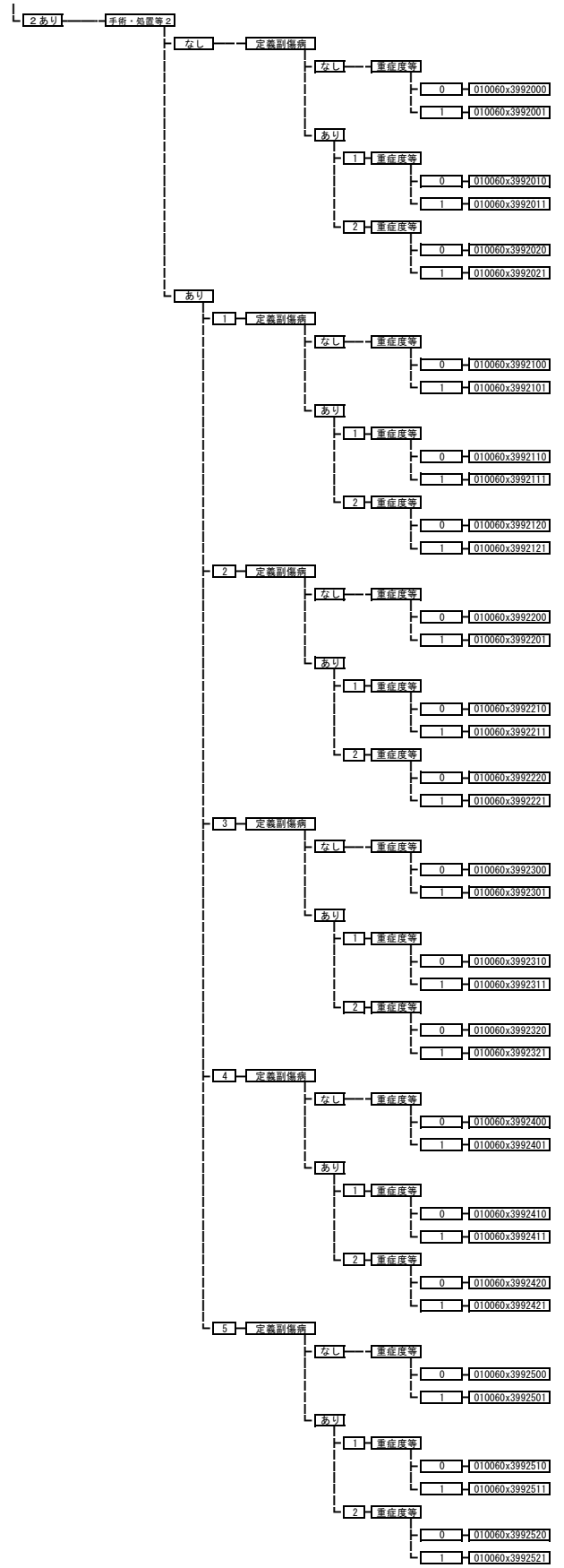


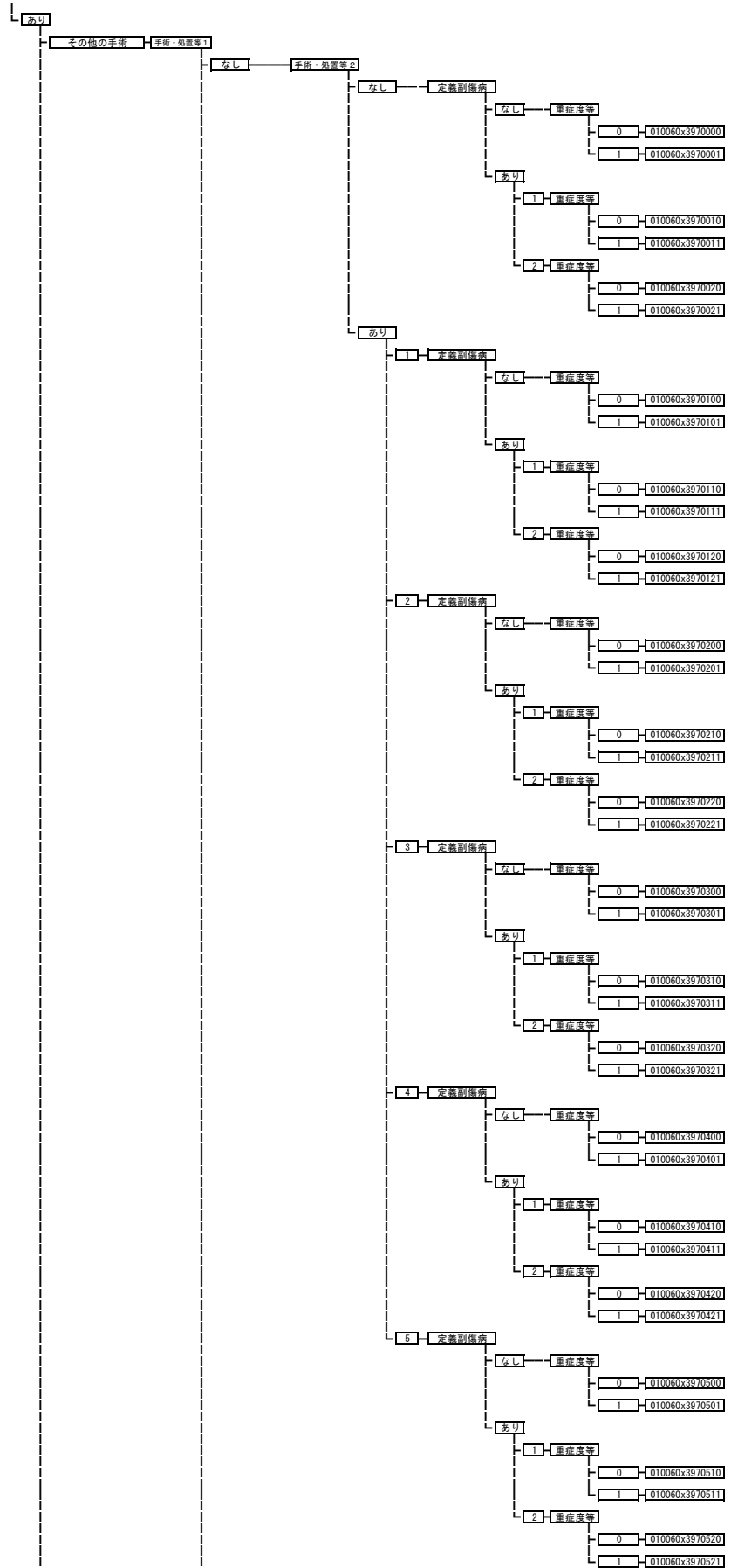


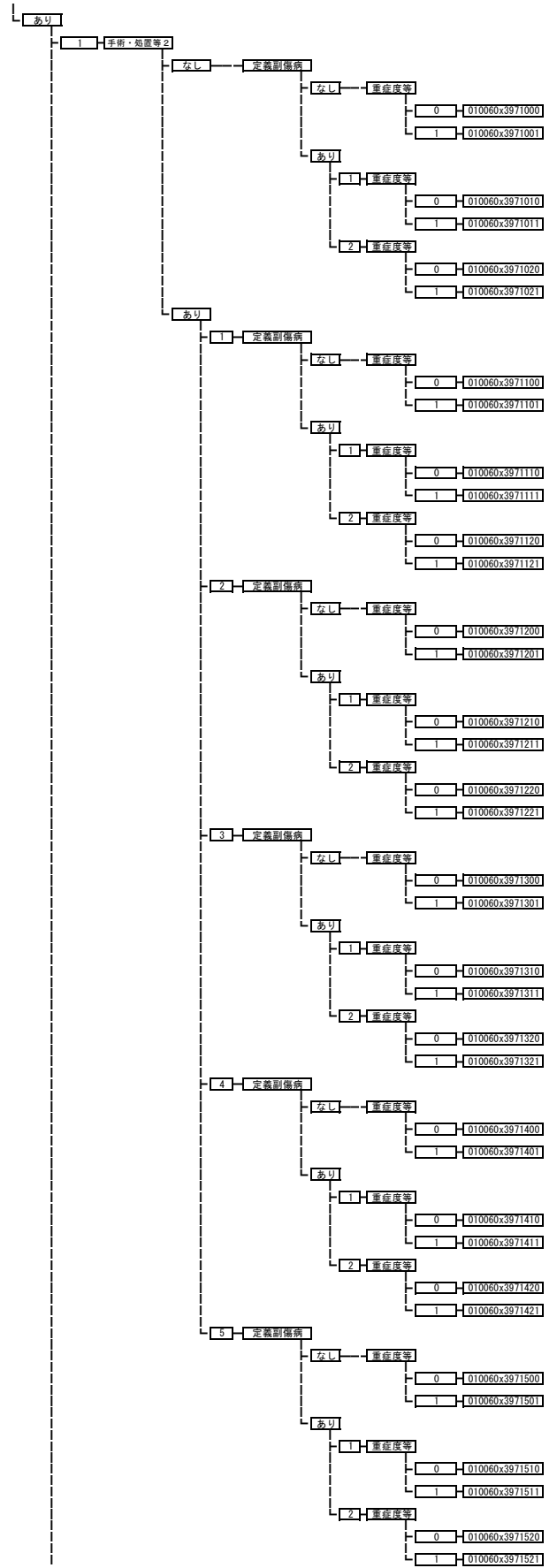


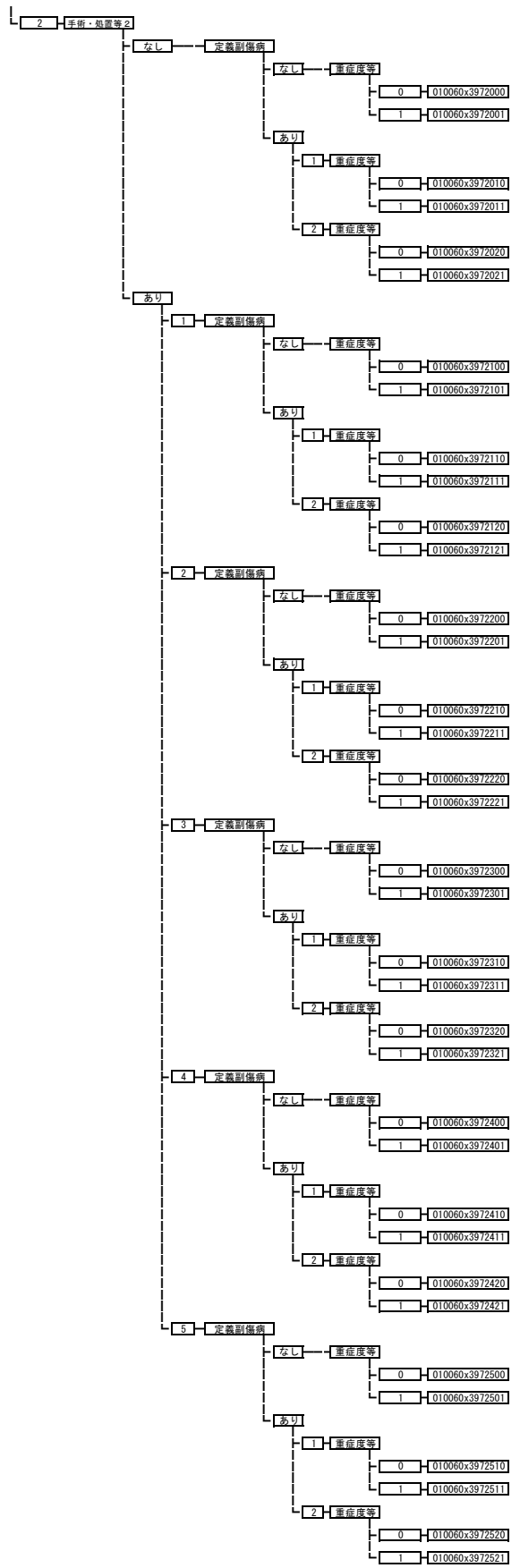


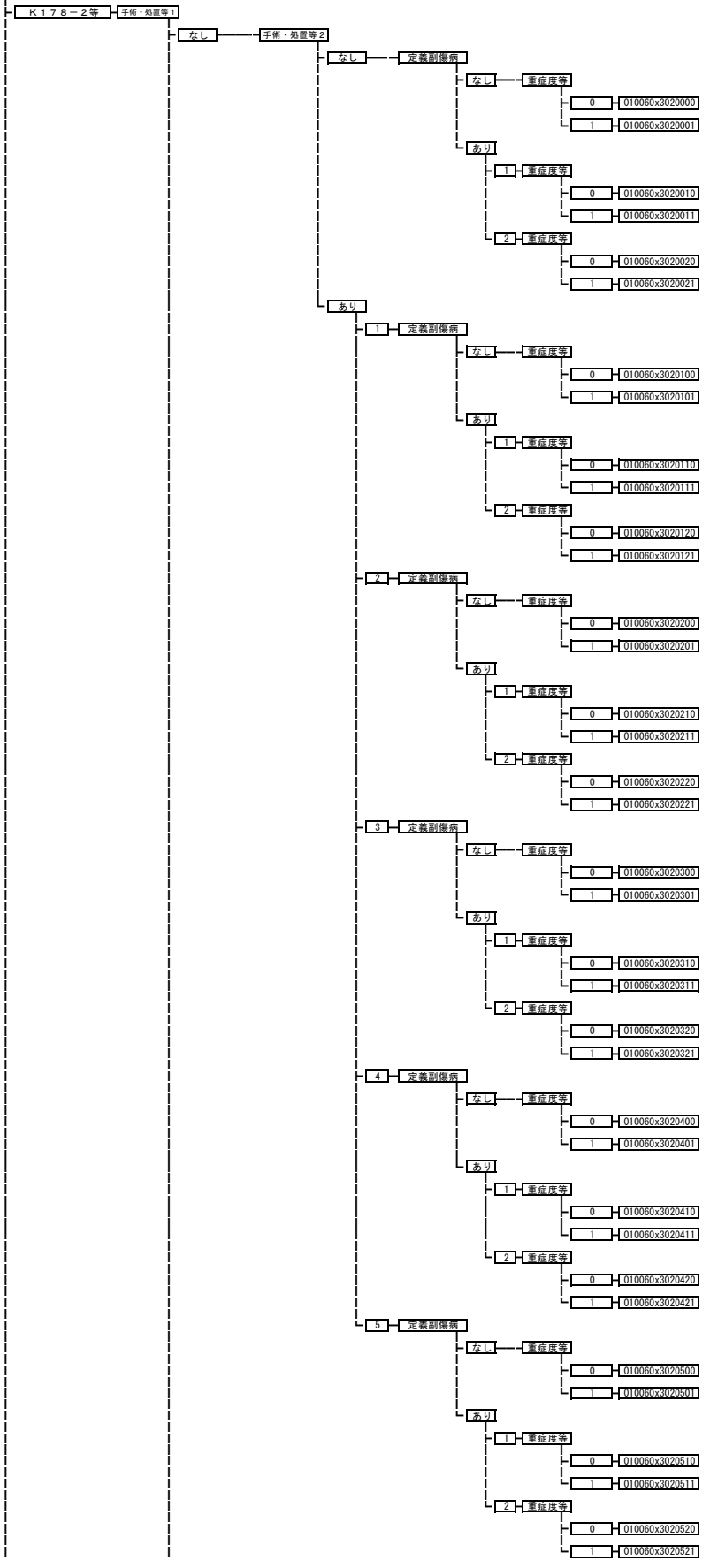


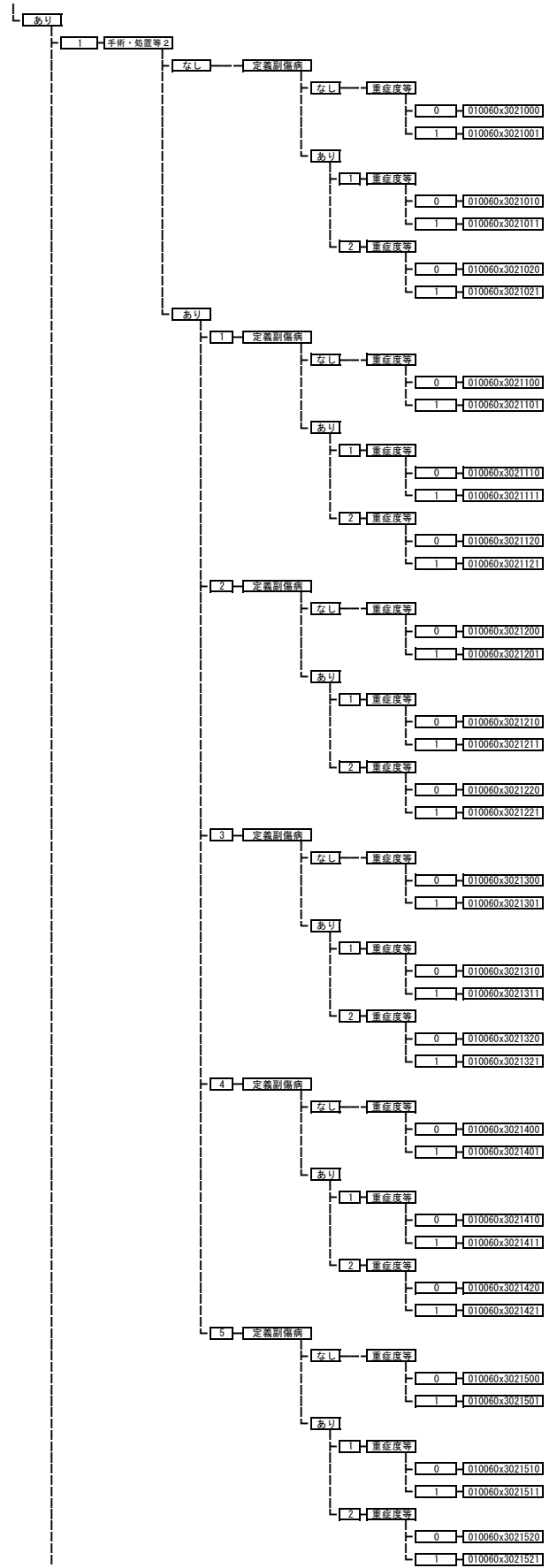


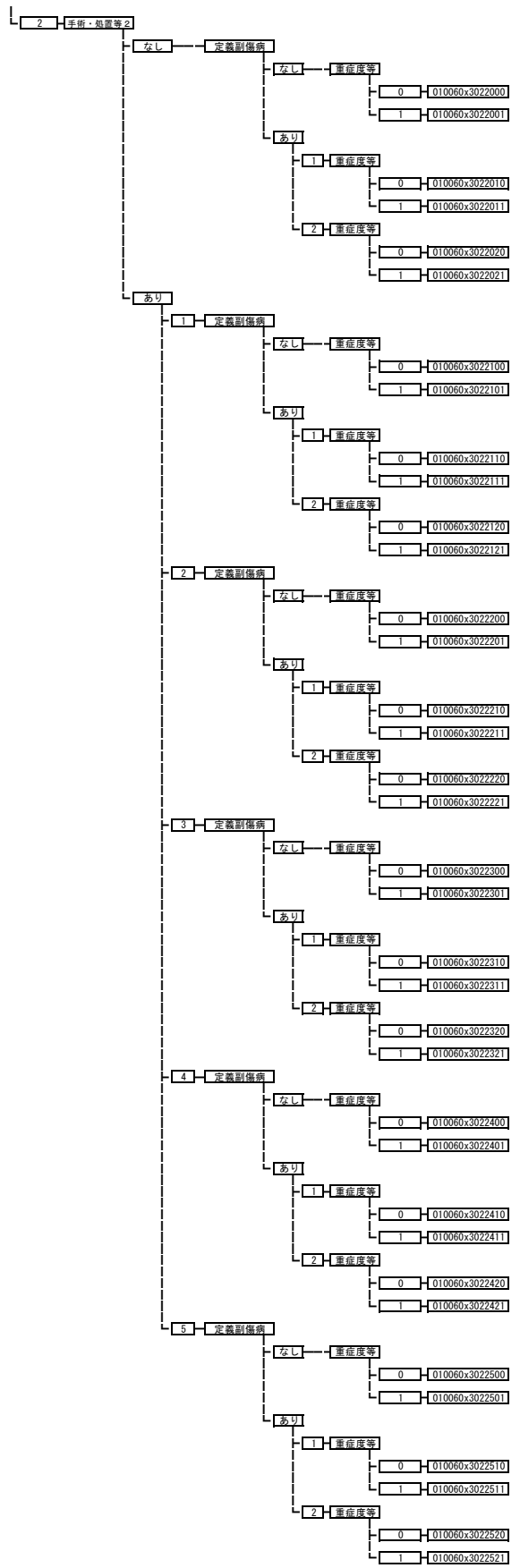


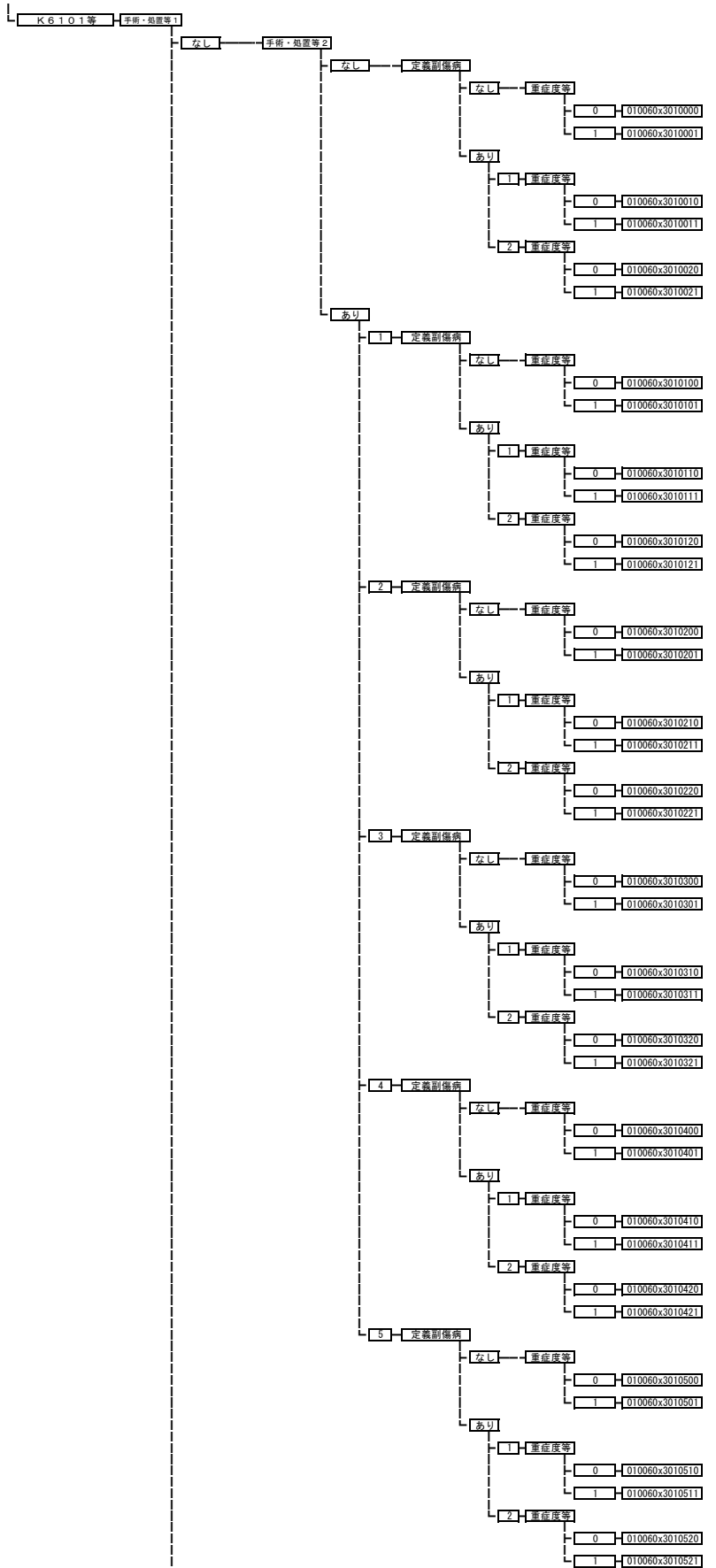


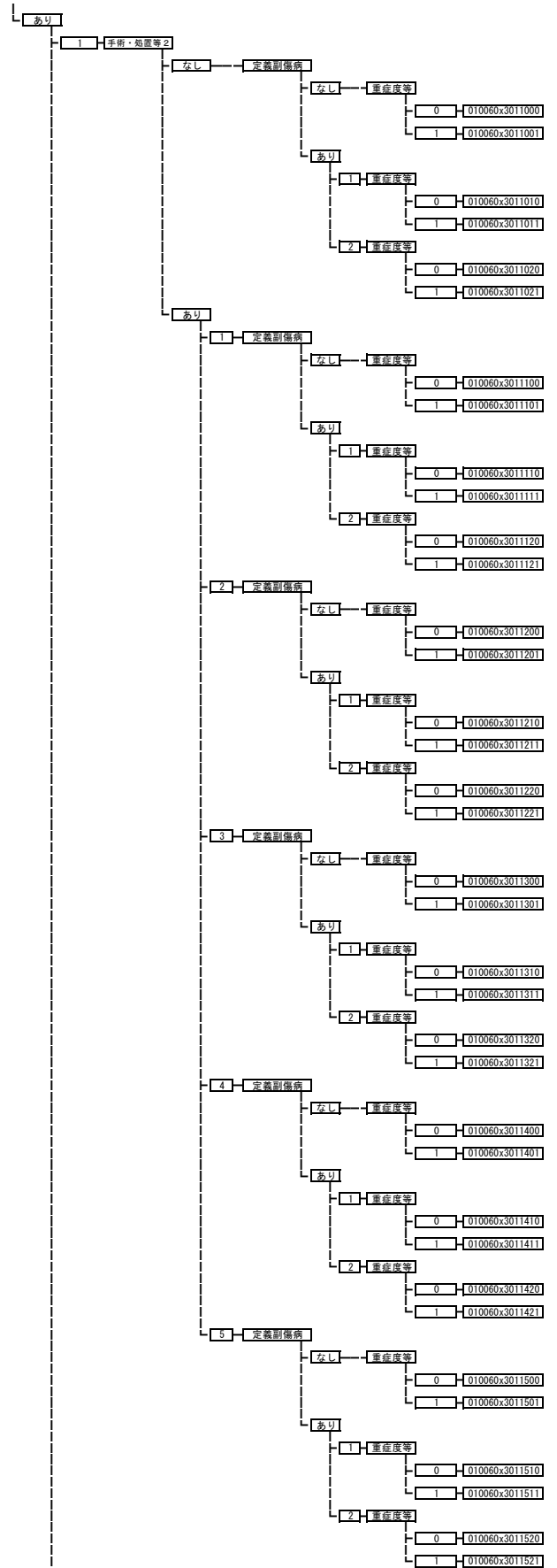


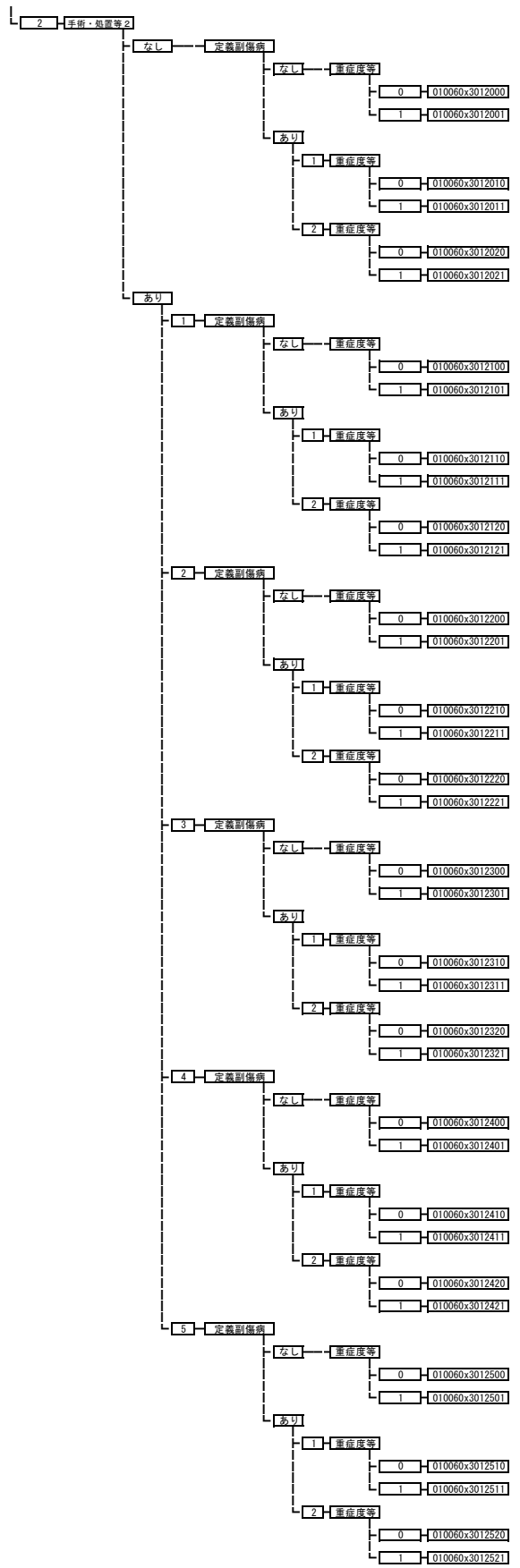


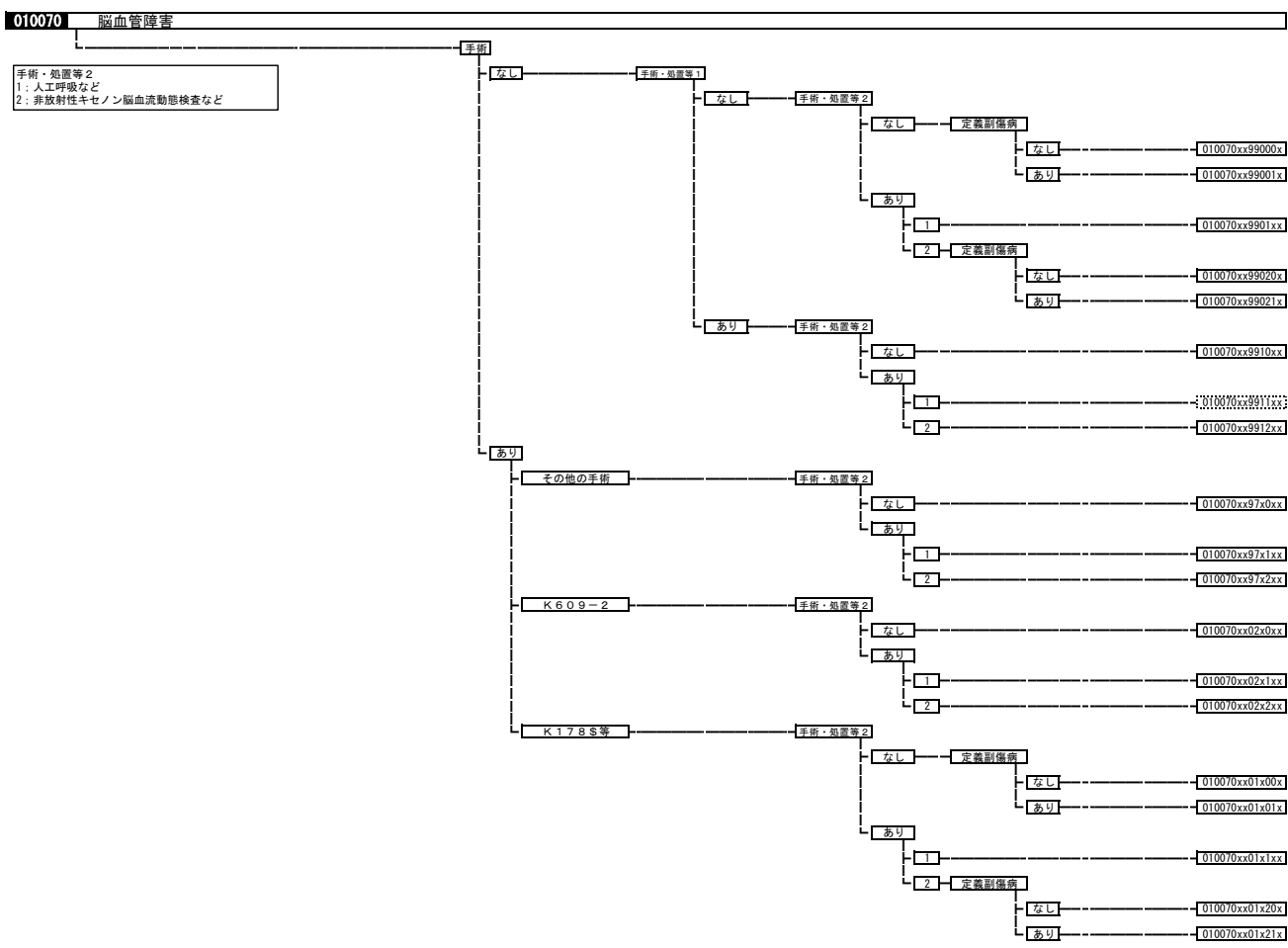
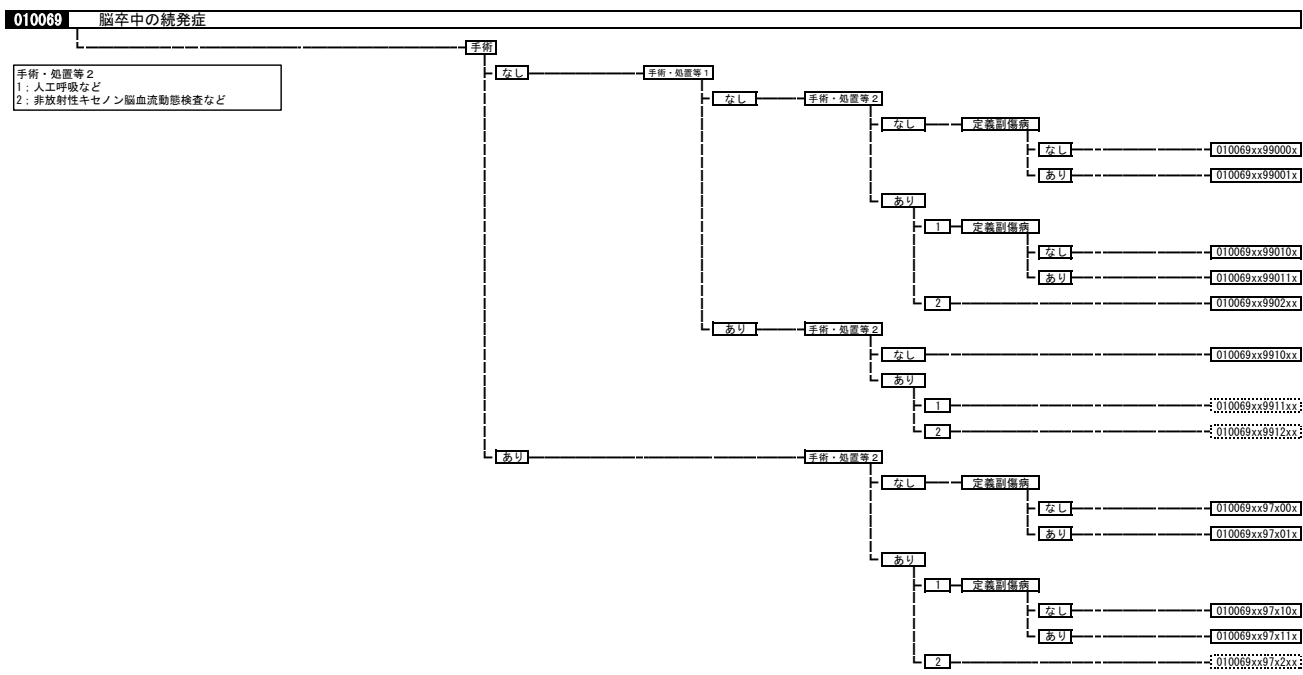
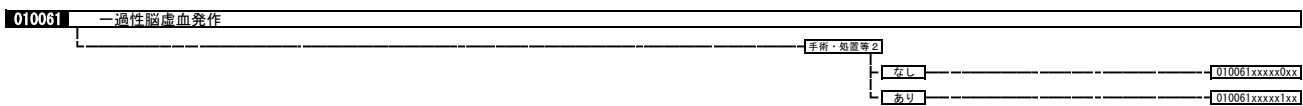






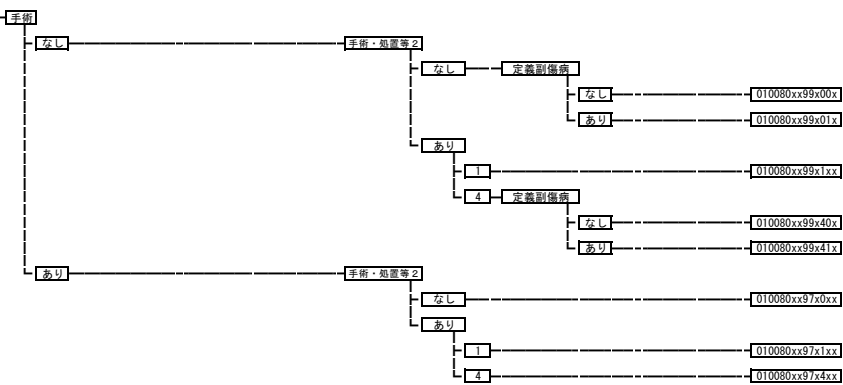






010080 脳脊髄の感染を伴う炎症

手術・処置等2
1:人工呼吸、中心静脈注射
4:ガンマグロブリン



010083 結核性髄膜炎、髄膜脳炎

010083xxxxxxx

010086 プリオン病

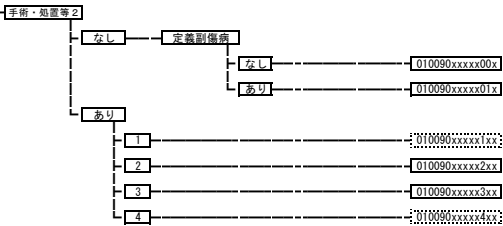
010086xxxxxxx

010089 亜急性硬化性全脳炎

010089xxxxxxx

010090 多発性硬化症

手術・処置等2
1:人工呼吸、中心静脈注射
2:血漿交換療法
3:インターフェロン、グラチラマー酢酸塩
4:ナタリズマブ

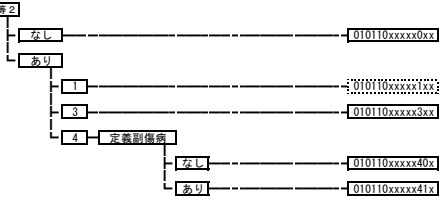


010100 脱髄性疾患（その他）

010100xxxx0xx
010100xxxx1xx

010110 免疫介在性・炎症性ニューロパチー

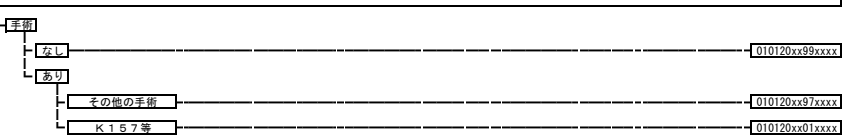
手術・処置等2
1:人工呼吸、中心静脈注射
3:血漿交換療法
4:ガンマグロブリン

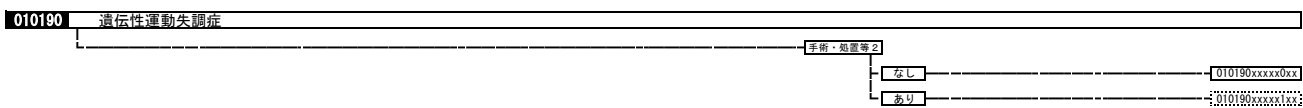
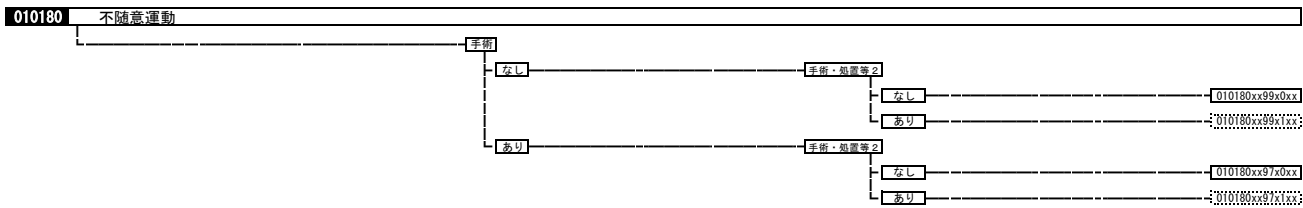
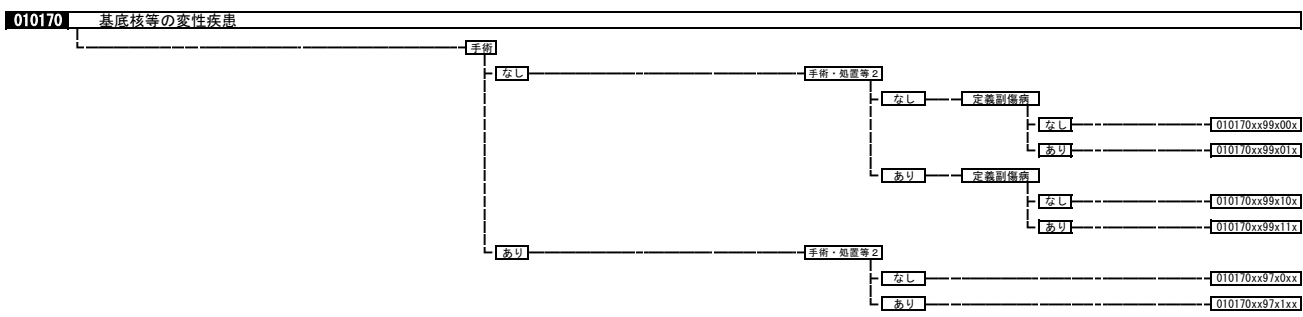
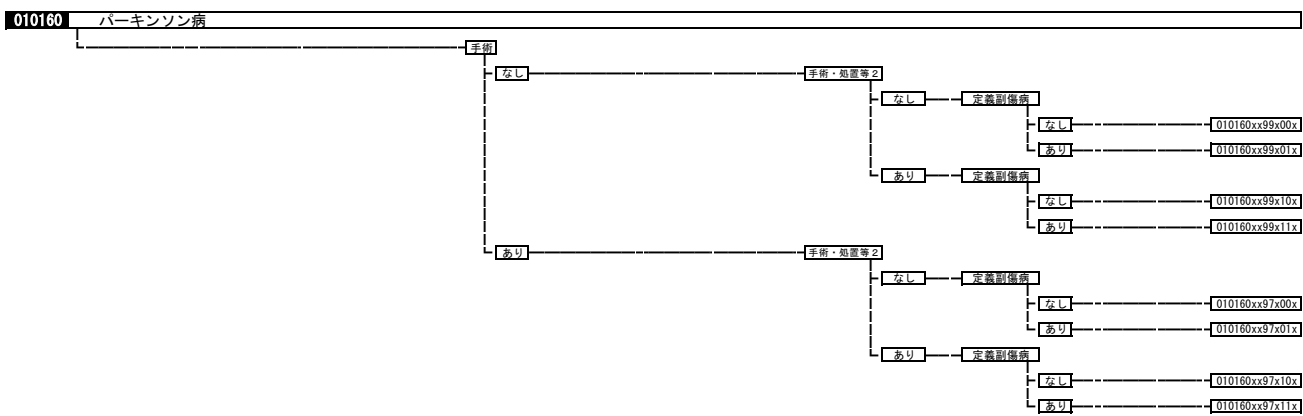
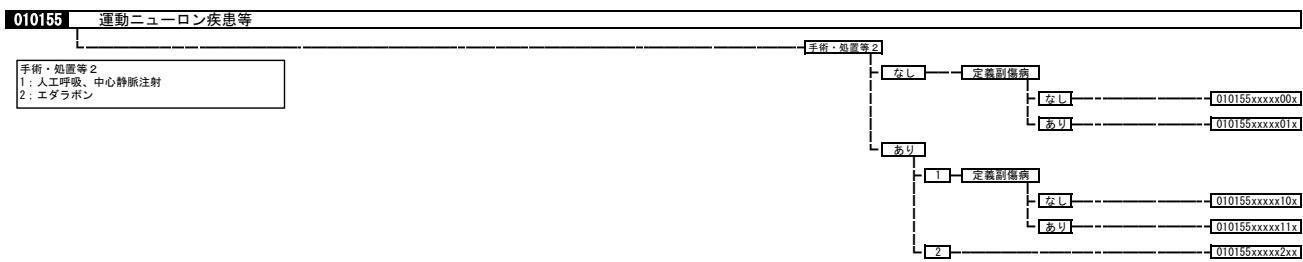
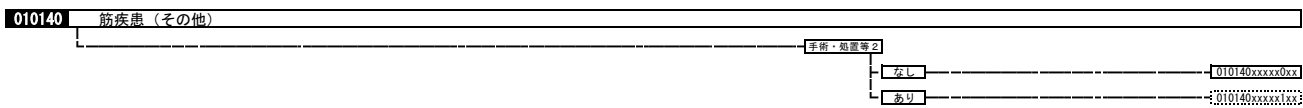
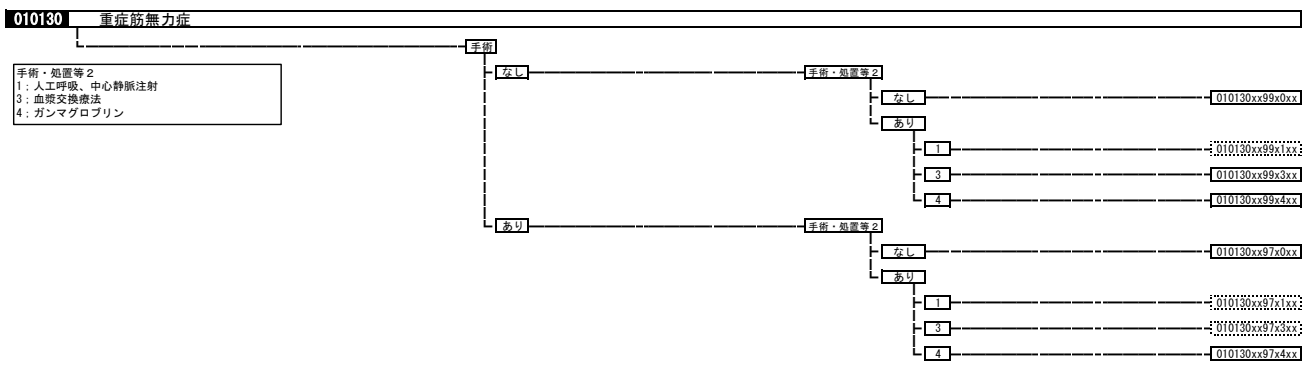


010111 遺伝性ニューロパチー

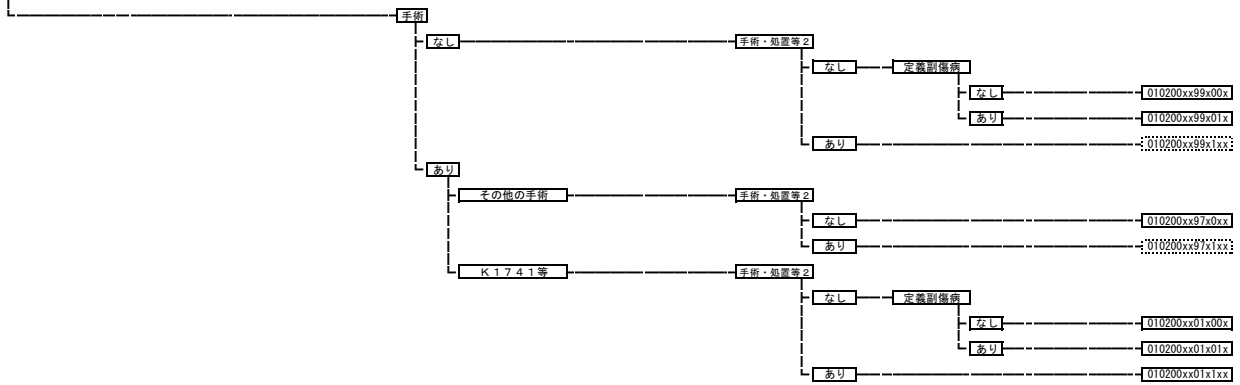
010111xxxx0xx
010111xxxx1xx

010120 特発性（単）ニューロパチー



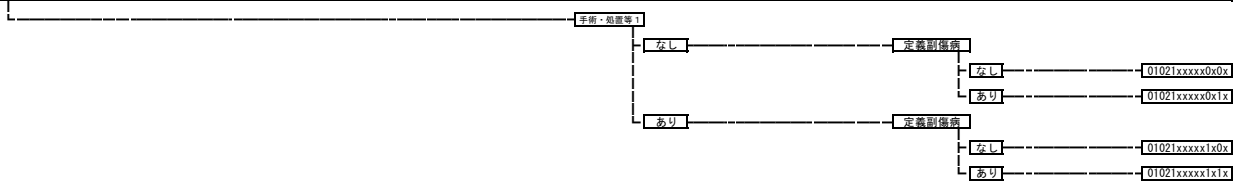


010200 水頭症



01021x 認知症

	010210	アルツハイマー型認知症
	010211	血管性認知症
	010212	その他の認知症
	010213	アルツハイマー病

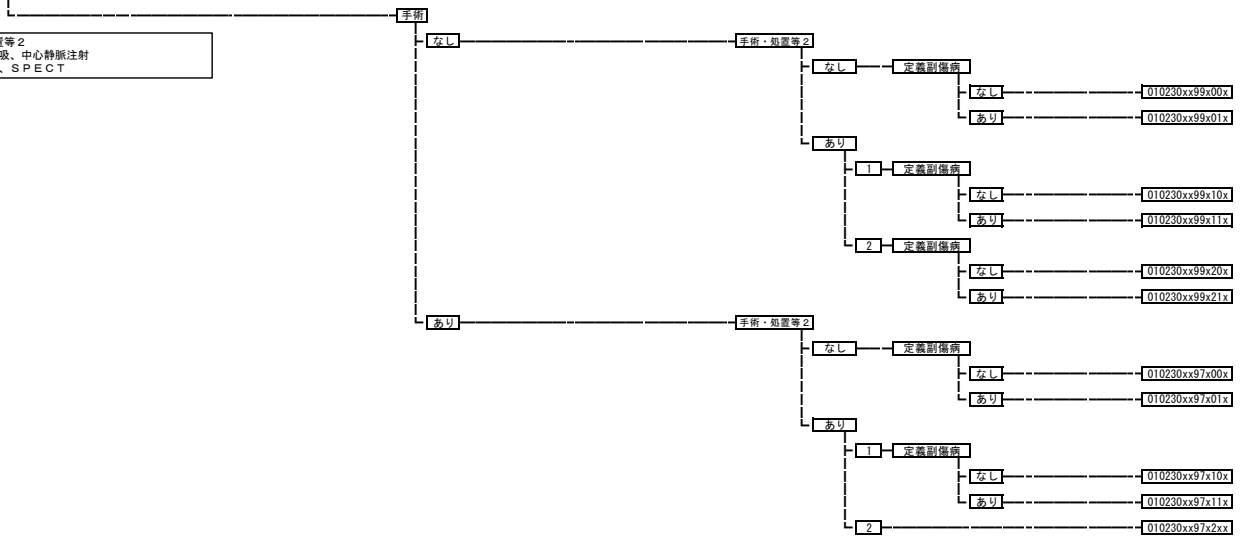


010220 その他の変性疾患

010220xxxxxxxxx

010230 てんかん

手術・処置等 2
1: 人工呼吸、中心静脈注射
2: PET、SPECT



010240 片頭痛、頭痛症候群（その他）

010240xxxxxxxxx

010250 アルコール依存症候群

010250xxxxxxxxx

010260 ウェルニッケ脳症

010260xxxxxxxxx

010270 中毒性脳症
010270xxxxxxxx

010280 ジストニー、筋無力症
手術・処置等2
なし 010280xxxx0xx
あり 010280xxxx1xx

010290 自律神経系の障害
010290xxxxxxx

010300 睡眠障害
010300xxxxxxx

010310 脳の障害（その他）
手術
なし
手術・処置等2
なし 010310xx99x0xx
あり 010310xx99x1xx
あり
手術・処置等2
なし 010310xx97x0xx
あり 010310xx97x1xx

02001x 角膜・眼及び付属器の悪性腫瘍
020011 眼瞼・結膜の悪性腫瘍
020012 眼窩の悪性腫瘍
020013 ぶどう膜の悪性黒色腫
020014 眼の悪性腫瘍（その他）
手術
なし
手術・処置等2
なし 02001xxx99x0xx
あり 02001xxx99x1xx
あり
手術・処置等2
なし 02001xxx97x0xx
あり 02001xxx97x1xx

020040 網膜芽細胞腫
手術
なし
手術・処置等2
なし 020040xx99x0xx
あり 020040xx99x1xx
あり
手術・処置等2
なし 020040xx97x0xx
あり 020040xx97x1xx

02006x 眼の良性腫瘍
020061 眼瞼の良性腫瘍
020062 結膜・角膜腫瘍
020063 虹彩・毛様体・脈絡膜・網膜腫瘍
020064 眼の良性腫瘍（その他）
手術
なし 02006xxx99xxxxx
あり 02006xxx97xxxxx

020080 眼窩腫瘍
手術
なし 020080xxx99xxxxx
あり 020080xxx97xxxxx

020100 涙嚢腫瘍
手術
なし 020100xxx99xxxxx
あり 020100xxx97xxxxx

020110 白内障、水晶体の疾患
手術
なし 020110xx99xxxxx
あり
重症度等
片眼 020110xx97xxx0
両眼 020110xx97xxx1

020120 急性前部ぶどう膜炎

020130 原田病

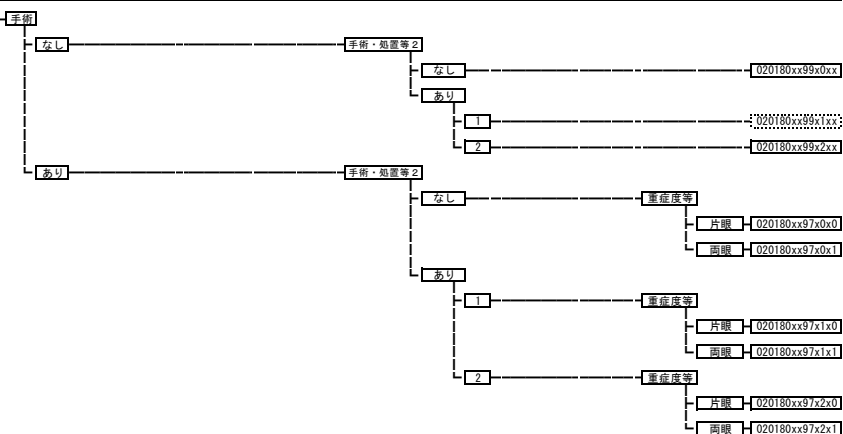
020140 網脈絡膜炎・網膜炎・急性網膜壊死

020150 斜視（外傷性・癒着性を除く。）

020160 網膜剥離

020180 糖尿病性増殖性網膜症

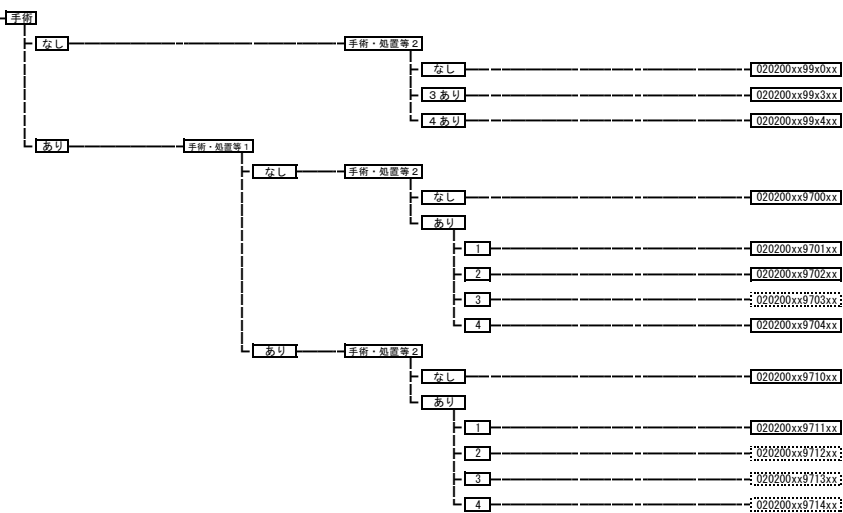
手術・処置等2
1: 全身麻酔、人工腎臓 その他の場合
2: ラニビズマブ、アフリベルセプト

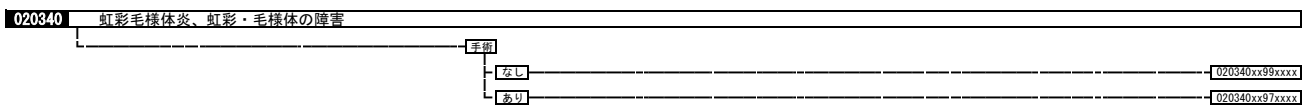
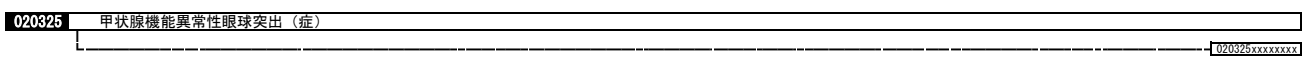
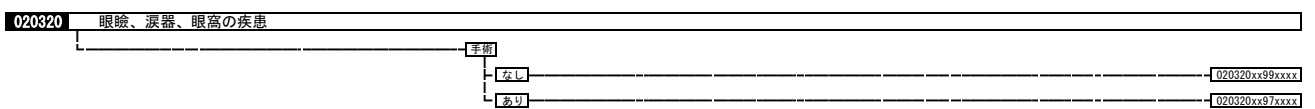
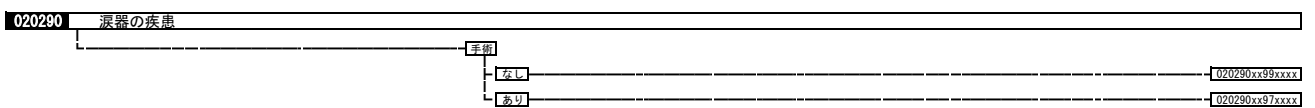
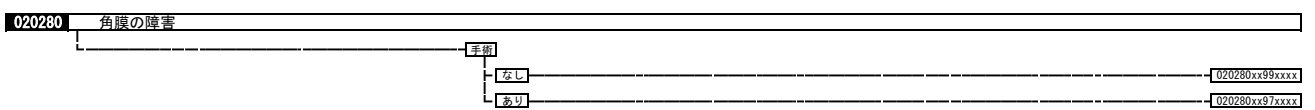
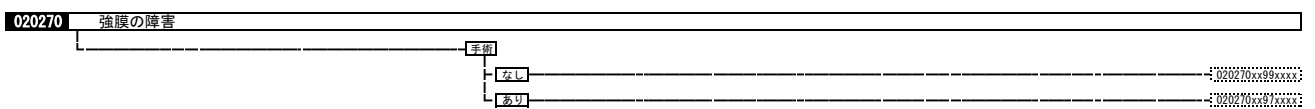
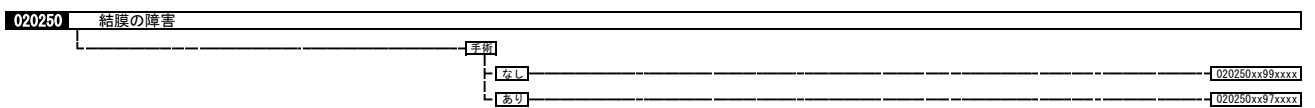
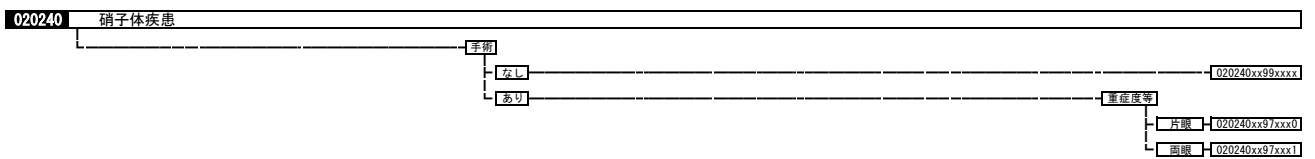
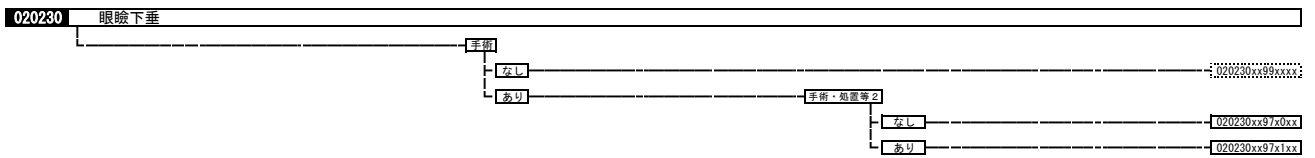
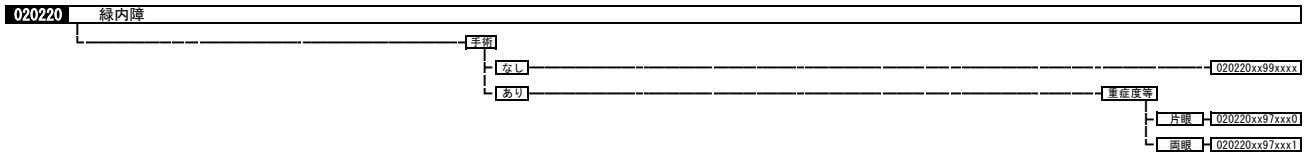
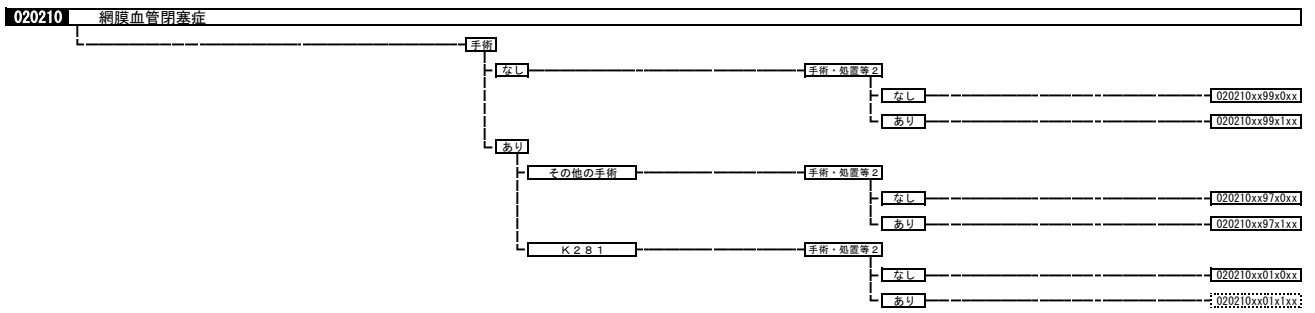


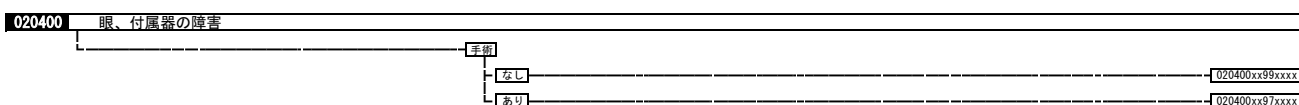
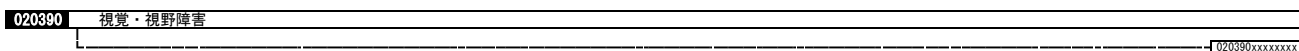
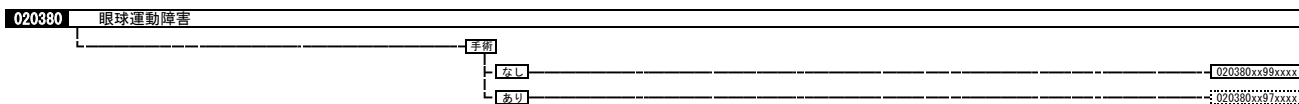
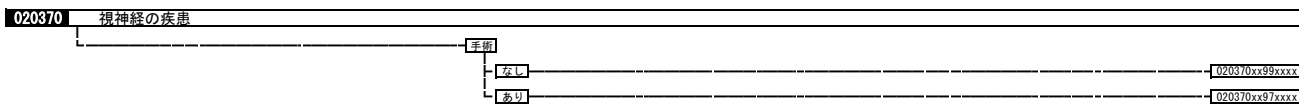
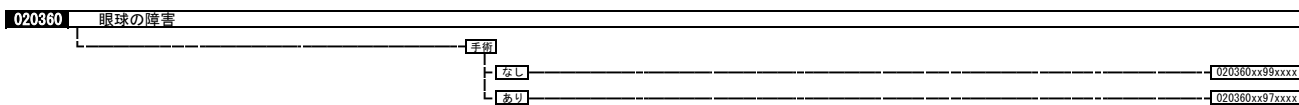
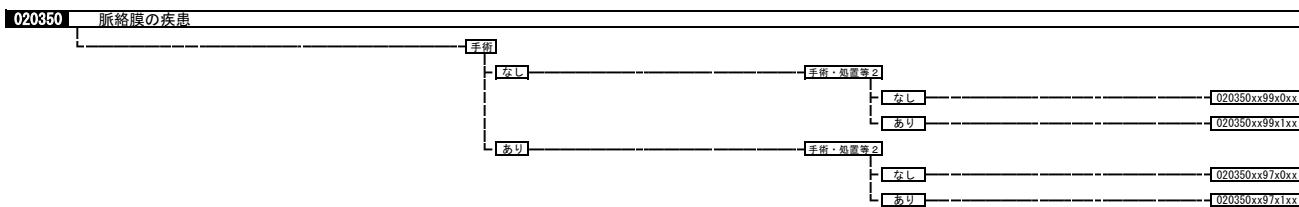
020190 未熟児網膜症

020200 黄斑、後極変性

手術・処置等2
1: 全身麻酔
2: ベルテホルフィン
3: ペガブタニブナトリウム
4: ラニビズマブ、アフリベルセプト

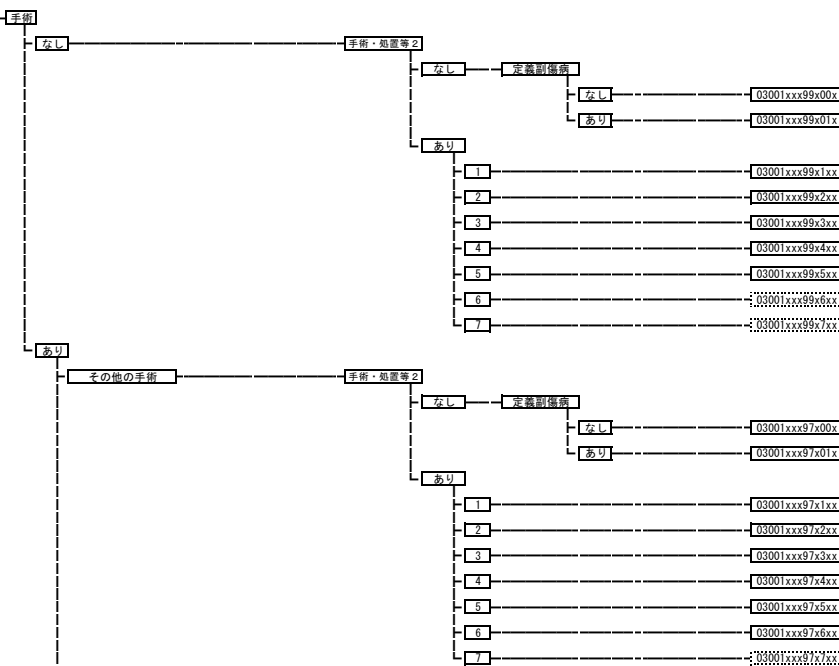


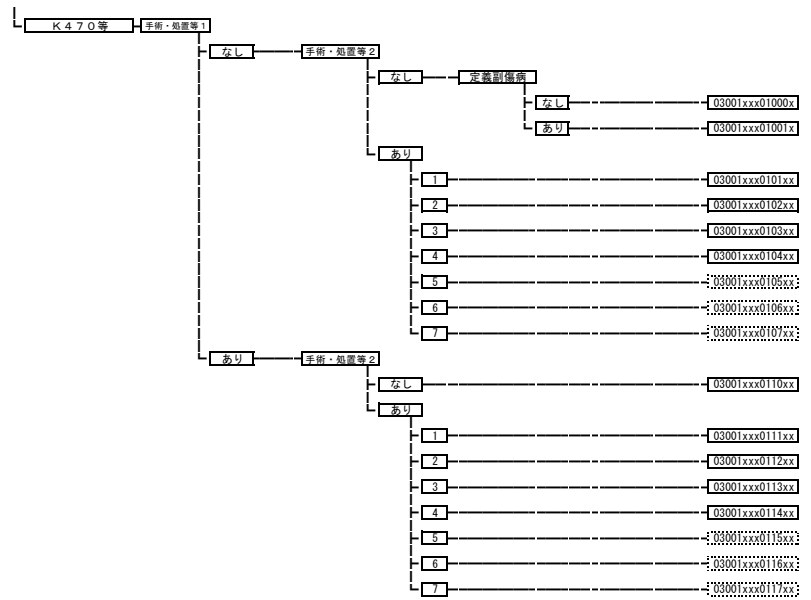




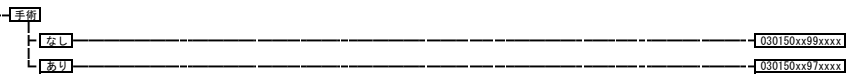
03001x 頭頸部悪性腫瘍	030010	口腔・下顎、口唇の悪性腫瘍
	030011	唾液腺の悪性腫瘍
	030012	上咽頭の悪性腫瘍
	030013	中咽頭の悪性腫瘍
	030014	下咽頭の悪性腫瘍
	030015	喉頭の悪性腫瘍
	030016	鼻腔・副鼻腔の悪性腫瘍
	030017	転移性頭部悪性腫瘍
	030018	聴器の悪性腫瘍
	030019	頭頸部悪性腫瘍（その他）

手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: 動注化学療法
 6: セツキシマブ
 7: ニボルマブ

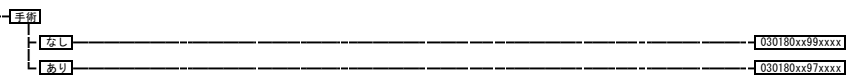




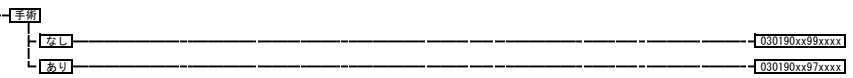
030150 耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍



030180 口内炎、口腔疾患



030190 唾液腺炎、唾液腺腫瘍



030200 腺内唾石

030200xxxxxxxx

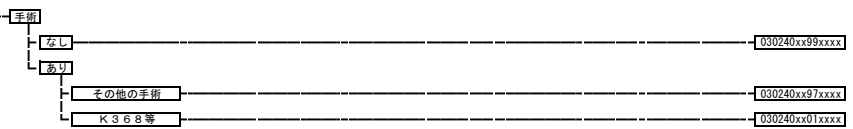
030220 ガマ腫

030220xxxxxxxx

030230 扁桃、アデノイドの慢性疾患

030230xxxxxxxx

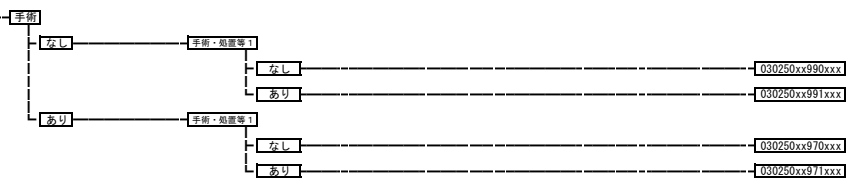
030240 扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎



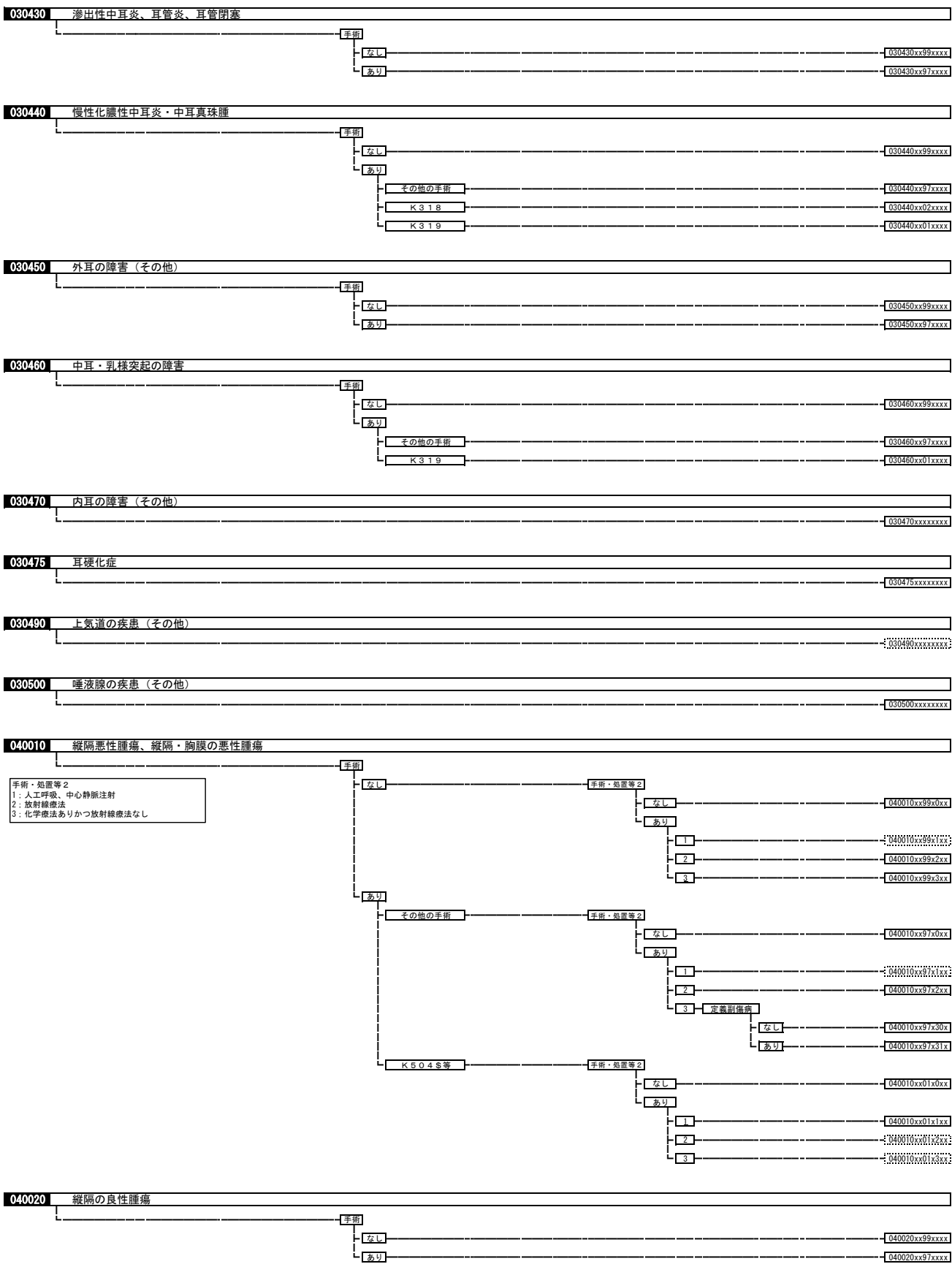
030245 伝染性単核球症

030245xxxxxxxx

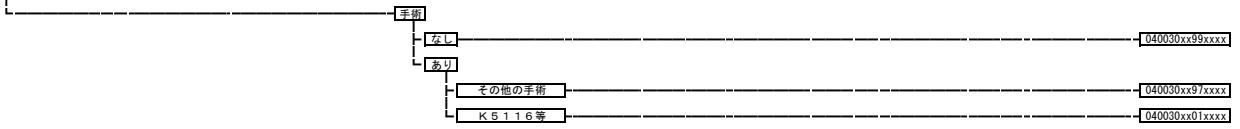
030250 睡眠時無呼吸



030270	上気道炎			030270xxxxxxxx
030280	声帯ポリープ、結節			030280xxxxxxxx
030290	声帯麻痺	手術	なし	030290xx99xxxx
			あり	030290xx97xxxx
030300	声帯の疾患（その他）	手術	なし	030300xx99xxxx
			あり	030300xx97xxxx
			その他の手術	030300xx91xxxx
			K3B9S等	030300xx01xxxx
030320	鼻中隔彎曲症			030320xxxxxxxx
030330	急性副鼻腔炎	手術	なし	030330xx99xxxx
			あり	030330xx97xxxx
030340	血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>			030340xxxxxxxx
030350	慢性副鼻腔炎			030350xxxxxxxx
030360	副鼻腔嚢胞、鼻前庭嚢胞			030360xxxxxxxx
030370	鼻ポリープ			030370xxxxxxxx
030380	鼻出血			030380xxxxxxxx
030390	顔面神経障害	手術	なし	030390xx99xxxx
			あり	030390xx97xxxx
		手術・処置等1	なし	030390xx970xxx
			あり	030390xx971xxx
030400	前庭機能障害	手術	なし	030400xx99xxxx
			あり	030400xx97xxxx
030410	めまい（末梢前庭以外）			030410xxxxxxxx
030425	聴覚の障害（その他）	手術	なし	030425xx99xxxx
			あり	030425xx97xxxx
030428	突発性難聴			030428xxxxxxxx

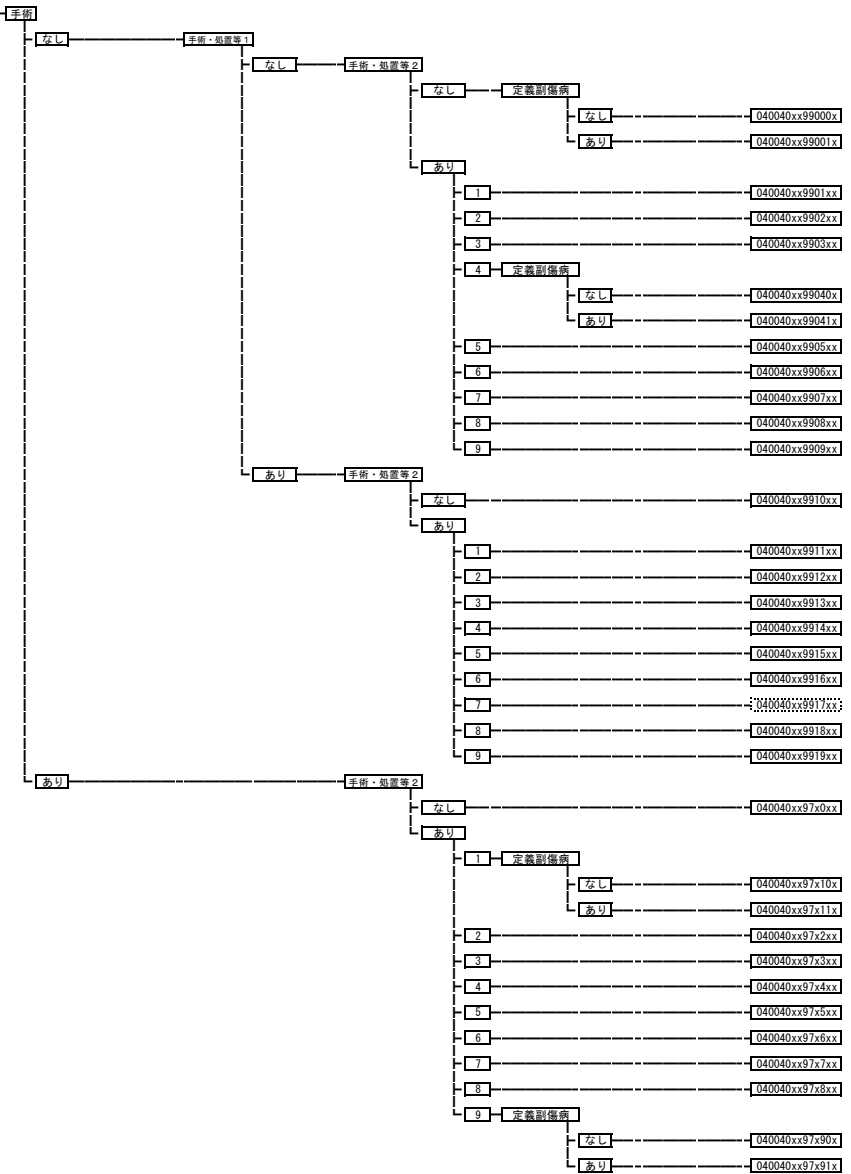


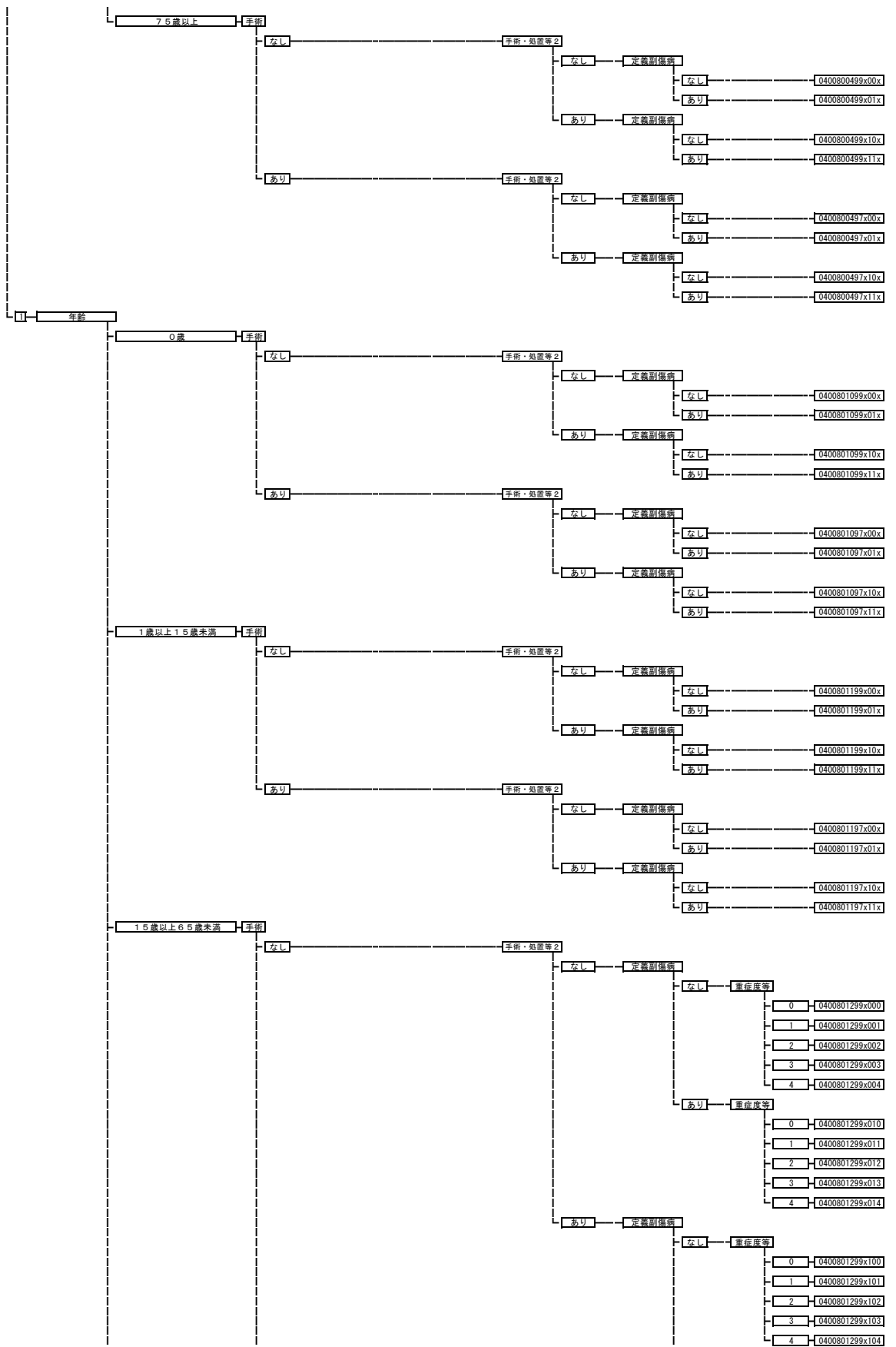
040030 呼吸器系の良性腫瘍

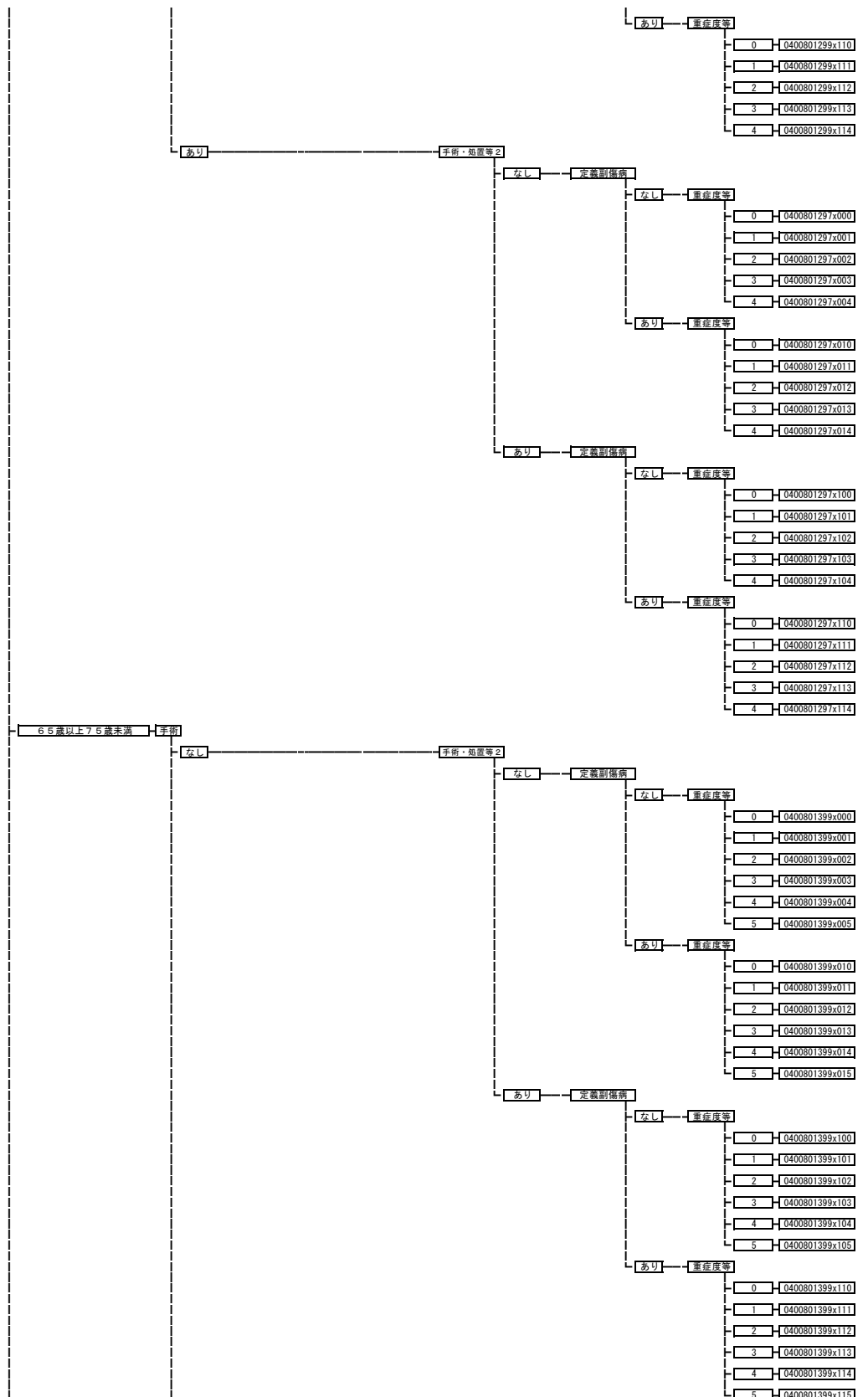


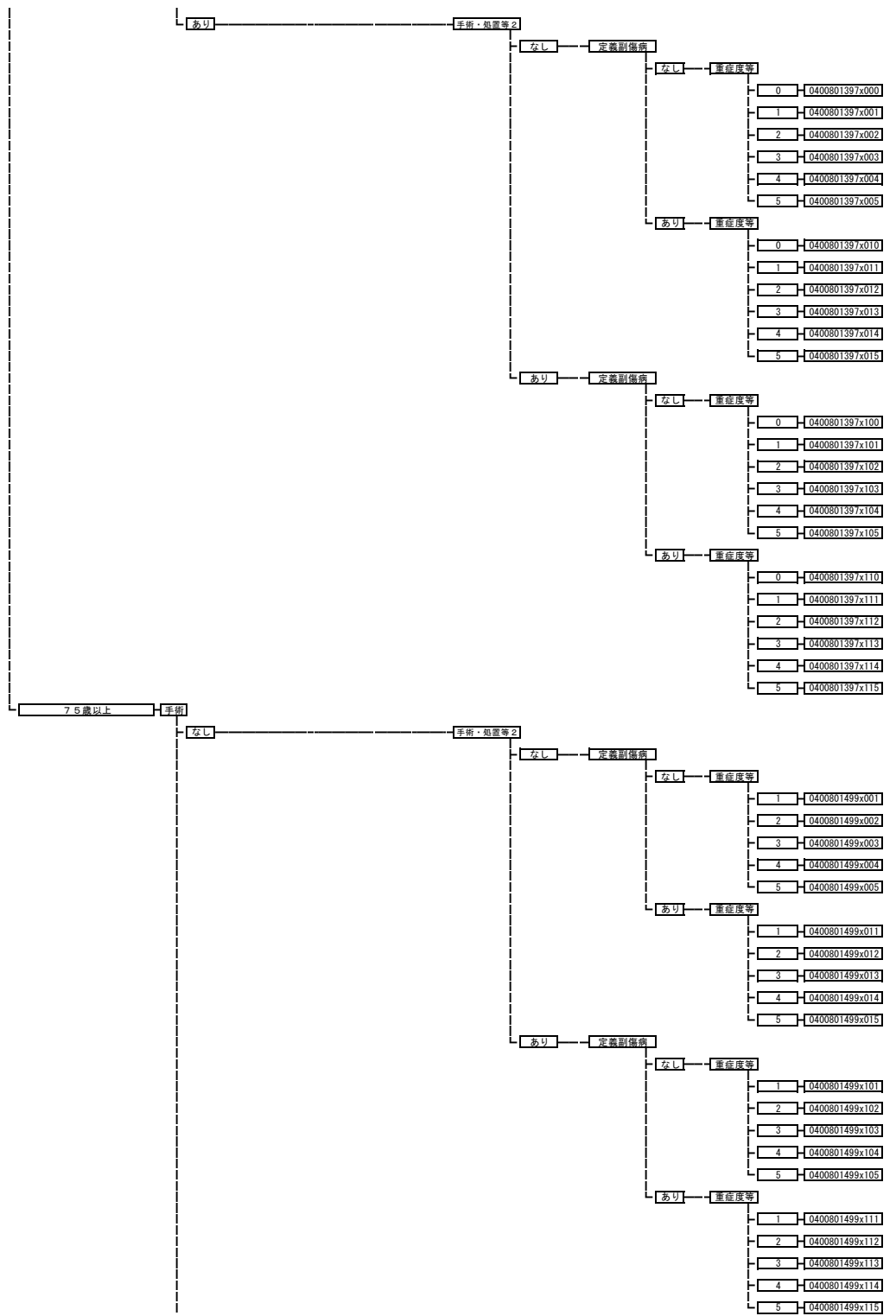
040040 肺の悪性腫瘍

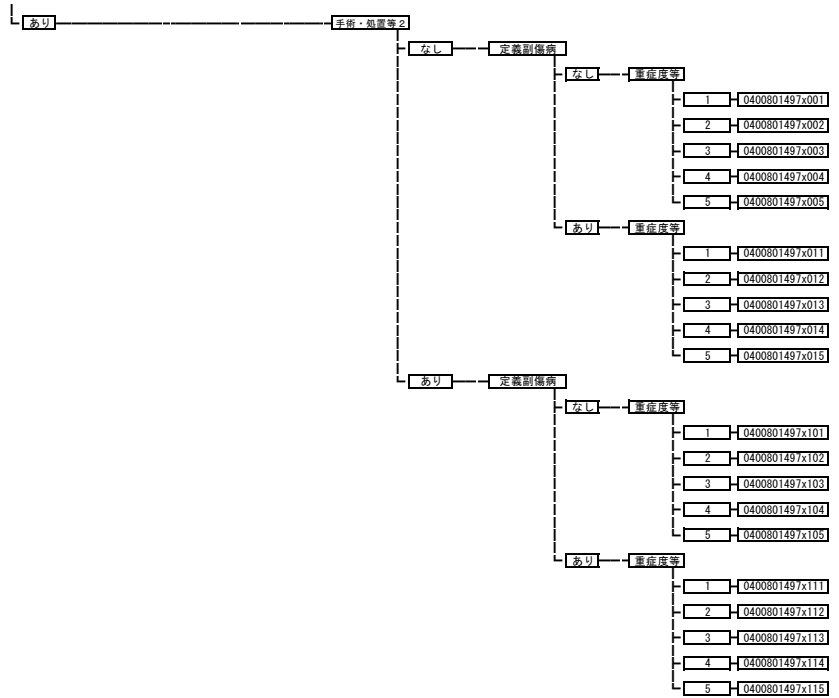
手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: カルボプラチン、パクリタキセルあり
 6: ゲフィチニブなど
 7: クリゾチニブ、アレクテニブ塩酸塩
 8: ベメトレキセドナトリウム水和物
 9: ベバシズマブ



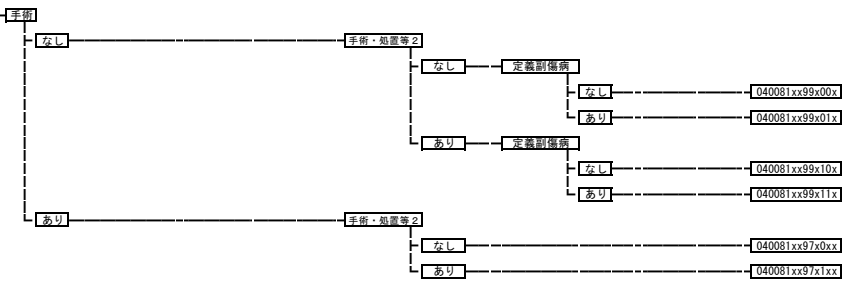




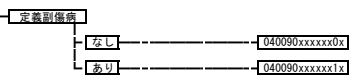




040081 誤嚥性肺炎

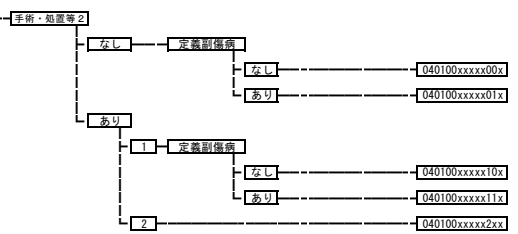


040090 急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）



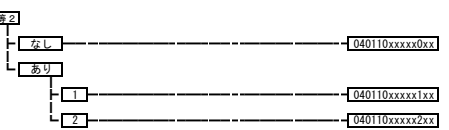
040100 喘息

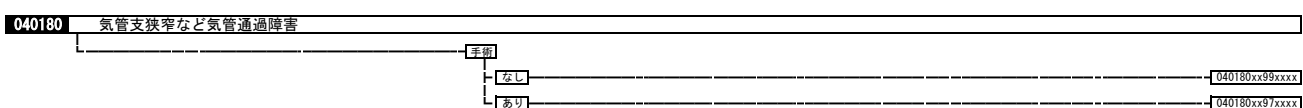
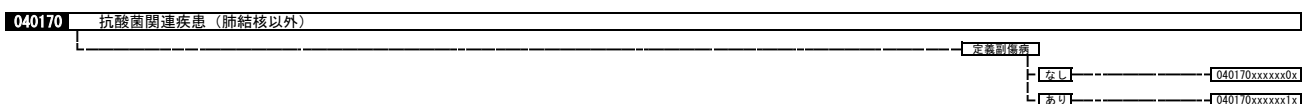
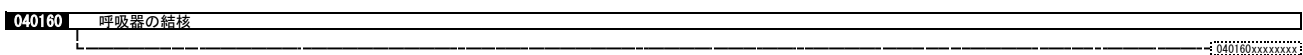
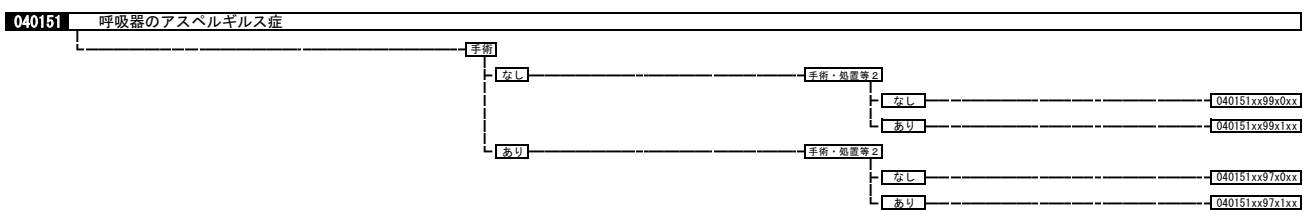
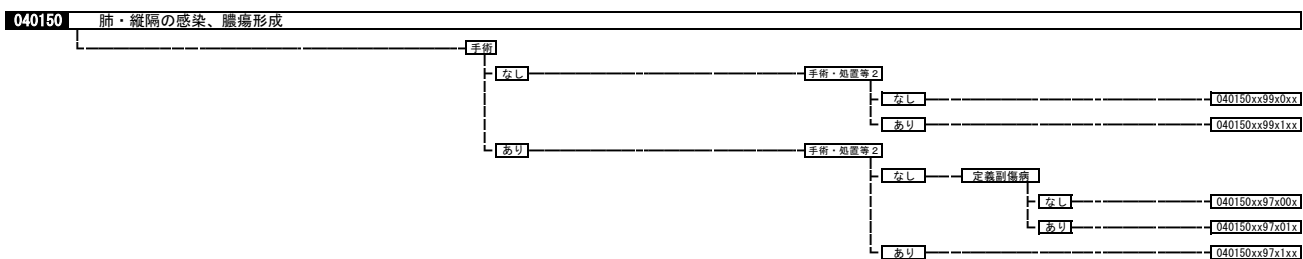
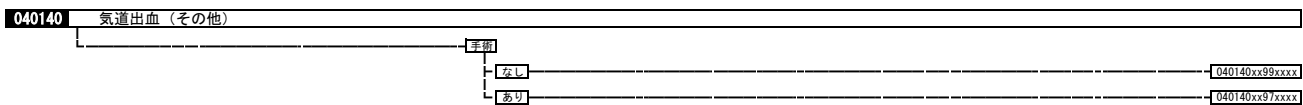
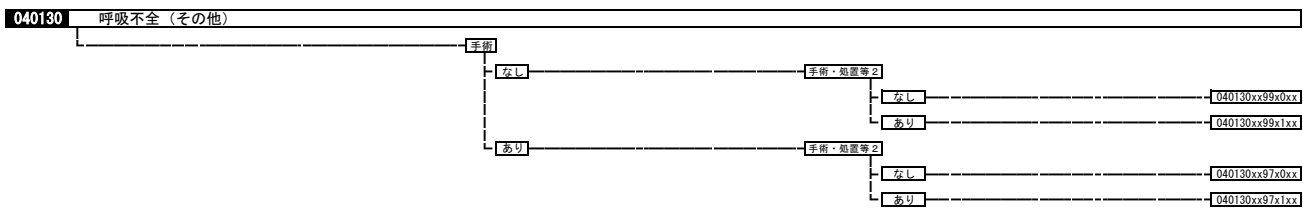
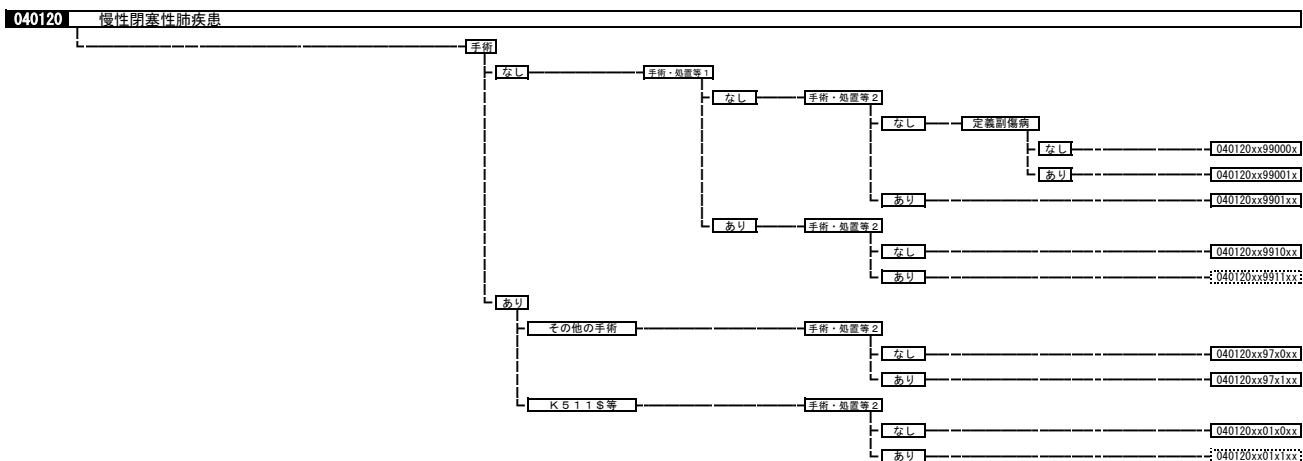
手術・処置等2
1: 人工呼吸
2: オマリスズマブ

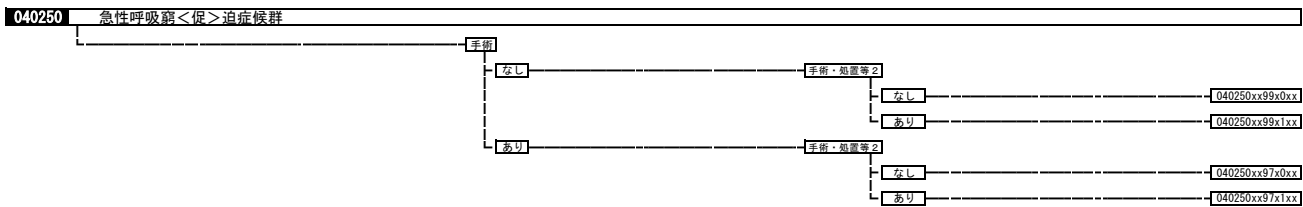
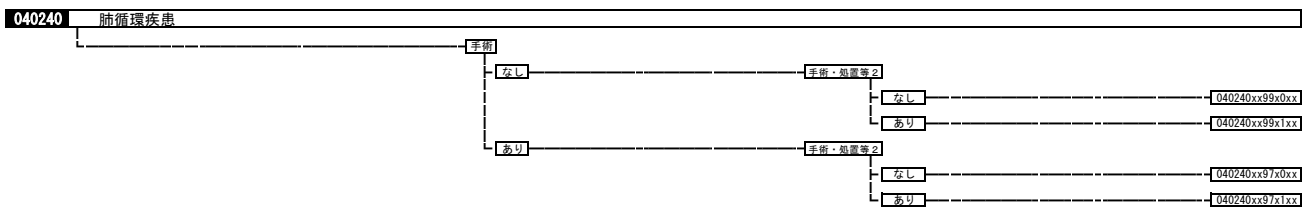
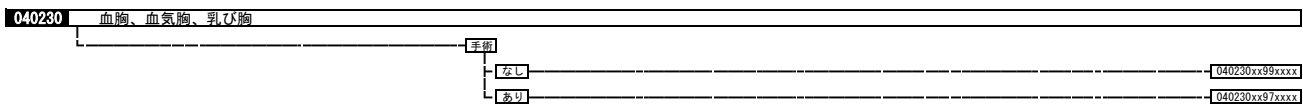
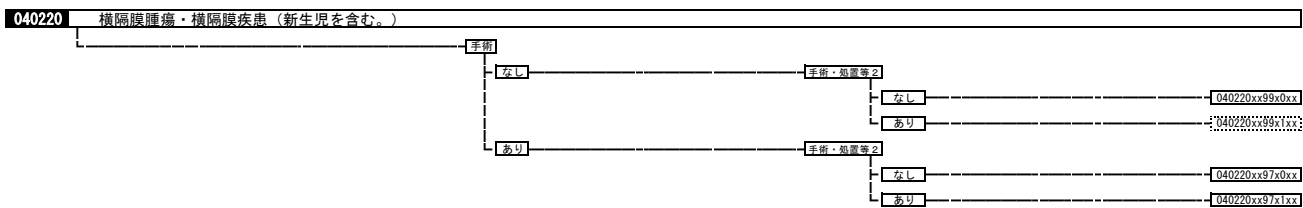
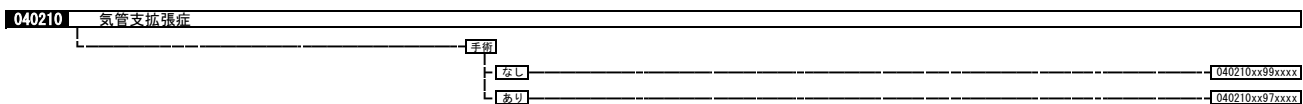
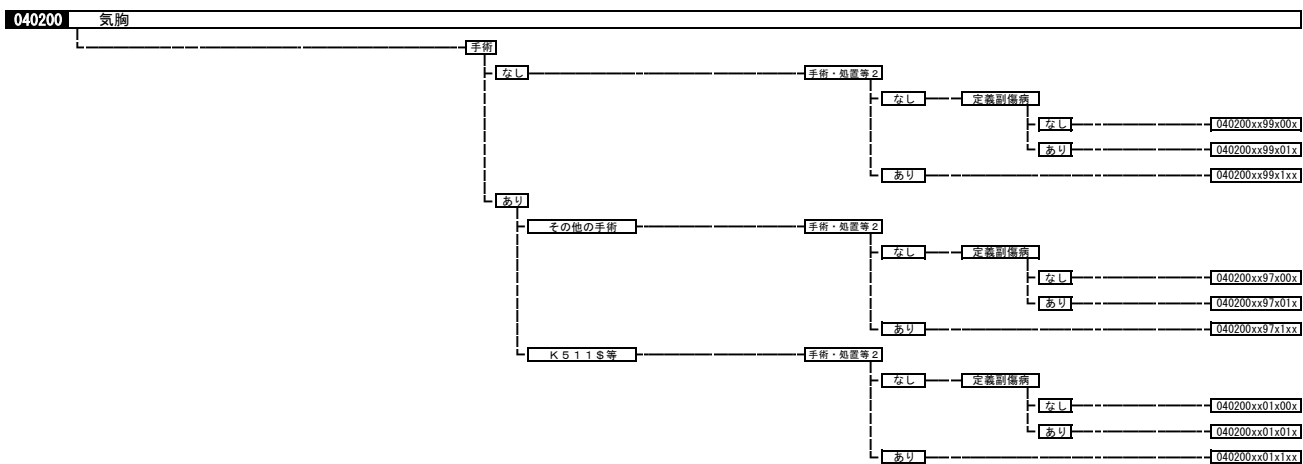
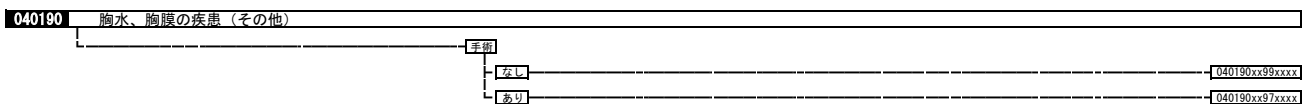


040110 間質性肺炎

手術・処置等2
1: 人工呼吸
2: シベレスタットナトリウム水和物

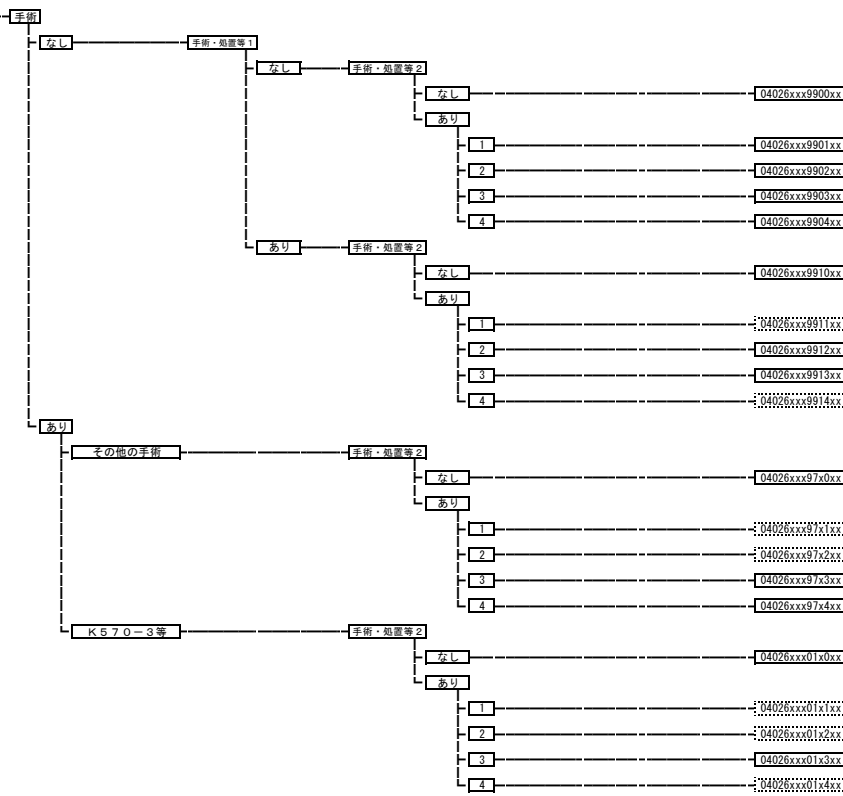






04026x	肺高血圧性疾患	040261	肺動脈性肺高血圧症
		040262	その他の二次性肺高血圧

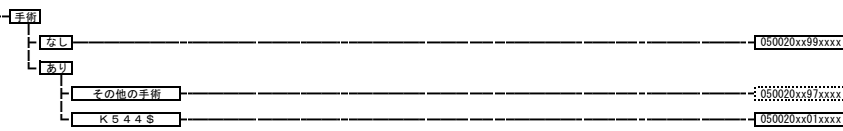
手術・処置等 2
 1: 人工呼吸
 2: タダラフィル、シルデナフィルクエン酸塩
 3: ホセタン水合物など
 4: プロスタグランジン I 2 製剤 (注射薬に限る。)、
 トレボステニル



040310	その他の呼吸器の障害	040310	040310xxxxxxxx
---------------	------------	--------	----------------

050010	心臓の悪性腫瘍	050010	050010xxxxxxxx
---------------	---------	--------	----------------

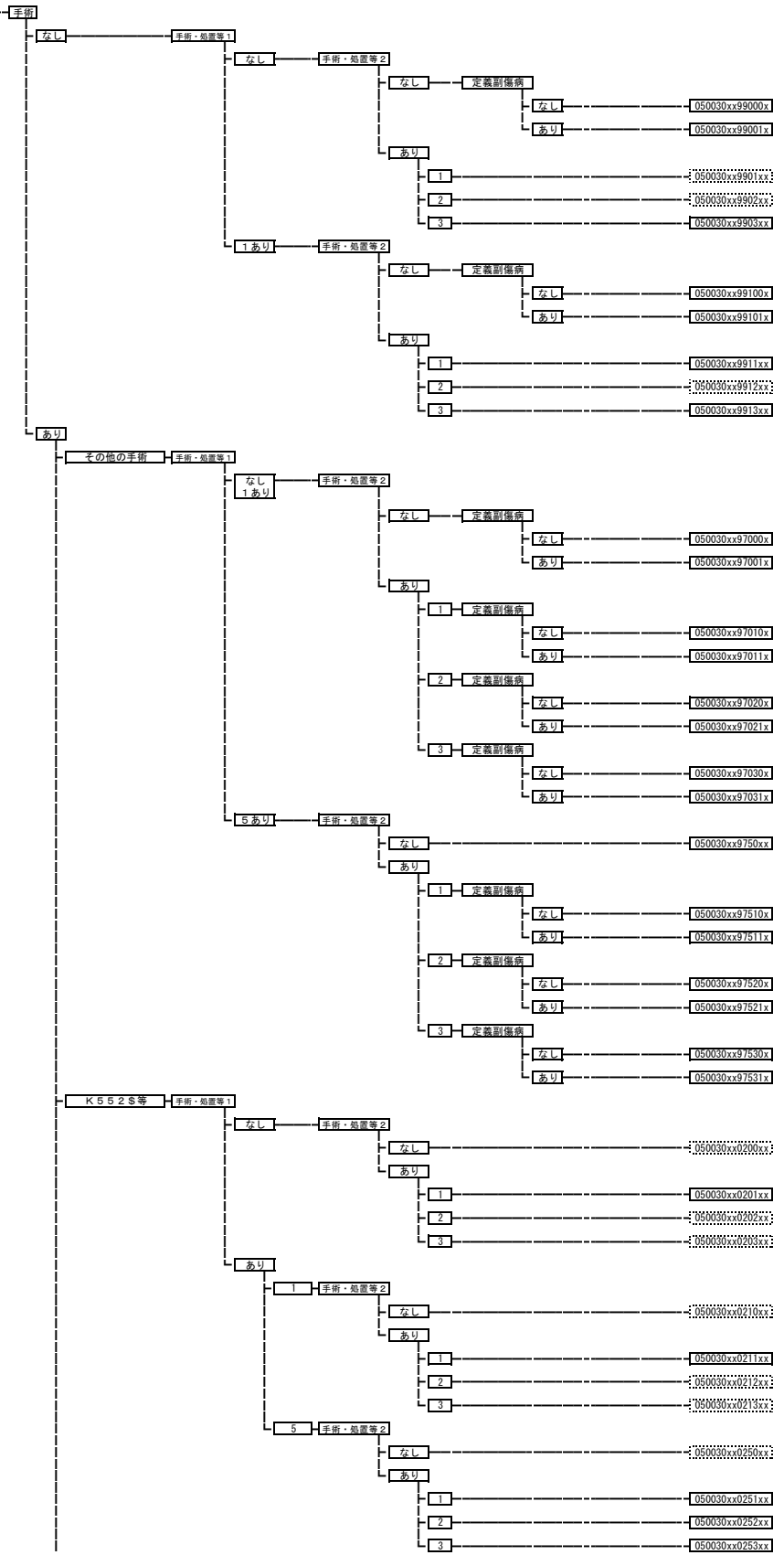
050020	心臓の良性腫瘍	050020	050020xxxxxxxx
---------------	---------	--------	----------------

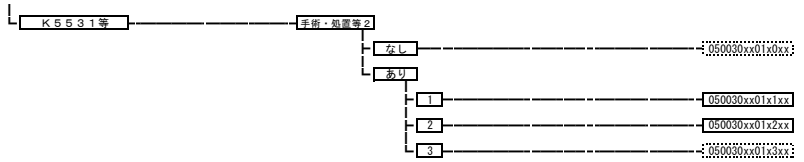


050030 急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞

手術・処置等 1
 1: 心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
 5: 補助人工心臓（1日につき）など

手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 人工腎臓 その他の場合、持続緩和式血液濾過
 3: SPECT など

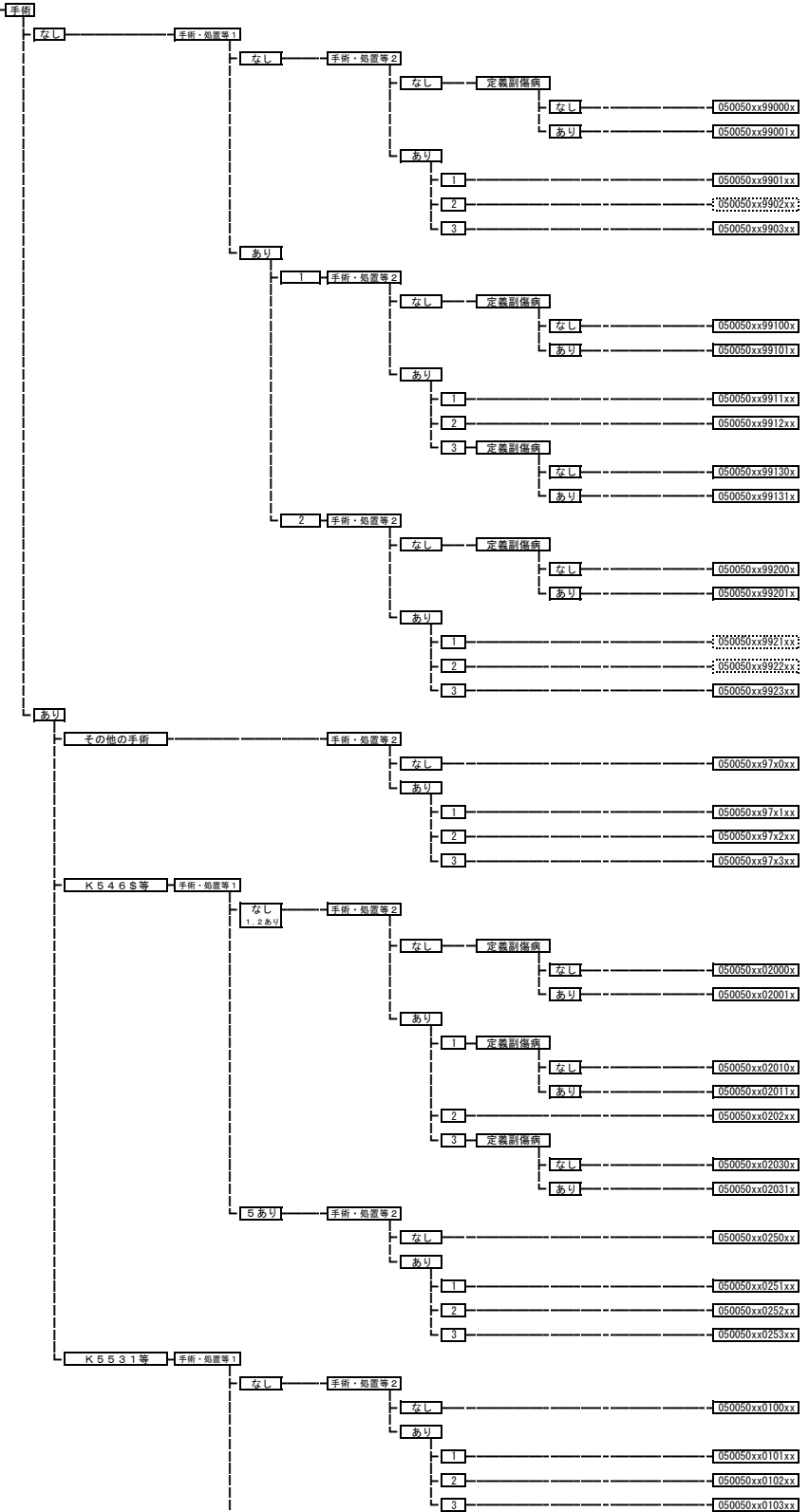


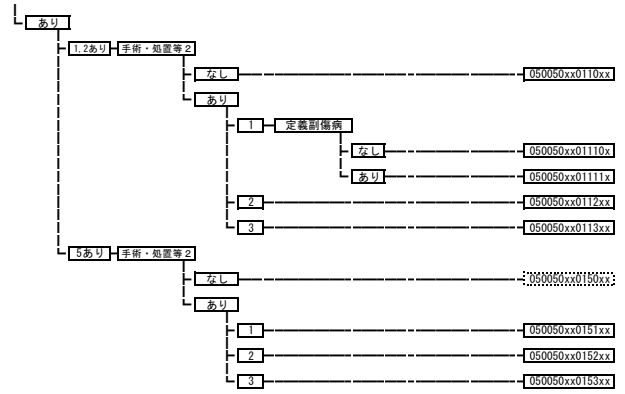


050050 狭心症、慢性虚血性心疾患

手術・処置等1
 1: 心臓カテーテル法による諸検査 (一連の検査について)
 2: 心臓カテーテル法による諸検査 (一連の検査について)
 + 血管内超音波検査等 (加算有り)
 5: 補助人工心臓 (1日につき) など

手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 人工腎臓、その他の場合、持続緩徐式血液濾過
 3: SPECTなど

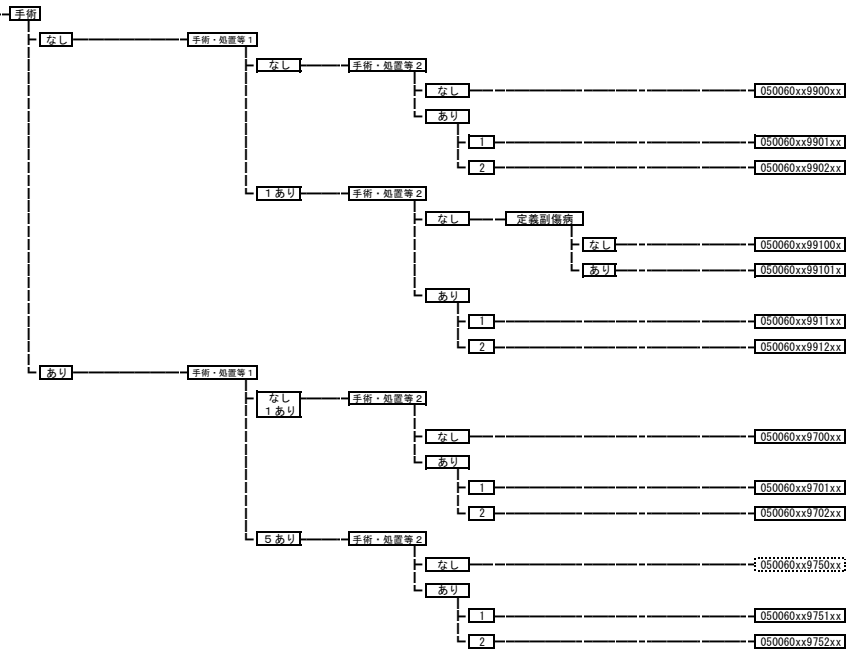




050060 心筋症（拡張型心筋症を含む。）

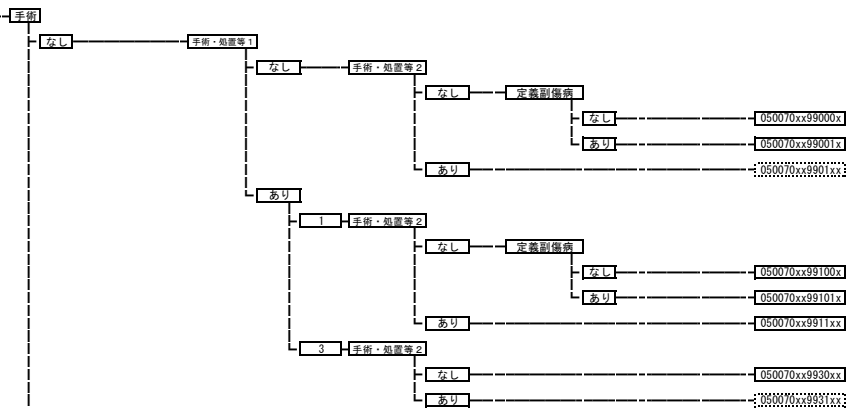
手術・処置等 1
1: 心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
5: 補助人工心臓（1日につき）など

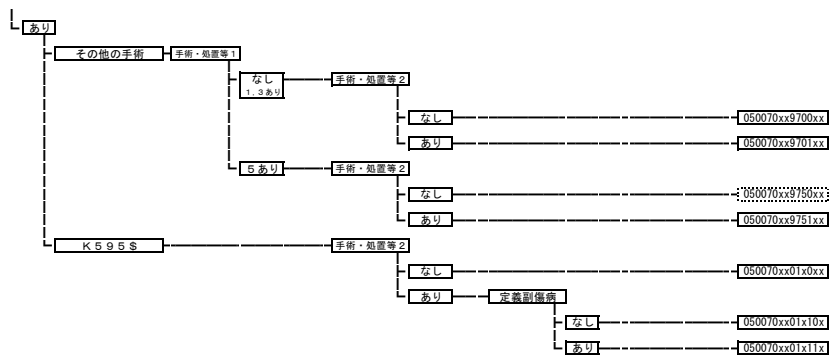
手術・処置等 2
1: 人工呼吸、中心静脈注射
2: 人工腎臓 その他の場合など



050070 頻脈性不整脈

手術・処置等 1
1: 心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
3: 心臓電気生理学的検査
5: 補助人工心臓（1日につき）など

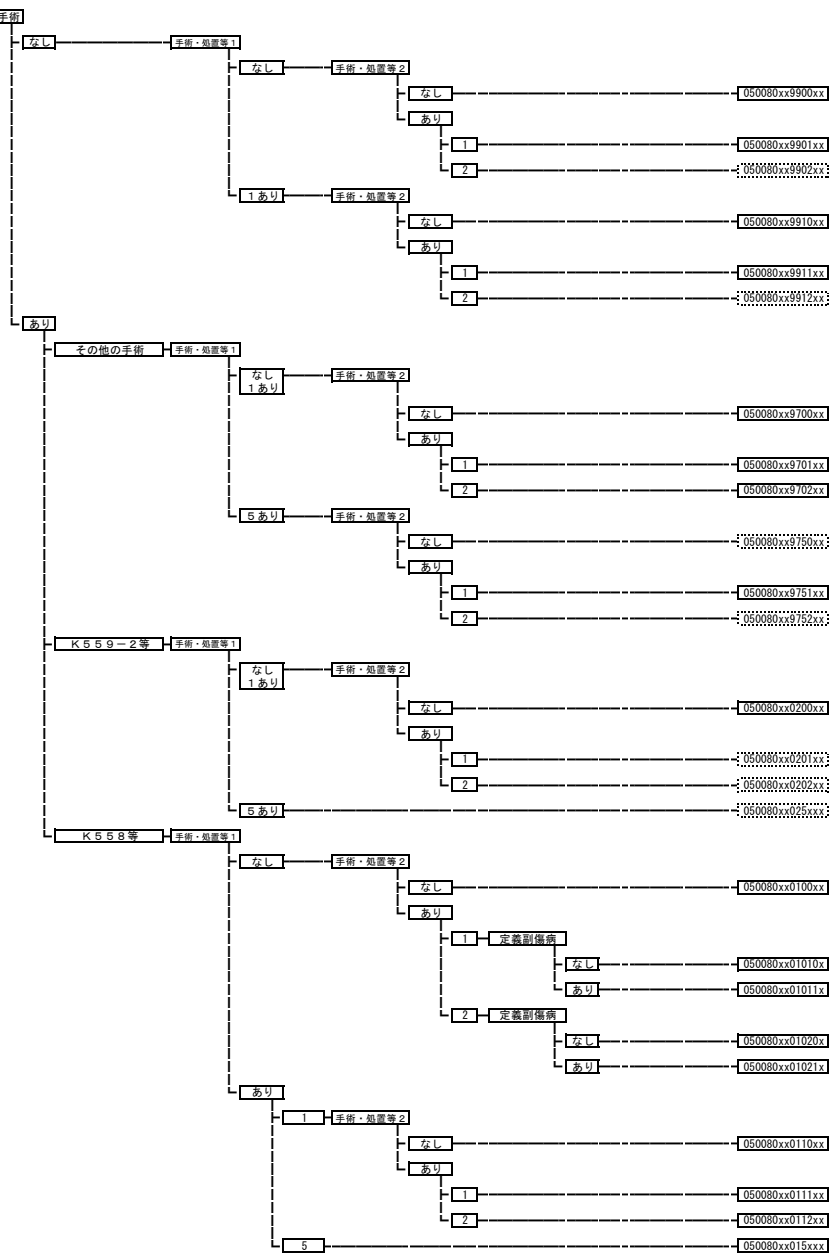


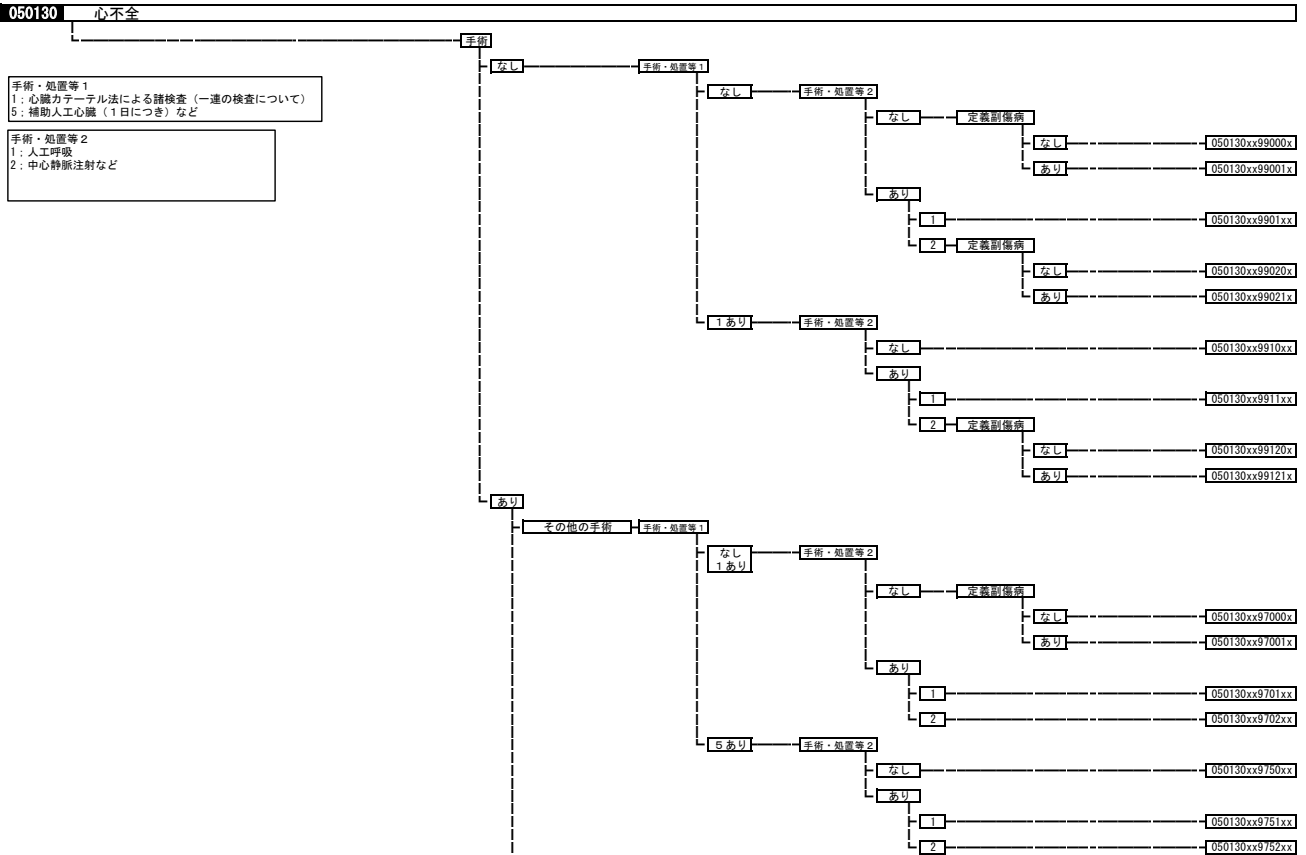
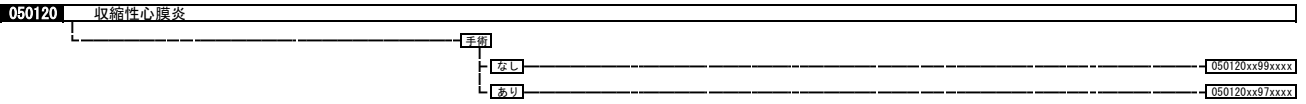
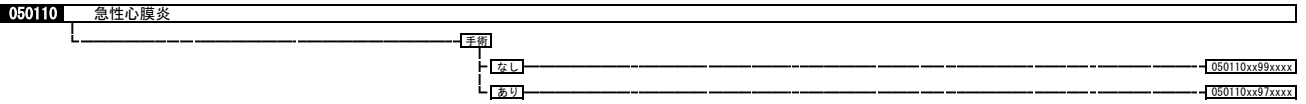
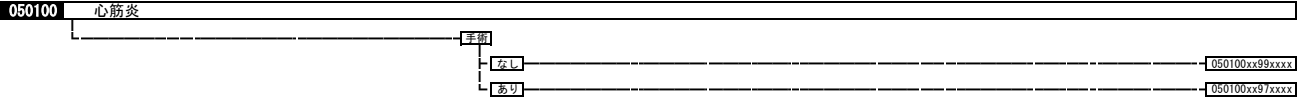
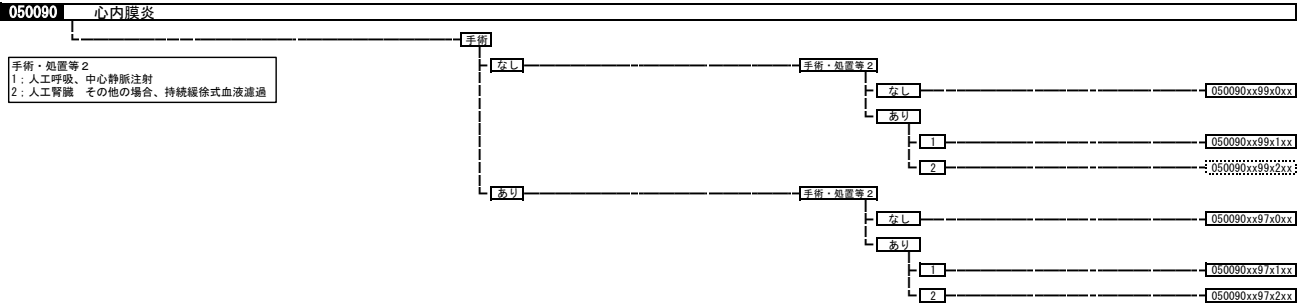


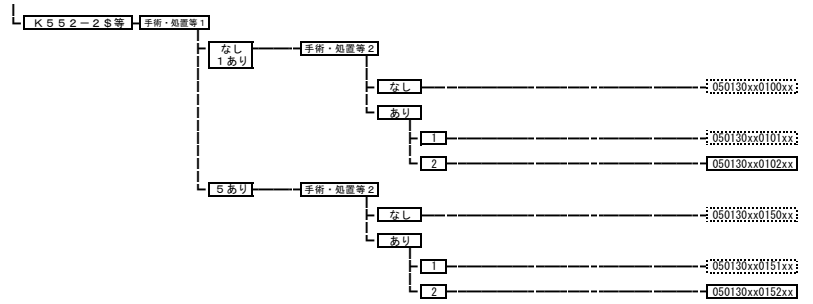
050080 弁膜症（連合弁膜症を含む。）

手術・処置等 1
 1: 心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
 5: 補助人工心臓（1日につき）など

手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 人工腎臓、その他の場合、持続緩和血液濾過

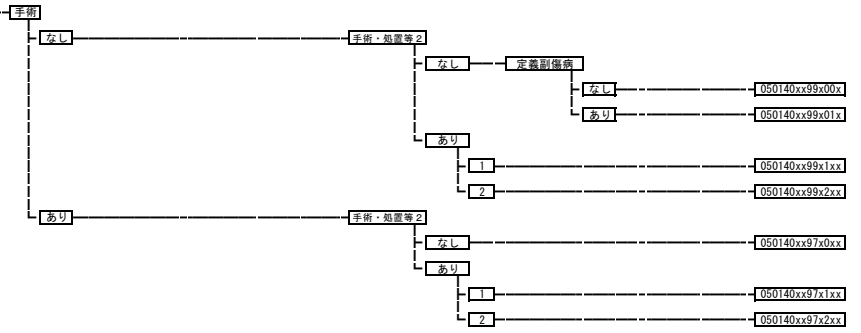






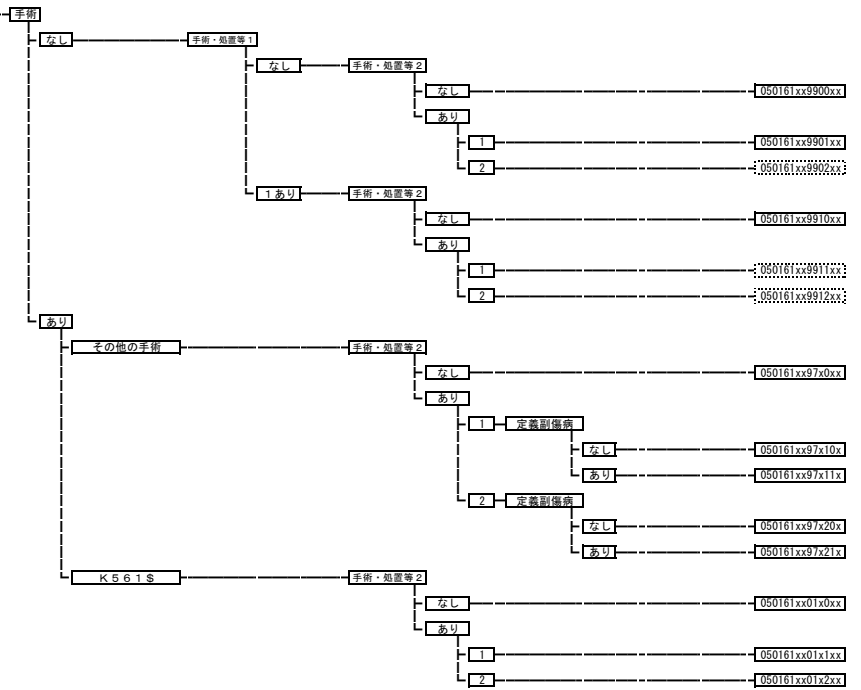
050140 高血圧性疾患

手術・処置等2
1: 人工呼吸
2: 中心静脈注射など



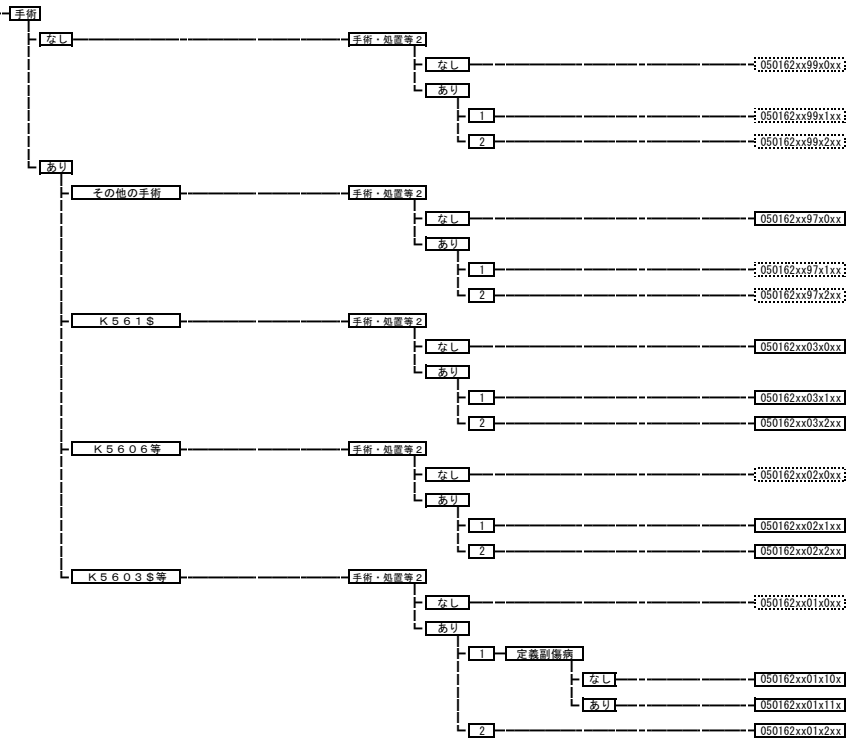
050161 解離性大動脈瘤

手術・処置等2
1: 人工呼吸、中心静脈注射
2: 人工腎臓 その他の場合、持続緩和式血液濾過



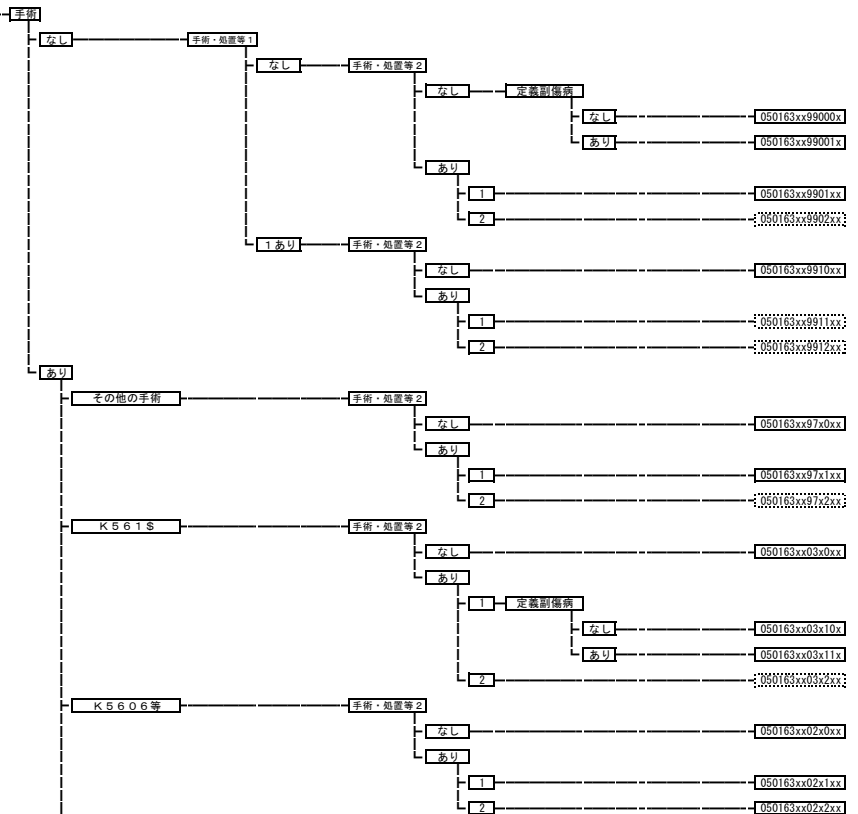
050162 破裂性大動脈瘤

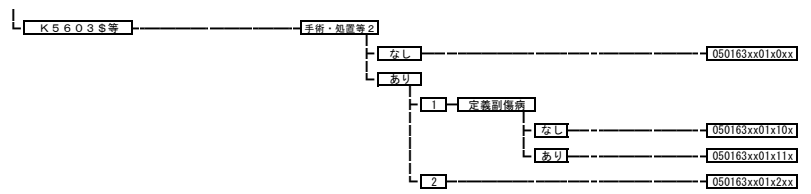
手術・処置等 2
 1:人工呼吸、中心静脈注射
 2:人工腎臓 その他の場合、持続緩徐式血液濾過



050163 非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤

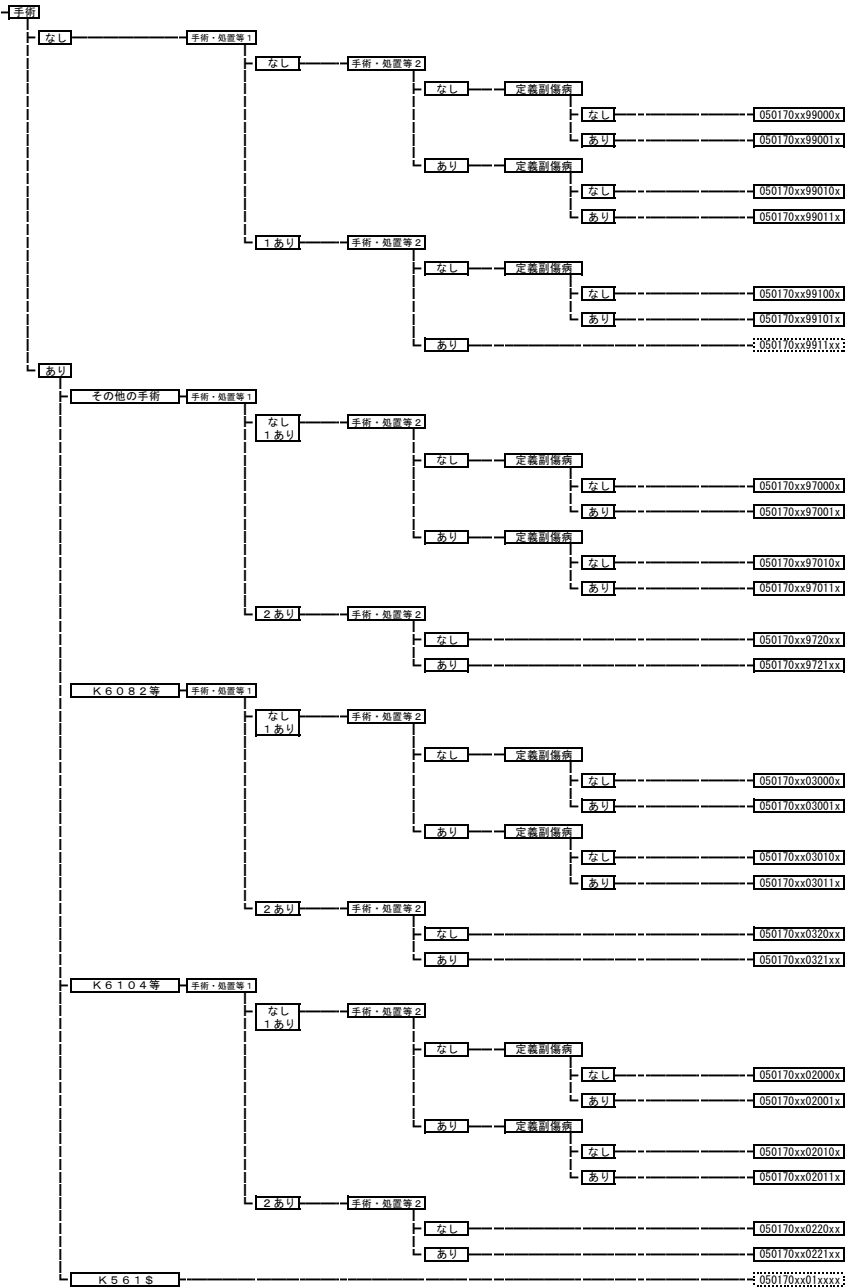
手術・処置等 2
 1:人工呼吸、中心静脈注射
 2:人工腎臓 その他の場合、持続緩徐式血液濾過



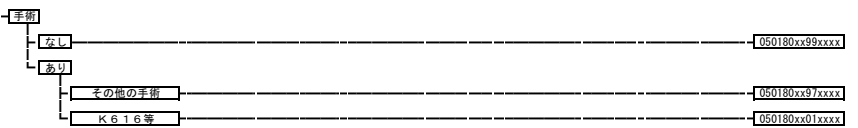


050170 閉塞性動脈疾患

手術・処置等1
 1: 心臓カテーテル法による腫検査（一連の検査について）
 2: 断端形成術（骨形成を要するもの）など



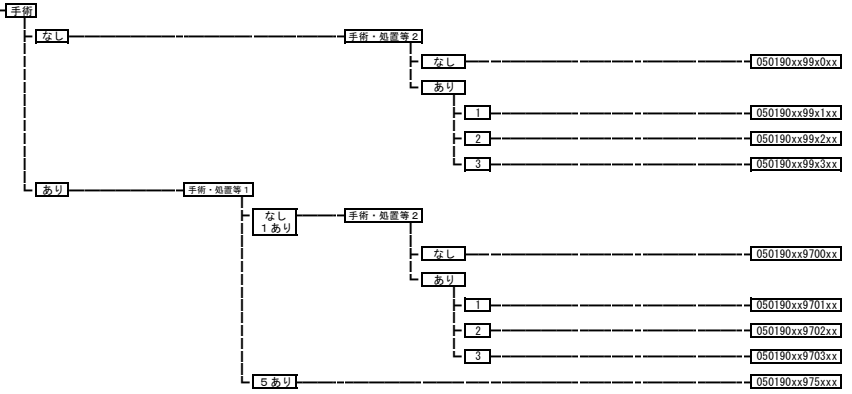
050180 静脈・リンパ管疾患



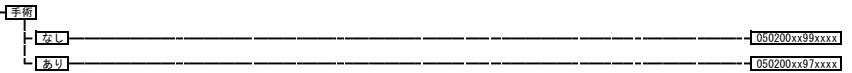
050190 肺塞栓症

手術・処置等 1
1: 心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
5: 補助人工心臓（1日につき）など

手術・処置等 2
1: 人工呼吸など
2: S P E C T、シンチグラム
3: t PA



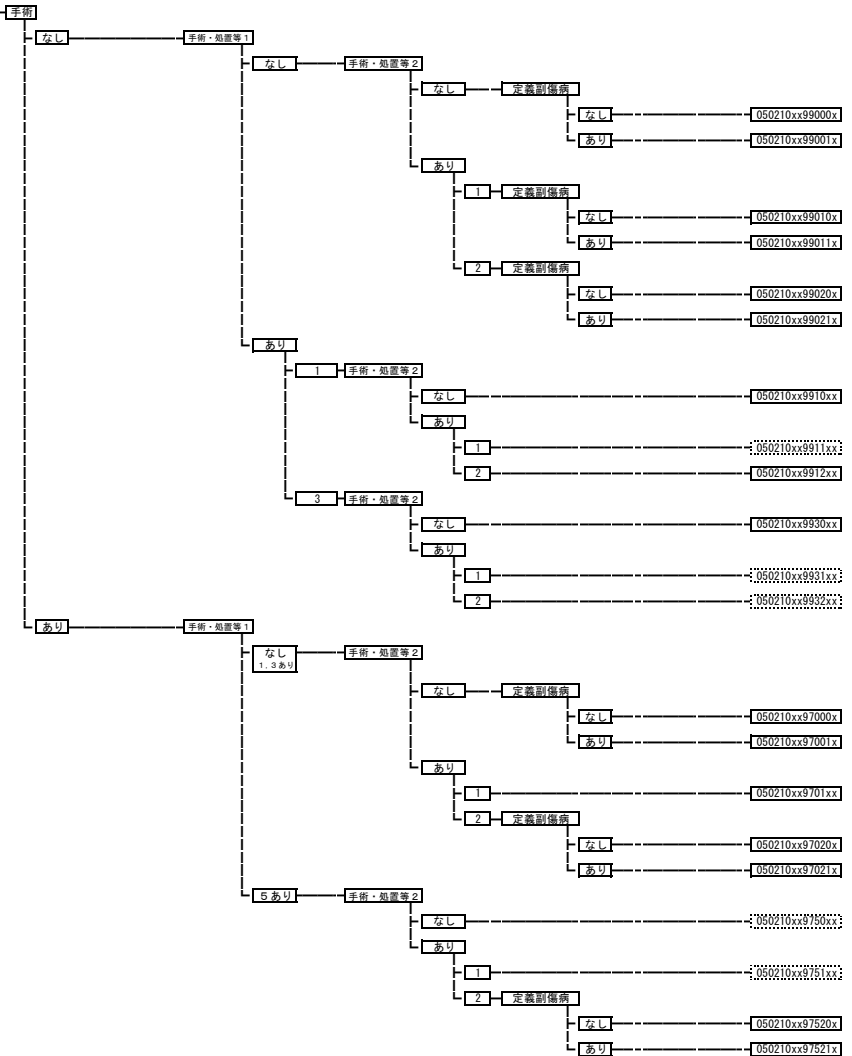
050200 循環器疾患（その他）



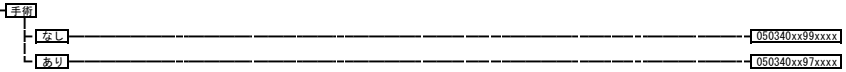
050210 徐脈性不整脈

手術・処置等 1
1: 心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
3: 心臓電気生理学的検査
5: 補助人工心臓（1日につき）など

手術・処置等 2
1: 人工呼吸
2: 中心静脈注射など

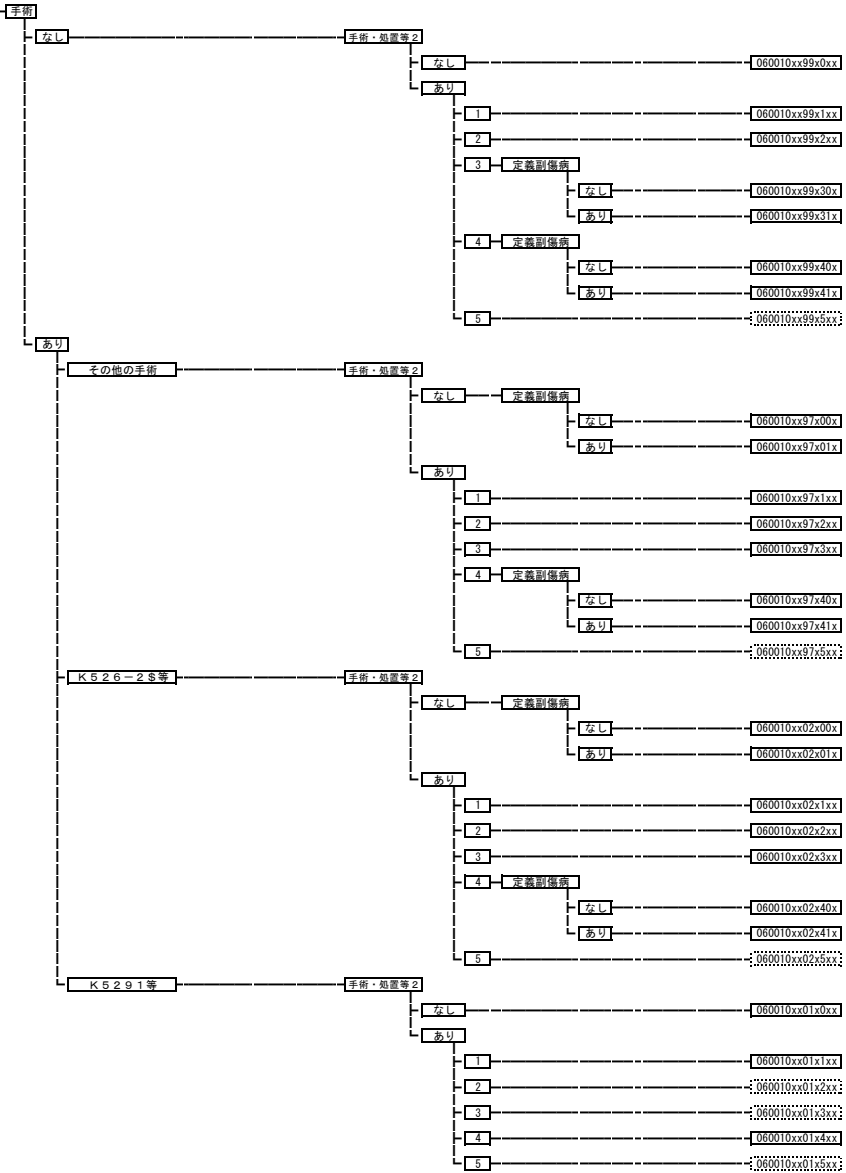


050340 その他の循環器の障害



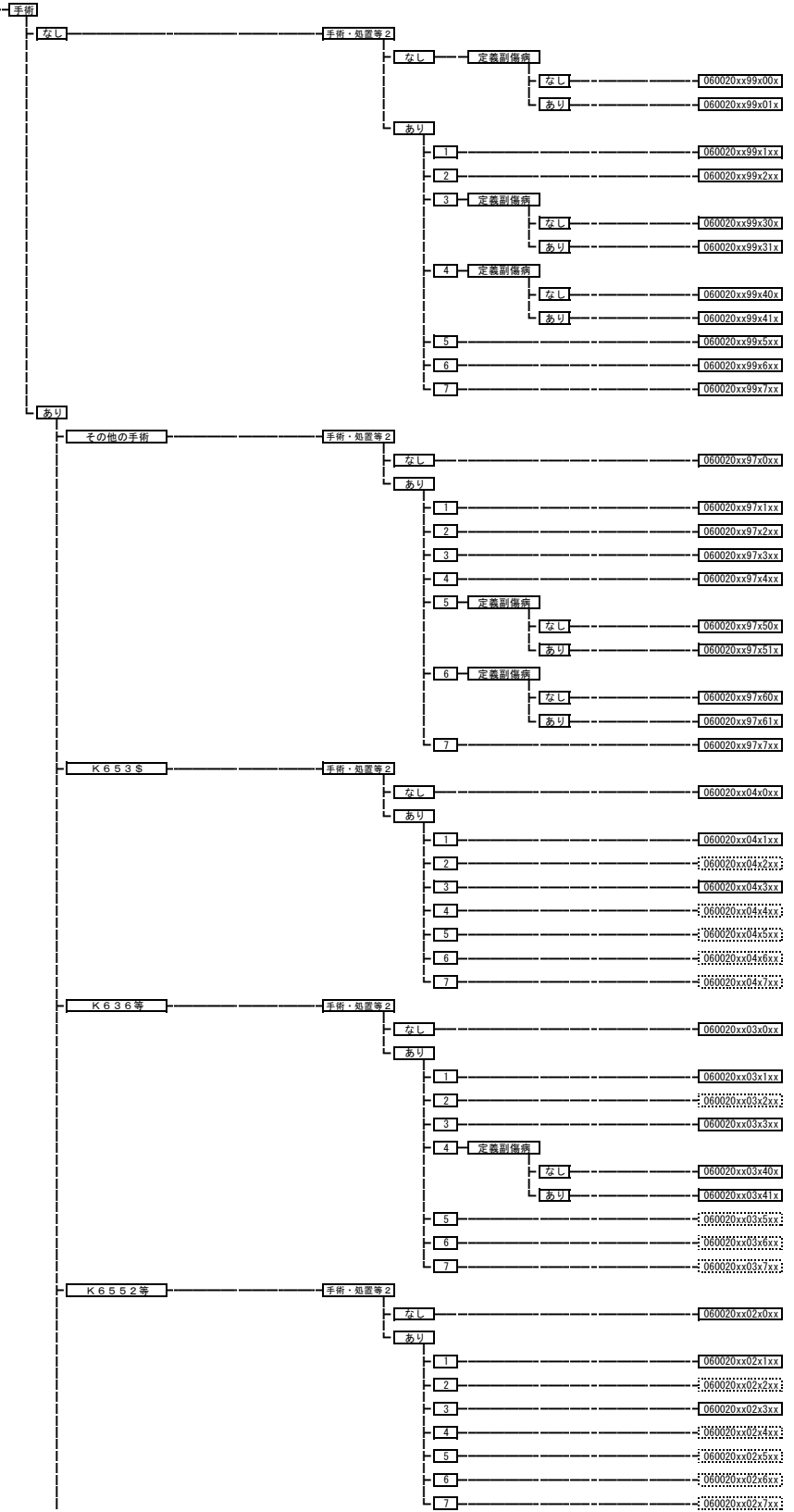
060010 食道の悪性腫瘍（頸部を含む。）

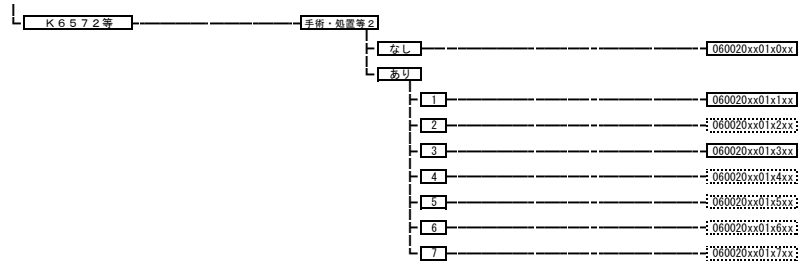
手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: ニボルマブ



060020 胃の悪性腫瘍

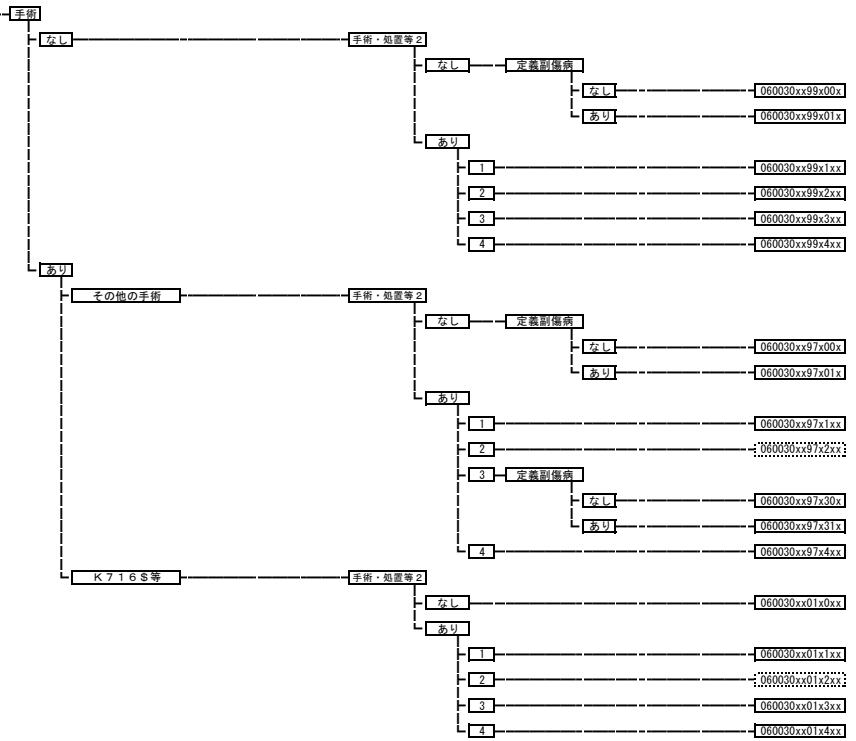
- 手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: ドセタキセル水和物、パクリタキセル
 5: オキサリプラチン
 6: トラスツズマブ
 7: ラムシルマブ





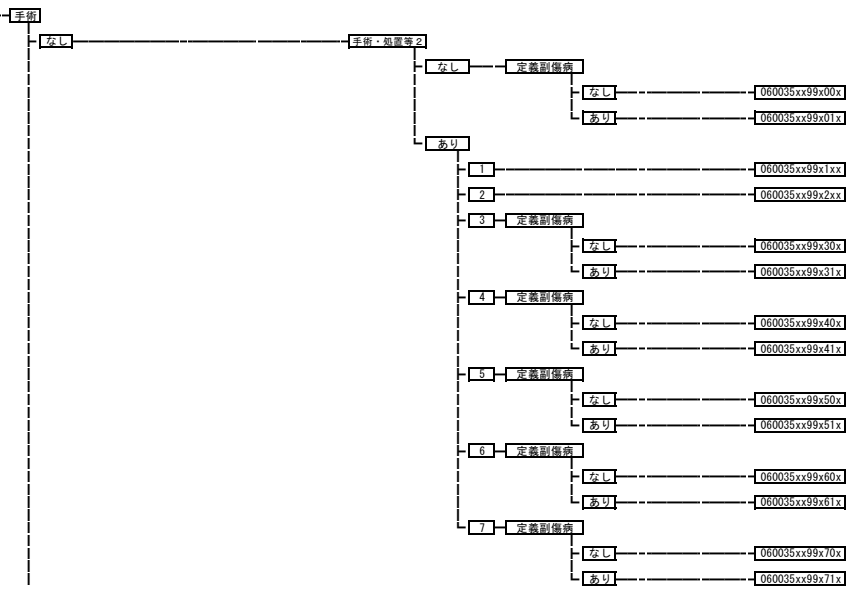
060030 小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍

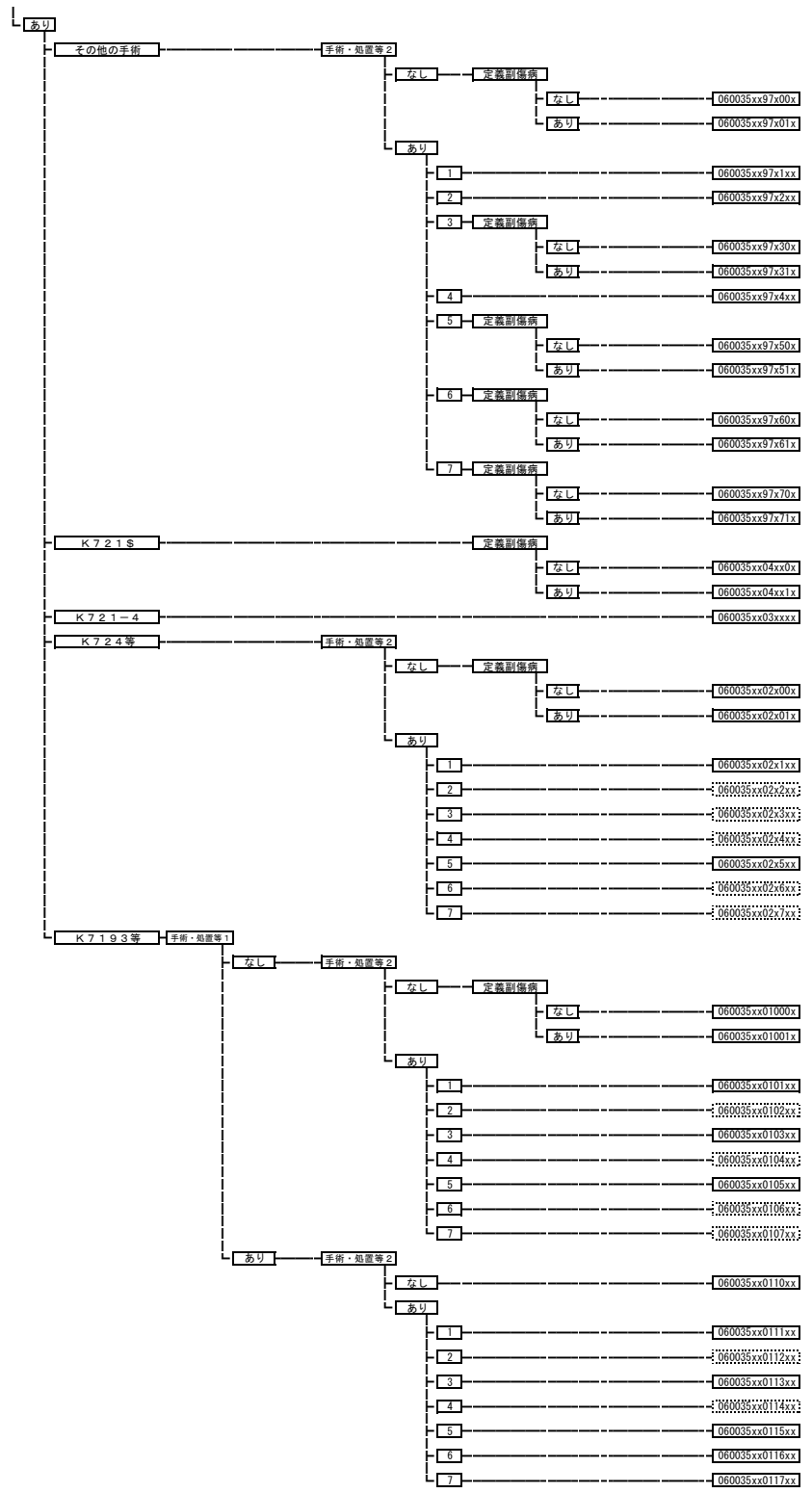
手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: カルボプラチン/パクリタキセルあり
 カルボプラチン/ドセタキセル水和物あり



060035 結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍

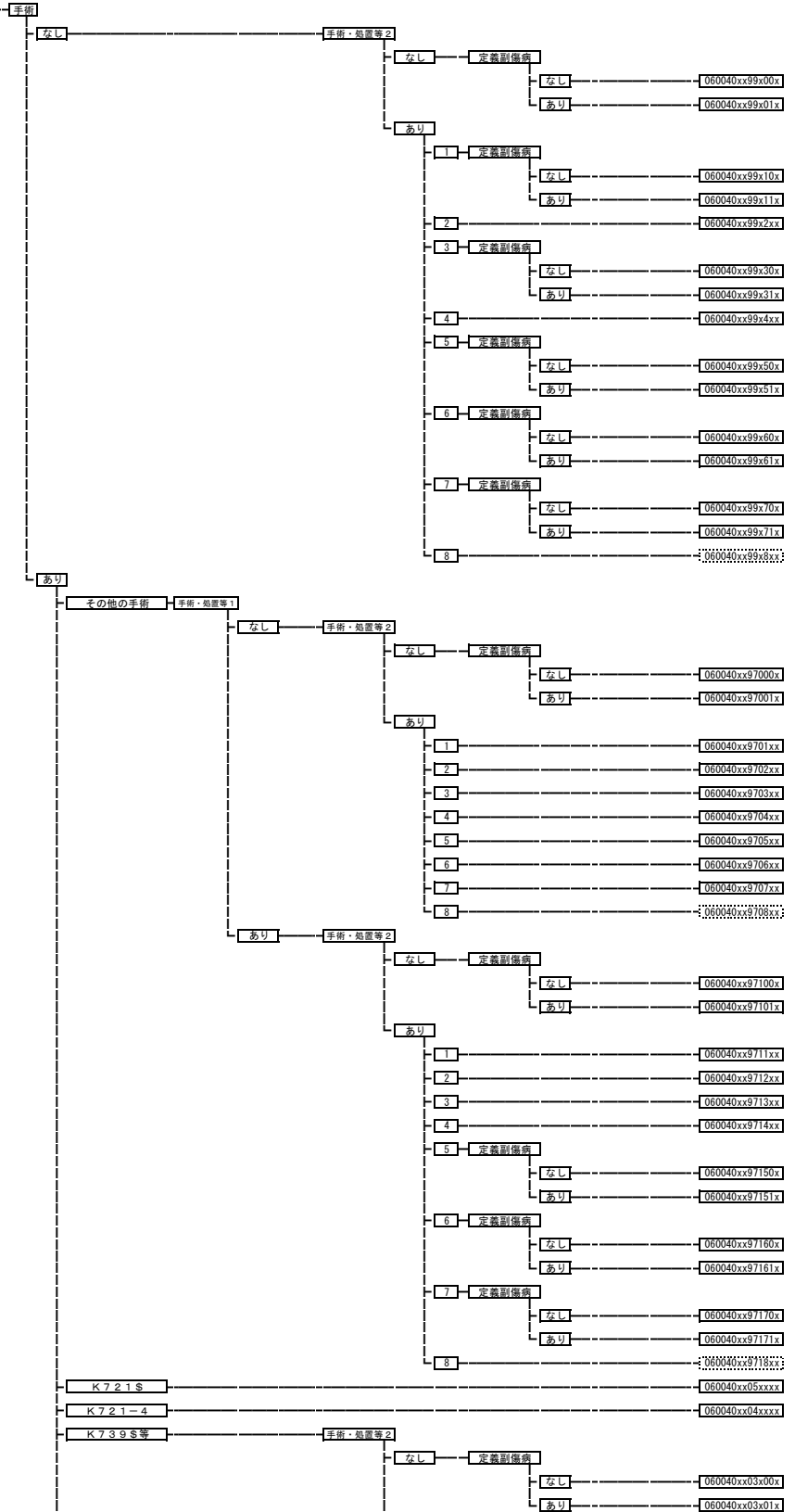
手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし、トリフルリジン・チピラシル塩酸塩
 4: フルオロウラシル/レボホリナートカルシウム
 イリノテカン塩酸塩水和物あり
 5: オキサリプラチン
 6: ベバシズマブ
 7: セツキシマブなど





060040 直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍

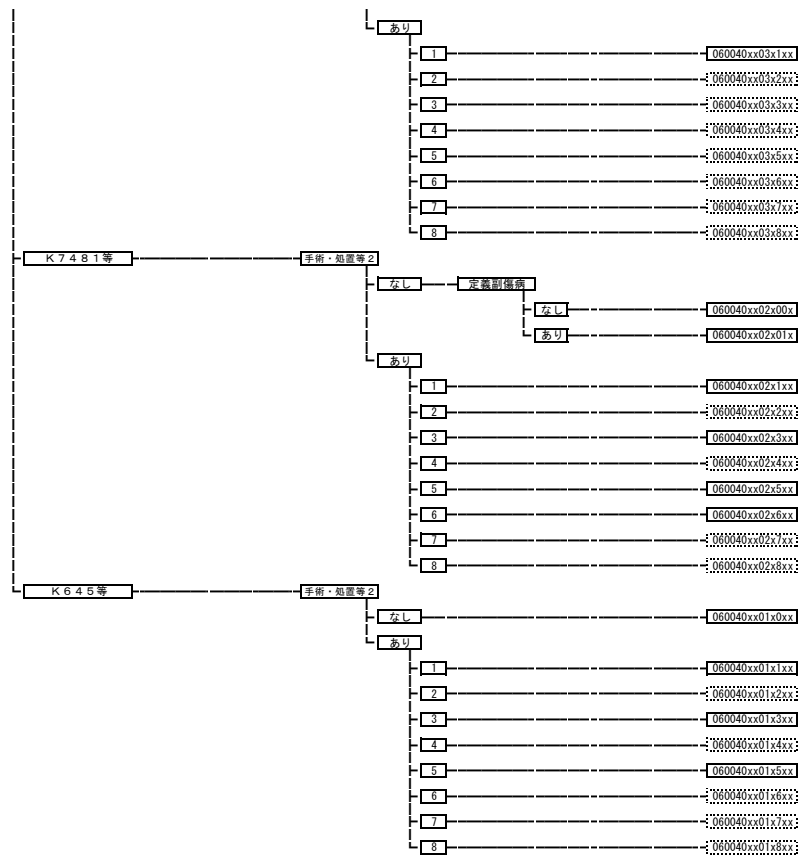
手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり、
 化学療法ありかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし、
 トリフルリジン・チバラシル塩酸塩
 4: フルオロウラシル/レボホリチン/サートカルシウム
 イリリノテカン塩酸塩水和物あり
 5: オキサリプラチン
 6: ベバシマブ
 7: セツキシマブなど
 8: ニボルマブ



K721S

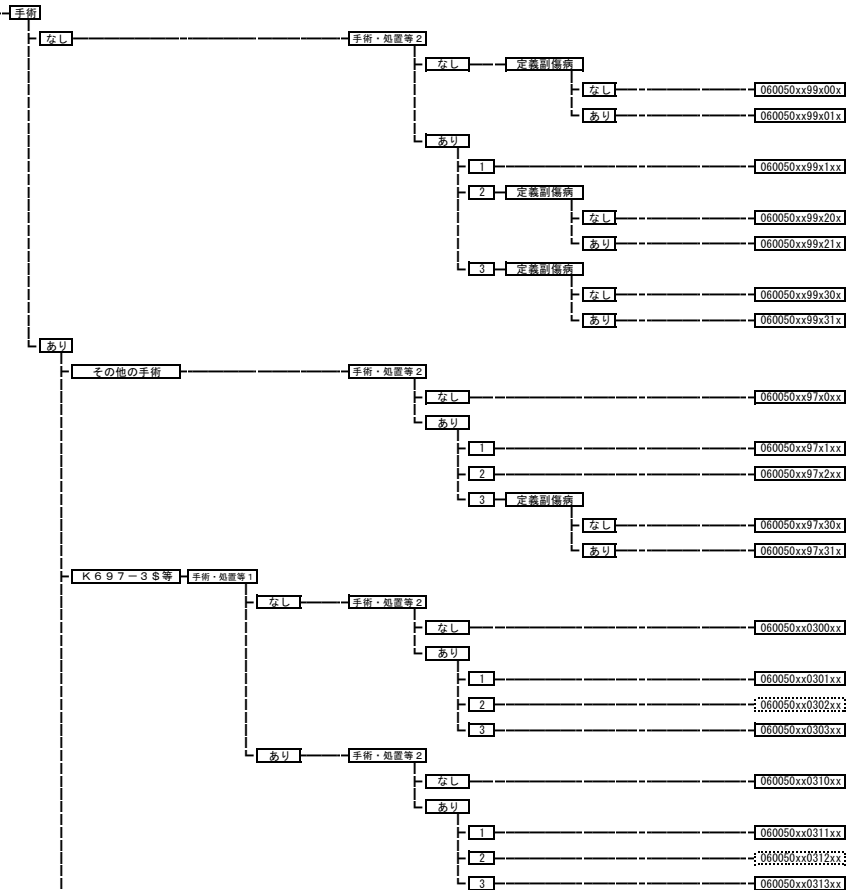
K721-4

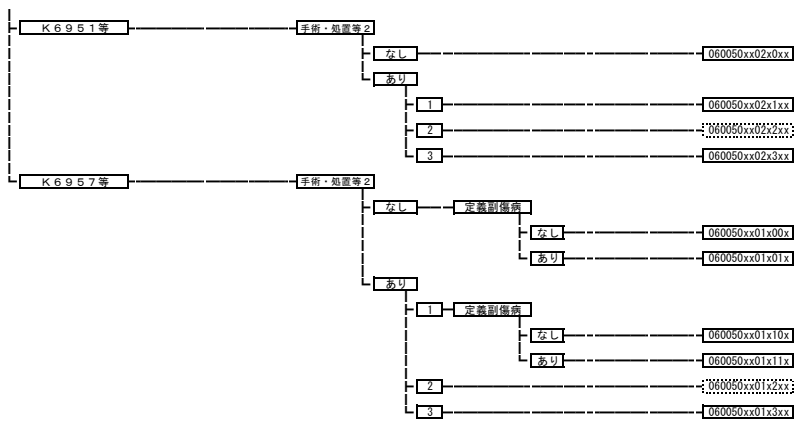
K739S等



060050 肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）

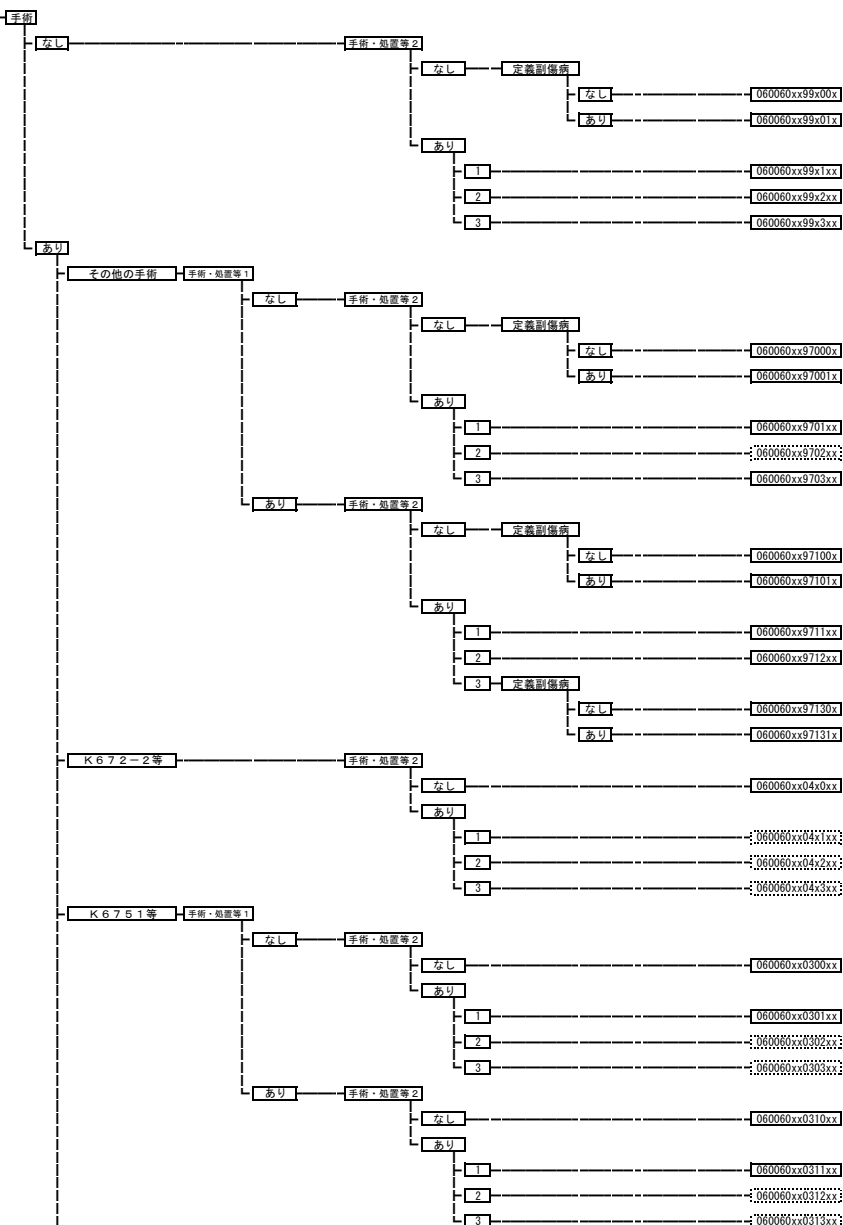
手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 放射線療法
 3: 化学療法

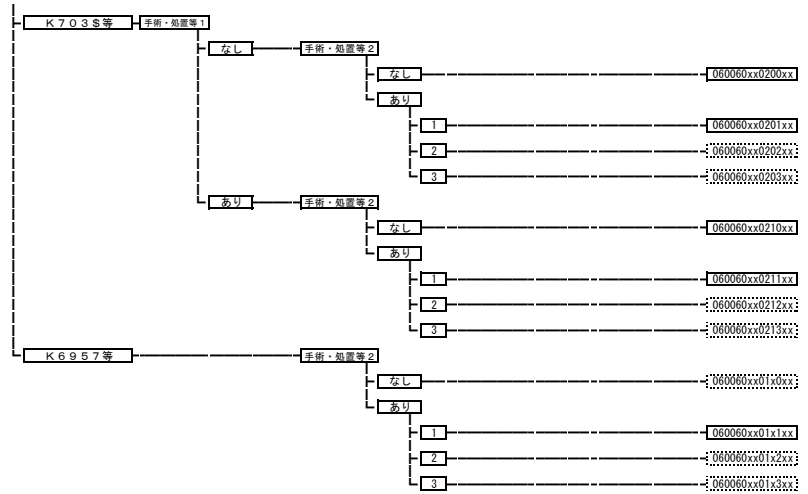




060060 胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍

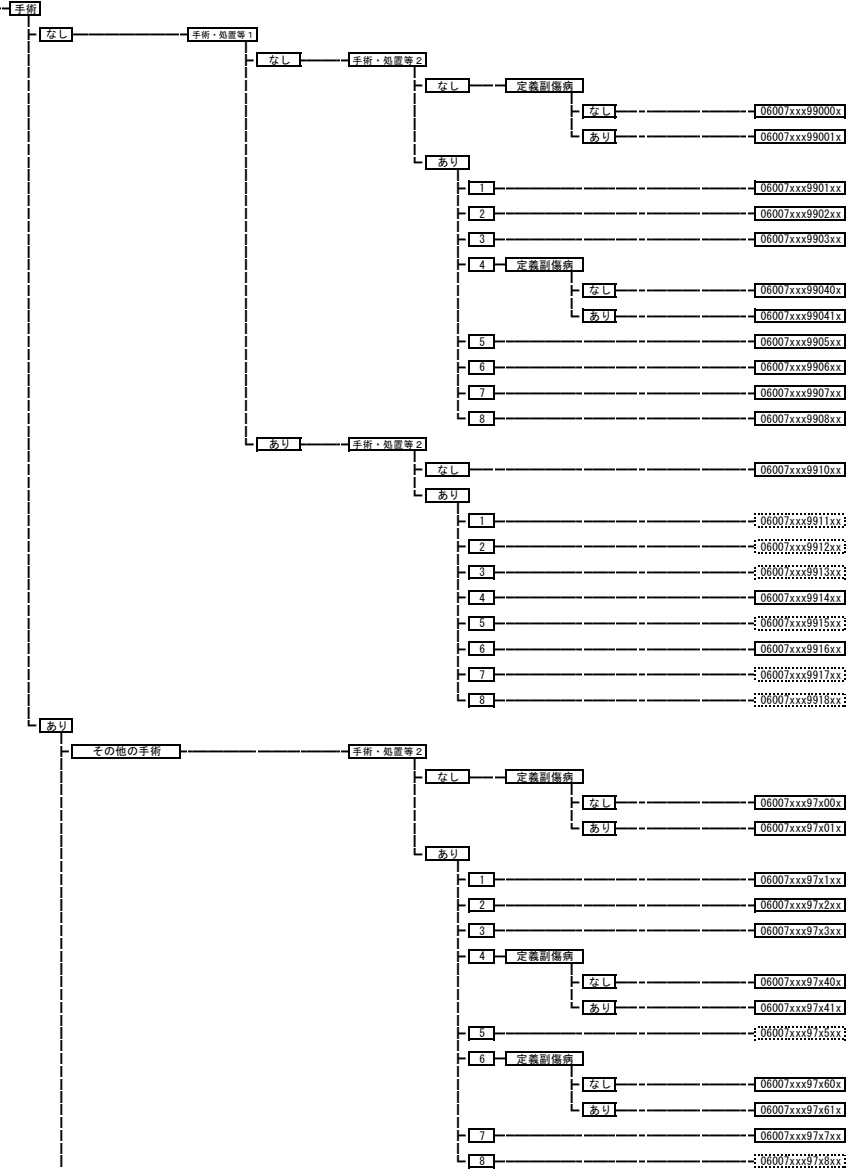
手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 放射線療法
 3: 化学療法

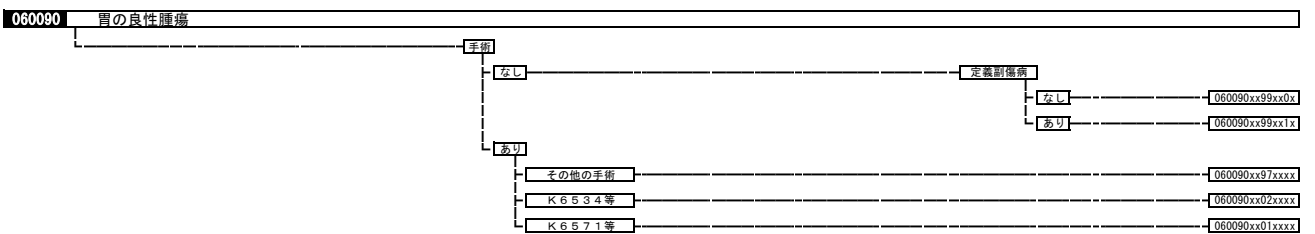
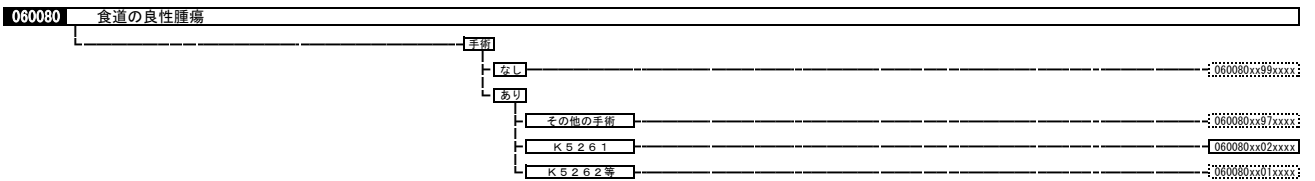
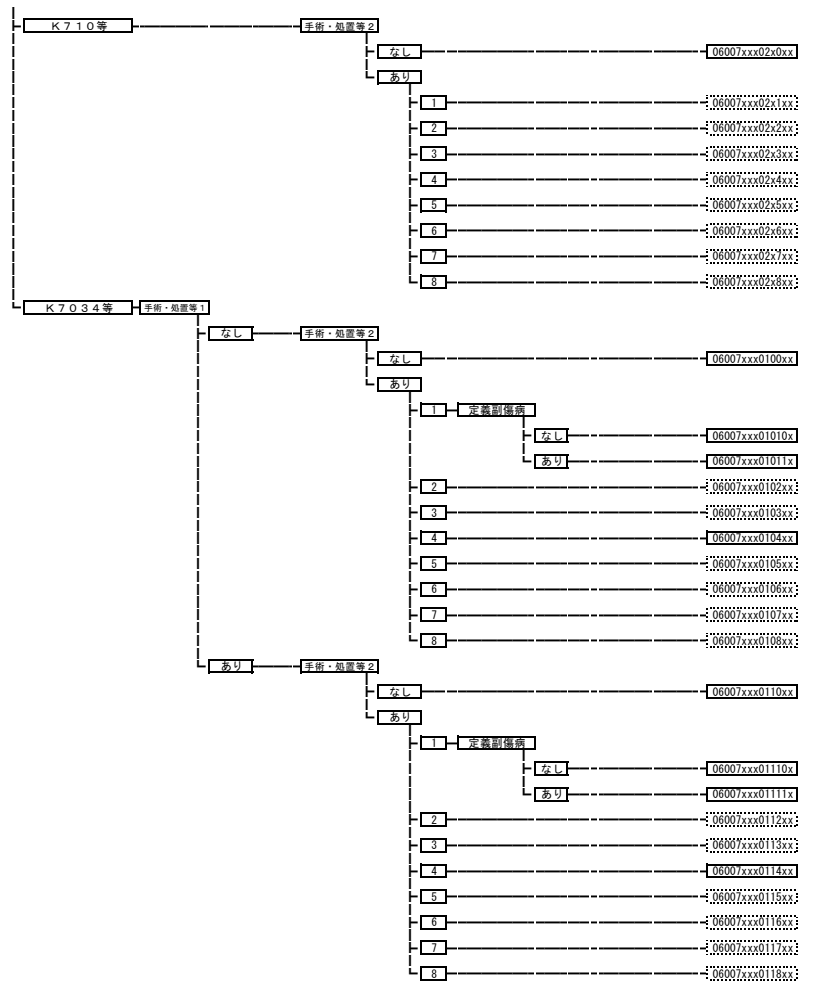




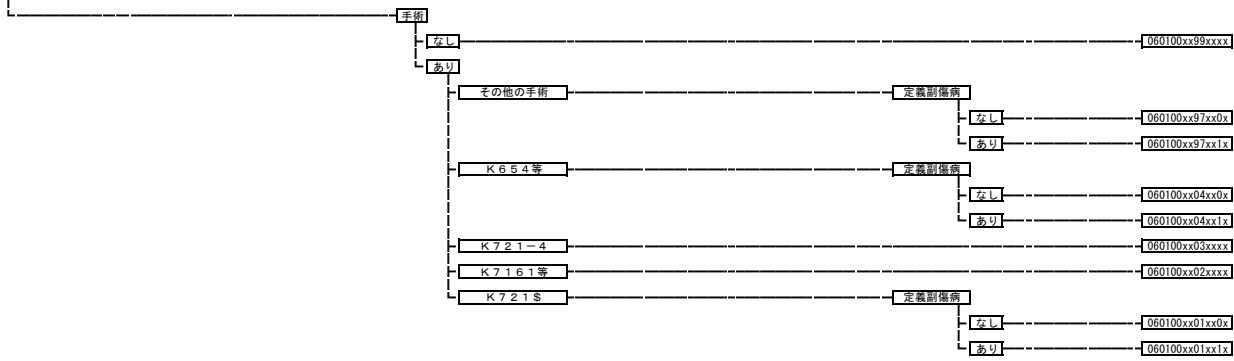
06007x	膀胱、脾臓の腫瘍
	060071 膀胱の腫瘍
	060072 脾臓の腫瘍

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: エペロリムス、スニチニブリンコ酸
 6: バウリタキセル (アルブミン結合型)
 7: フルオロウラシル+レボホリチン+オキサリプラチンあり
 8: オクトレオチド酢酸塩徐放性

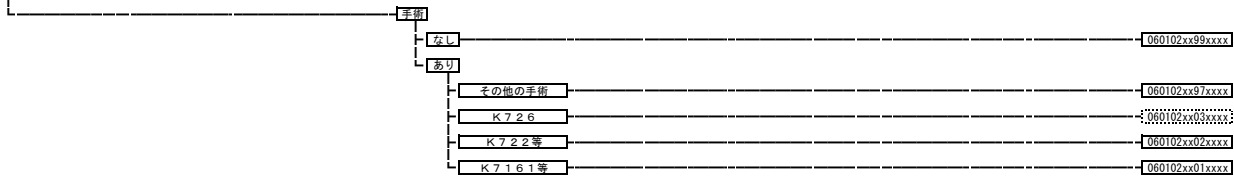




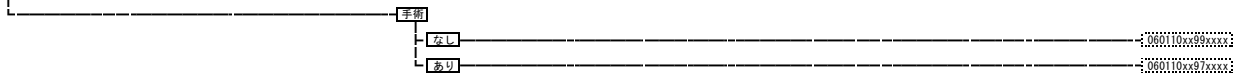
060100 小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）



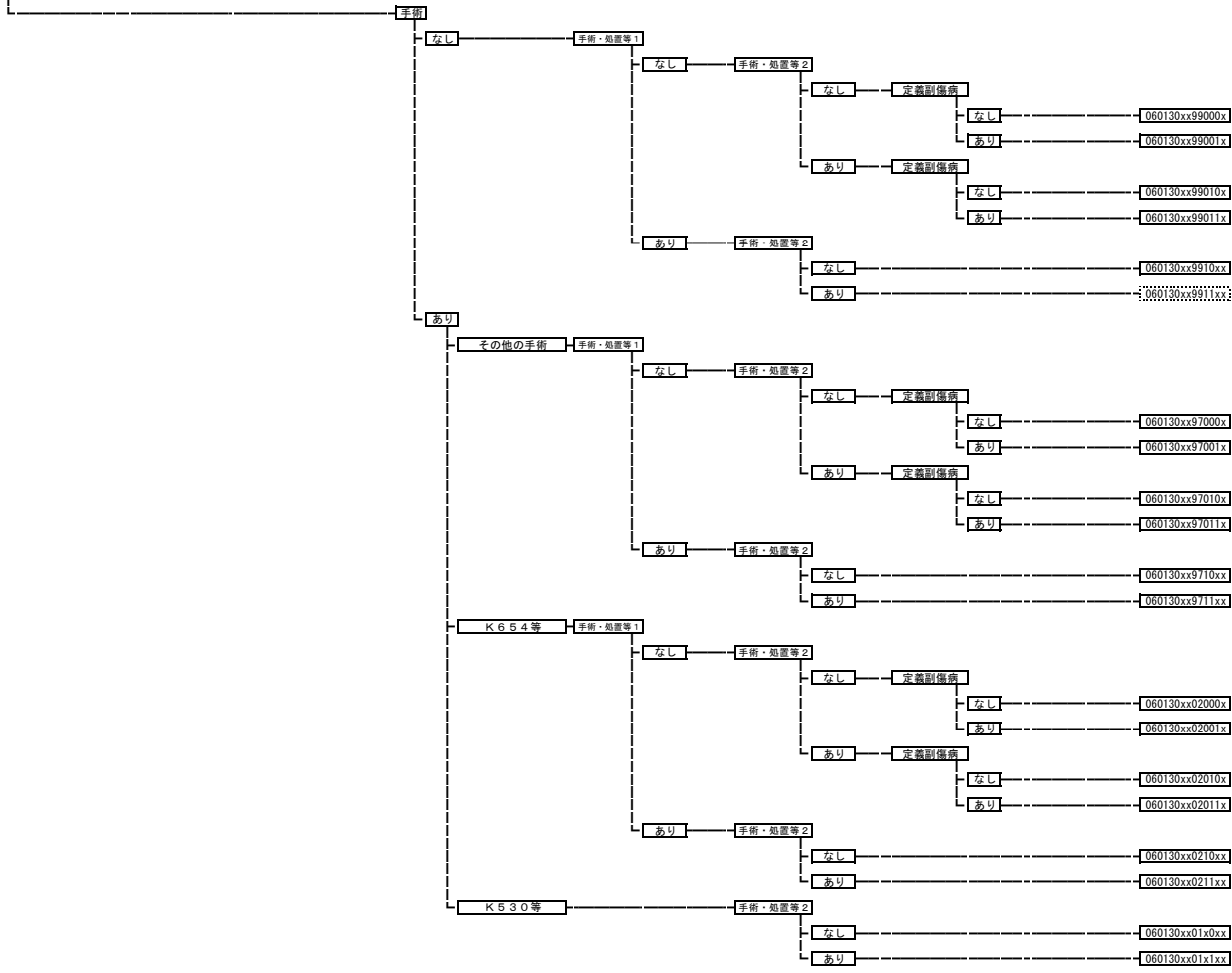
060102 穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患

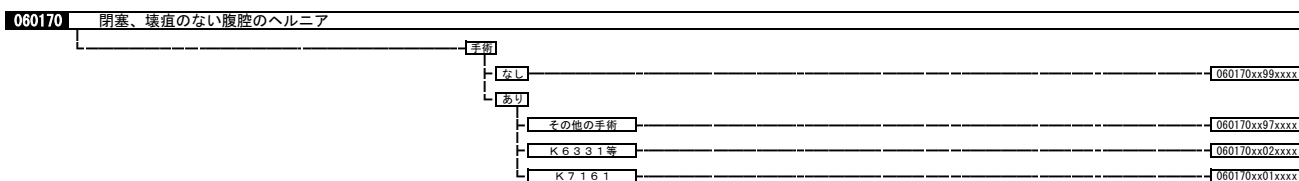
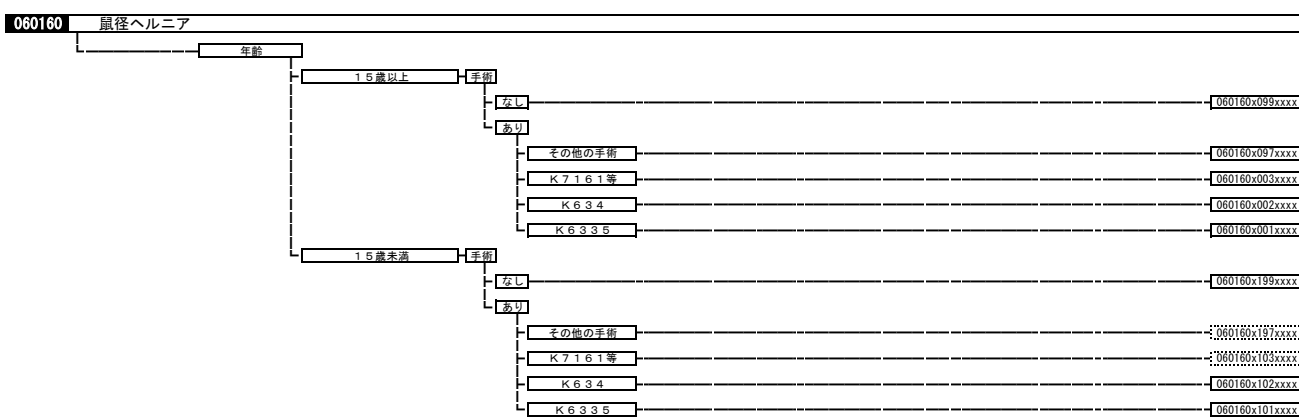
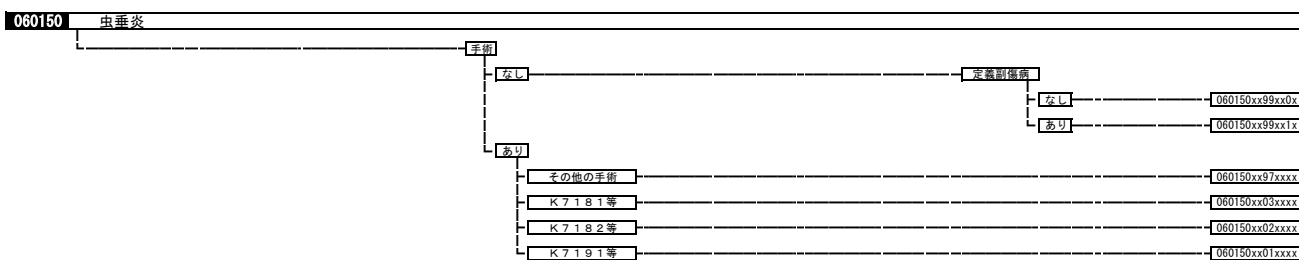
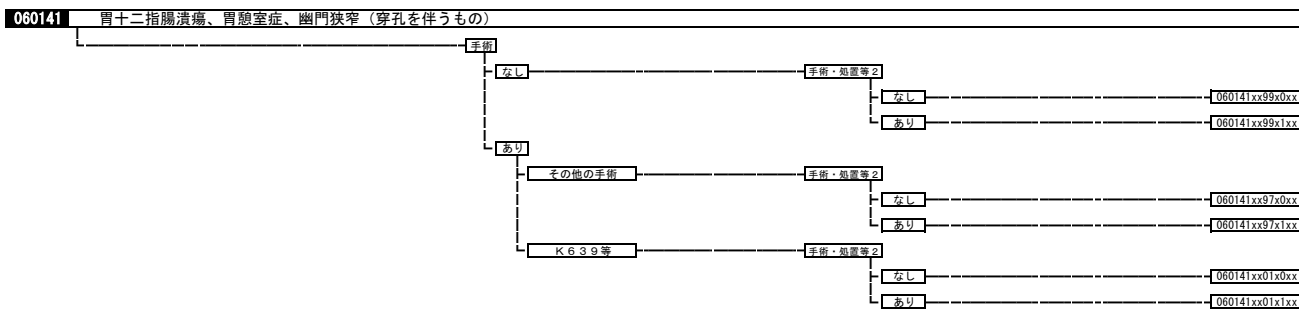
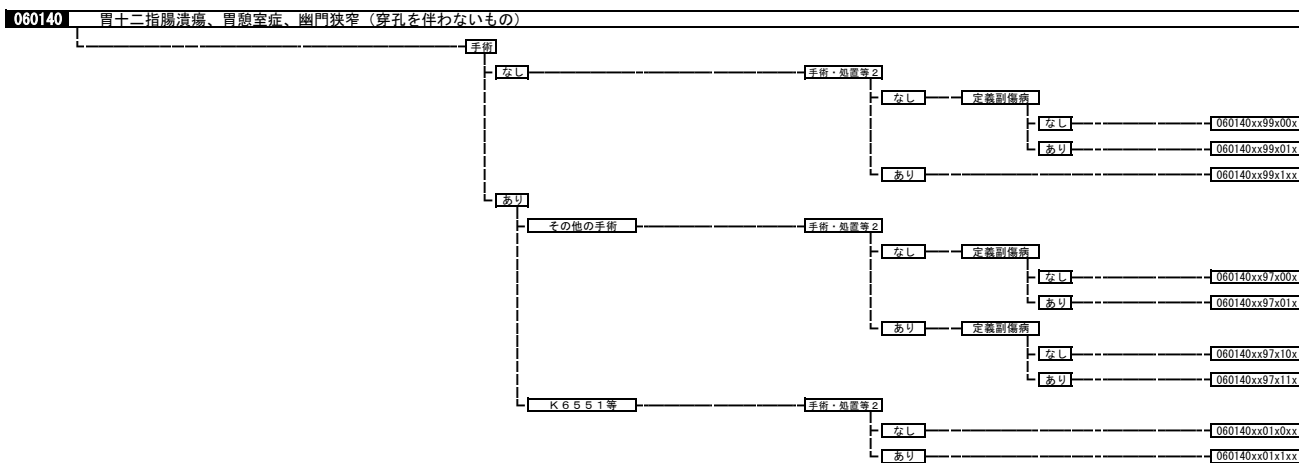


060110 肝の良性腫瘍



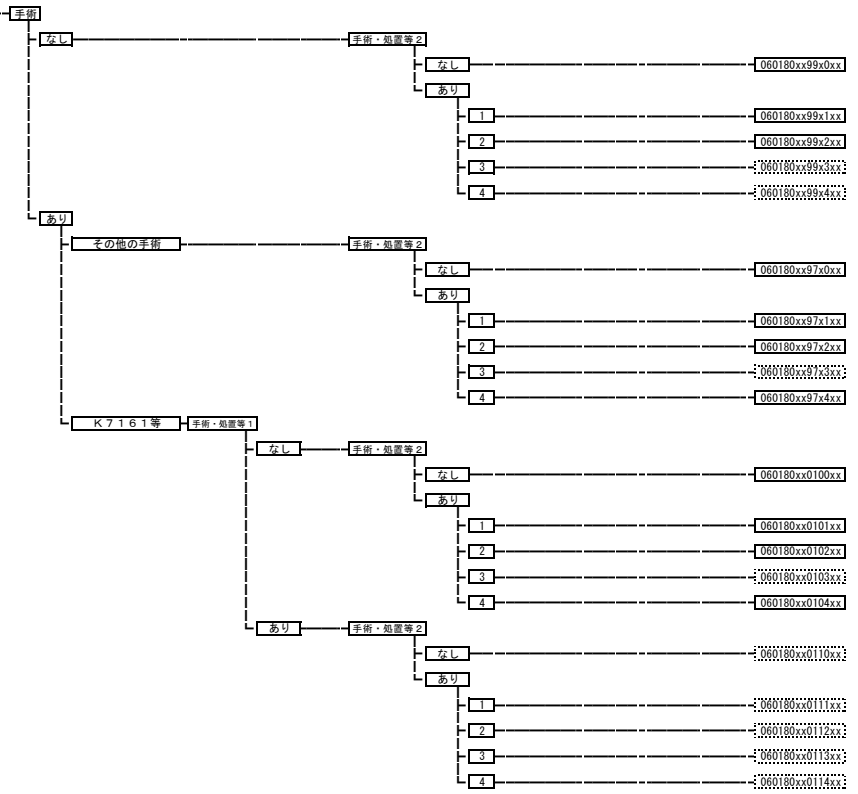
060130 食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）





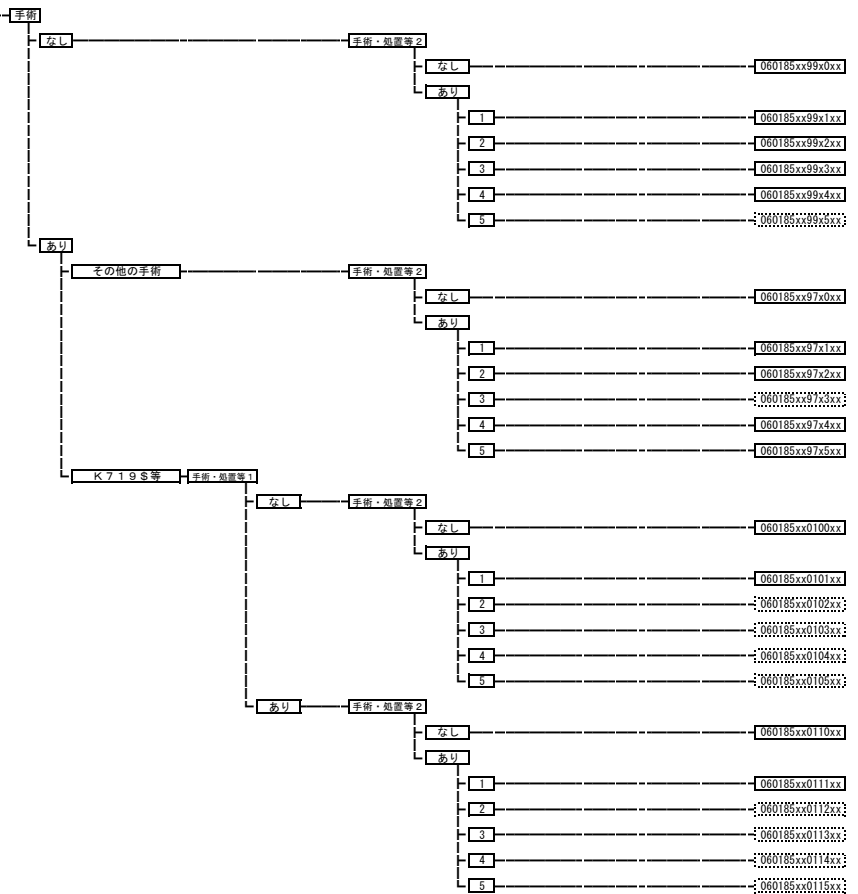
060180 クローン病等

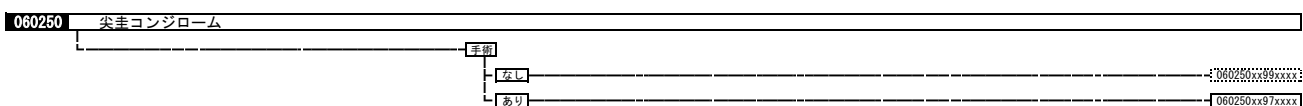
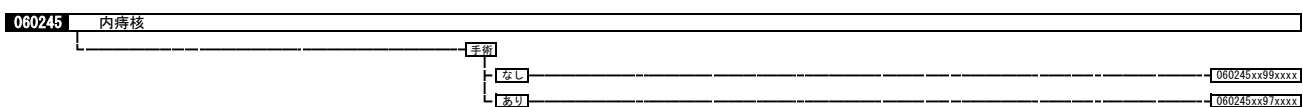
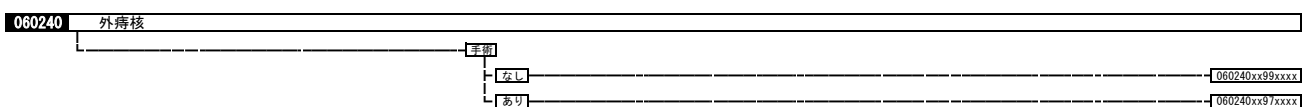
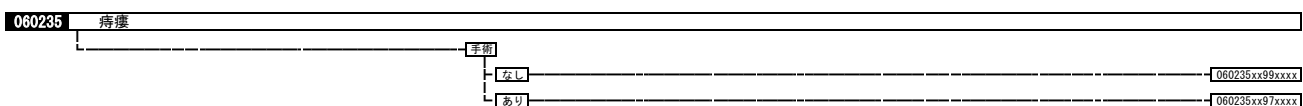
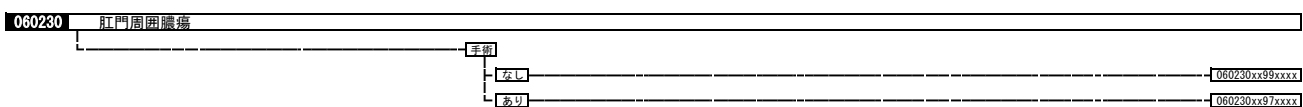
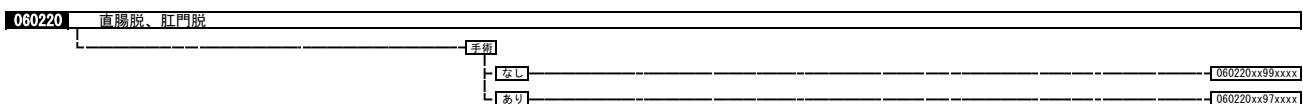
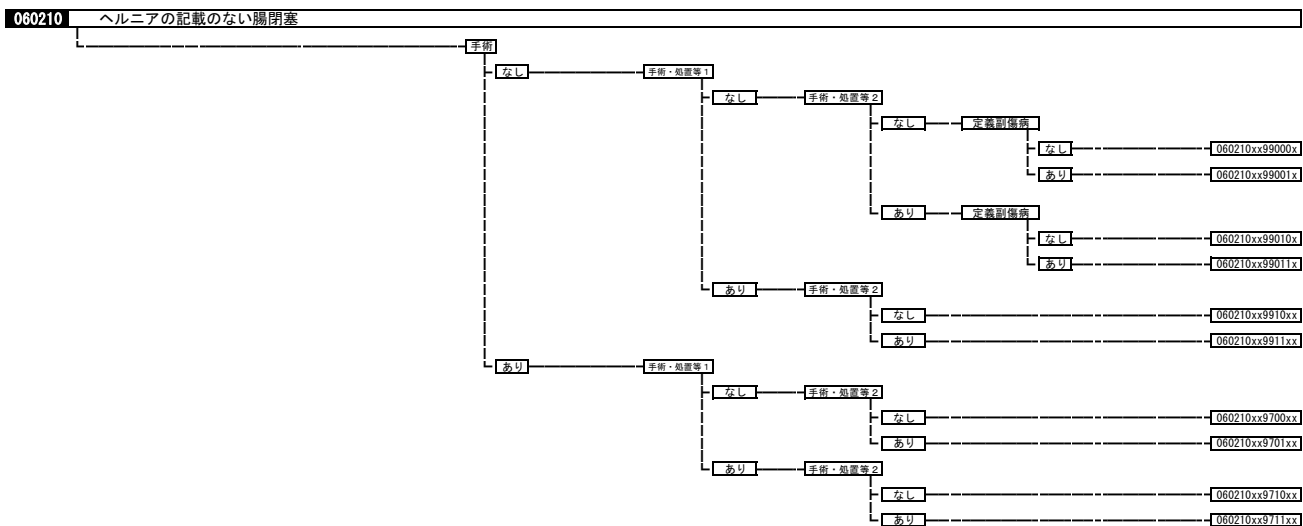
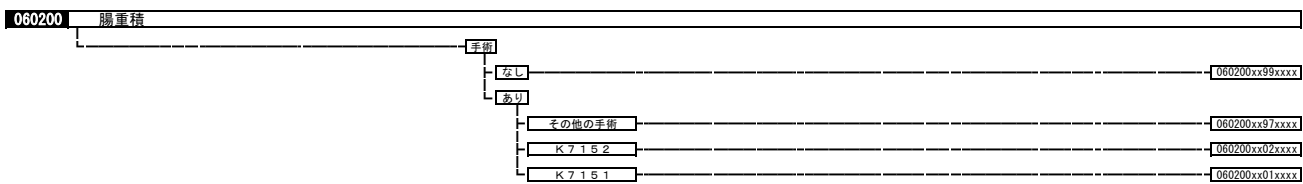
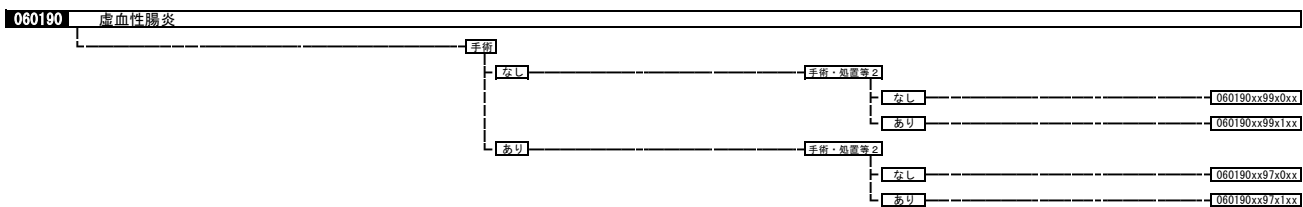
手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: アダリムマブ
 3: 血球成分除去療法
 4: インフリキシマブ

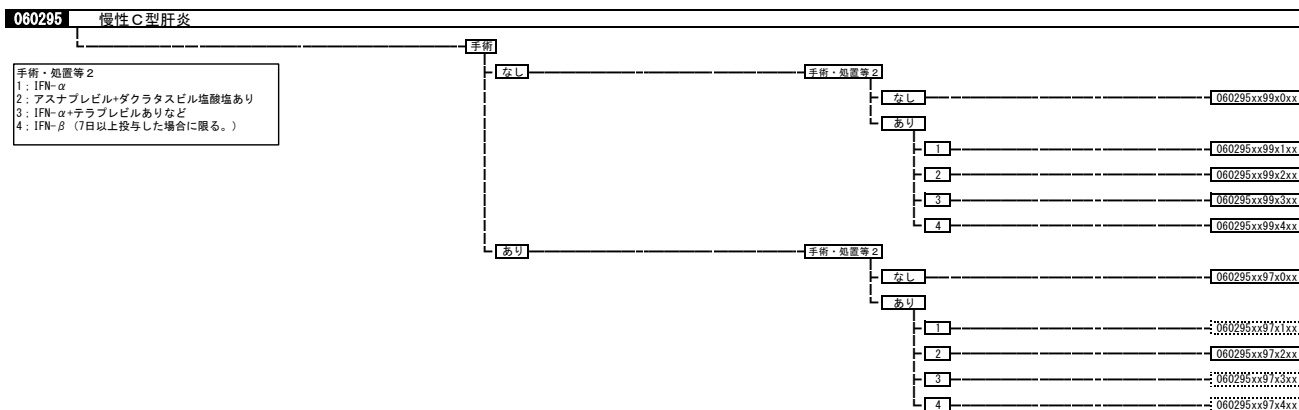
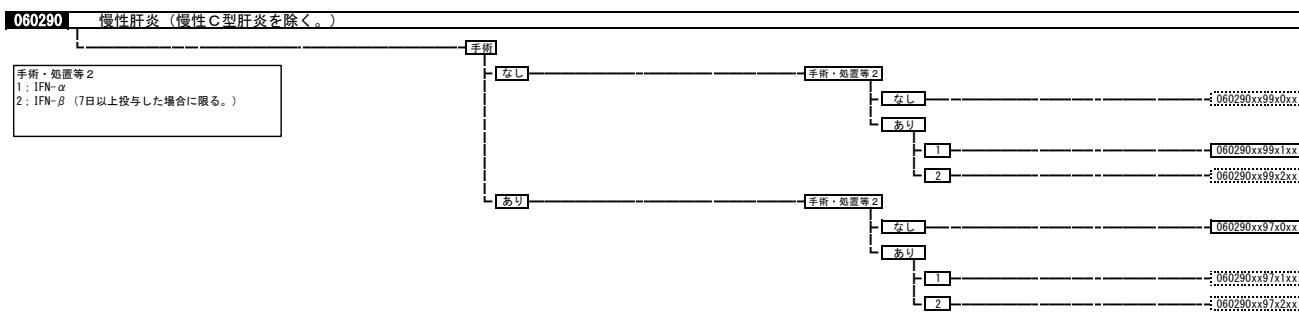
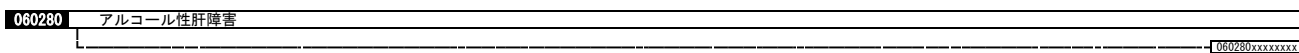
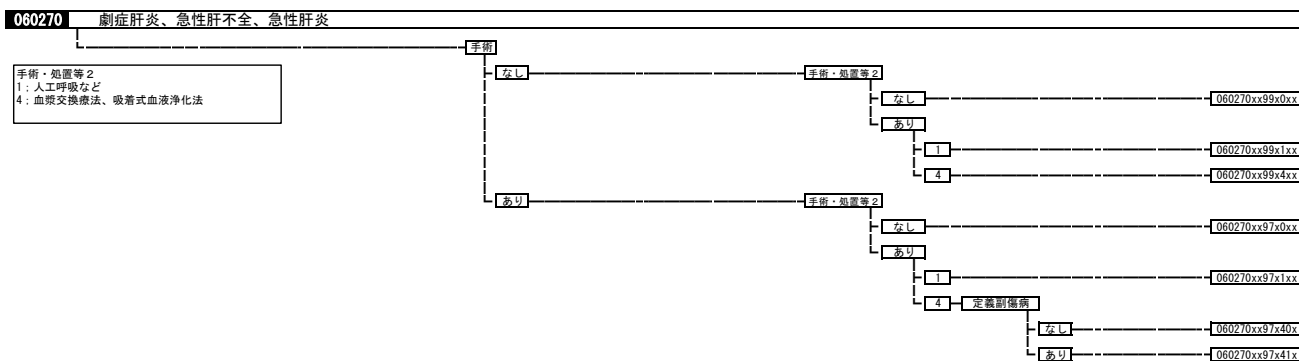
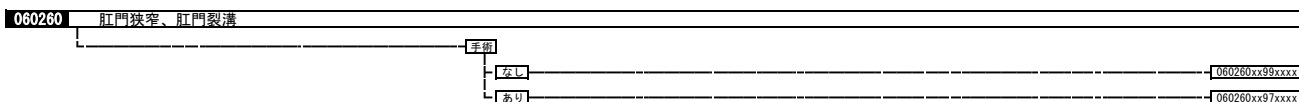


060185 潰瘍性大腸炎

手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: タクロリムス (外用薬を除く。)、アザチオプリン
 3: アダリムマブ
 4: 血球成分除去療法
 5: インフリキシマブ

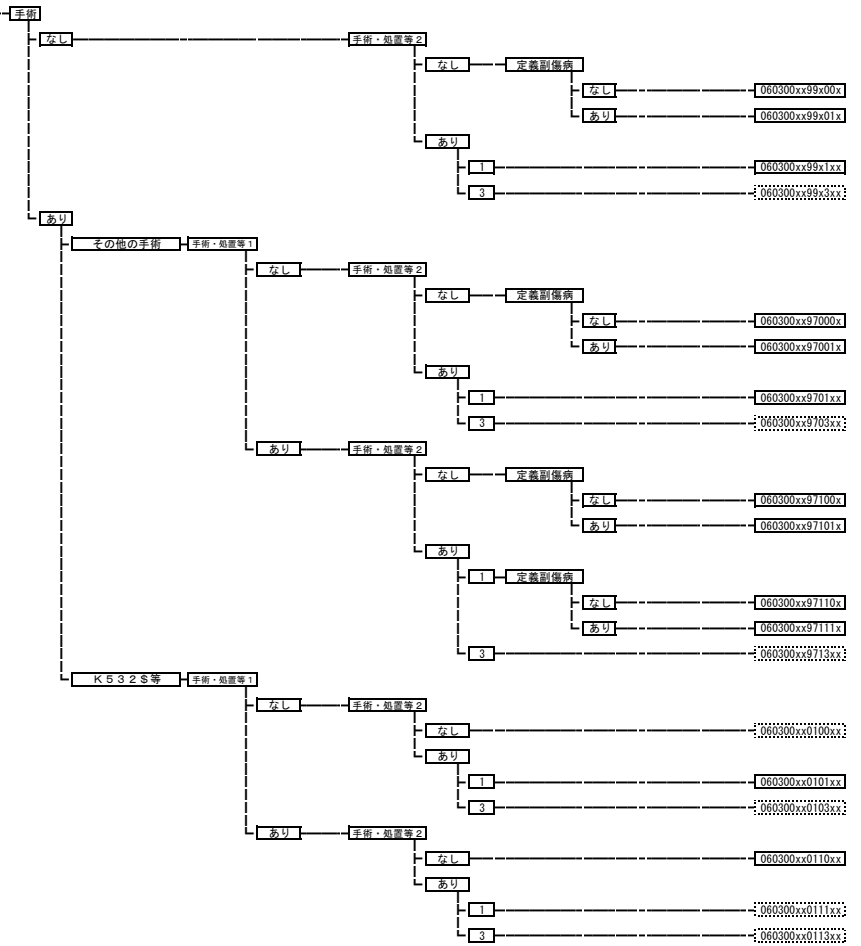




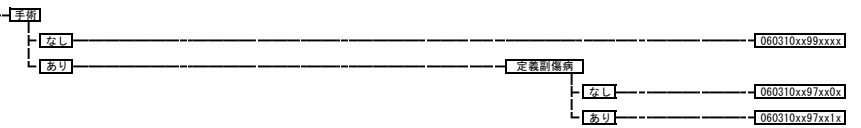


060300 肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。）

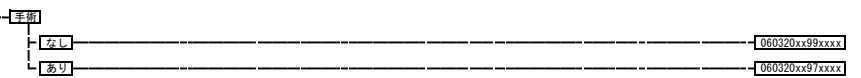
手術・処置等 2
1:人工呼吸など
3:血漿交換療法、吸着式血液浄化法



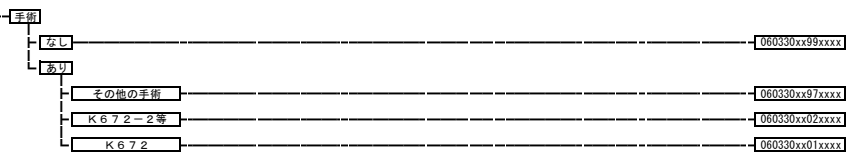
060310 肝膿瘍（細菌性・寄生虫性疾患を含む。）



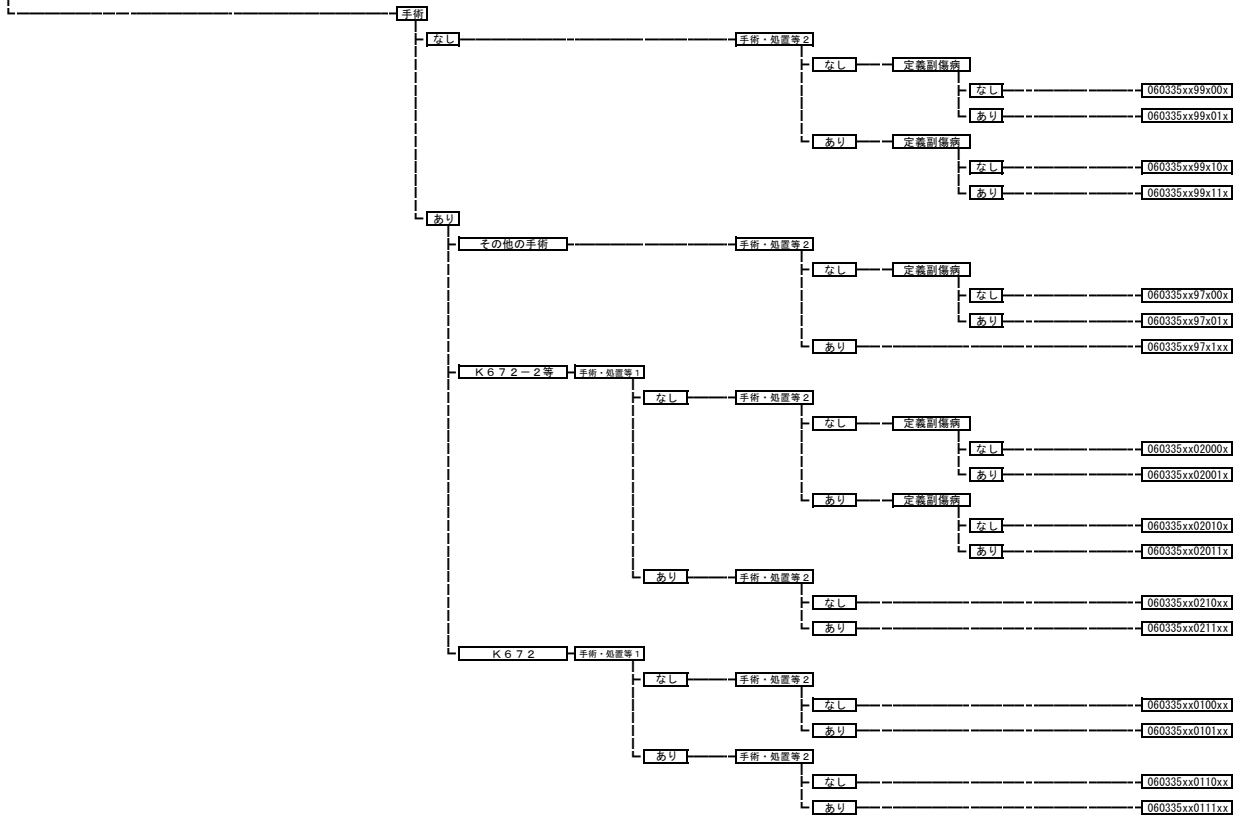
060320 肝嚢胞



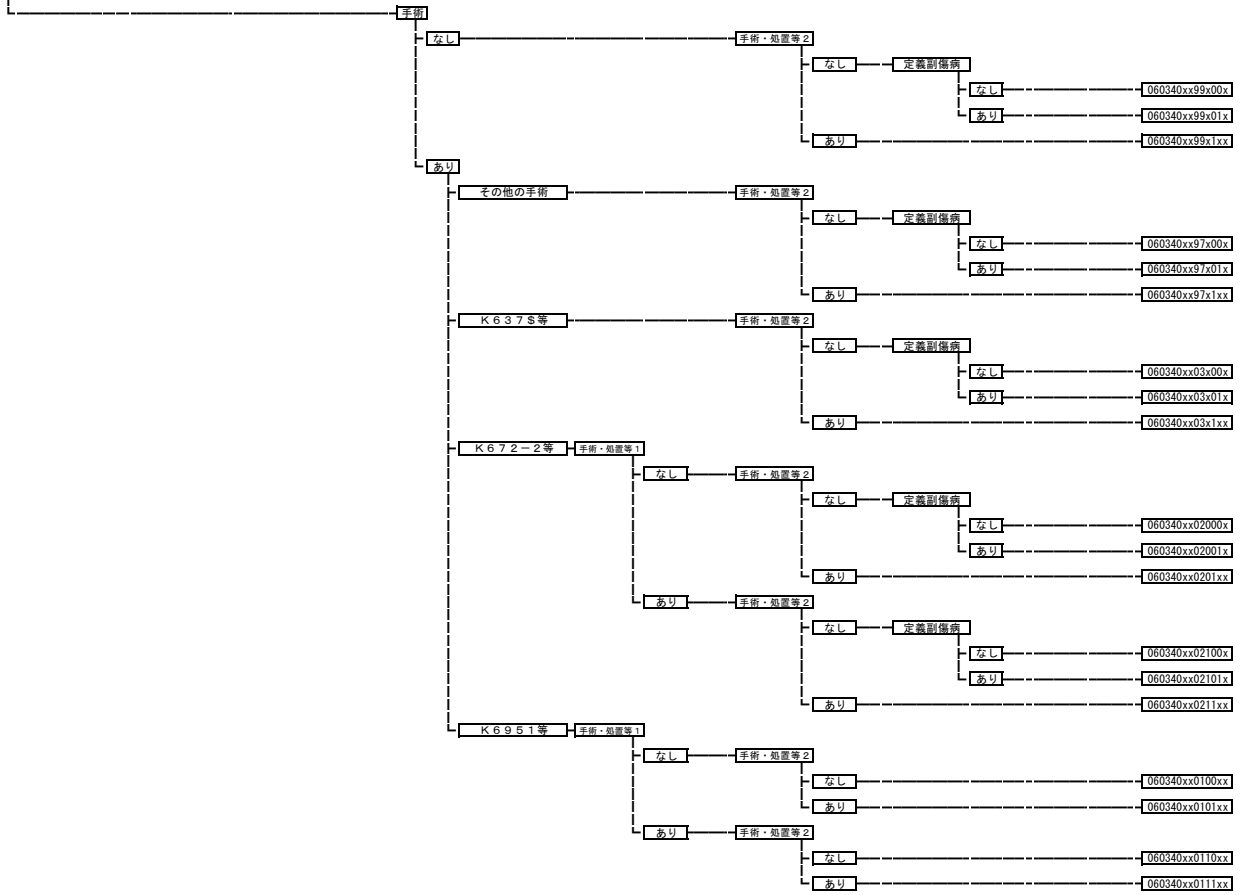
060330 胆嚢疾患（胆嚢結石など）



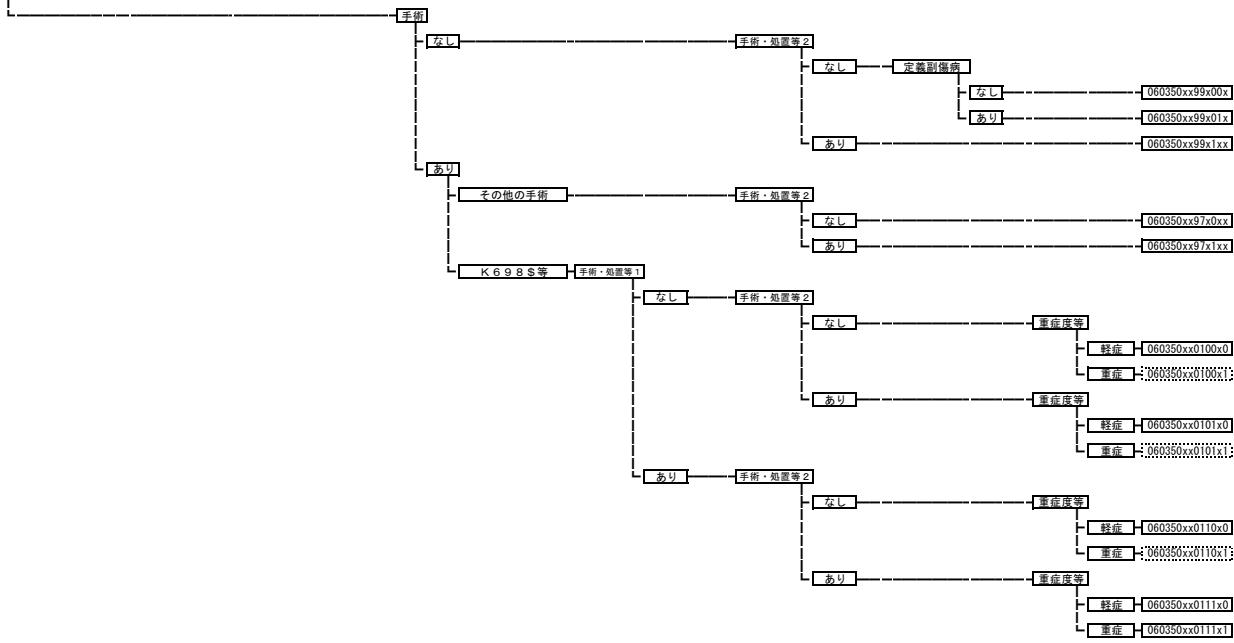
060335 胆嚢水腫、胆嚢炎等



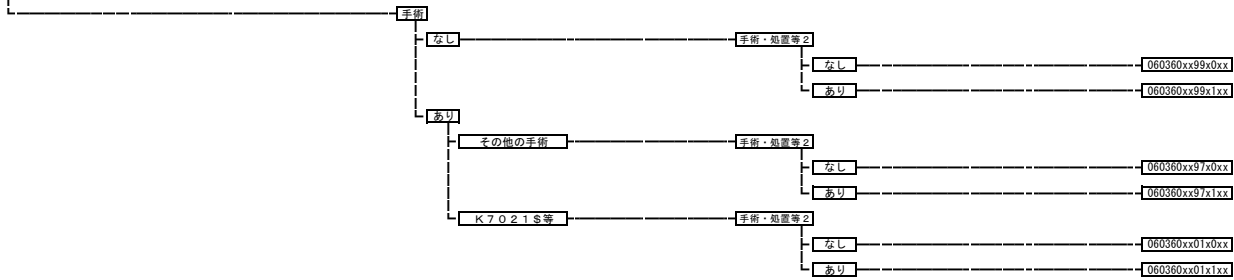
060340 胆管（肝内外）結石、胆管炎



060350 急性肺炎

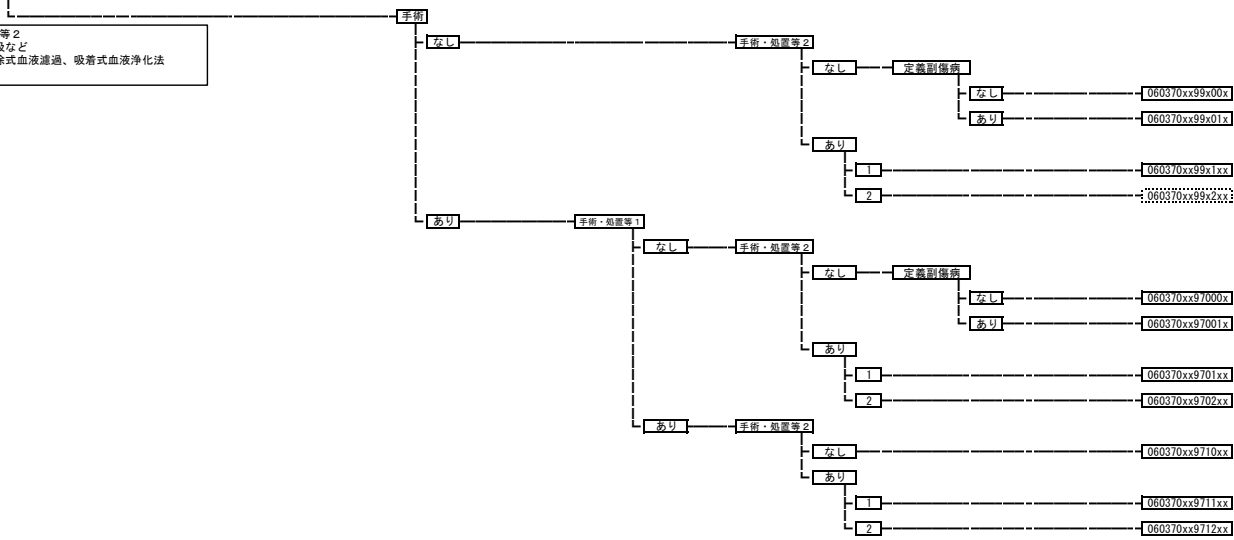


060360 慢性肺炎（腔囊胞を含む。）



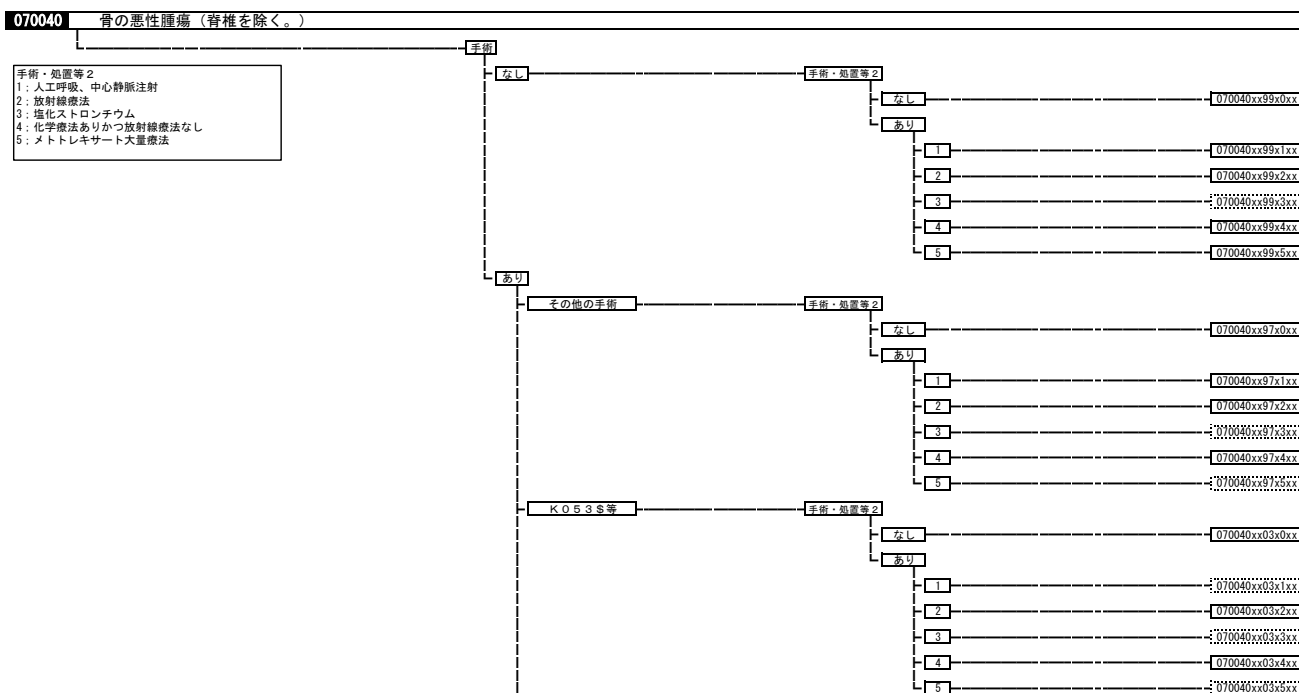
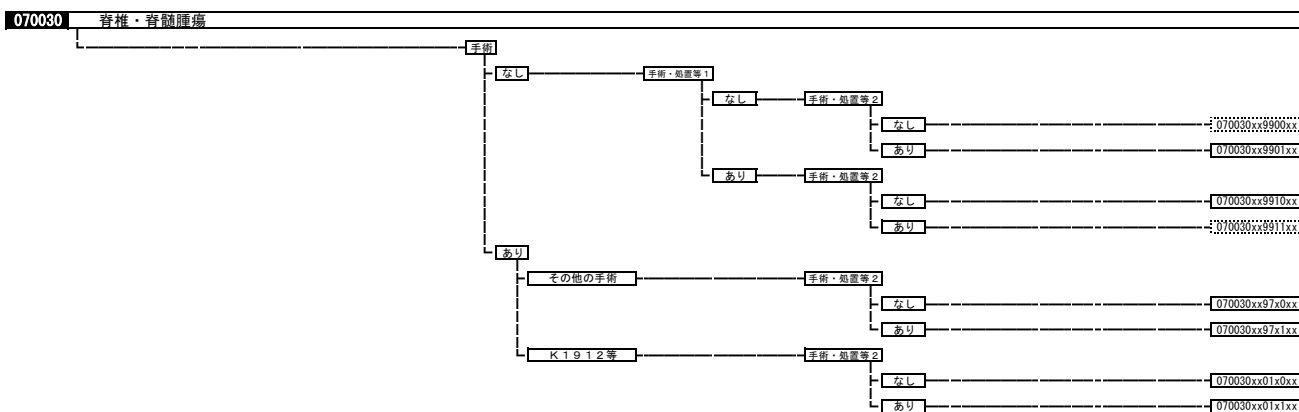
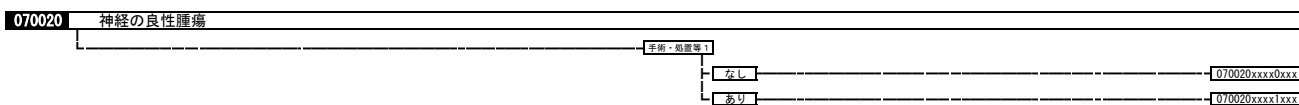
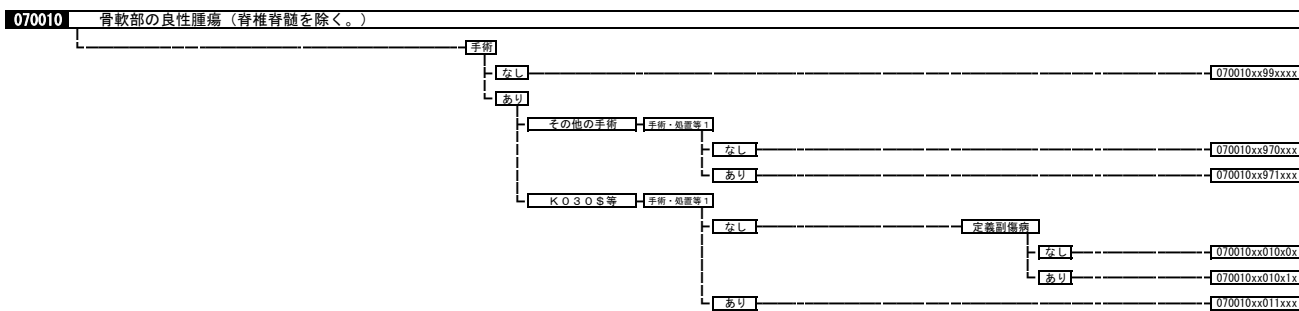
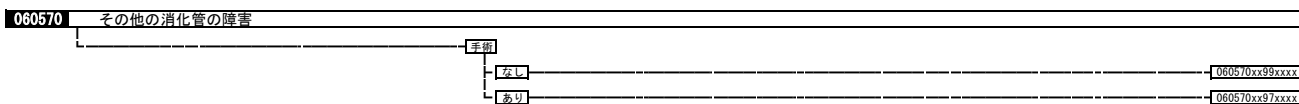
060370 腹膜炎、腹腔内膿瘍（女性器臓器を除く。）

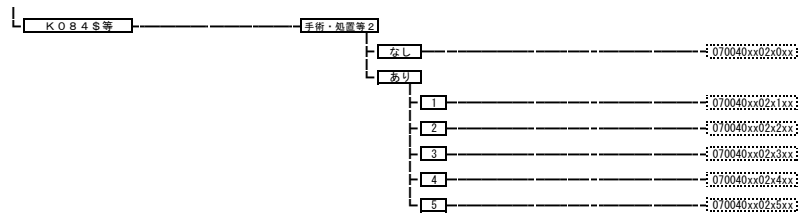
手術・処置等2
1: 人工呼吸など
2: 持続緩徐式血液濾過、吸着式血液浄化法



060565 顎変形症

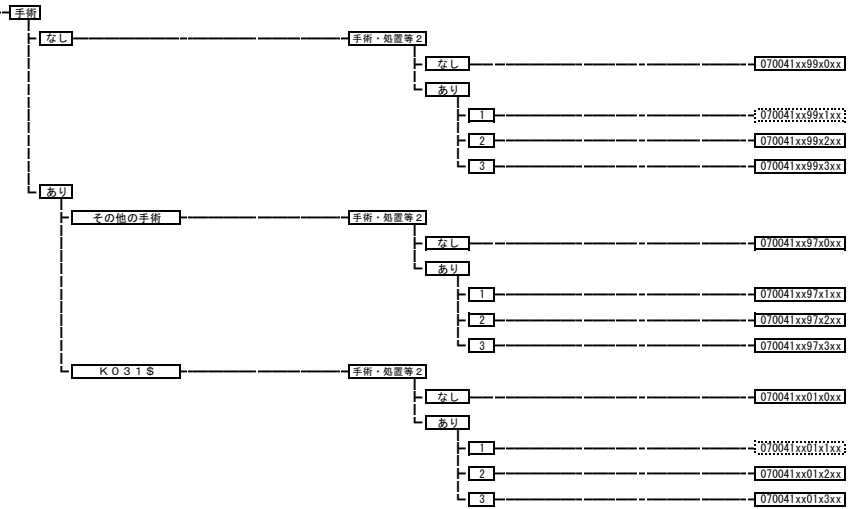




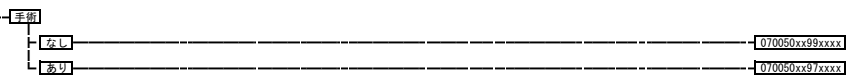


070041 軟部の悪性腫瘍（脊髄を除く。）

手術・処置等2
 1：人工呼吸、中心静脈注射
 2：放射線療法
 3：化学療法ありかつ放射線療法なし



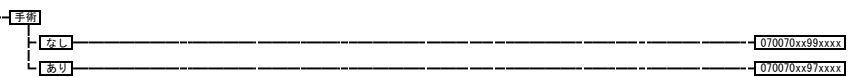
070050 肩関節炎、肩の障害（その他）



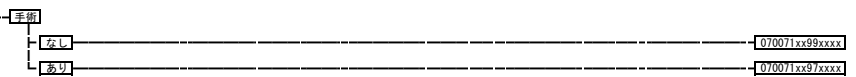
070060 手肘の関節炎

070060xxxxxx

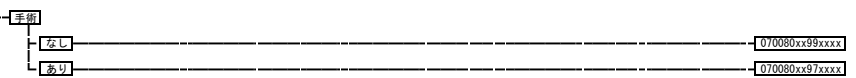
070070 骨髓炎（上肢）



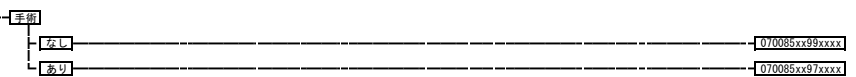
070071 骨髓炎（上肢以外）



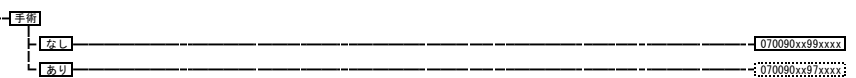
070080 滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢）



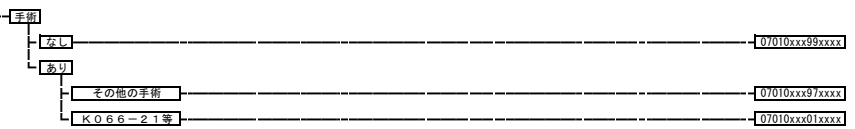
070085 滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢以外）



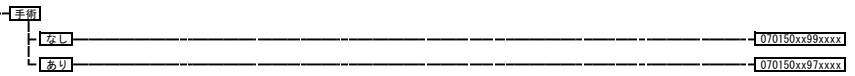
070090 筋炎（感染性を含む。）



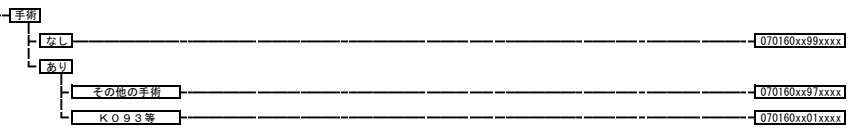
07010x	化膿性関節炎（下肢）	070101 化膿性・結核性股関節炎 070102 化膿性膝関節炎 070103 下肢（股関節以外）関節炎
---------------	------------	---



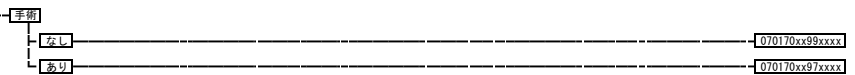
070150	上肢神経障害（胸郭出口症候群を含む。）
---------------	---------------------



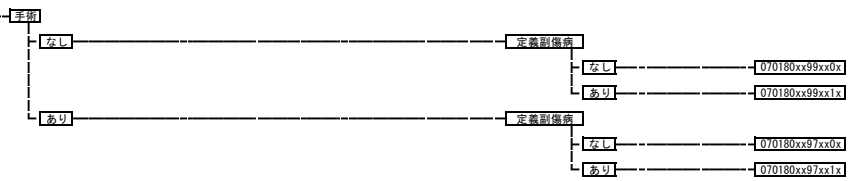
070160	上肢末梢神経麻痺
---------------	----------



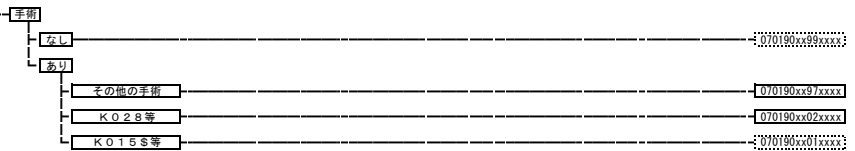
070170	下肢神経疾患
---------------	--------



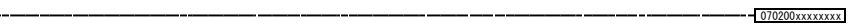
070180	脊椎変形
---------------	------



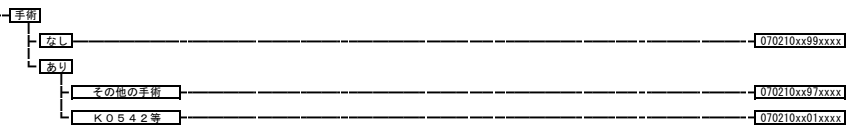
070190	上肢・手の変形（偽関節を除く。）
---------------	------------------



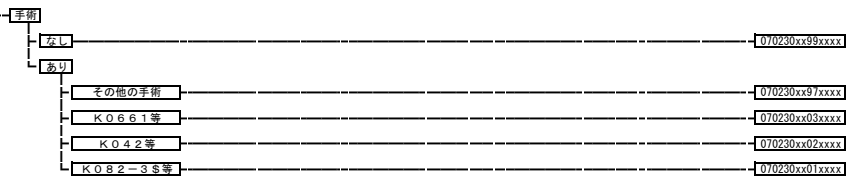
070200	手関節症（変形性を含む。）
---------------	---------------



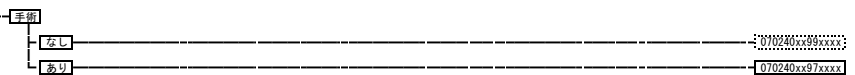
070210	下肢の変形
---------------	-------

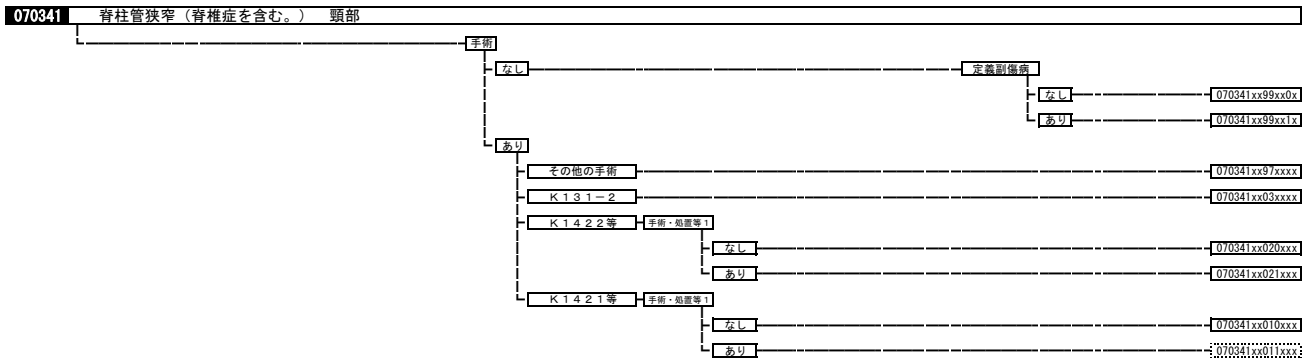
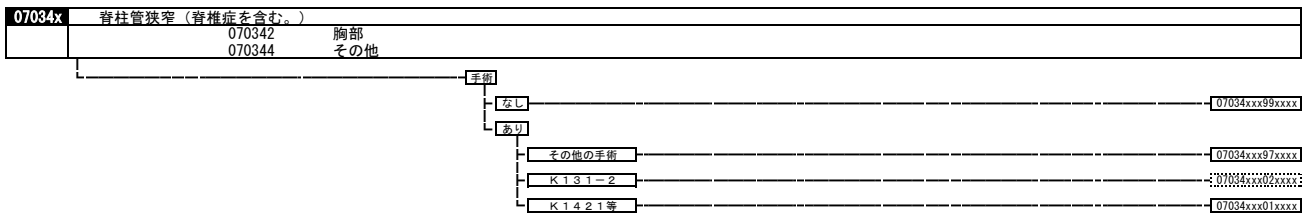
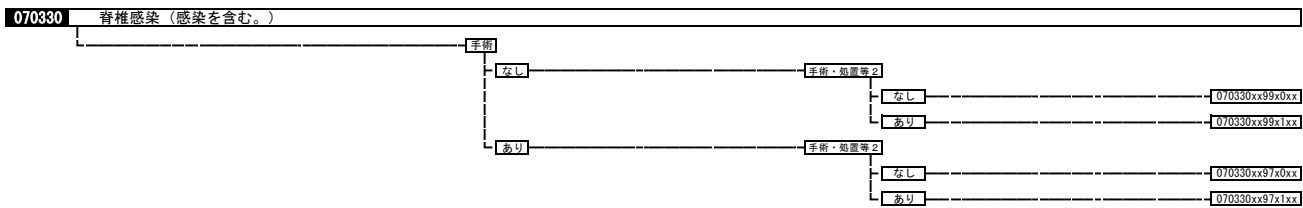
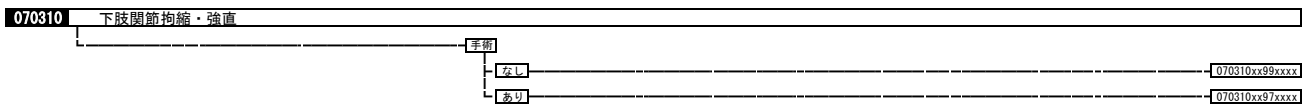
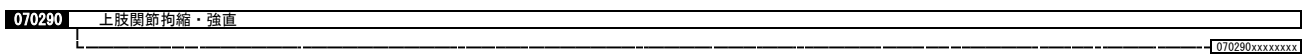
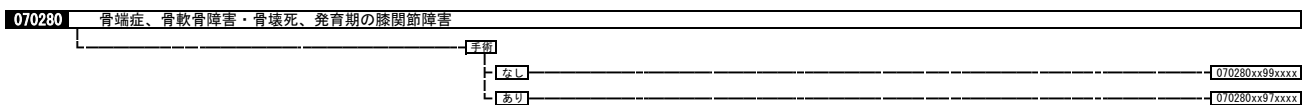
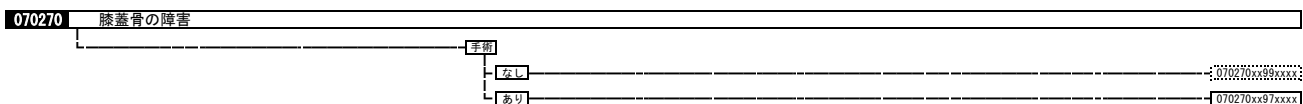
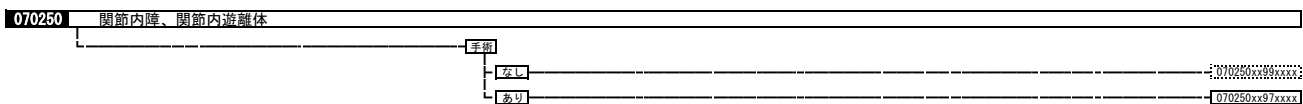


070230	膝関節症（変形性を含む。）
---------------	---------------



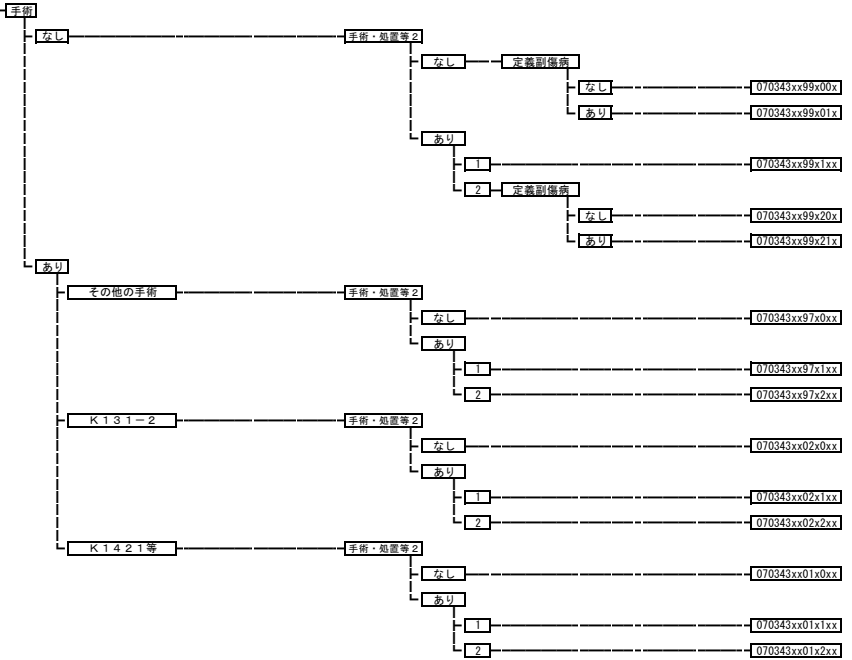
070240	動揺関節症
---------------	-------



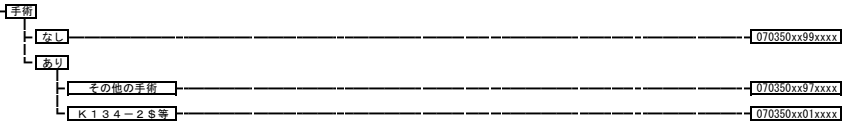


070343 脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎

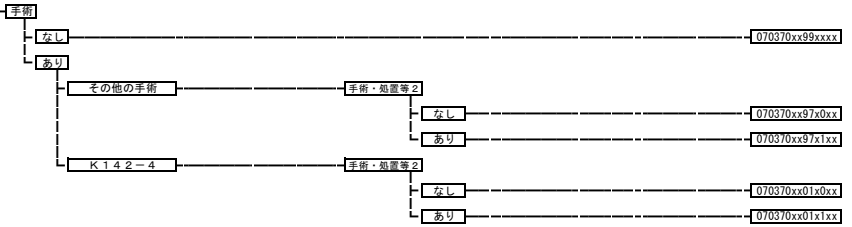
手術・処置等 2
 1: 脳神経造影剤使用撮影加算
 2: 神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用）
 仙骨部硬膜外ブロックなど



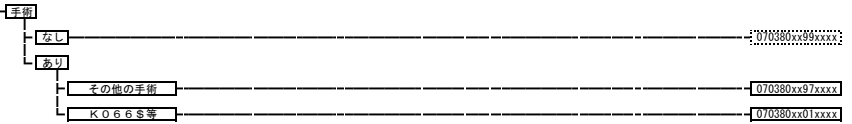
070350 椎間板変性、ヘルニア



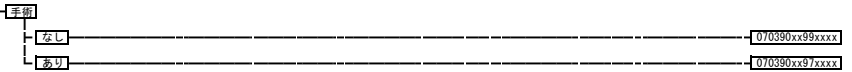
070370 脊椎骨粗鬆症



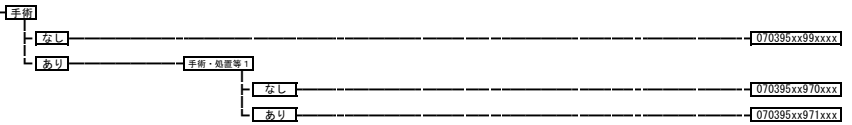
070380 ガングリオン



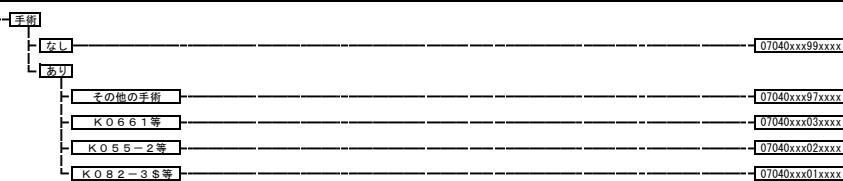
070390 線維芽細胞性腫瘍



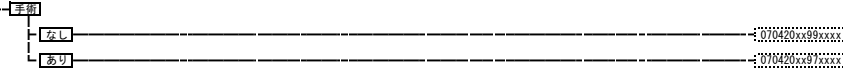
070395 壊死性筋膜炎



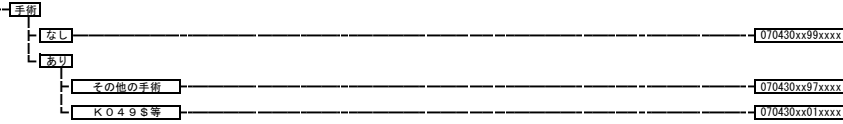
07040x 股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）
 070401 股関節骨頭壊死
 070402 股関節症（変形性を含む。）



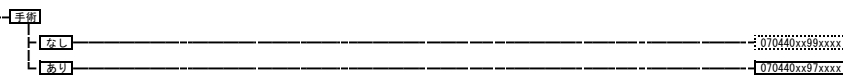
070420 大腿骨頭すべり症



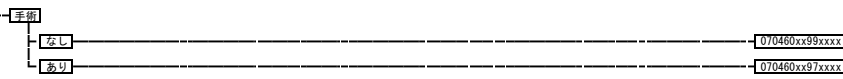
070430 神経栄養養症、骨成長障害、骨障害（その他）



070440 色素性絨毛結節性滑膜炎

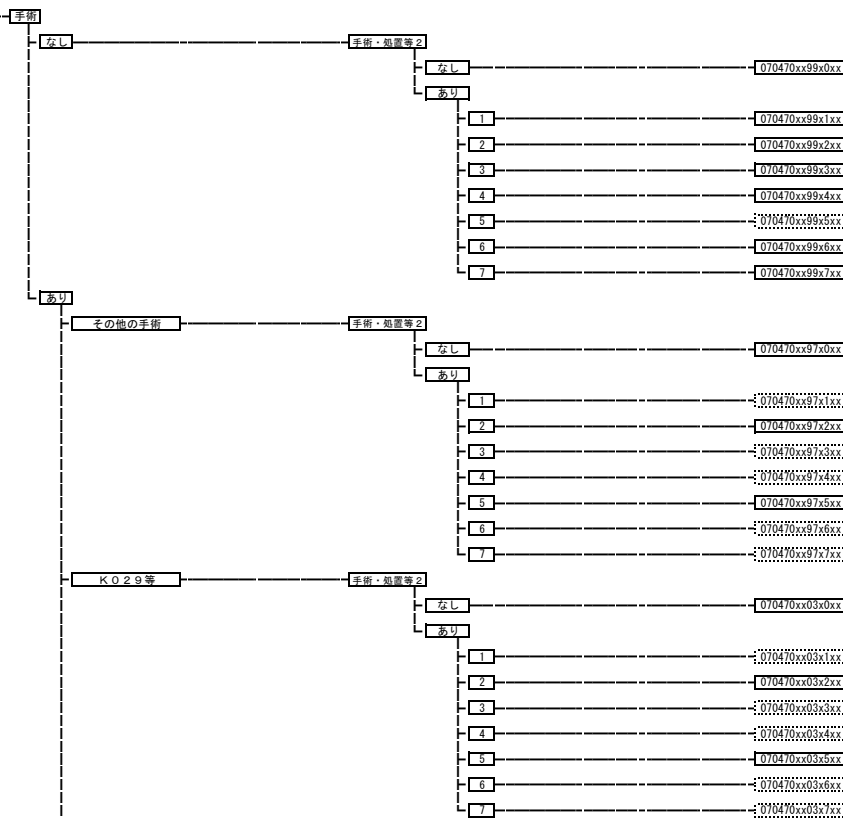


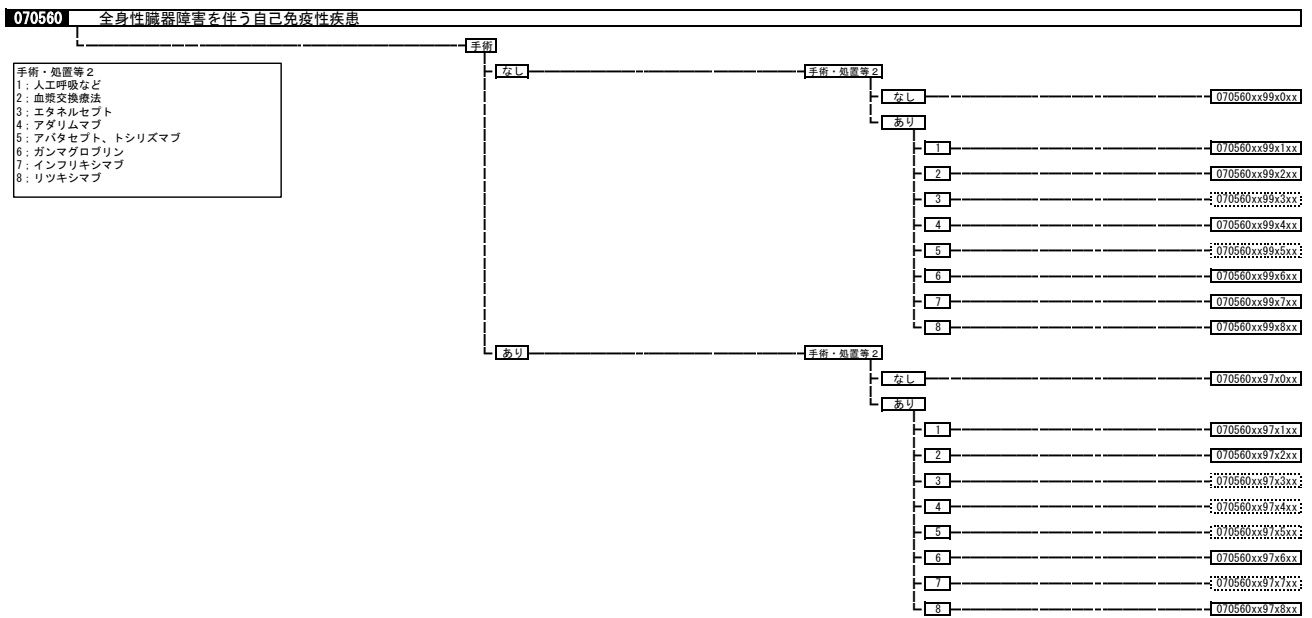
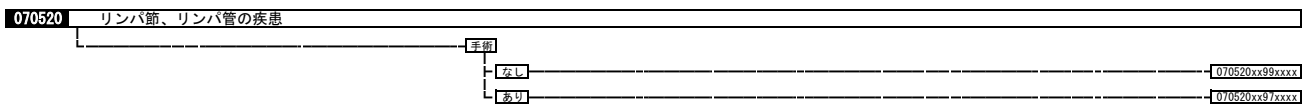
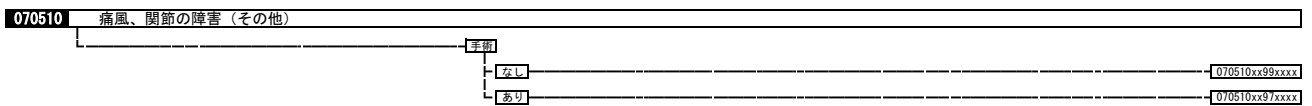
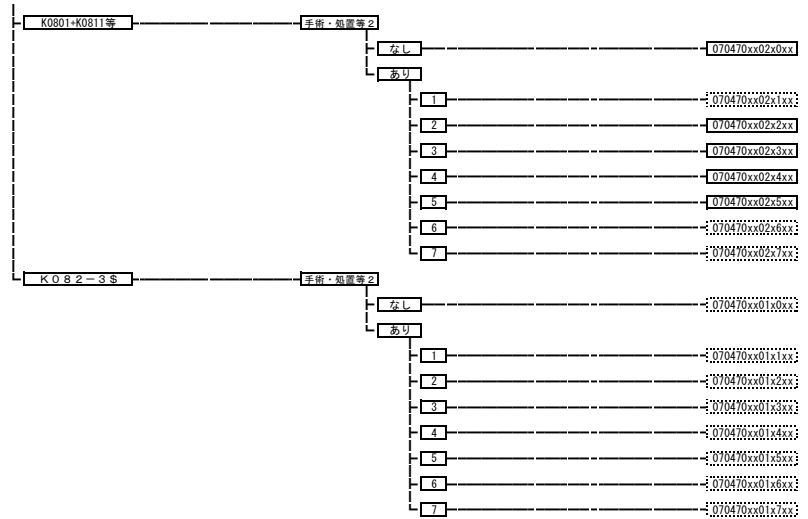
070460 股関節ベルテス病

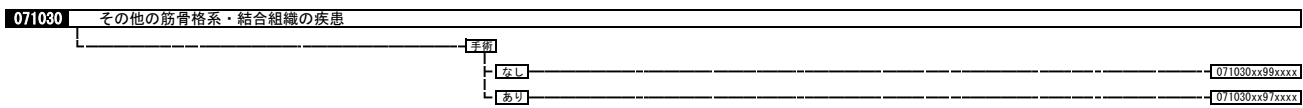
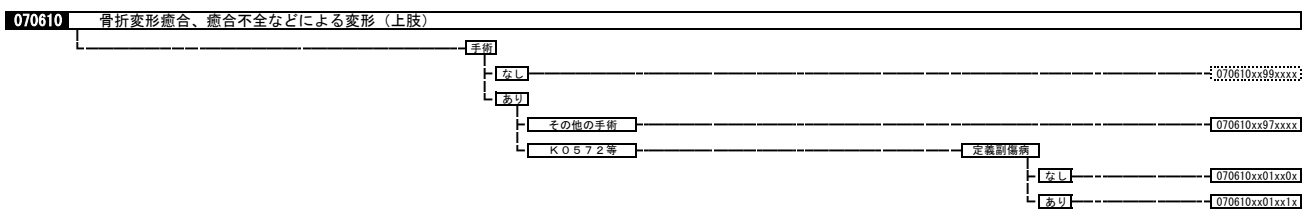
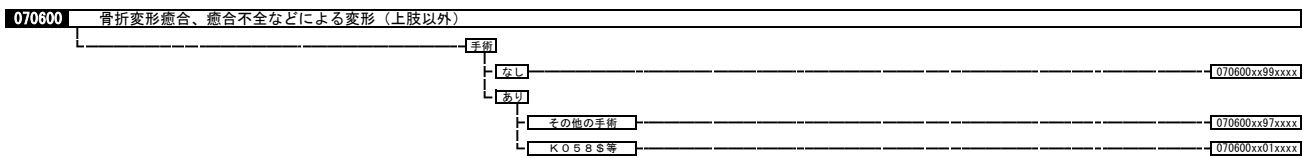
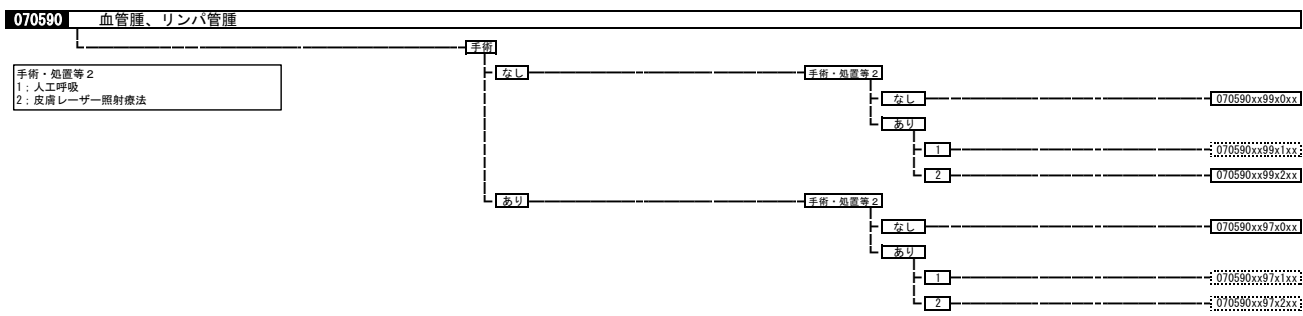
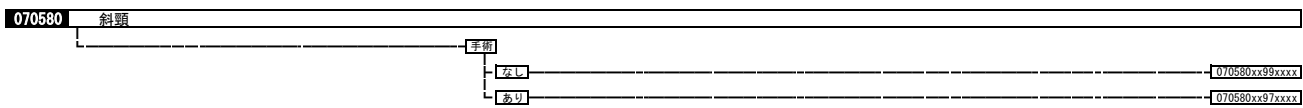
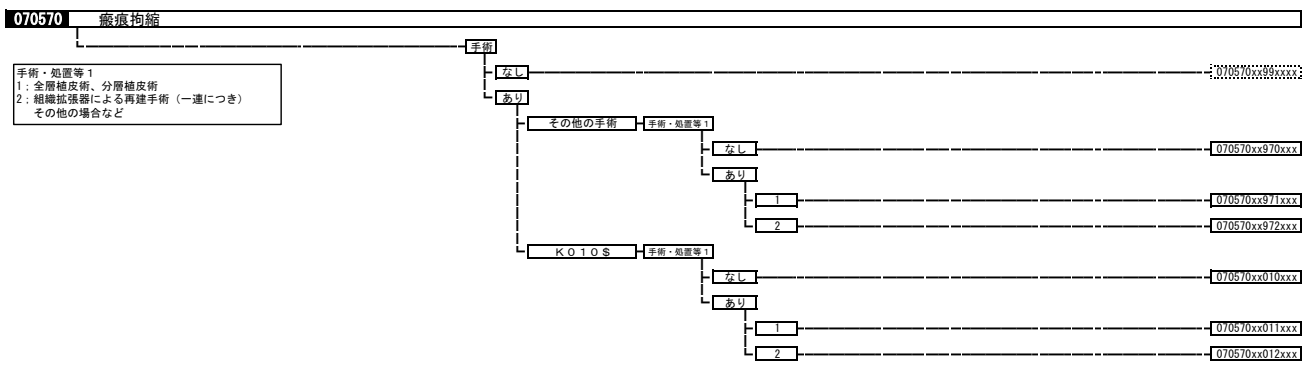


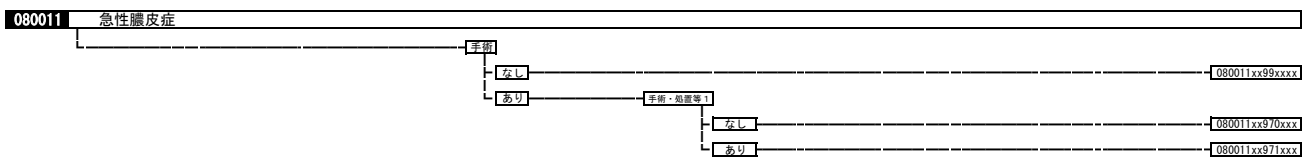
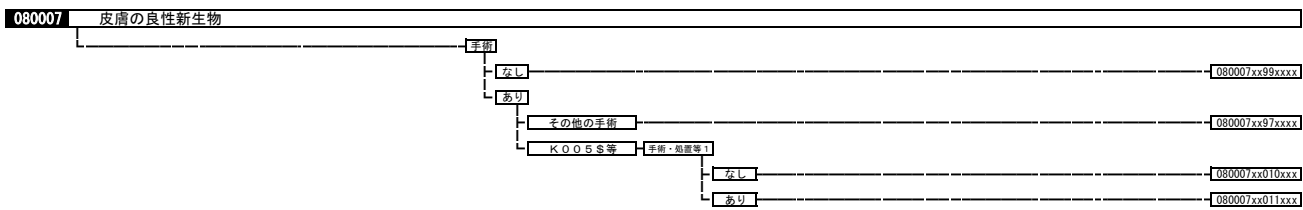
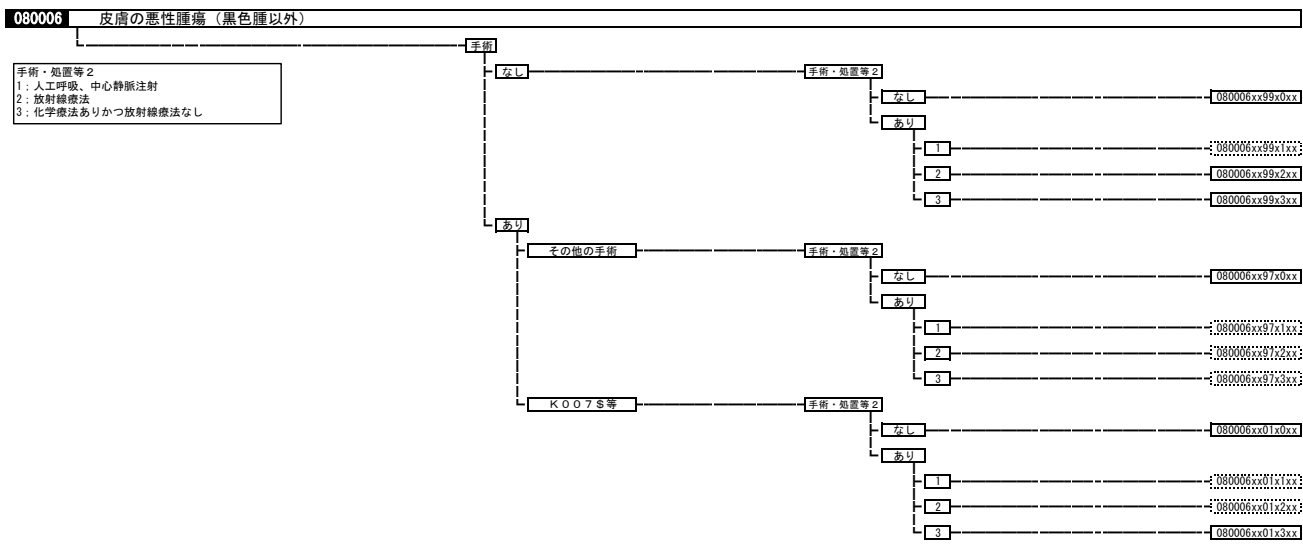
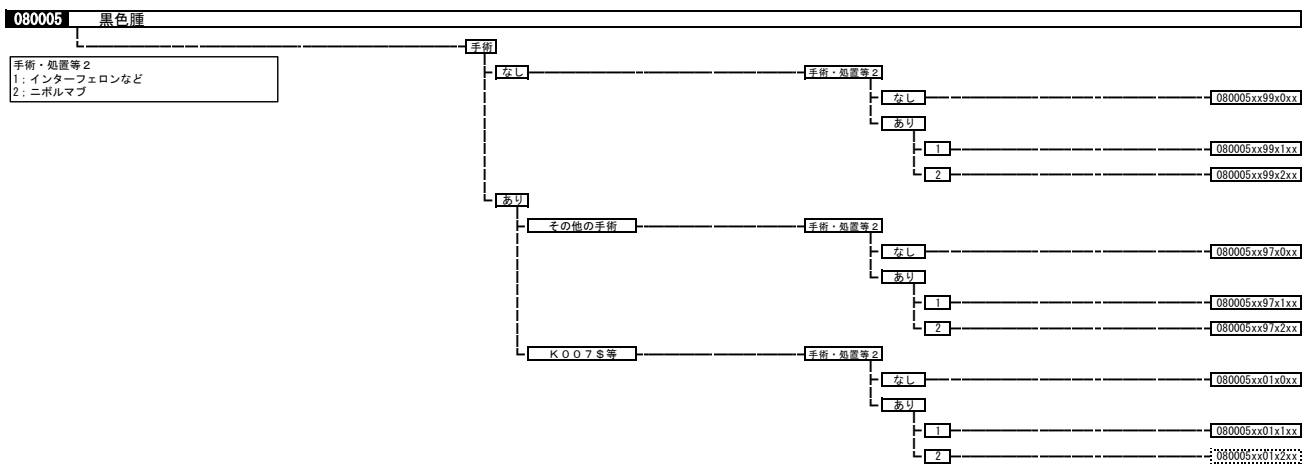
070470 関節リウマチ

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: リハビリテーション
 3: エタネルセプト
 4: トファシチニブクエン酸塩など
 5: アバタセプト、トシリズマブ
 6: インフリキシマブ
 7: インフリキシマブ（強直性脊椎炎の場合）









080020 帯状疱疹

080020xxxxxxxxx

080030 疱疹（帯状疱疹を除く。）、その類症

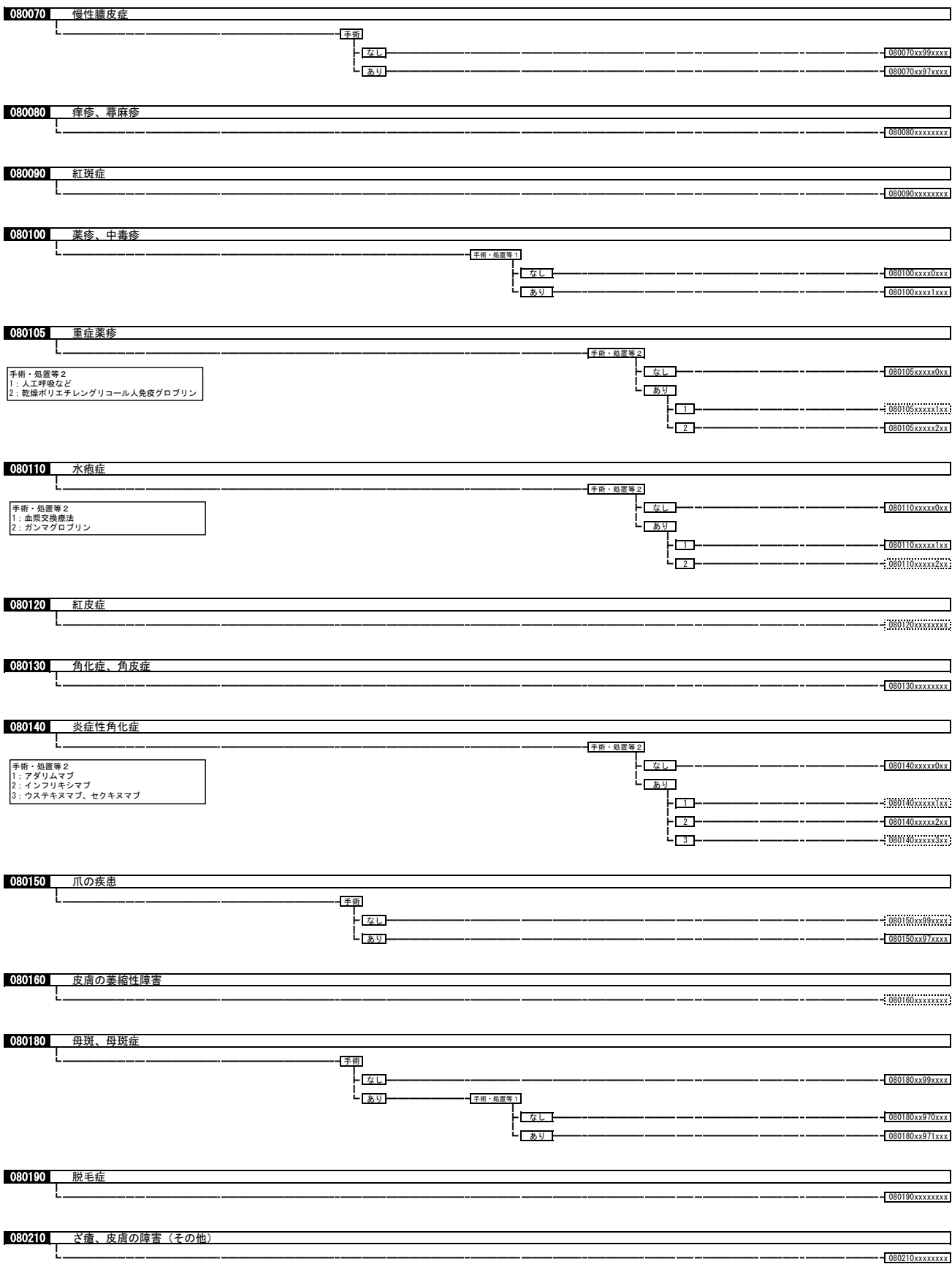
080030xxxxxxxxx

080040 ウイルス性急性発疹症

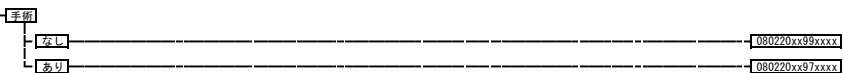
080040xxxxxxxxx

080050 湿疹、皮膚炎群

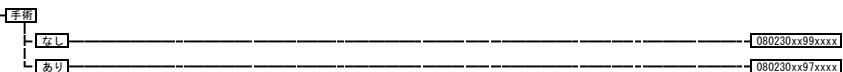
080050xxxxxxxxx



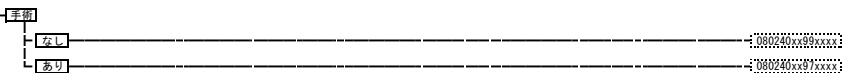
080220 エクリン汗腺の障害、アポクリン汗腺の障害



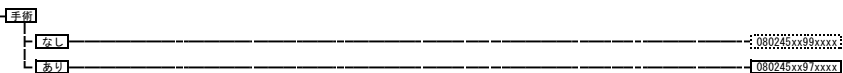
080230 皮膚色素異常症



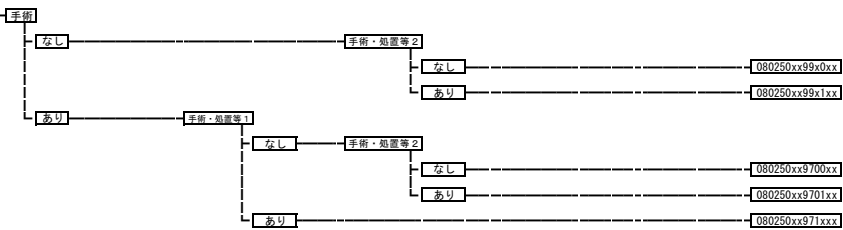
080240 多汗症



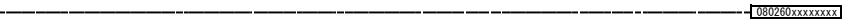
080245 放射線皮膚障害



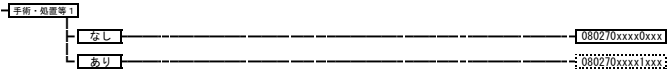
080250 褥瘡潰瘍



080260 その他の皮膚の疾患

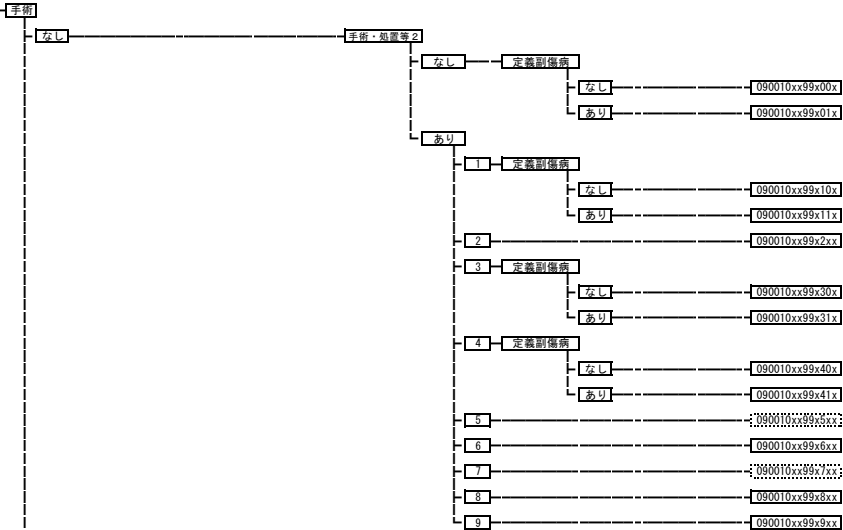


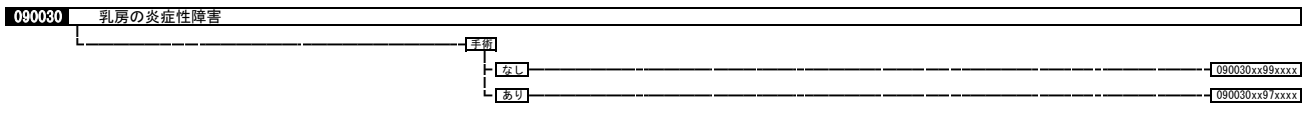
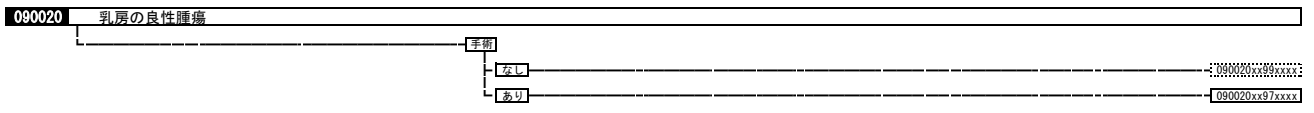
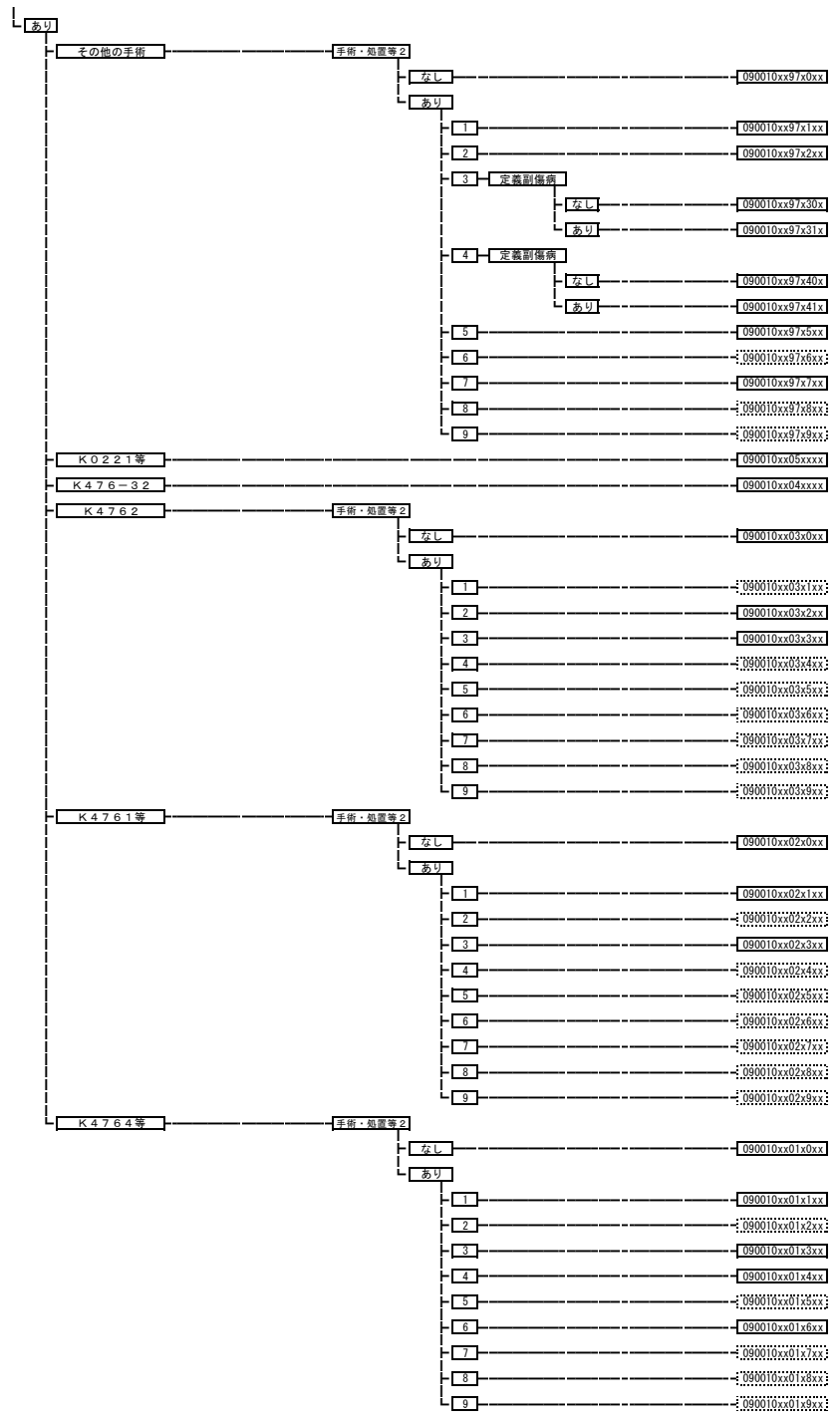
080270 食物アレルギー

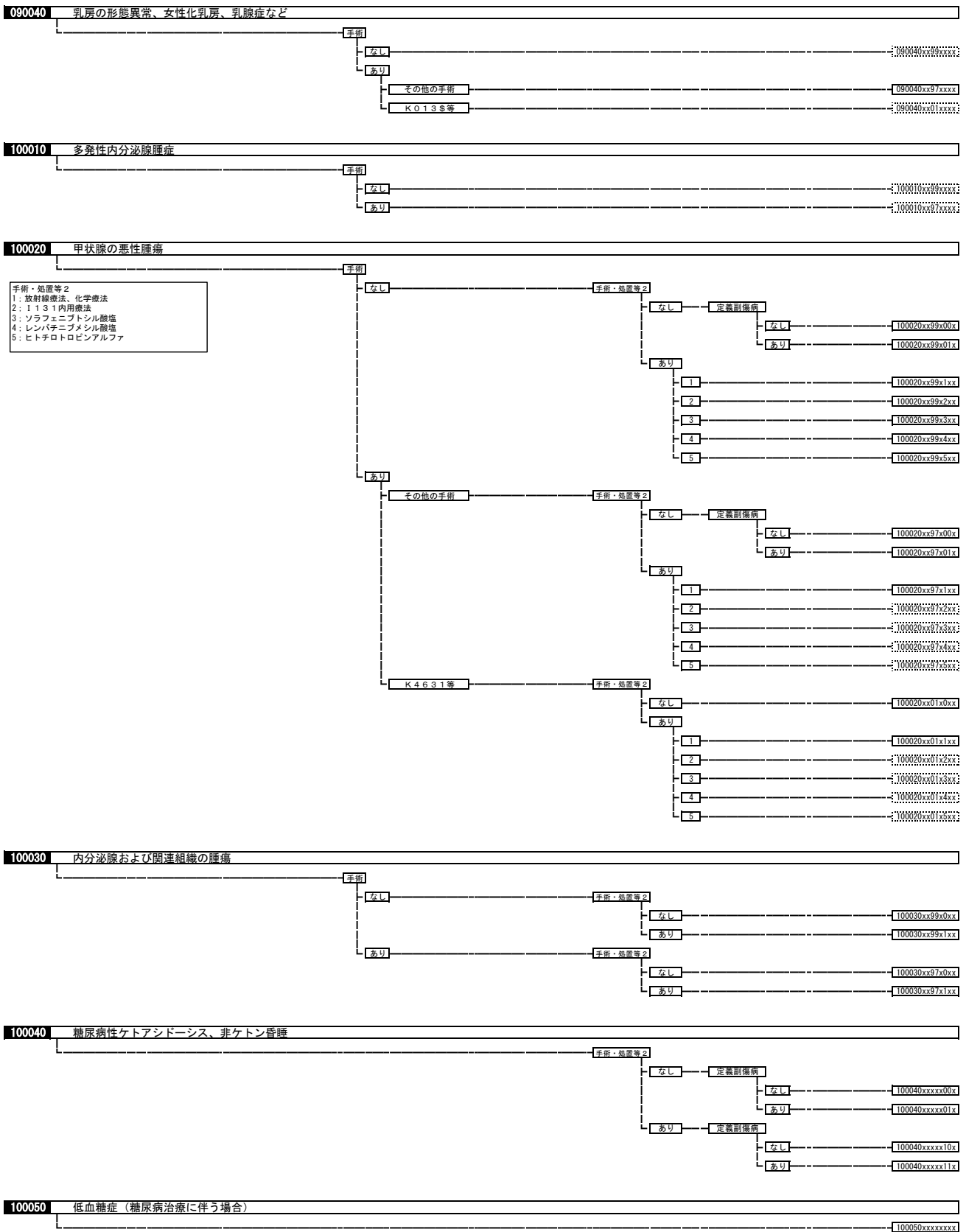


090010 乳房の悪性腫瘍

手術・処置等2
 1：人工呼吸など
 2：放射線療法
 3：化学療法ありかつ放射線療法なし
 4：ドセタキセル水和物など
 5：エリブリンメシル酸塩
 6：トラスツズマブ、パクリタキセル（アルブミン懸濁型）
 7：ペリスツズマブ
 8：トラスツズマブ エムタンシン
 9：ベルツズマブ

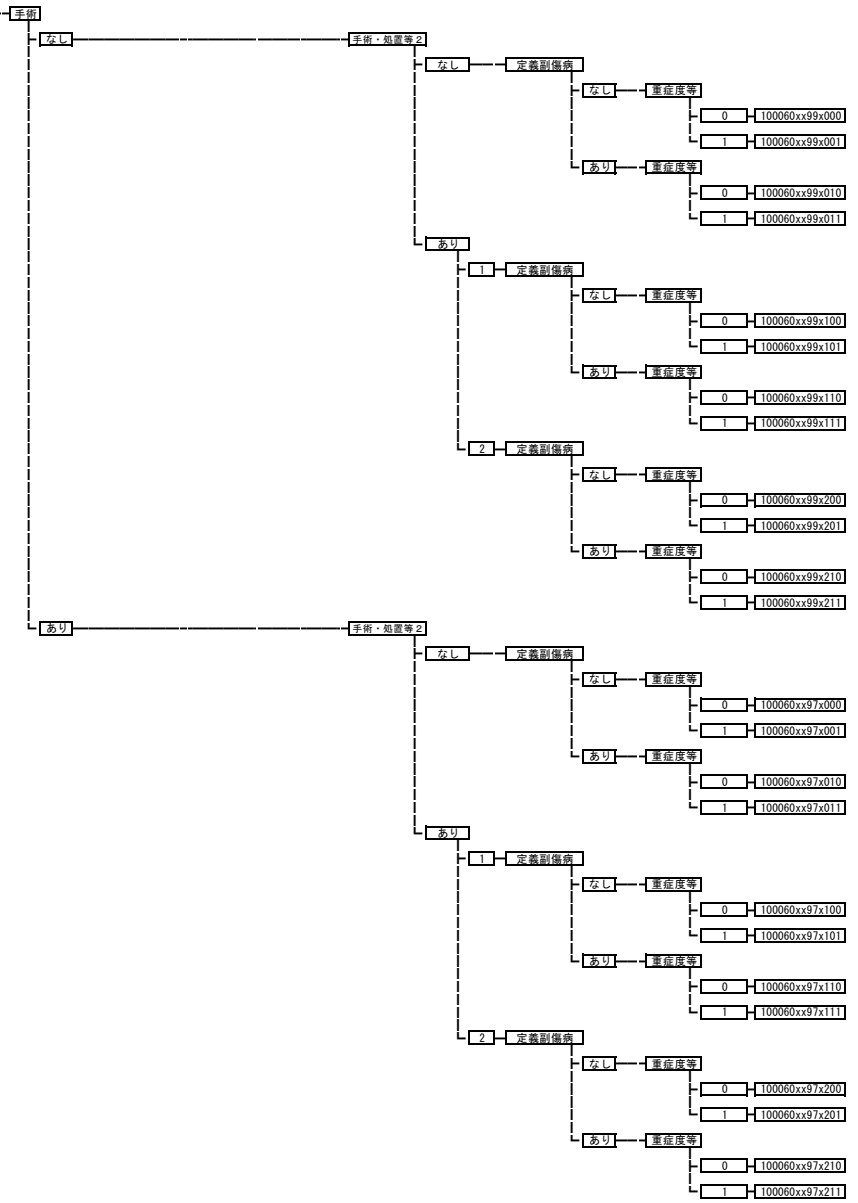






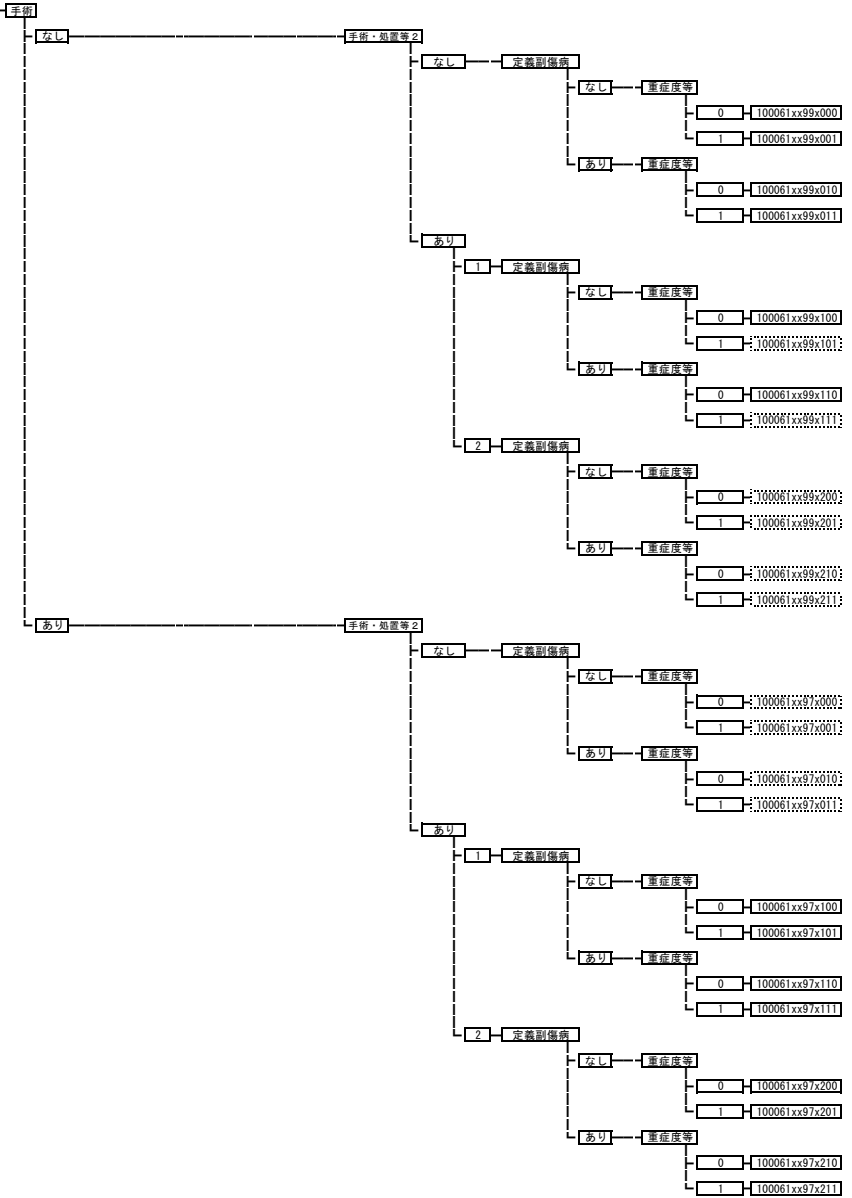
100060 1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。）

手術・処置等2
 1：人工腎臓 その他の場合
 2：インスリン製剤（注射薬に限る。）



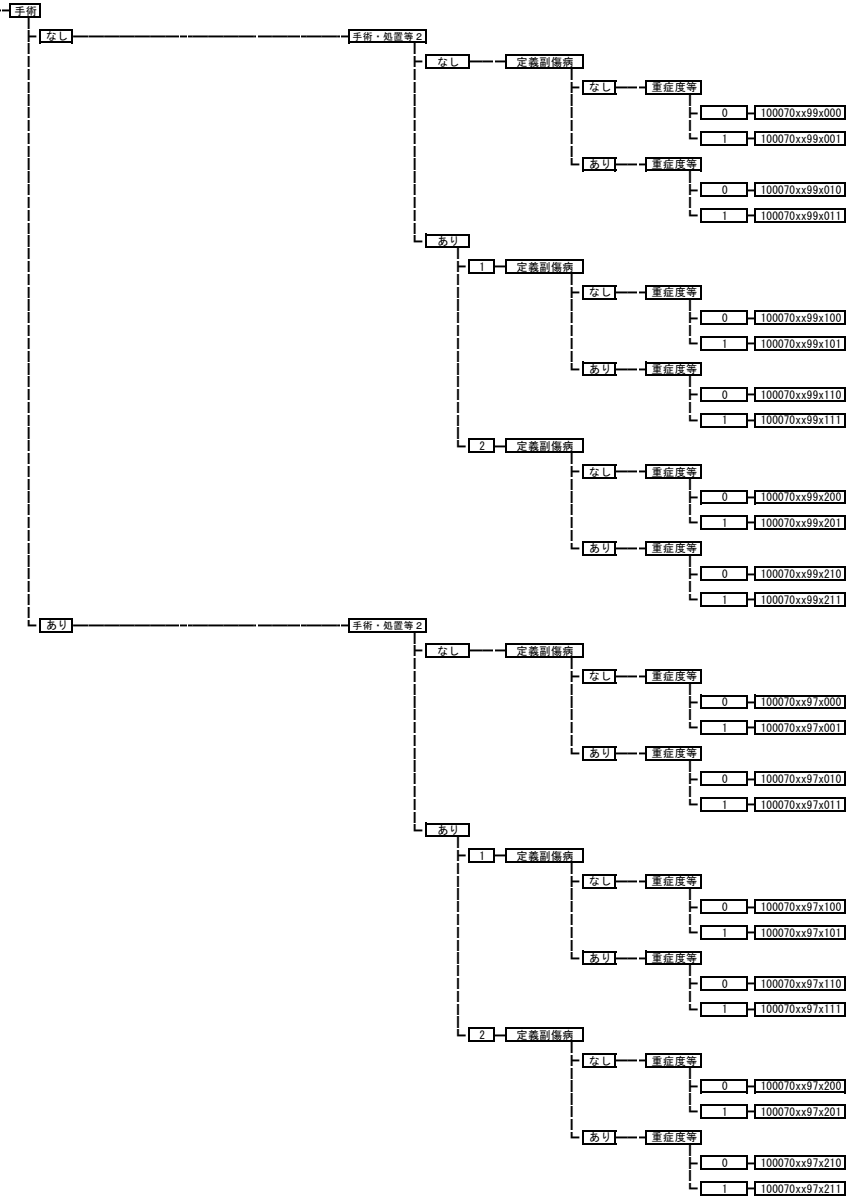
100061 1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全あり。）

手術・処置等2
 1:人工腎臓 その他の場合
 2:インスリン製剤（注射薬に限る。）



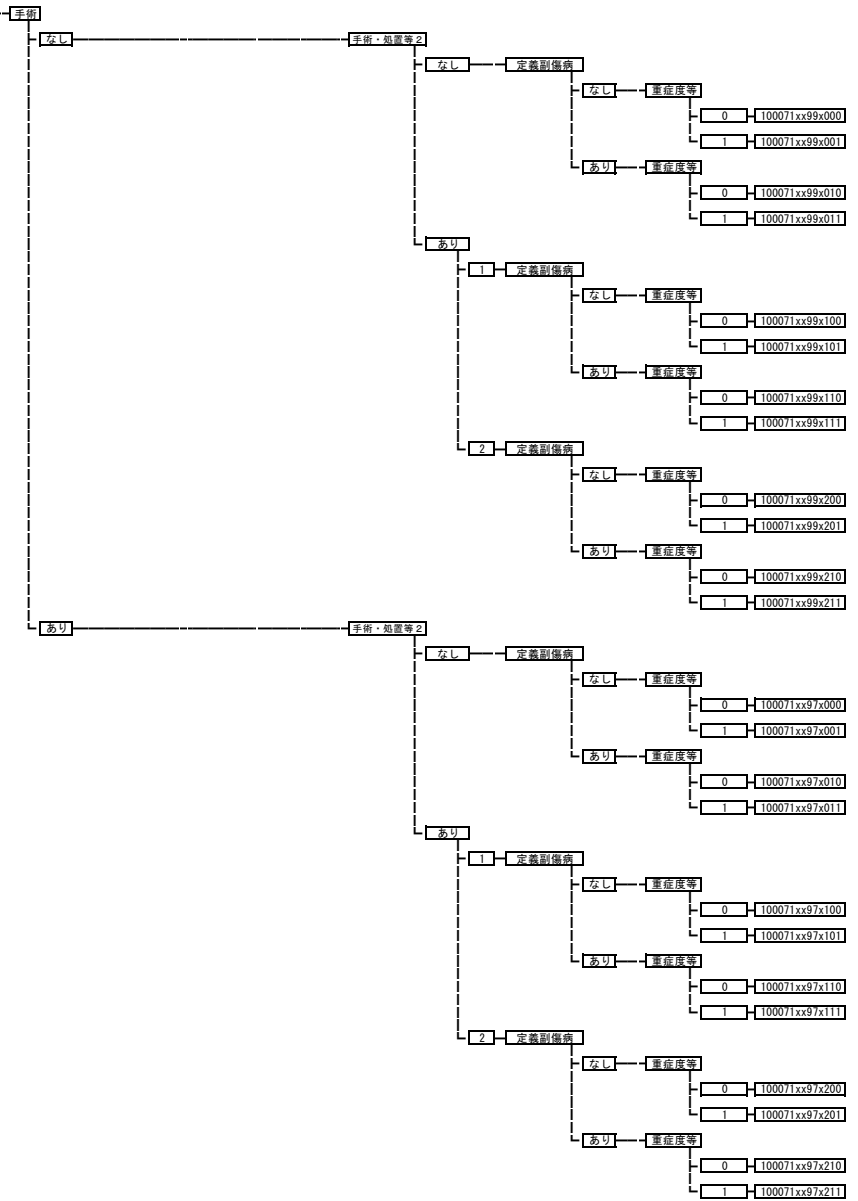
100070 2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。）

手術・処置等2
 1:人工腎臓 その他の場合
 2:インスリン製剤（注射薬に限る。）



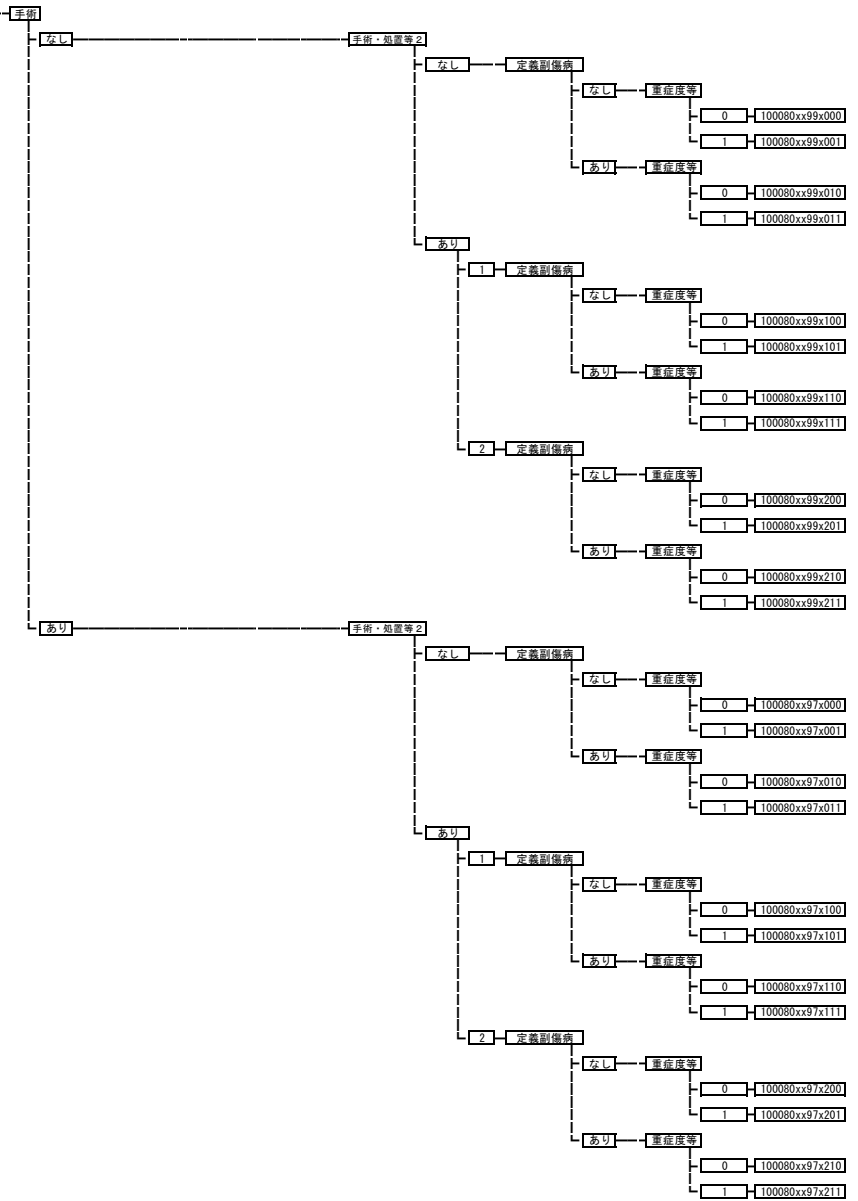
100071 2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全あり。）

手術・処置等2
 1:人工腎臓 その他の場合
 2:インスリン製剤（注射薬に限る。）



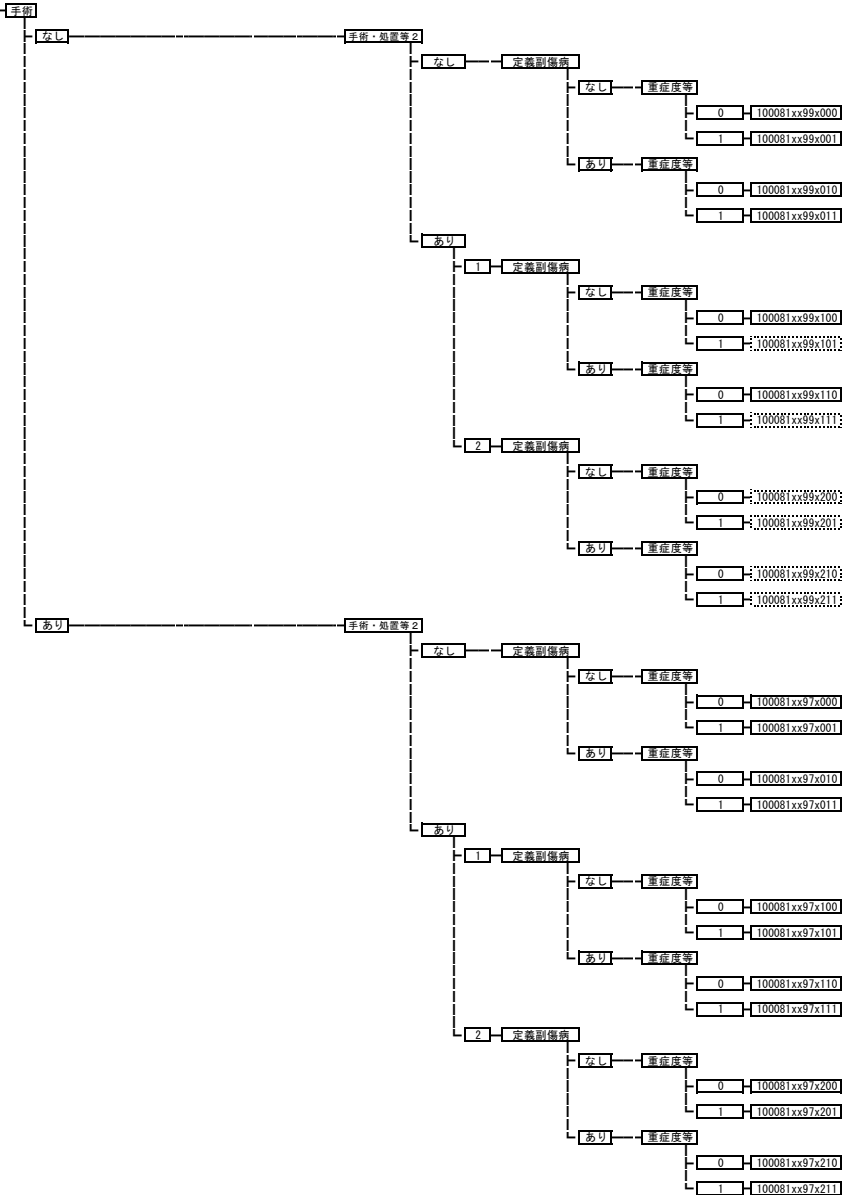
100080 その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。）

手術・処置等 2
 1: 人工腎臓、その他の場合
 2: インスリン製剤（注射薬に限る。）

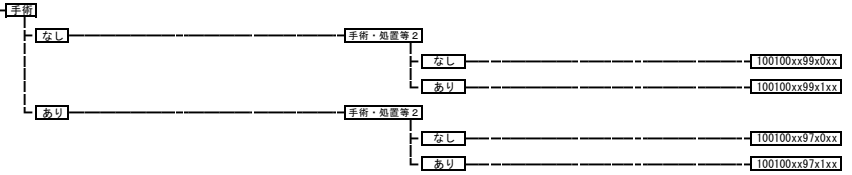


100081 その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全あり。）

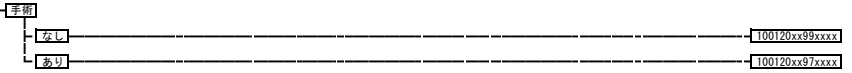
手術・処置等2
1：人工腎臓 その他の場合
2：インスリン製剤（注射薬に限る。）



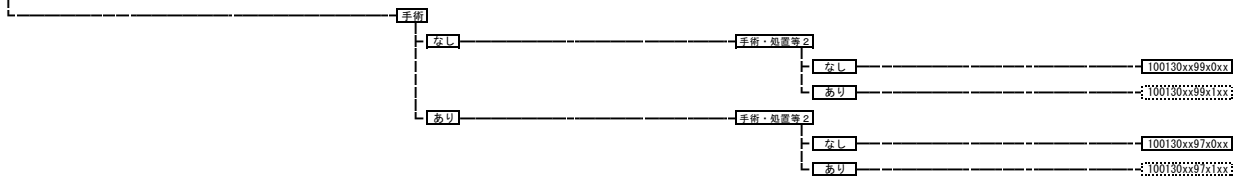
100100 糖尿病足病変



100120 肥満症

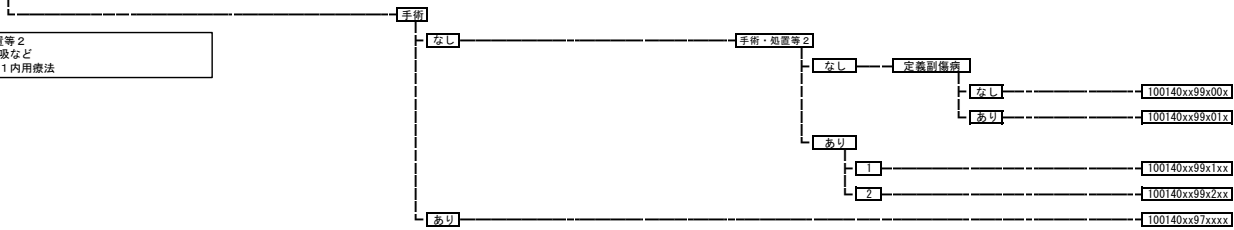


100130 甲状腺の良性結節

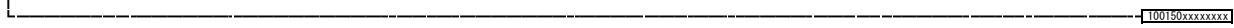


100140 甲状腺機能亢進症

手術・処置等2
1:人工呼吸など
2:1131内用療法



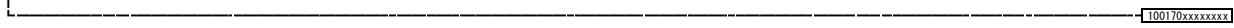
100150 慢性甲状腺炎



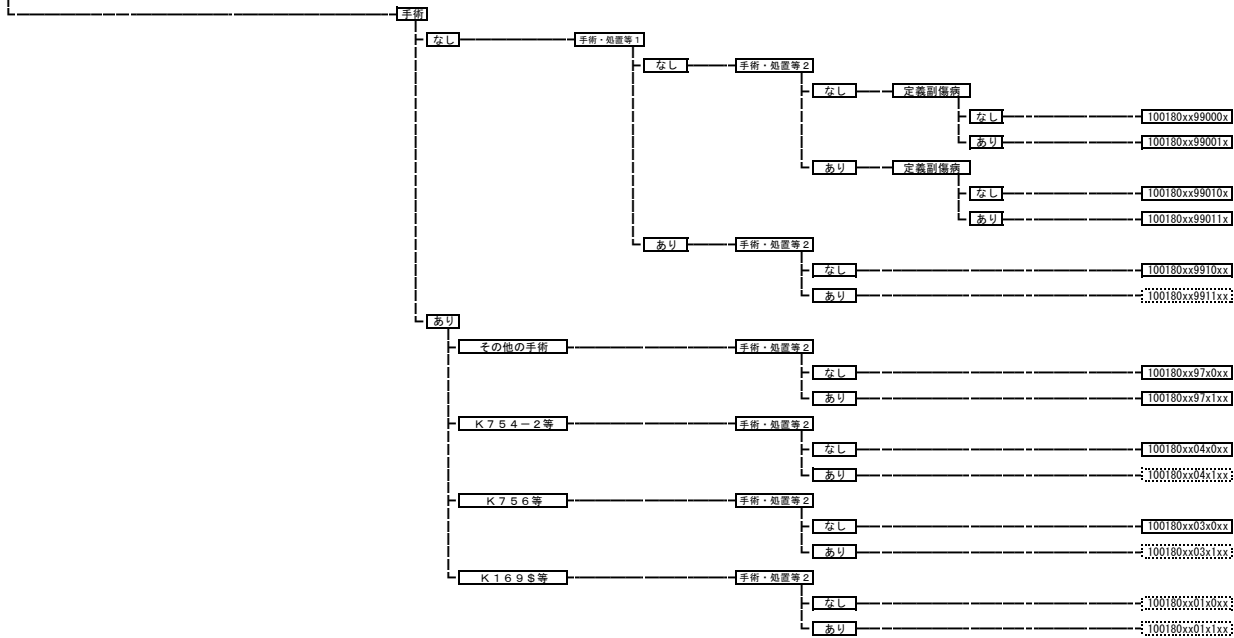
100160 甲状腺機能低下症



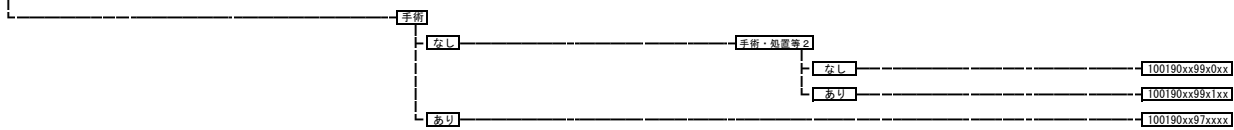
100170 急性甲状腺炎



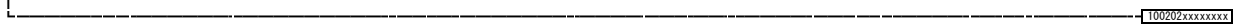
100180 副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍



100190 褐色細胞腫、パラガングリオーマ



100202 その他の副腎皮質機能低下症



100210 低血糖症
100210xxxxxxxx

100220 原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺腫瘍

- 手術
 - なし 100220xx99xxxx
 - あり
 - その他の手術 100220xx97xxxx
 - K4641等 100220xx03xxxx
 - K5132等 100220xx01xxxx

100230 続発性副甲状腺機能亢進症

- 手術
 - なし 100230xx99xxxx
 - あり
 - その他の手術 100230xx97xxxx
 - K464S 100230xx01xxxx

100240 副甲状腺機能低下症
100240xxxxxxxx

100250 下垂体機能低下症

- 手術
 - なし
 - 手術・処置等1
 - なし 100250xx9900xx
 - 手術・処置等2
 - なし 定義副傷病
 - なし 100250xx99001x
 - あり 100250xx9901xx
 - あり 100250xx9910xx
 - あり 定義副傷病
 - なし 100250xx99100x
 - あり 100250xx99101x
 - あり 100250xx9911xx
 - あり 手術・処置等1
 - なし 100250xx970xxx
 - あり 100250xx971xxx
 - あり 手術・処置等1
 - なし 100250xx9900xx
 - あり 100250xx9901xx
 - あり 手術・処置等2
 - なし 100250xx9910xx
 - あり 100250xx9911xx
 - あり 手術・処置等2
 - なし 100250xx9700xx
 - あり 100250xx9701xx
 - あり 手術・処置等2
 - なし 100250xx9710xx
 - あり 100250xx9711xx

100260 下垂体機能亢進症

- 手術
 - なし
 - 手術・処置等1
 - なし 100260xx9900xx
 - あり 100260xx9901xx
 - あり 手術・処置等2
 - なし 100260xx9910xx
 - あり 100260xx9911xx
 - あり 手術・処置等1
 - なし 100260xx9700xx
 - あり 100260xx9701xx
 - あり 手術・処置等2
 - なし 100260xx9710xx
 - あり 100260xx9711xx

100270 間脳下垂体疾患（その他）

- 手術・処置等2
 - なし 100270xxxx0xxx
 - あり 100270xxxx1xxx

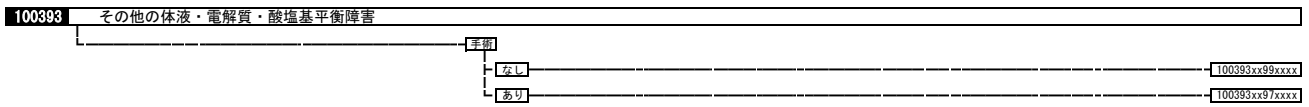
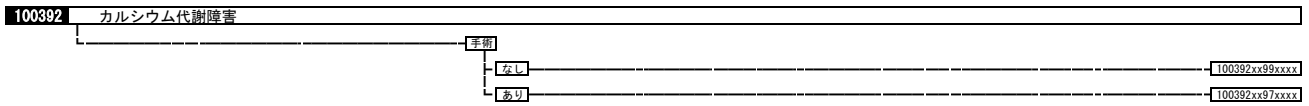
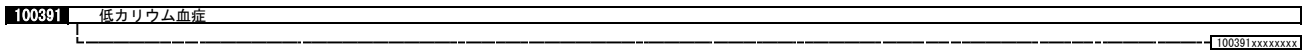
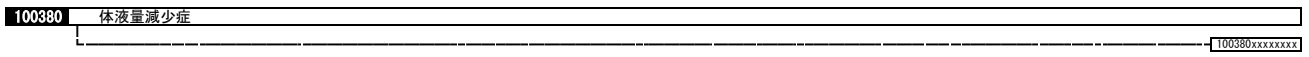
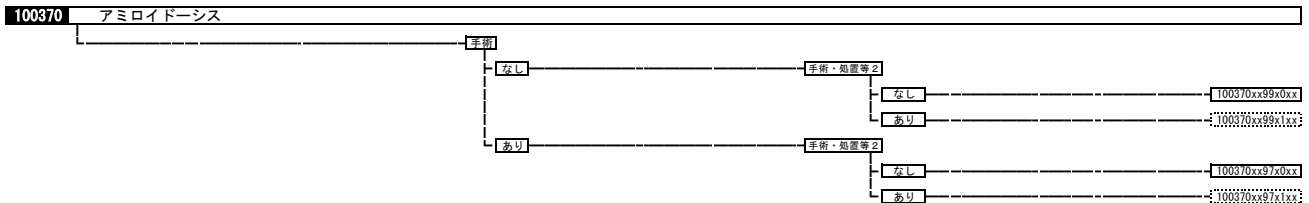
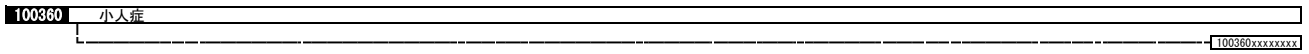
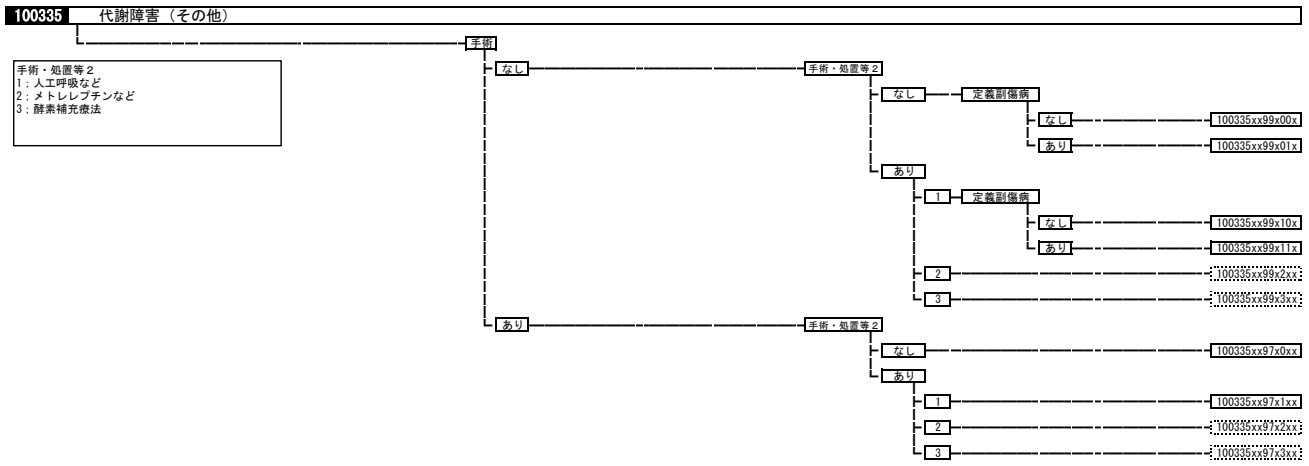
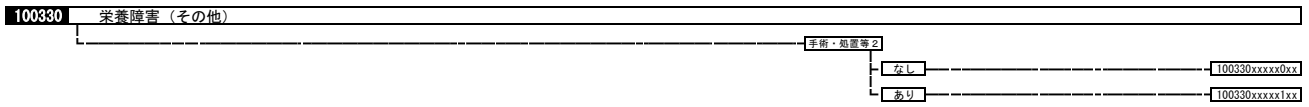
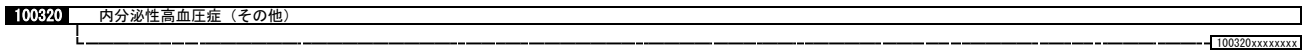
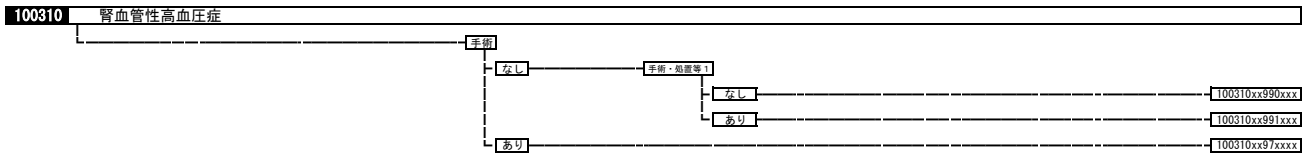
100280 尿崩症
100280xxxxxxxx

100285 ADH分泌異常症
100285xxxxxxxx

100290 グルコース調節・膵内分泌障害、その他の内分泌疾患
100290xxxxxxxx

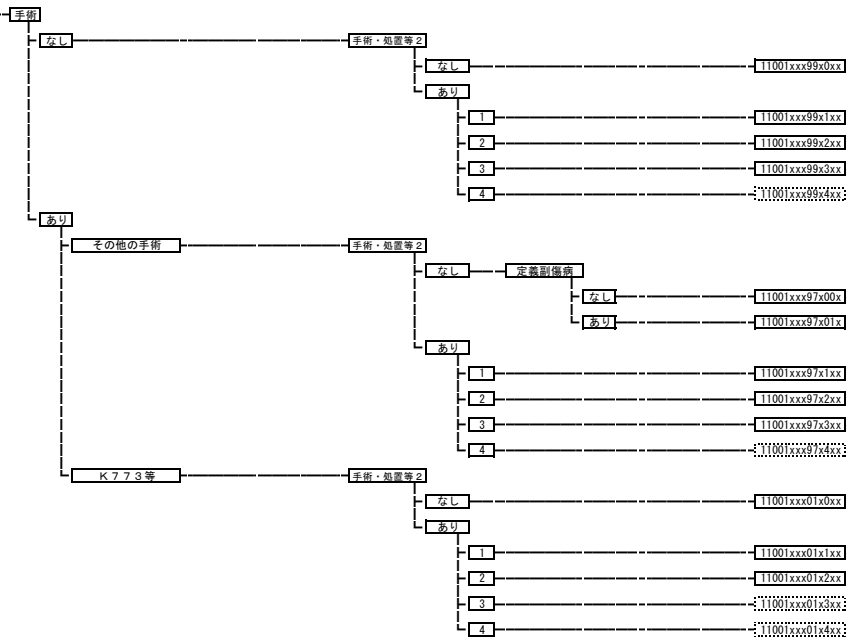
100300 代謝性疾患（糖尿病を除く。）

- 手術
 - なし 100300xx99xxxx
 - あり 100300xx97xxxx



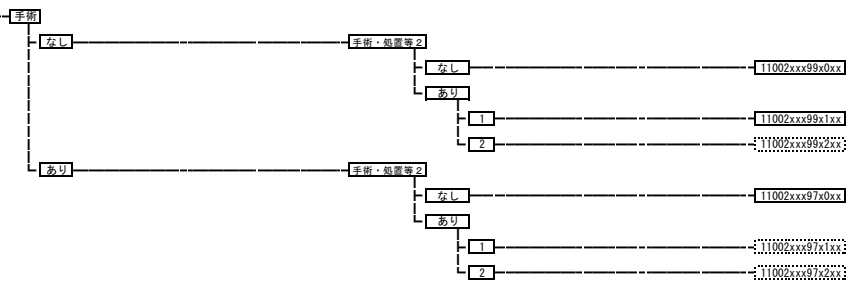
11001x	腎腫瘍		
		110011	腎の悪性腫瘍
		110012	腎の良性腫瘍

手術・処置等2
 1:人工呼吸など
 2:ソラフェニブトシル酸塩など
 3:テムシロリムス
 4:IL-2

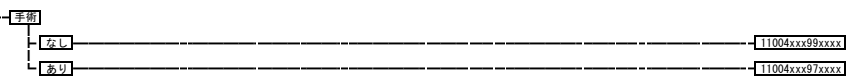


11002x	性器の悪性腫瘍		
		110021	陰茎の悪性腫瘍
		110022	性器の悪性腫瘍

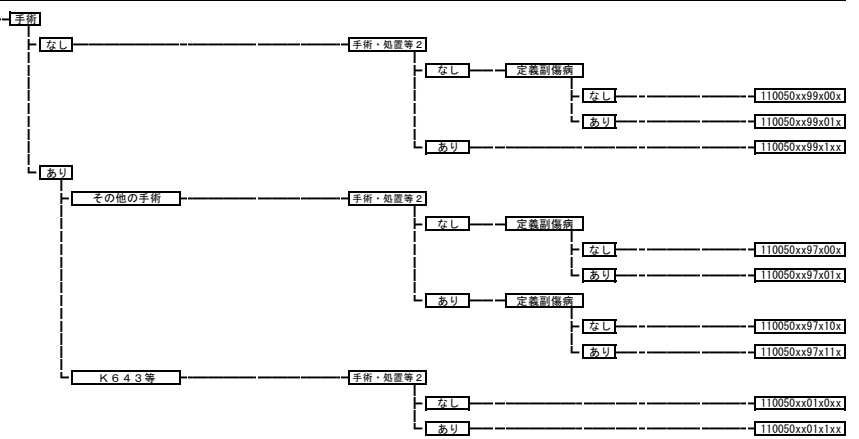
手術・処置等2
 1:化学療法、放射線療法
 2:ニホルマブ



11004x	尿道・性器の良性腫瘍		
		110041	尿道腫瘍
		110042	性器の良性腫瘍（その他）

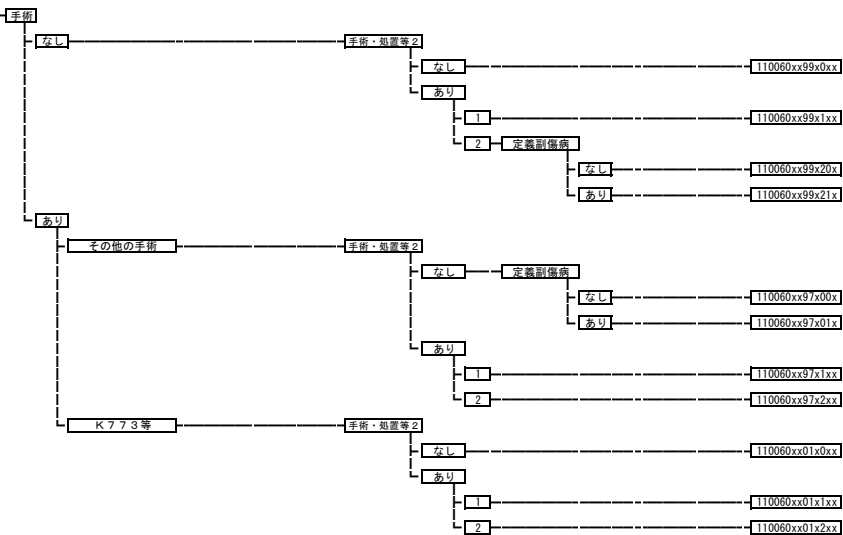


110050	後腹膜疾患		
---------------	-------	--	--



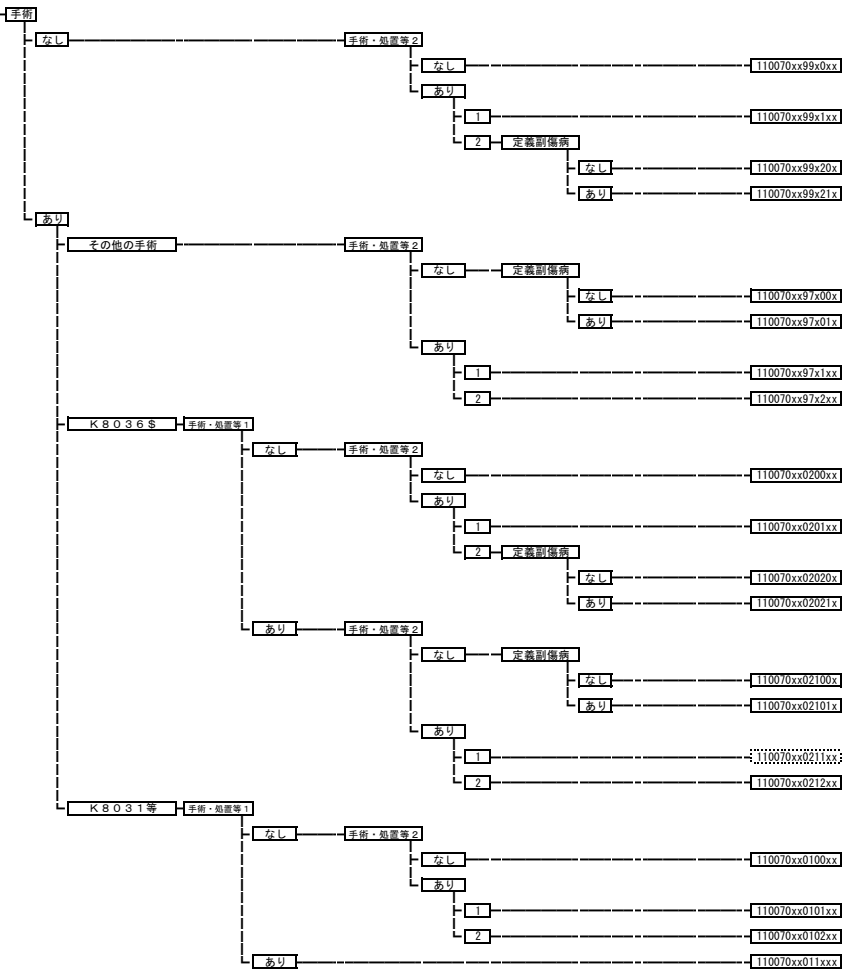
110060 腎盂・尿管の悪性腫瘍

手術・処置等 2
1: 人工呼吸など
2: 化学療法



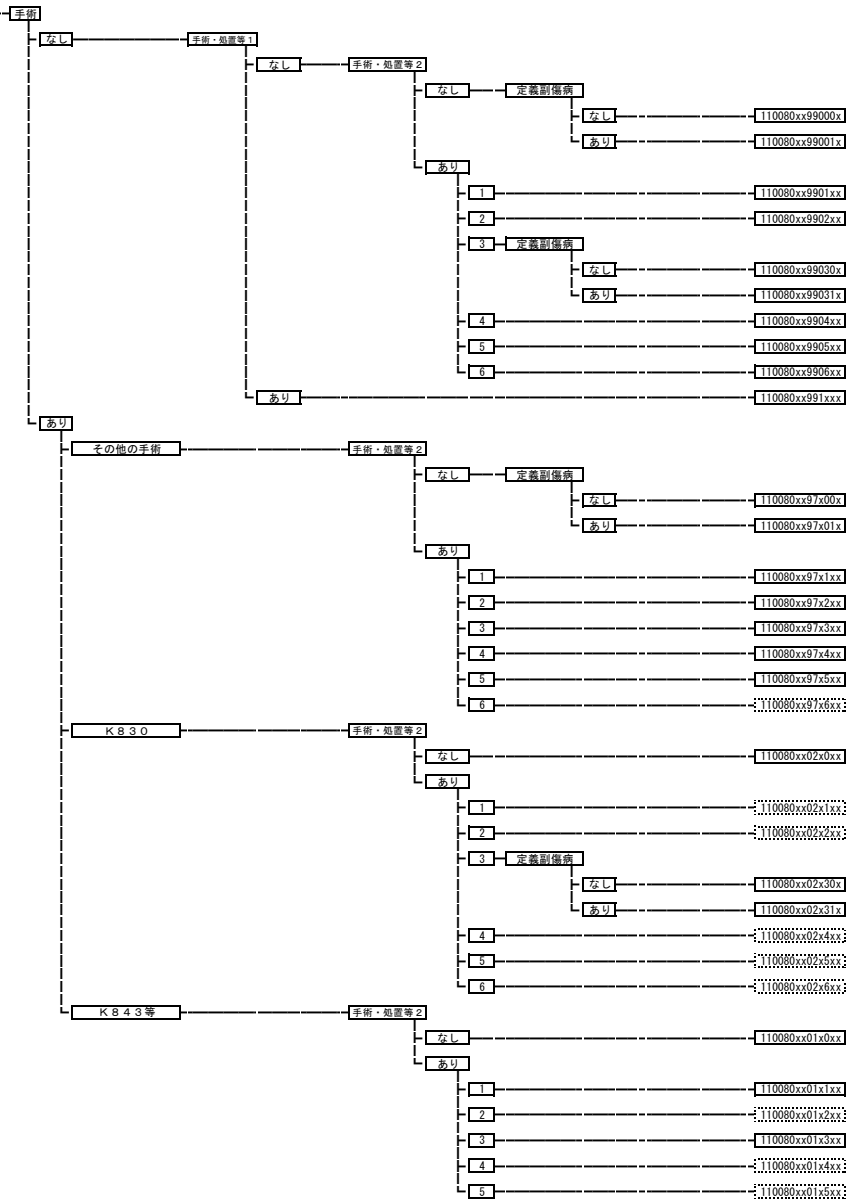
110070 膀胱腫瘍

手術・処置等 2
1: 人工呼吸など
2: 化学療法

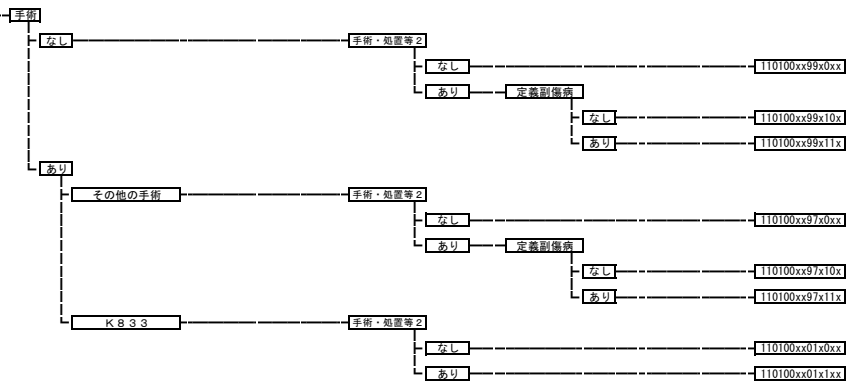


110080 前立腺の悪性腫瘍

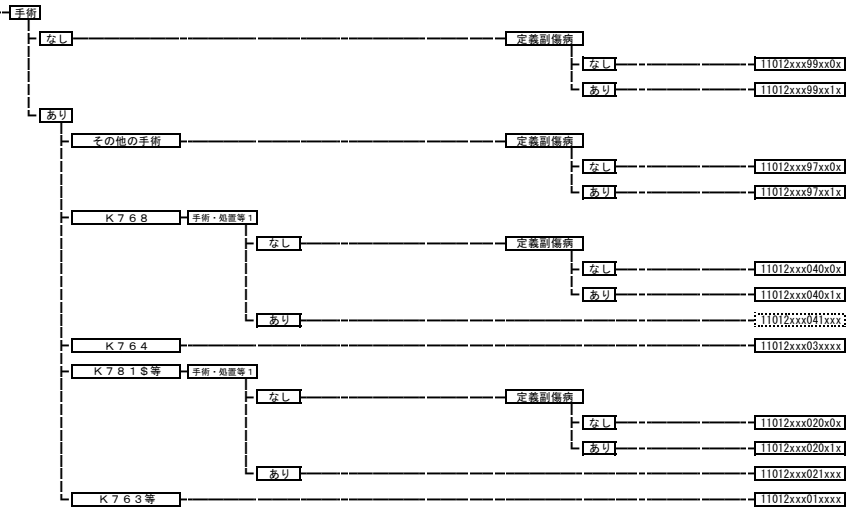
手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: ドセタキセル水和物、化学療法
 4: アビラテロン酢酸エステル、エンザルタミド
 5: カビタキセル アセトン付加物
 6: 密封小線源治療（一連につき） 組織内照射 前立腺癌に対する永久挿入療法



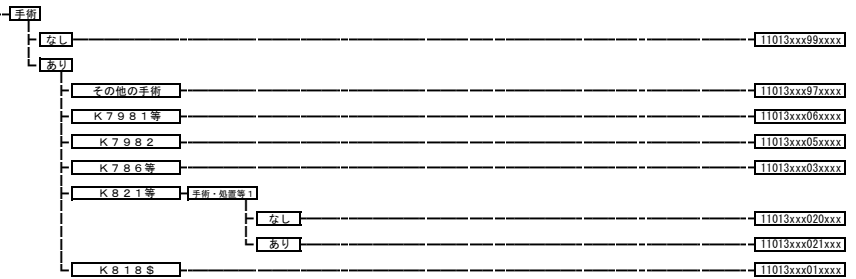
110100 精巣腫瘍



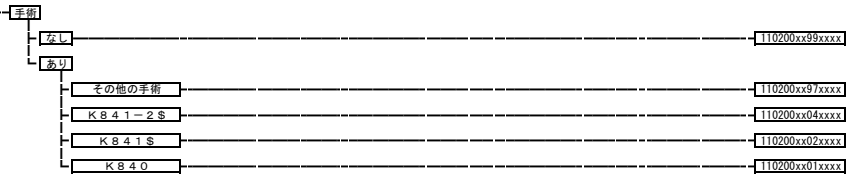
11012x	上部尿路疾患	
	110121	上部尿路結石
	110122	上部尿路疾患（その他）



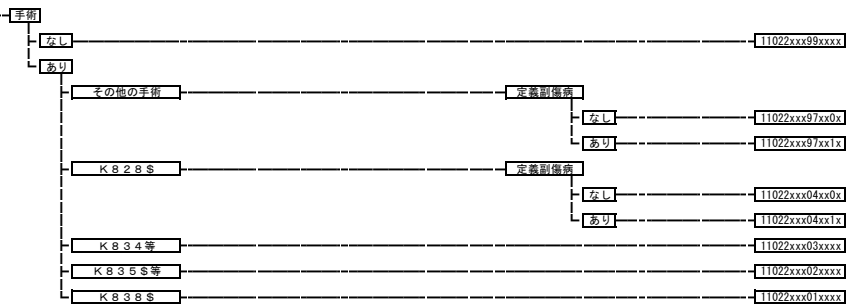
11013x	下部尿路疾患	
	110131	下部尿路結石症
	110132	膀胱尿管逆流症
	110133	神経因性膀胱
	110134	下部尿路の炎症
	110135	尿道狭窄
	110136	尿失禁

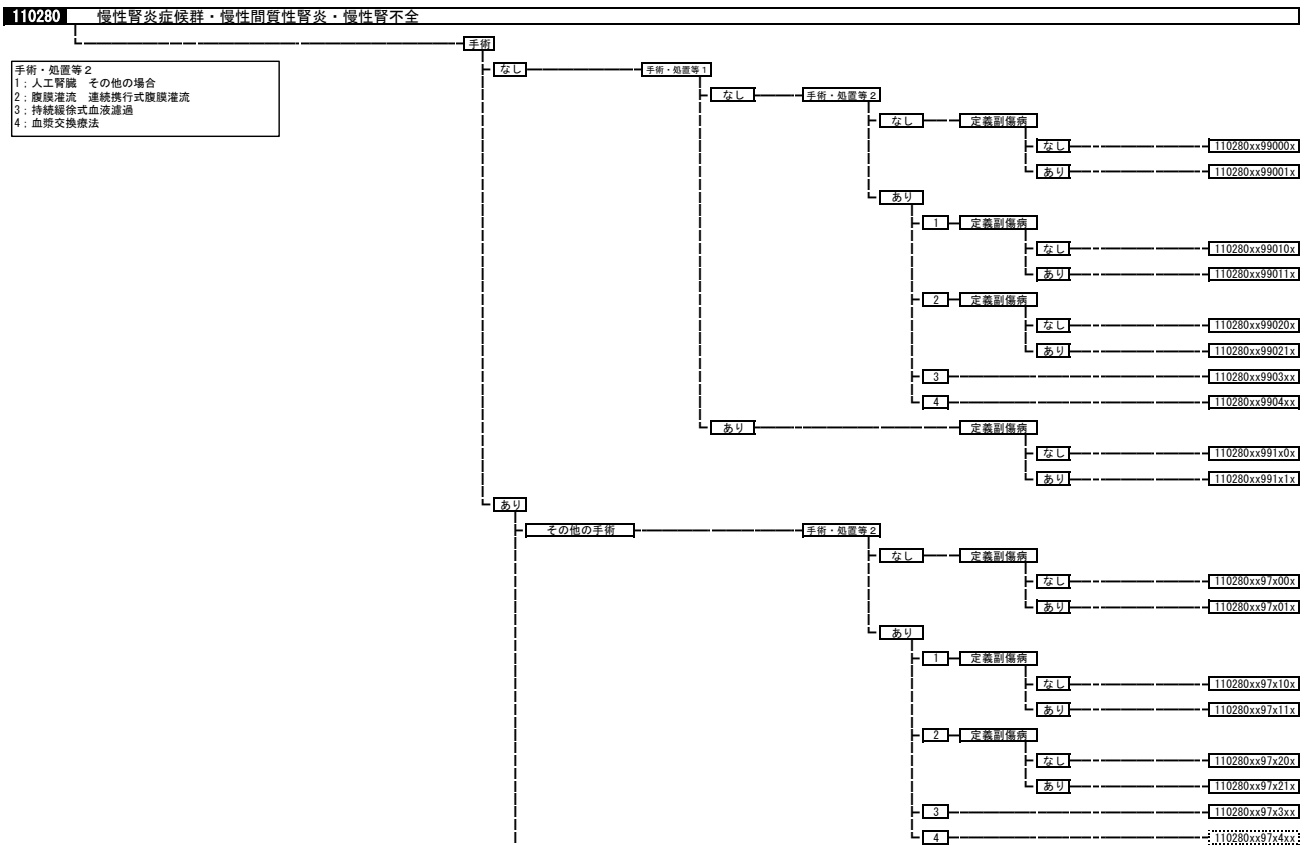
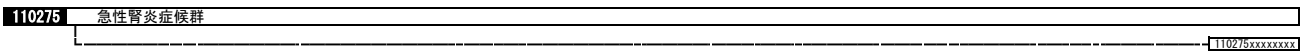
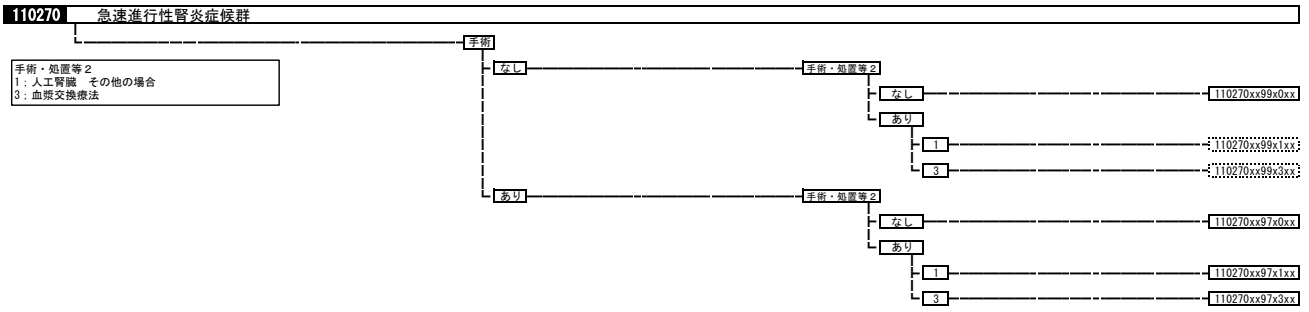
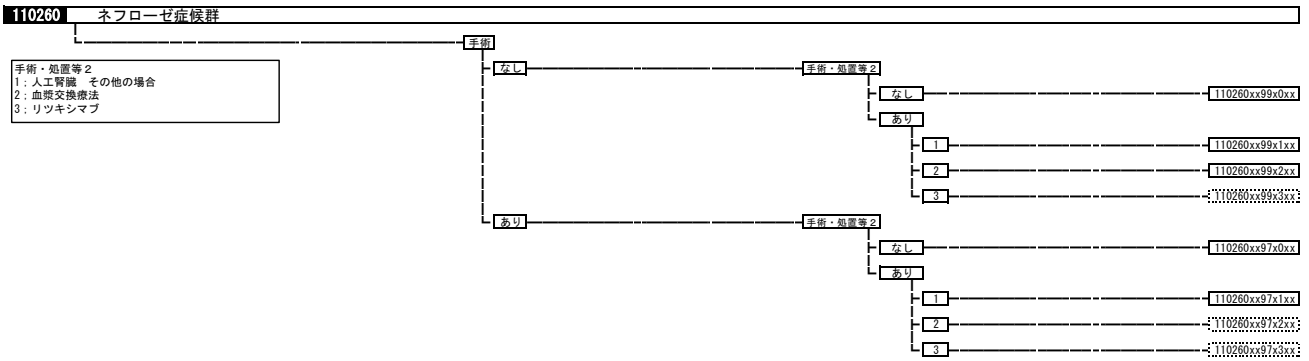


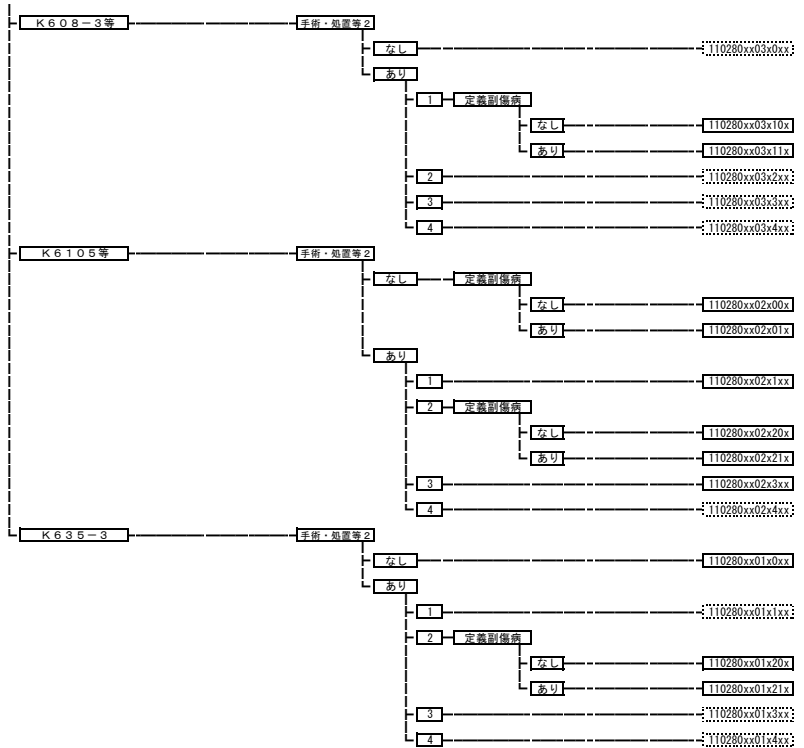
110200	前立腺肥大症等
---------------	----------------



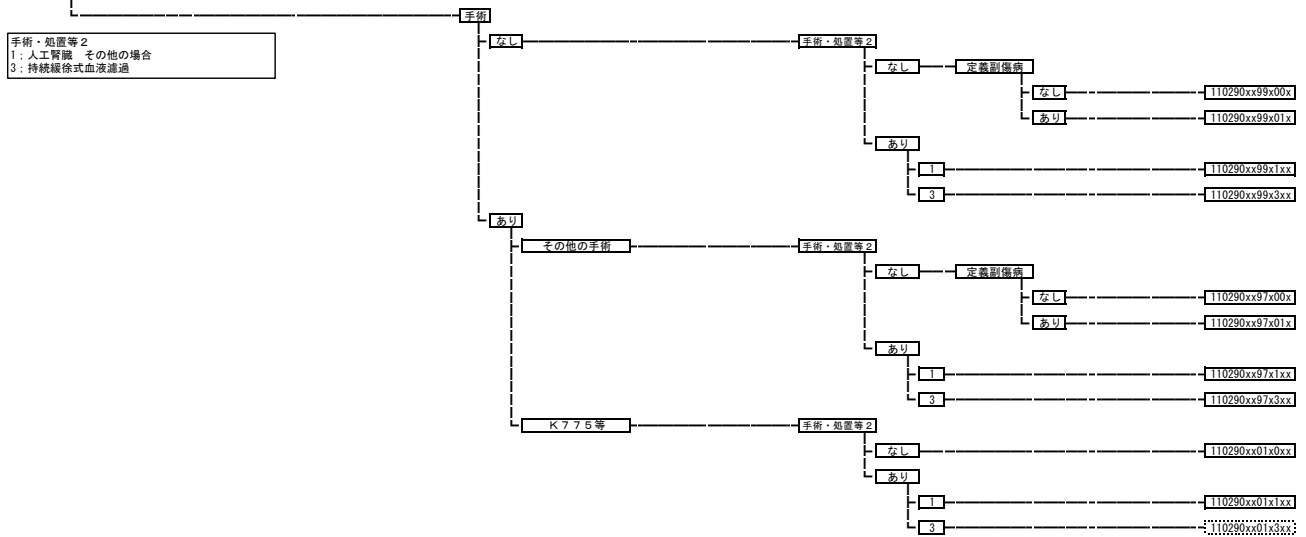
11022x	男性生殖器疾患	
	110221	男性生殖器炎症性疾患
	110222	陰茎・包皮の疾患
	110223	陰嚢内疾患（悪性、炎症性疾患を除く。）
	110224	男性生殖器の障害



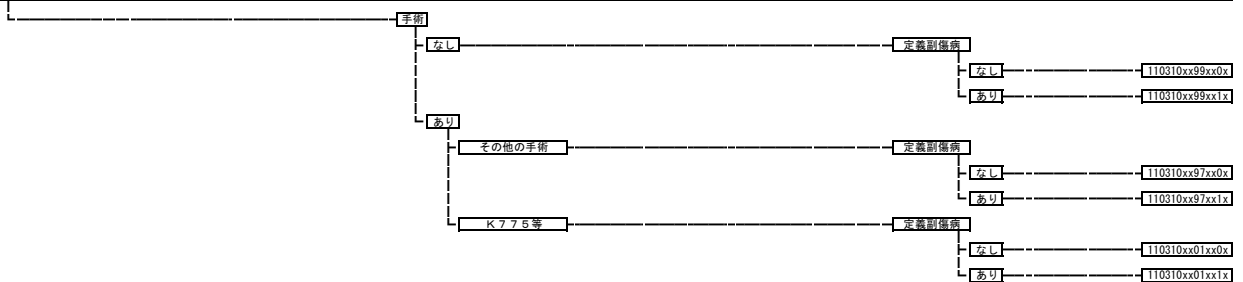




110290 急性腎不全

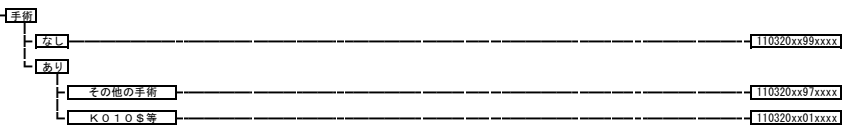


110310 腎臓または尿路の感染症

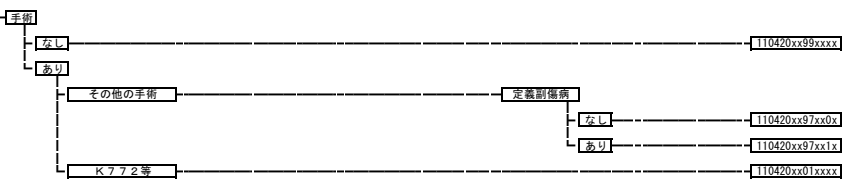


手術・処置等2
1: 人工腎臓 その他の場合
3: 持続経徐式血液濾過

110320 腎、泌尿器の疾患（その他）



110420 水腎症（その他）

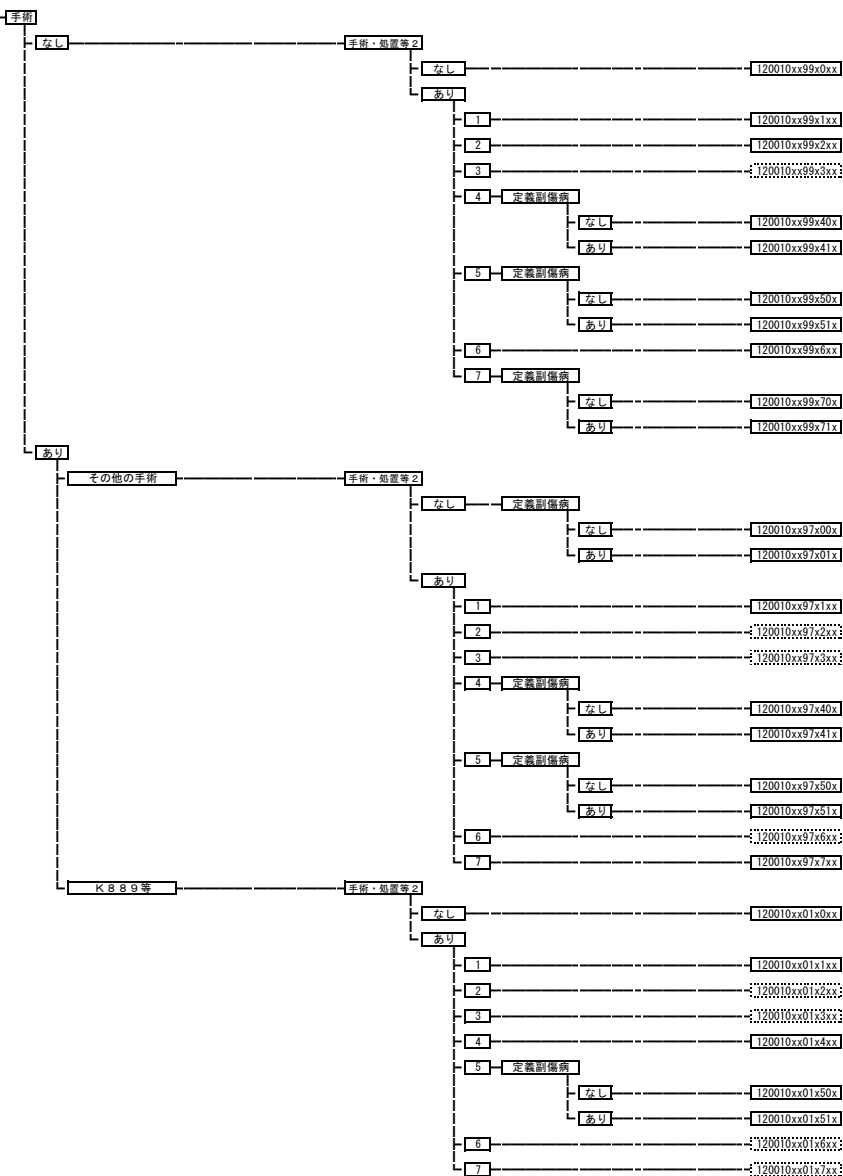


110430 腎動脈塞栓症

110430xxxxxxxx

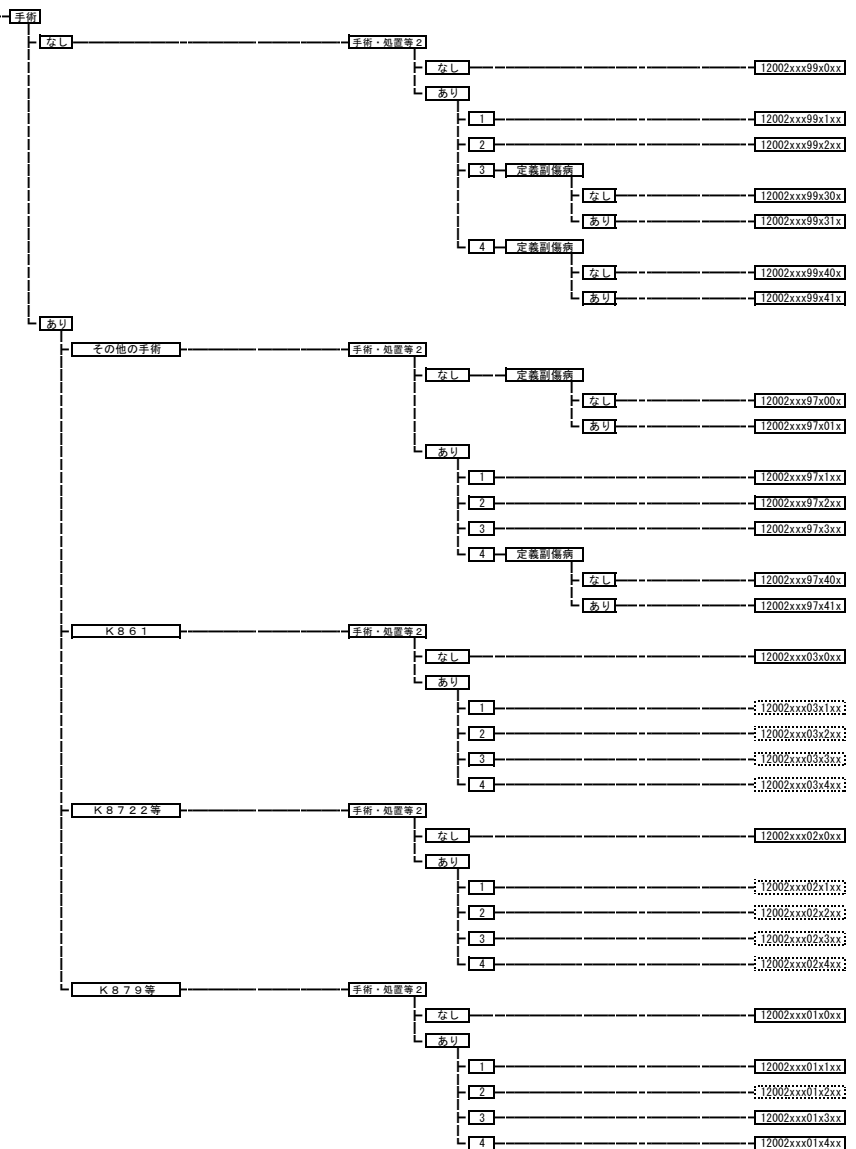
120010 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍

手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: カルボプラチン・パクリタキセルあり、
 カルボプラチン・ドセタキセル水和物あり
 6: ドキソビリン塩酸塩リポソーム製剤
 7: ベバシズマブ



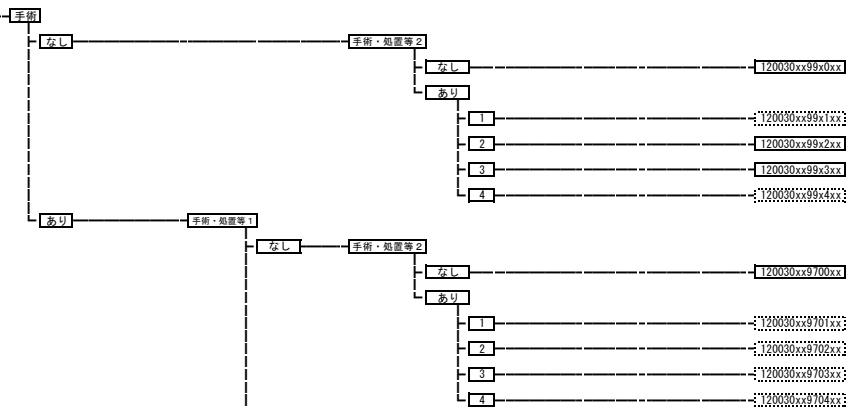
12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍
	120021 子宮頸部の悪性腫瘍
	120022 子宮体部の悪性腫瘍
	120023 子宮の悪性腫瘍（その他）

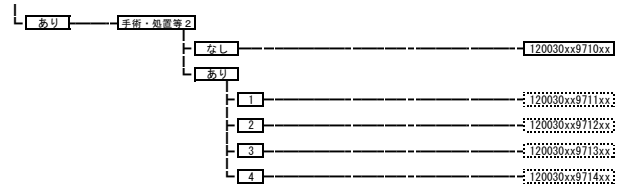
手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし



120030	外陰の悪性腫瘍
---------------	----------------

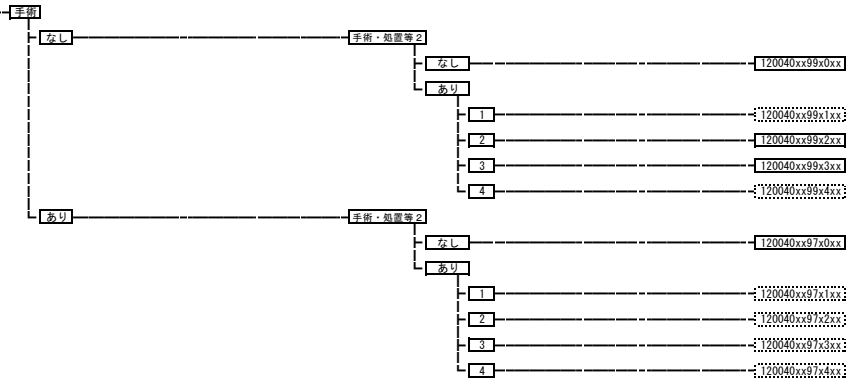
手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: ニボルマブ



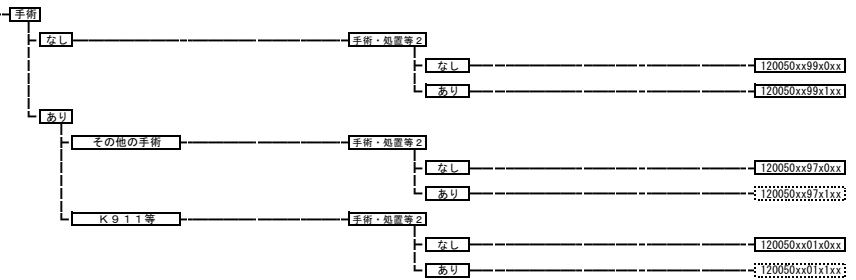


120040 腔の悪性腫瘍

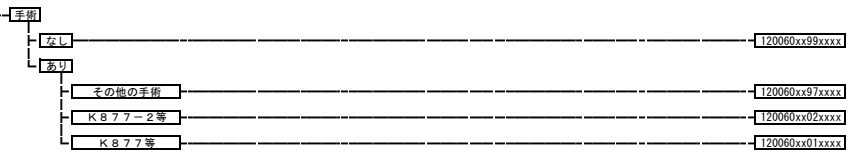
手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: ニボルマブ



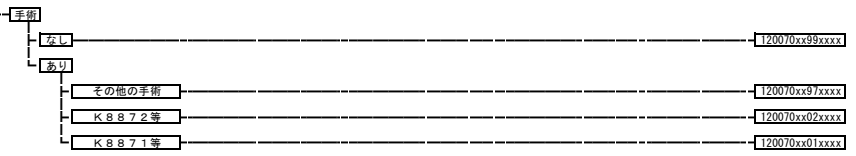
120050 絨毛性疾患



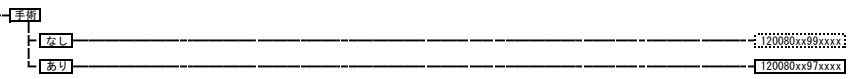
120060 子宮の良性腫瘍



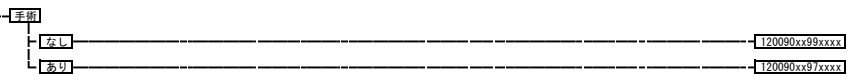
120070 卵巣の良性腫瘍

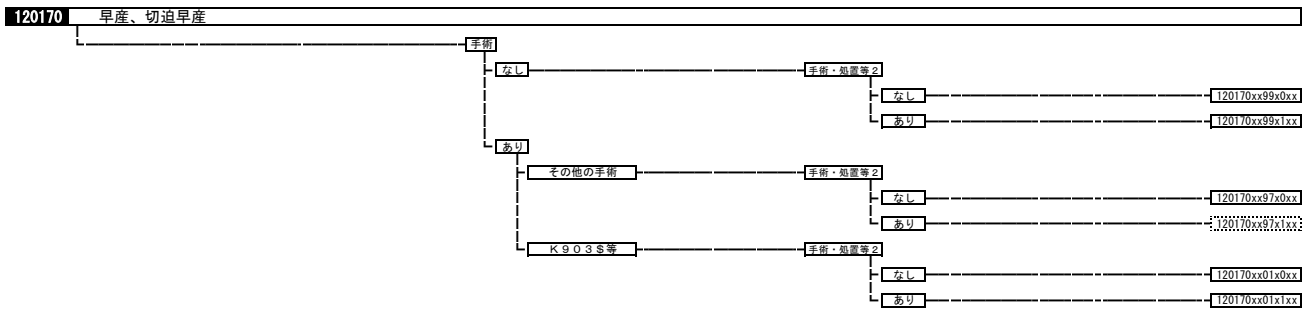
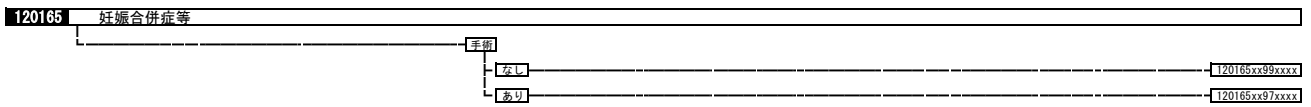
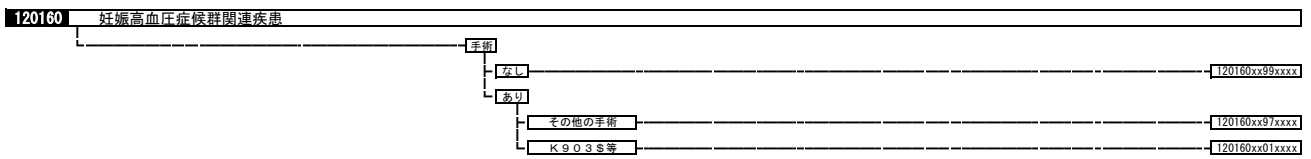
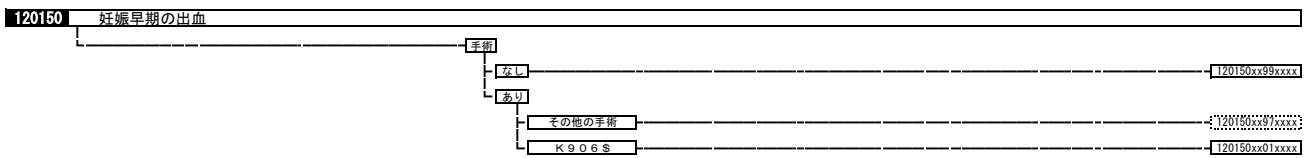
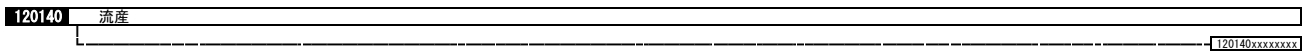
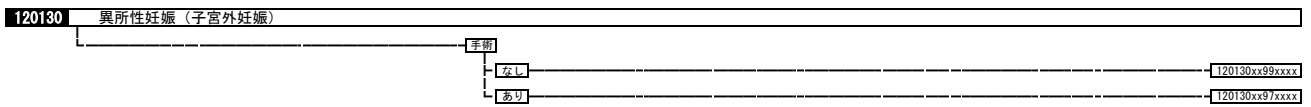
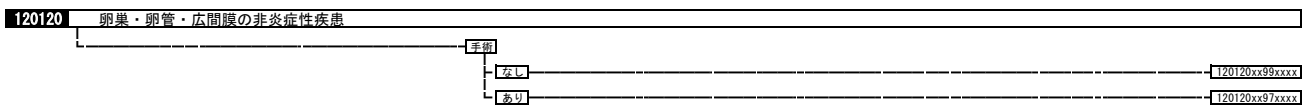
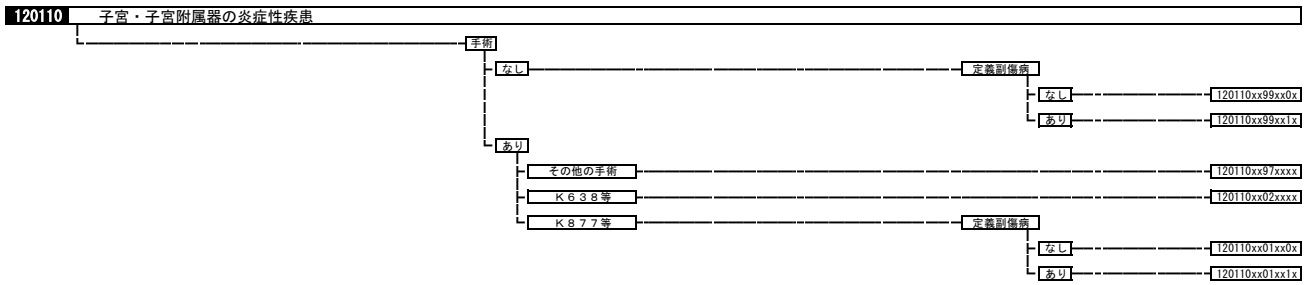
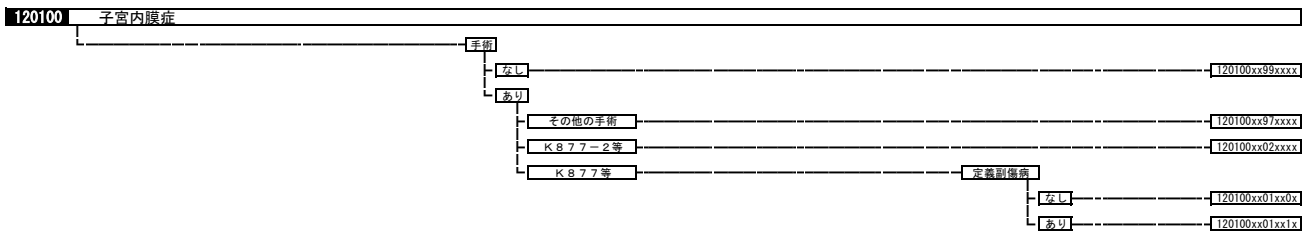


120080 女性生殖器の良性腫瘍（その他）

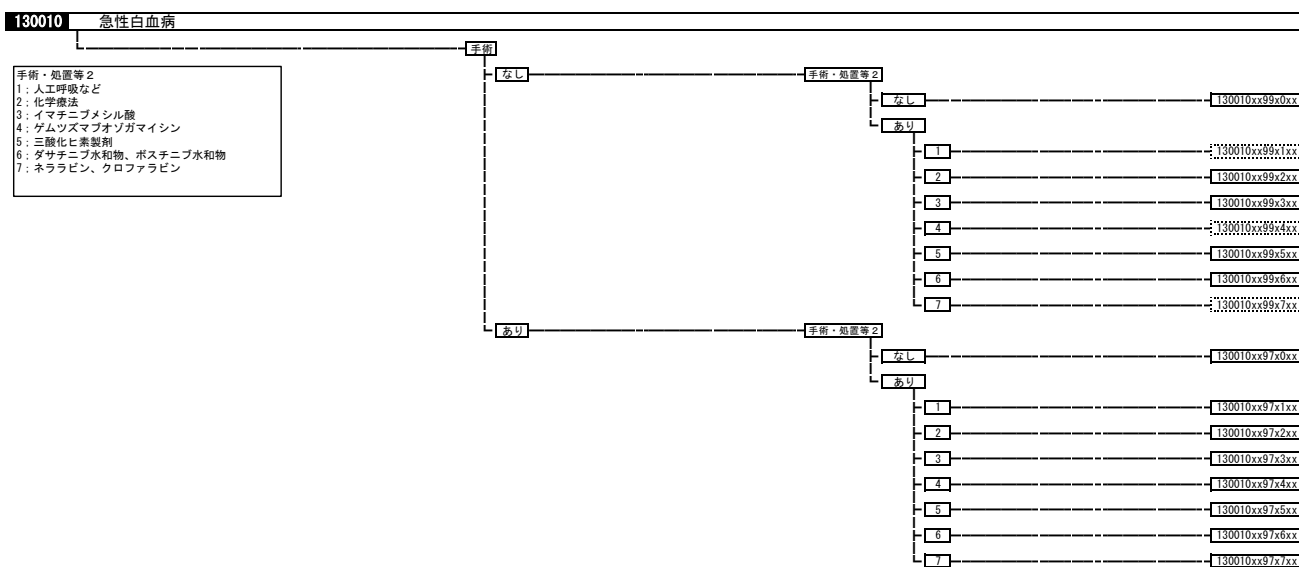
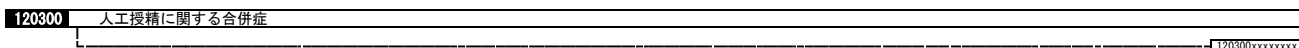
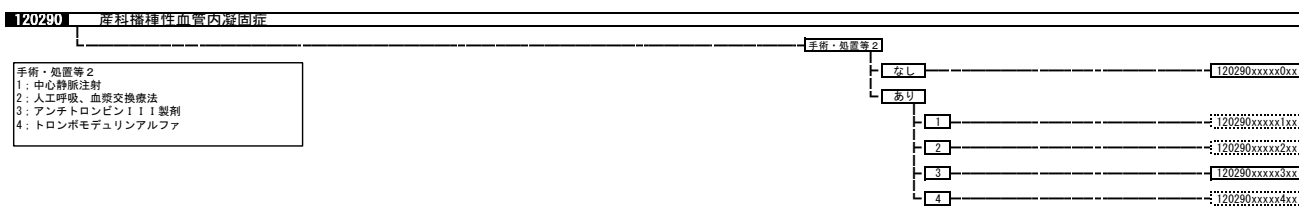
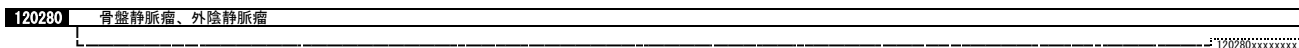
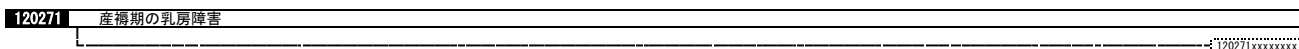
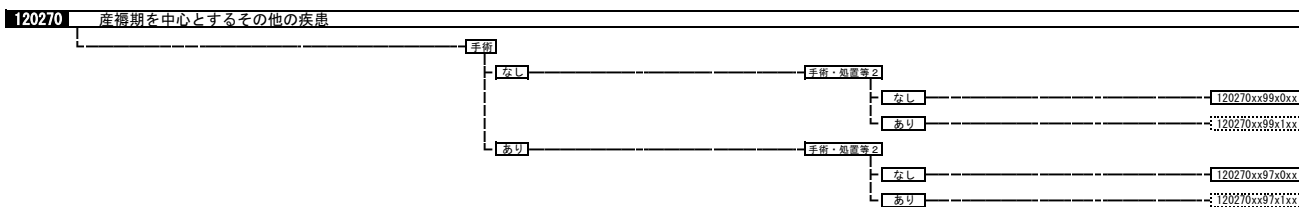
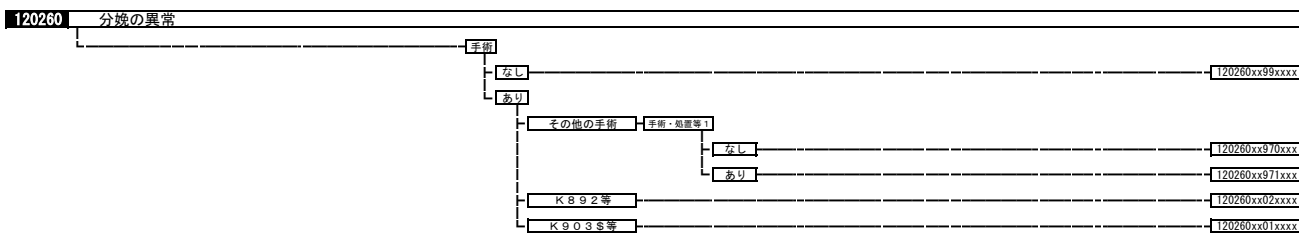
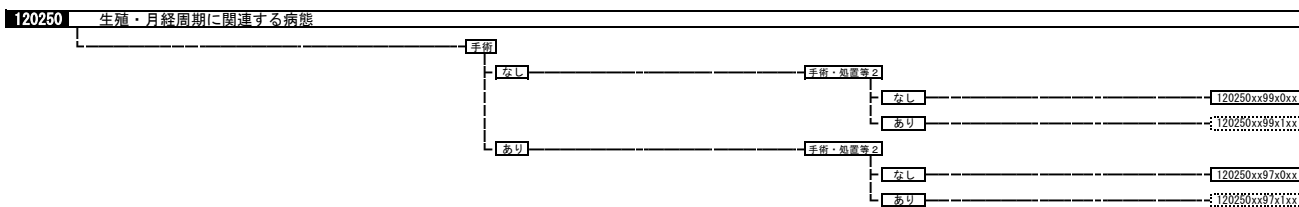


120090 生殖器脱出症



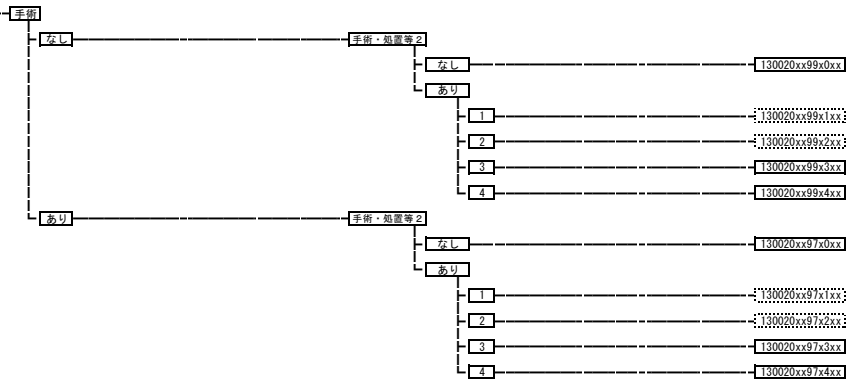






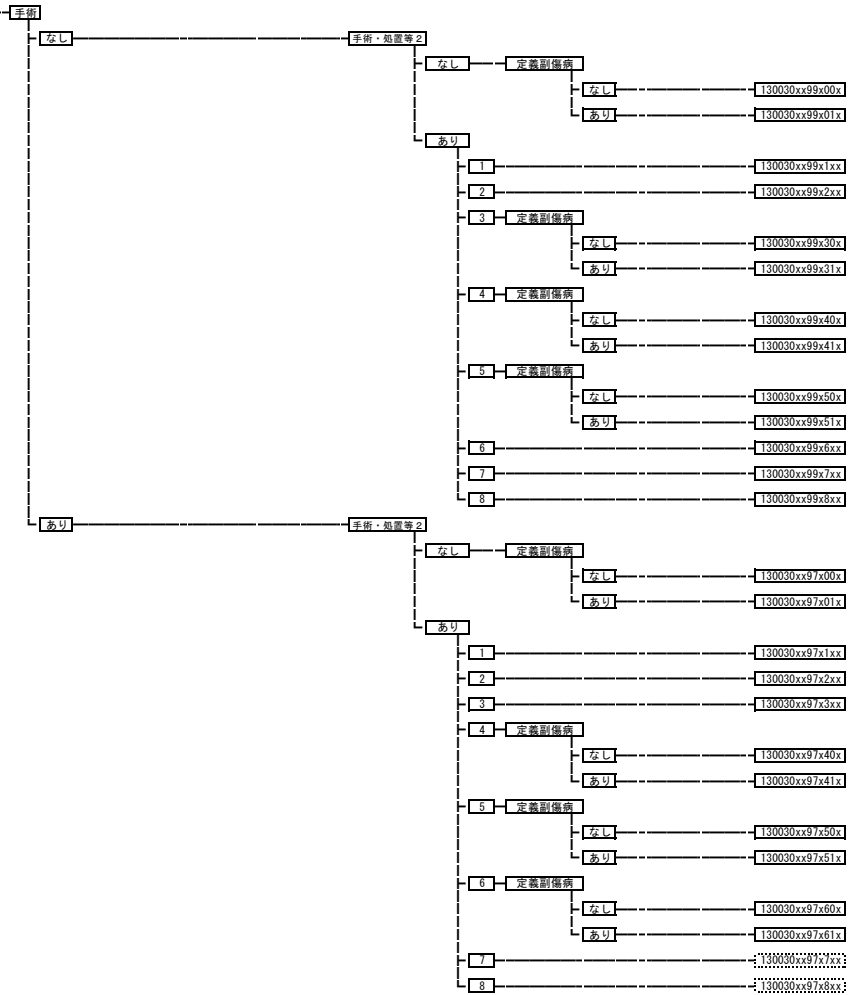
130020 **ホジキン病**

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: プレンツキシマブ ベドテン



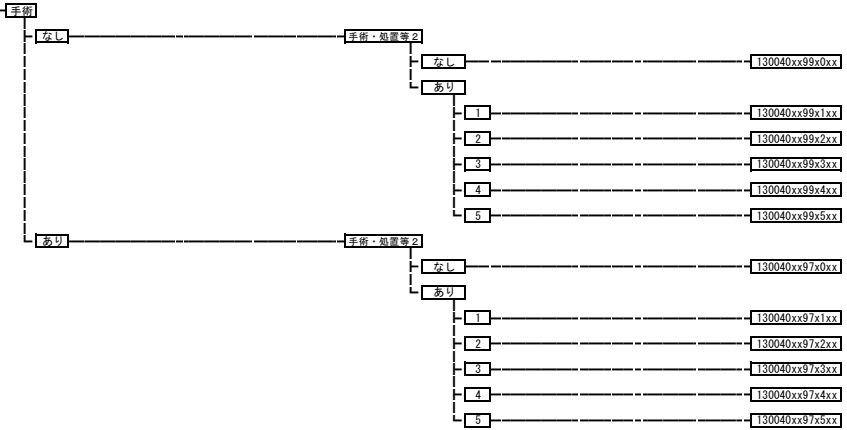
130030 **非ホジキンリンパ腫**

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: リツキシマブ
 5: ベンダムスチン塩酸塩
 6: モガムリズマブ
 7: プレンツキシマブ ベドテン
 8: イブリツモマブチウキセタン塩化インジウム、
 イブリツモマブチウキセタン塩化イットリウム



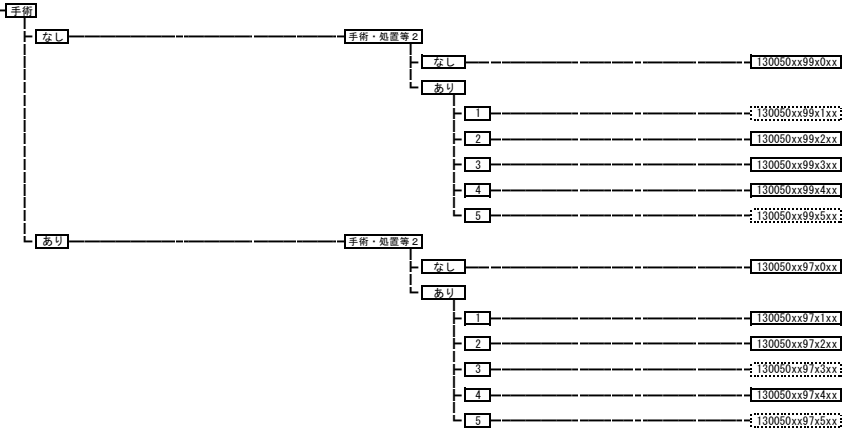
130040 多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: サリドマイド
 5: レナリドミド水和物など



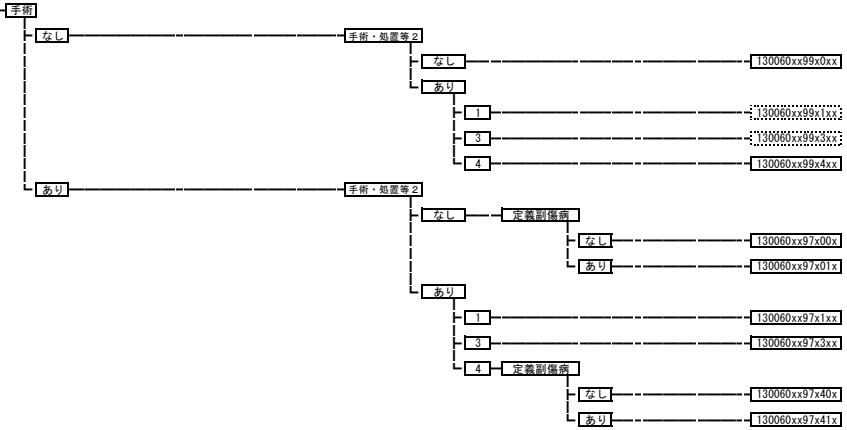
130050 慢性白血病、骨髄増殖性疾患

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法
 3: イマチニブメシル酸
 4: ニロチニブ塩酸塩水和物など
 5: オファツムマブ、アレムツズマブ



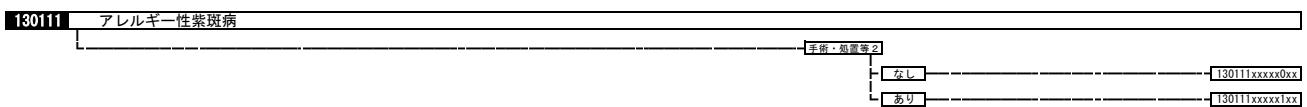
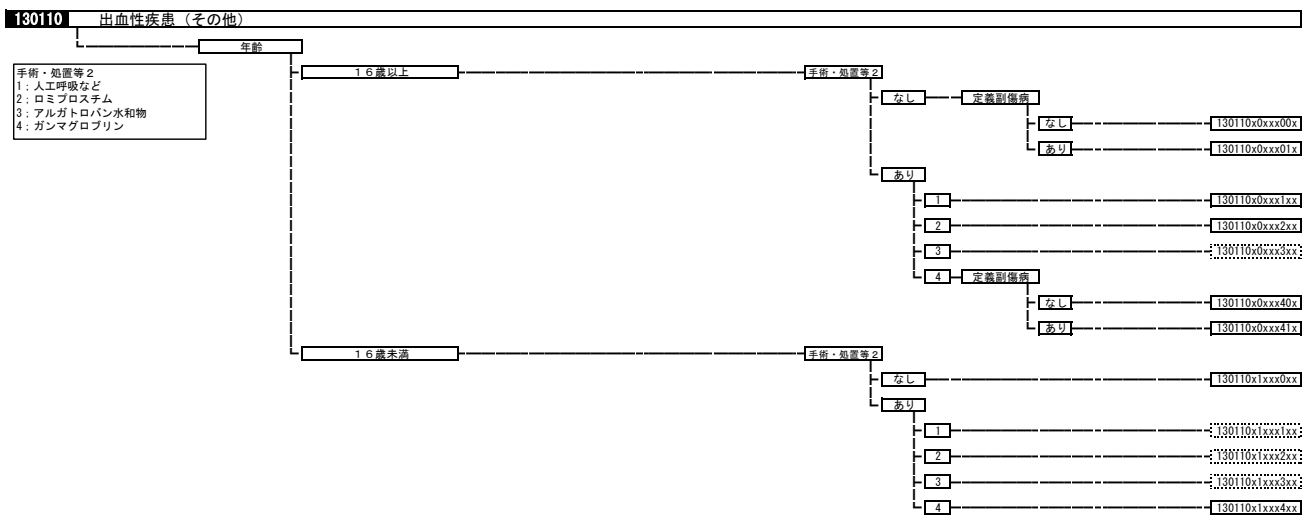
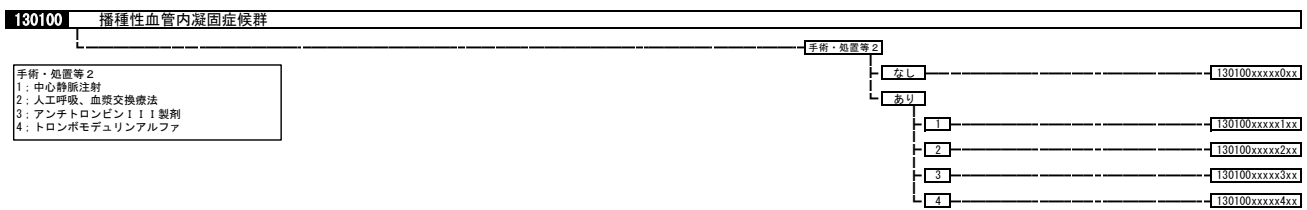
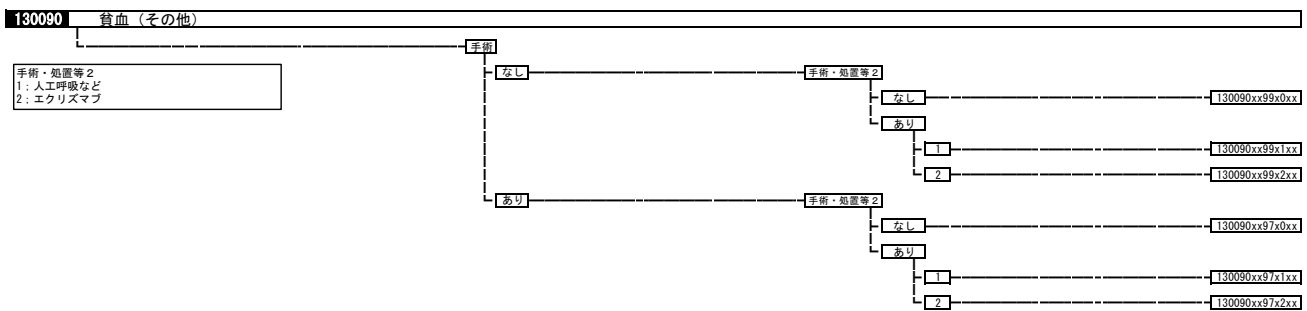
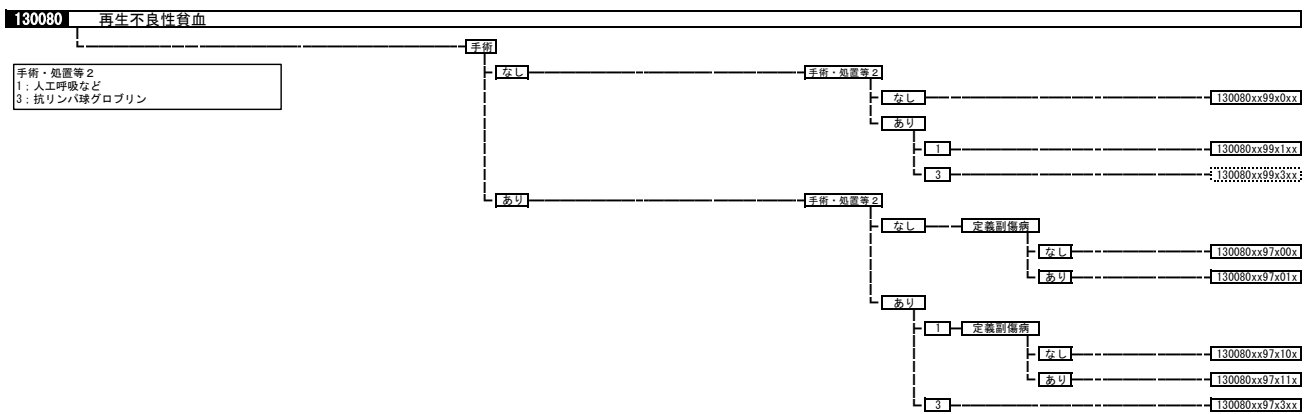
130060 骨髄異形成症候群

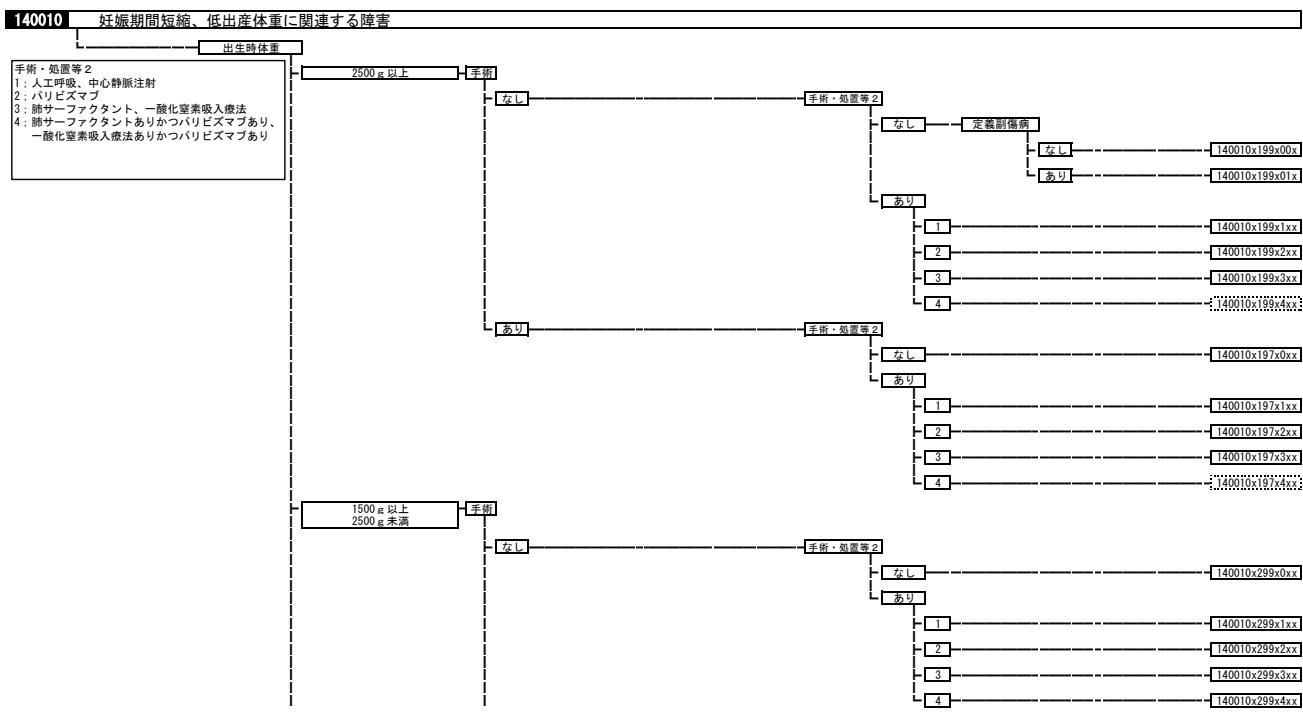
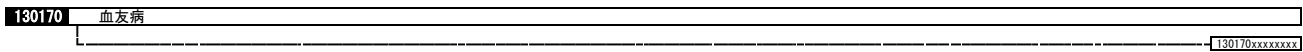
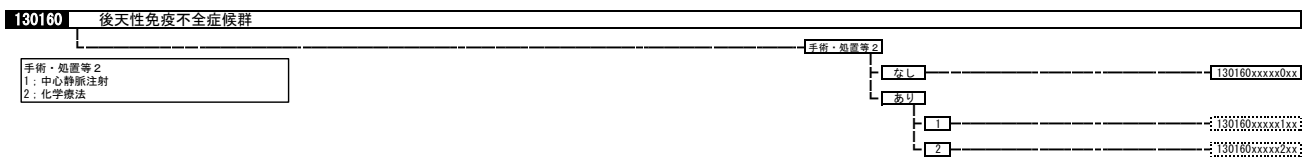
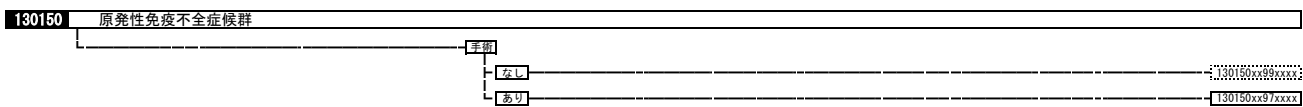
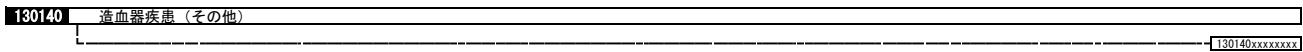
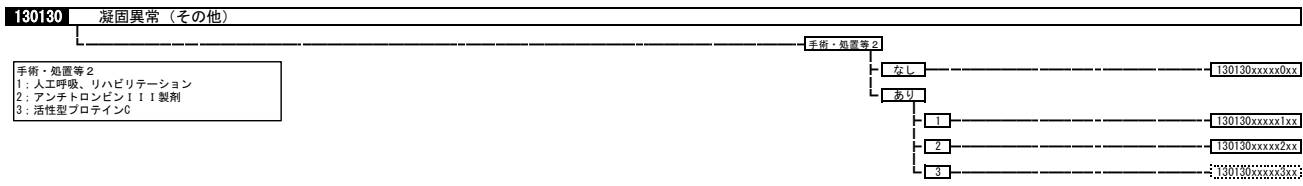
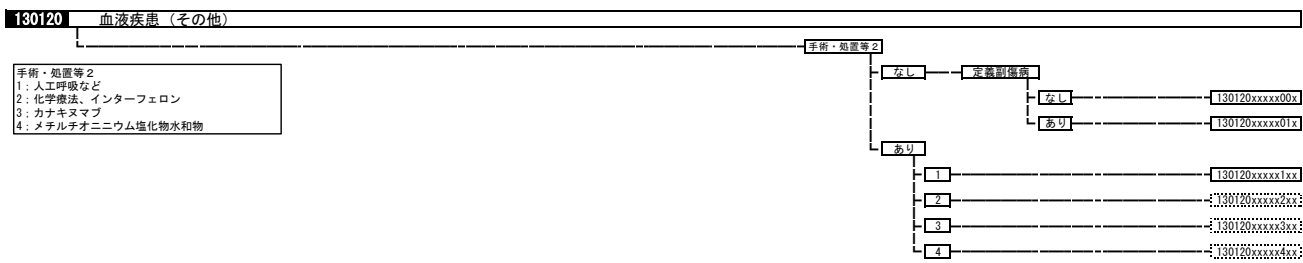
手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法
 3: アザシチジン

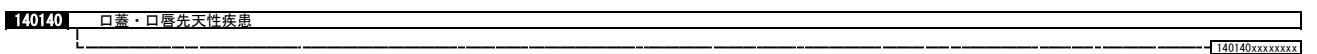
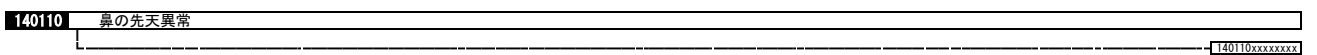
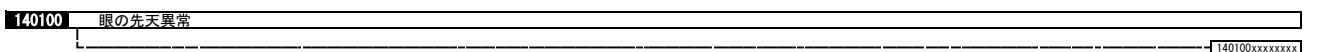
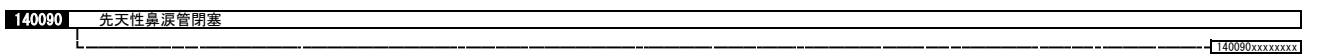
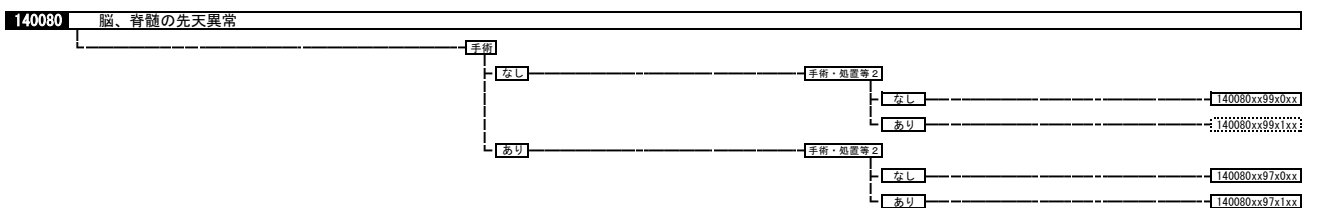
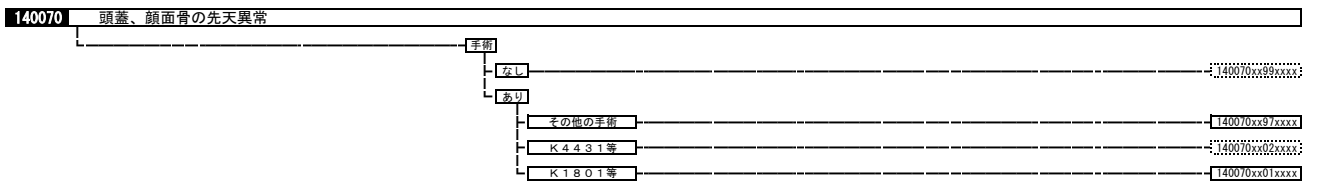
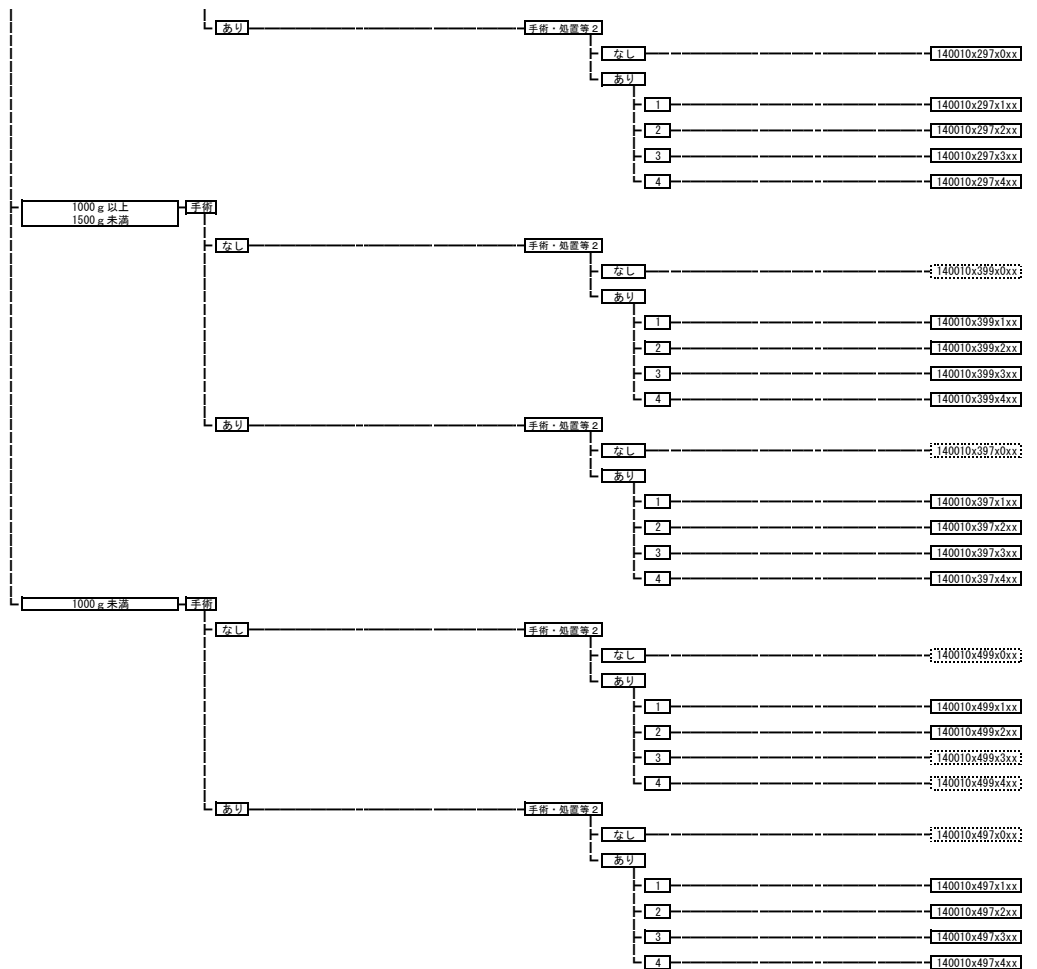


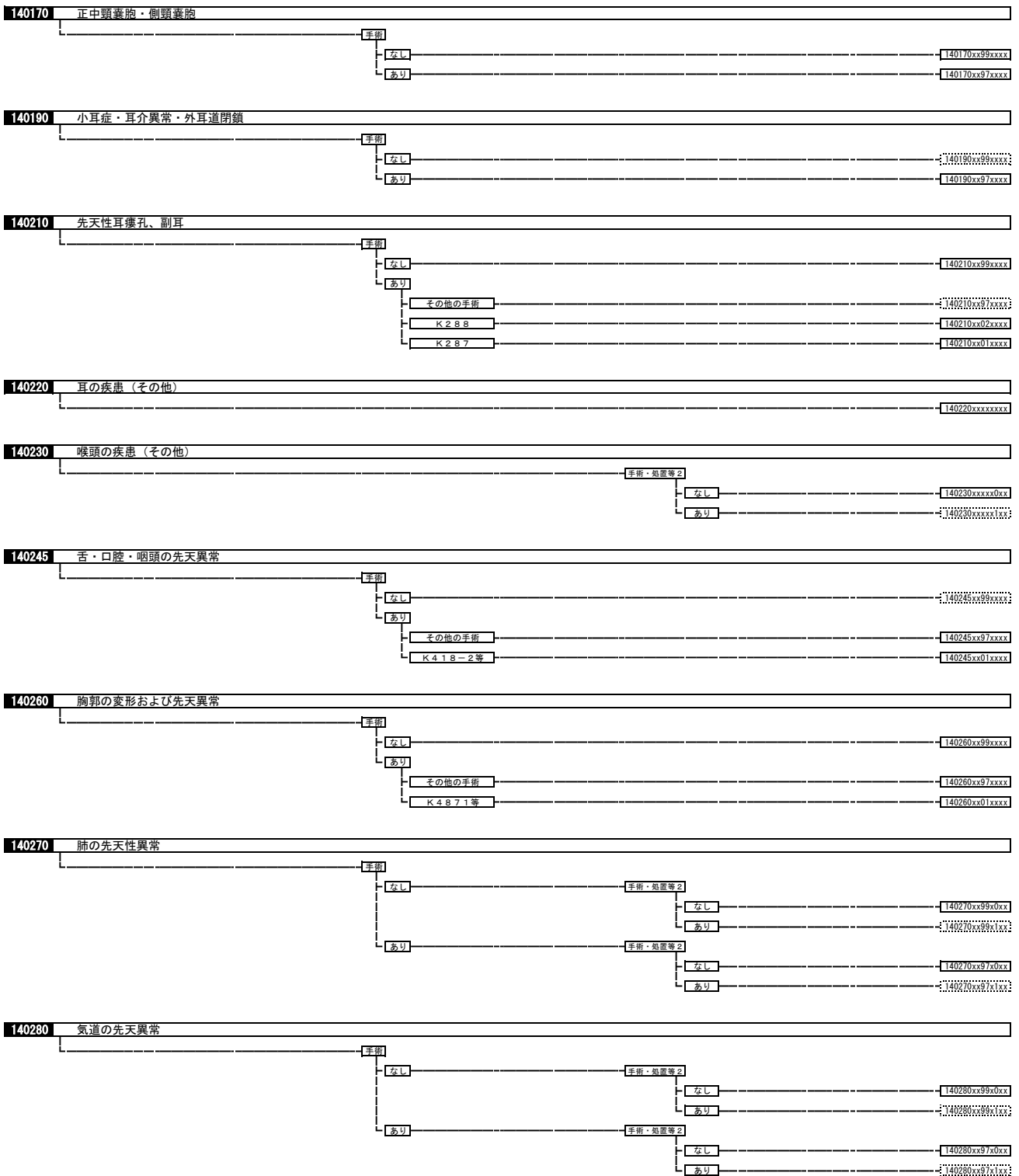
130070 白血球疾患（その他）

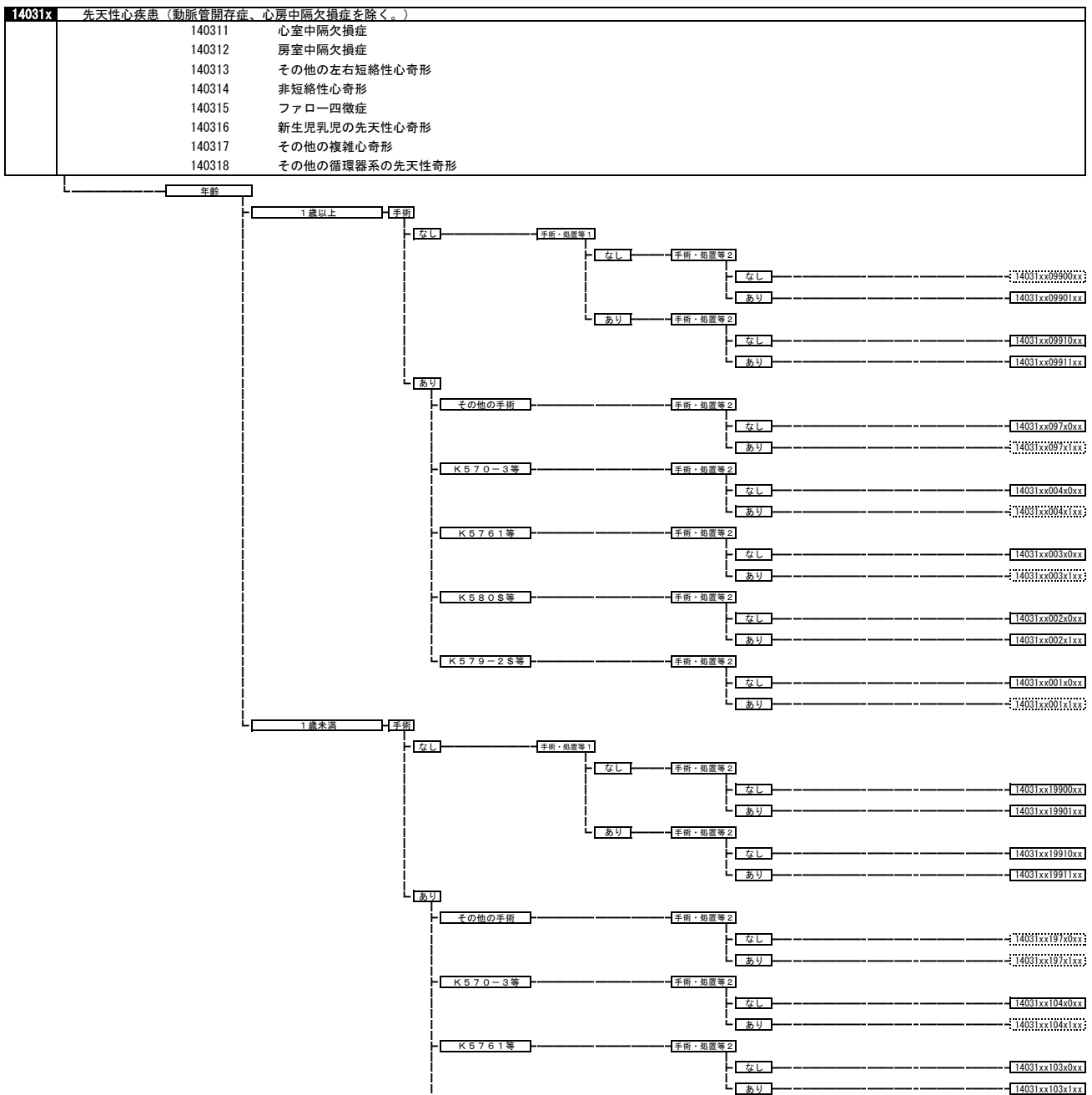
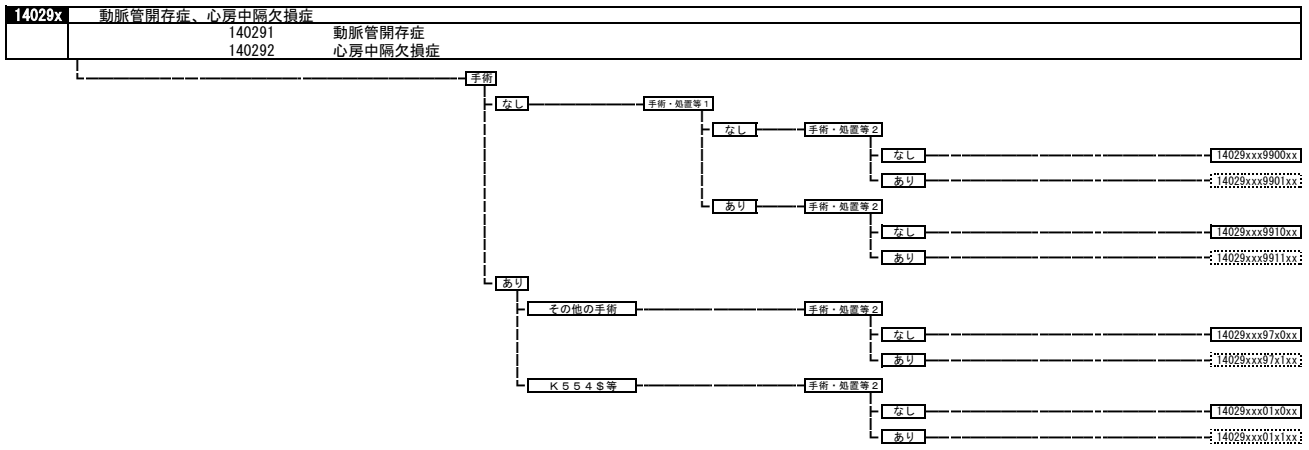


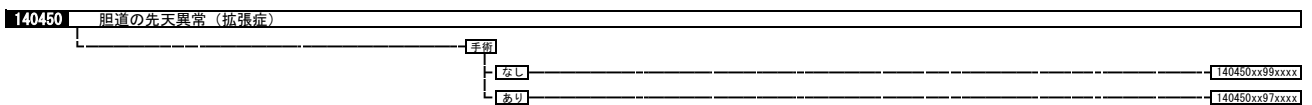
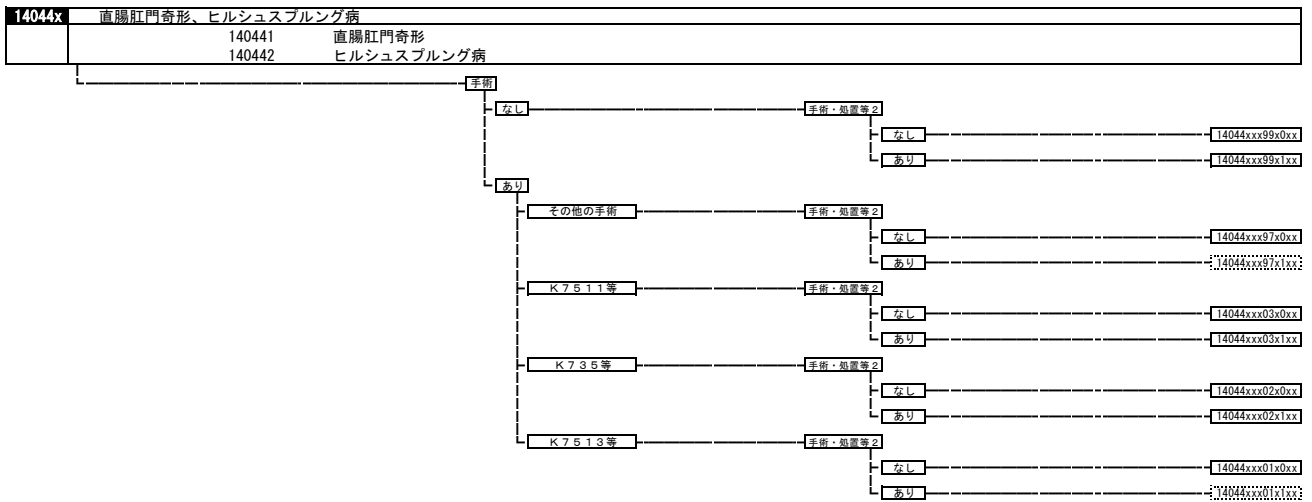
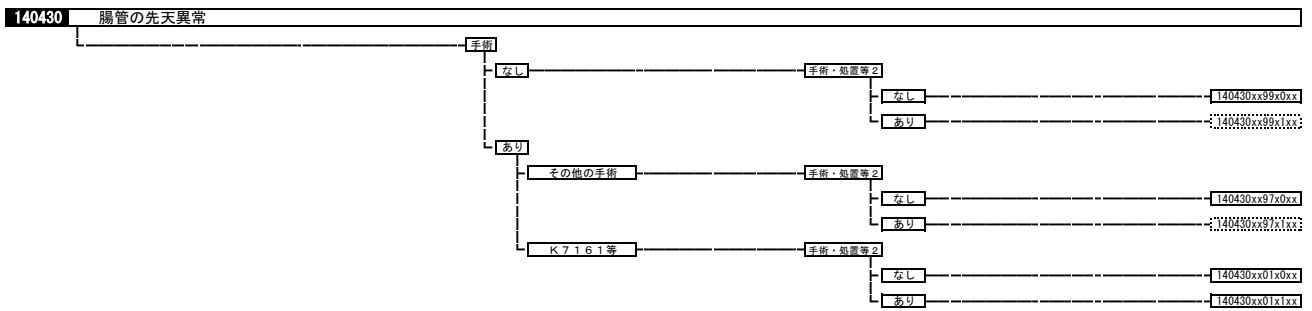
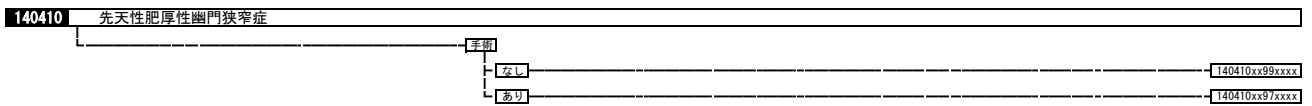
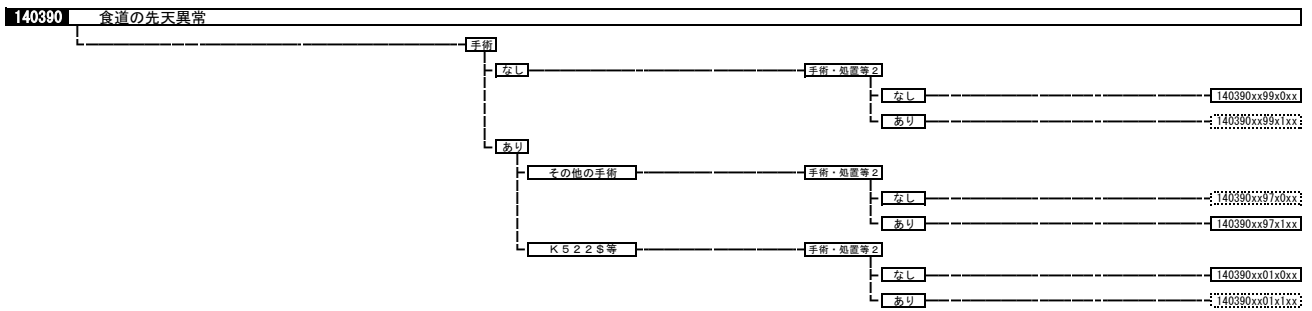
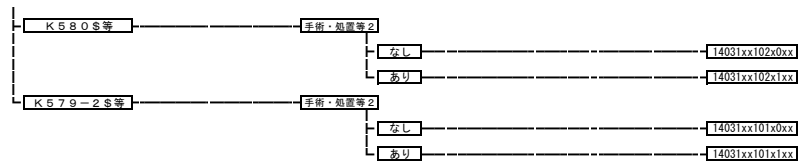


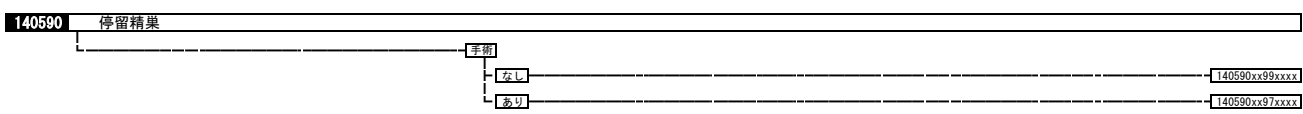
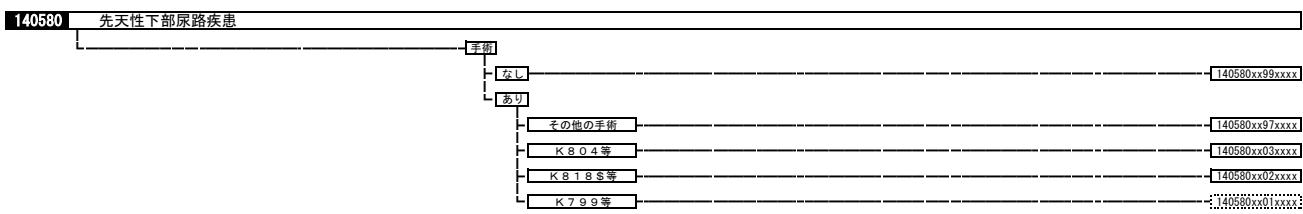
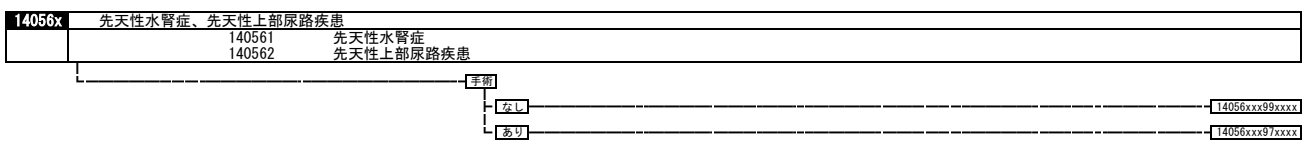
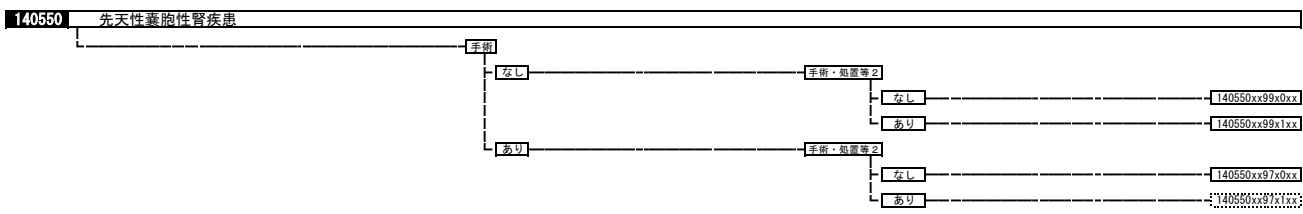
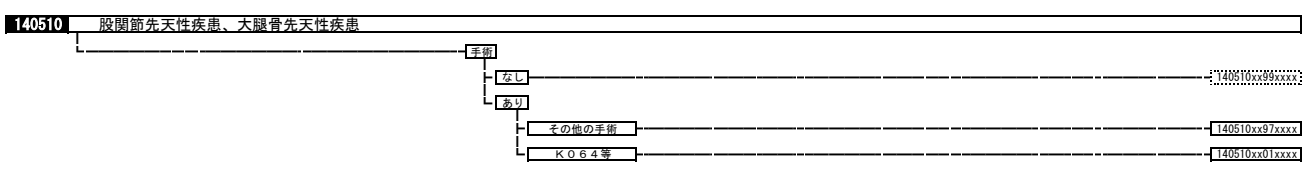
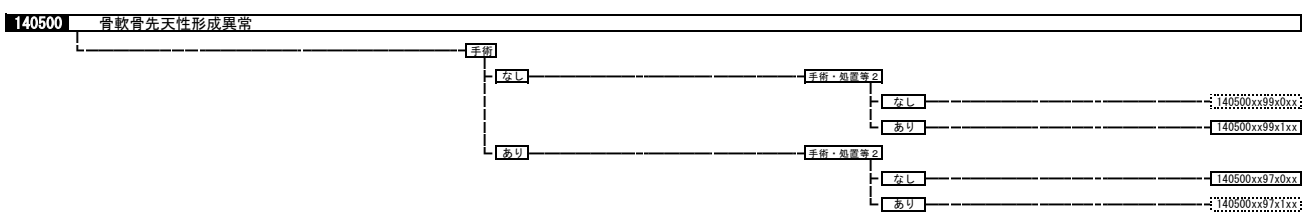
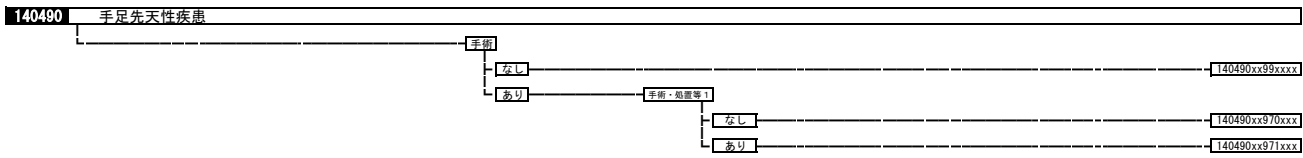
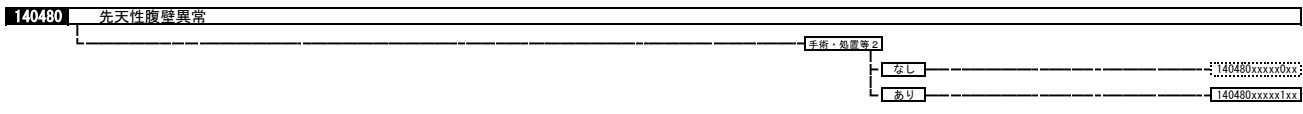
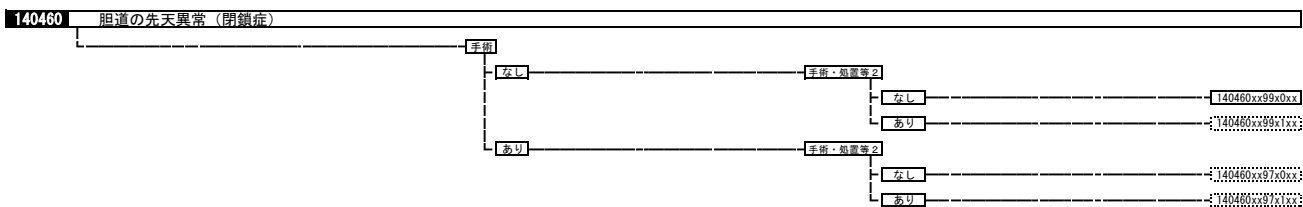


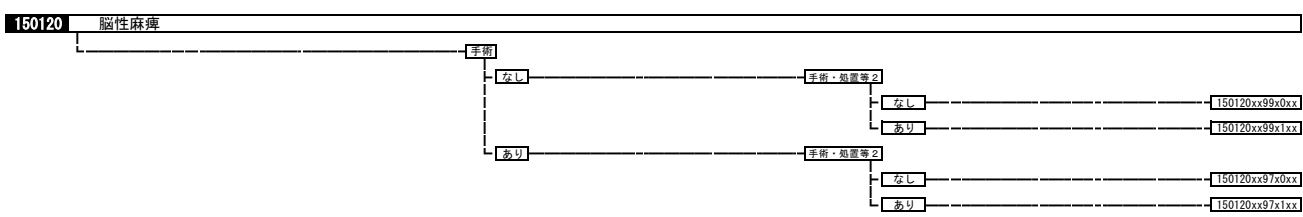
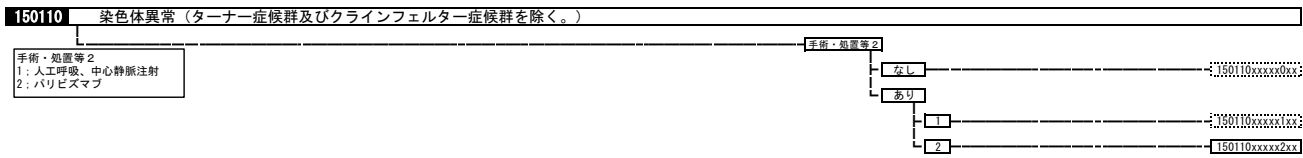
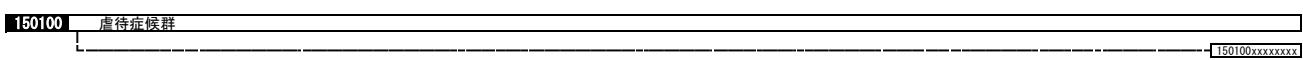
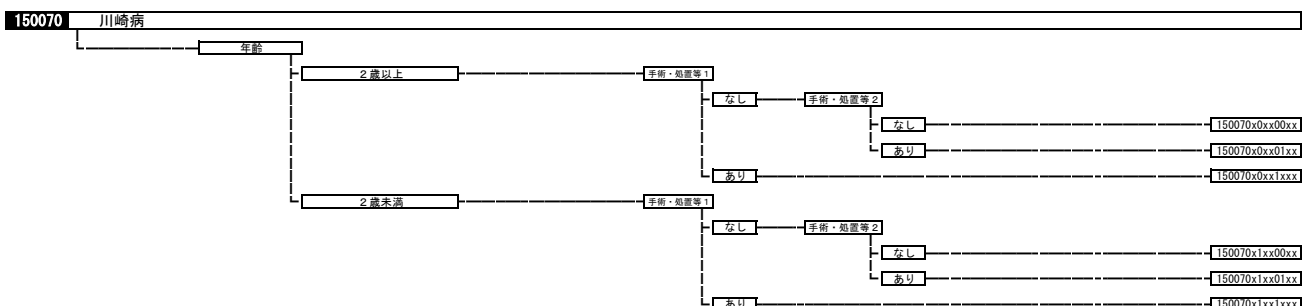
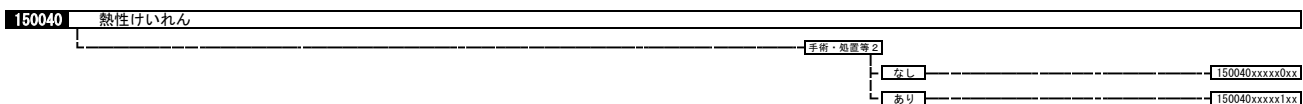
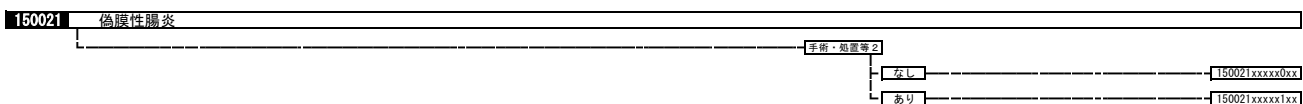
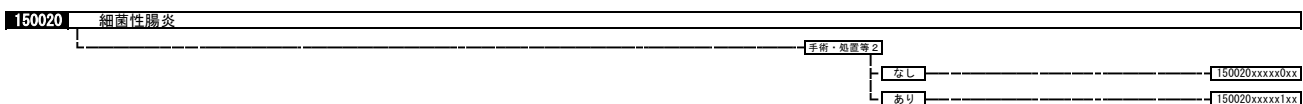
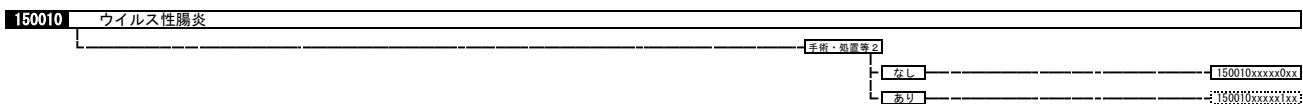
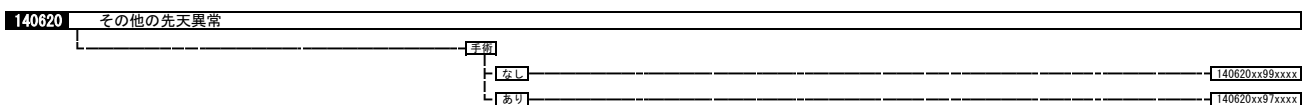
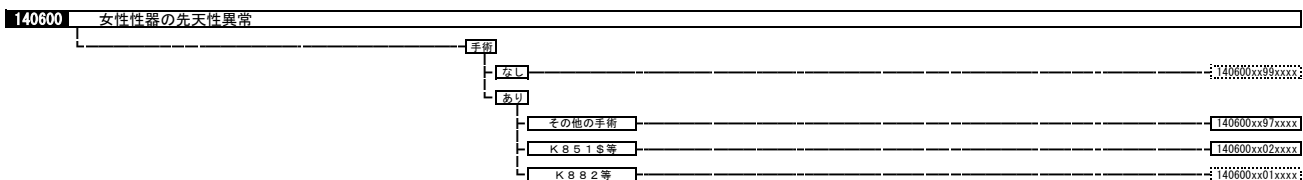




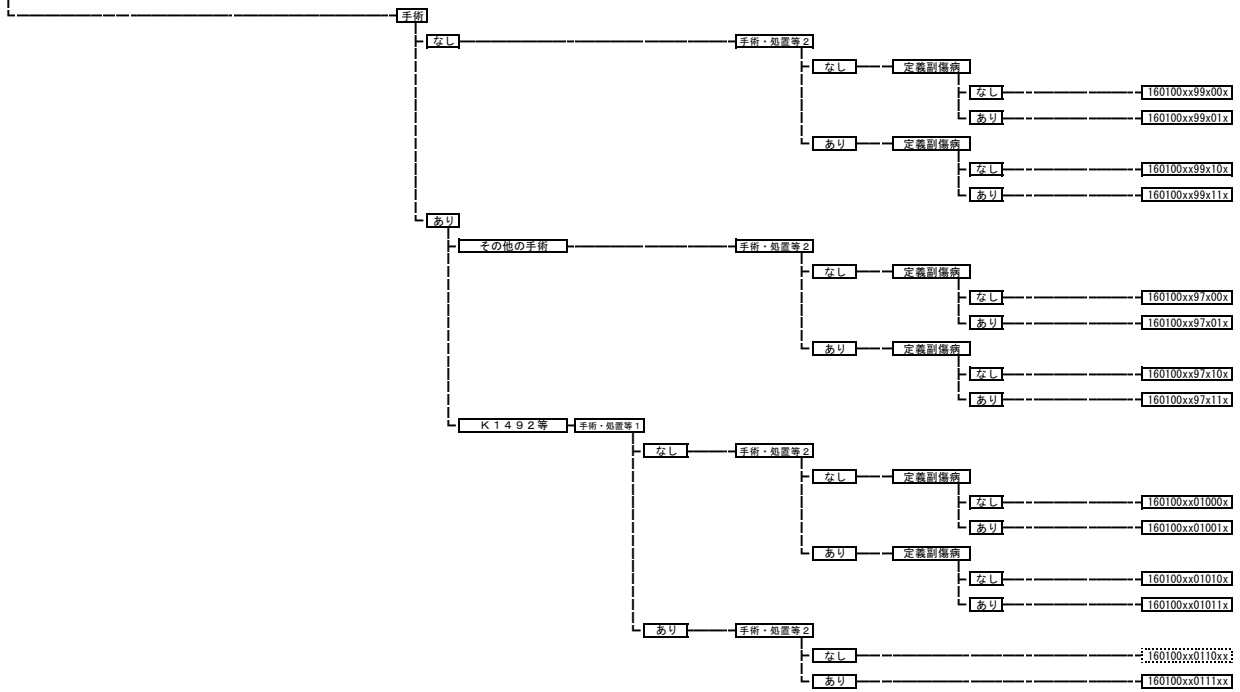




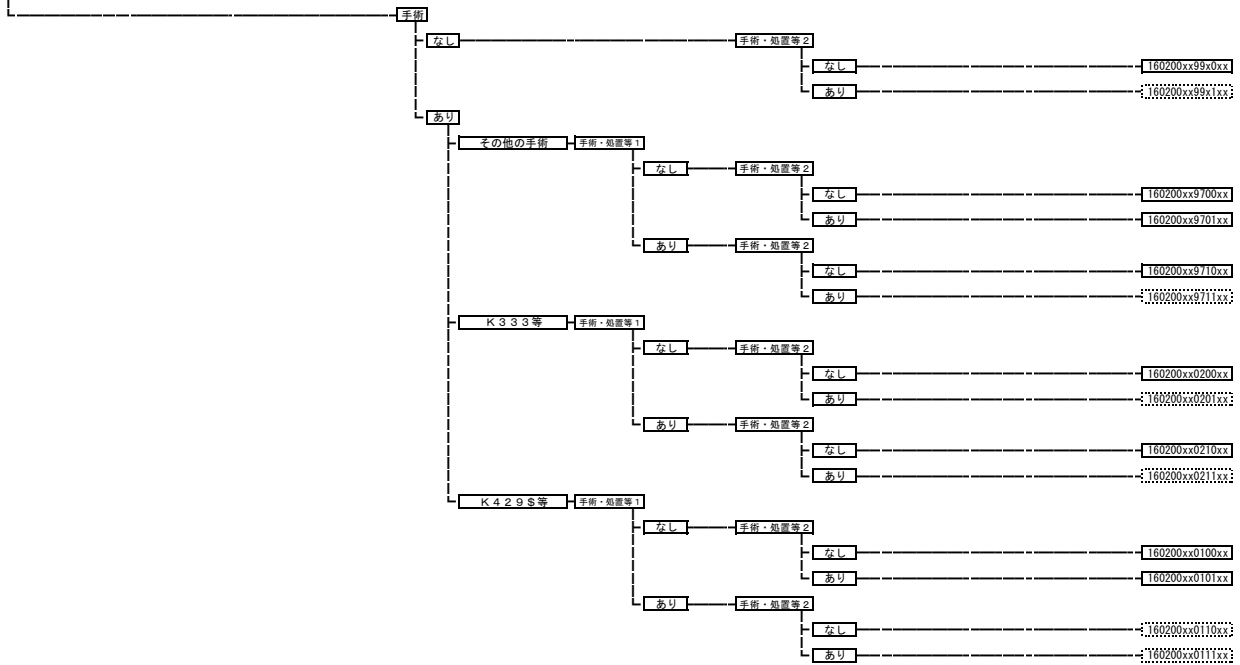




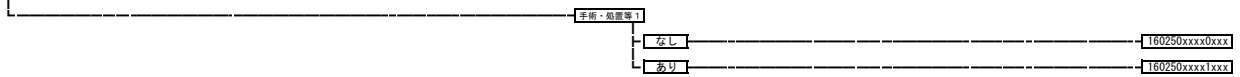
160100 頭蓋・頭蓋内損傷

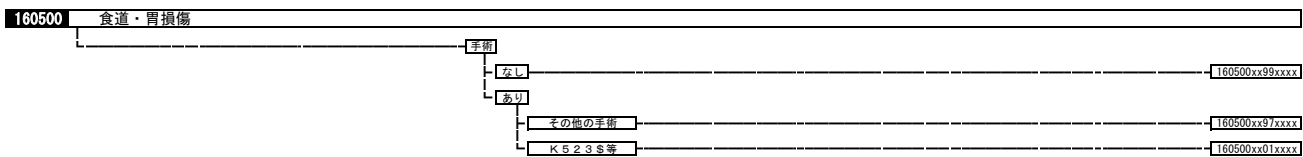
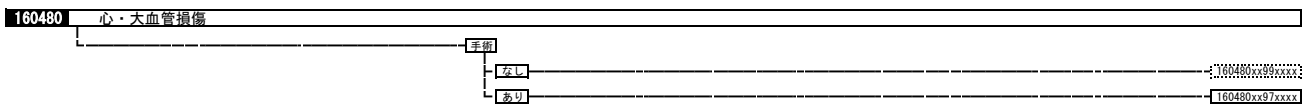
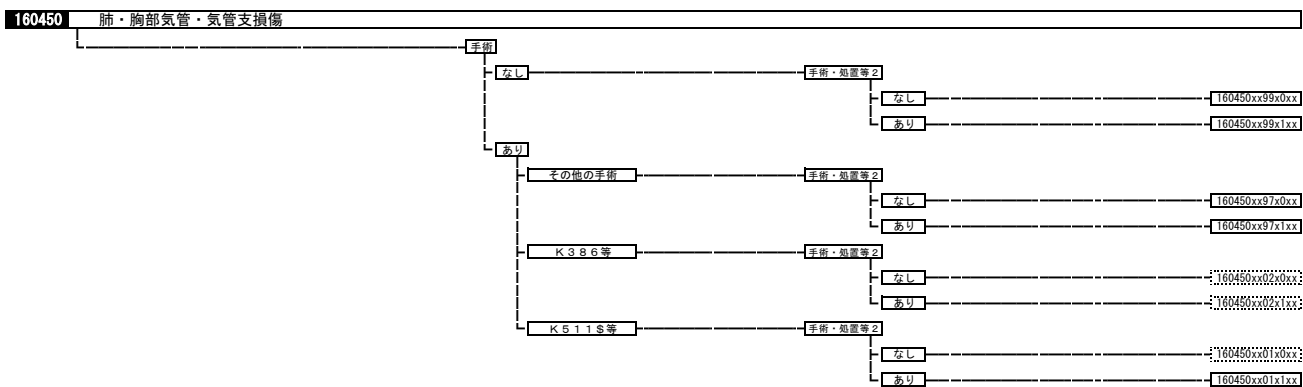
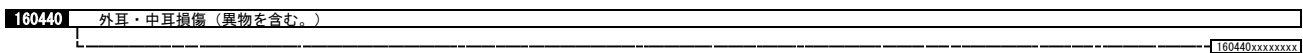
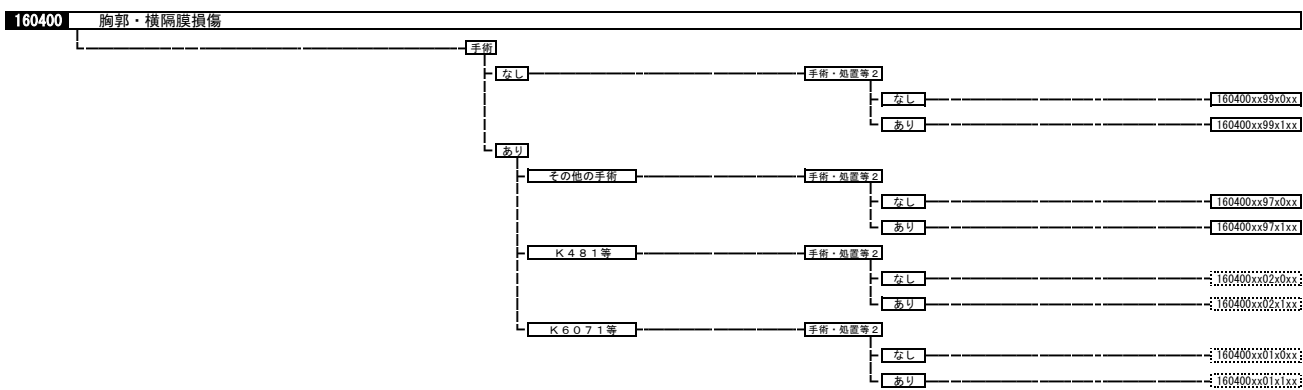
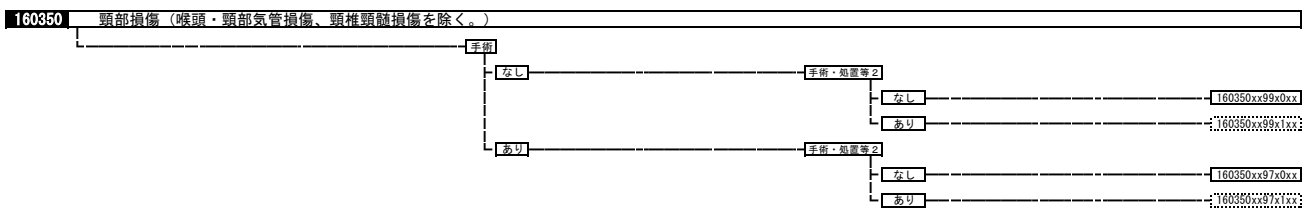
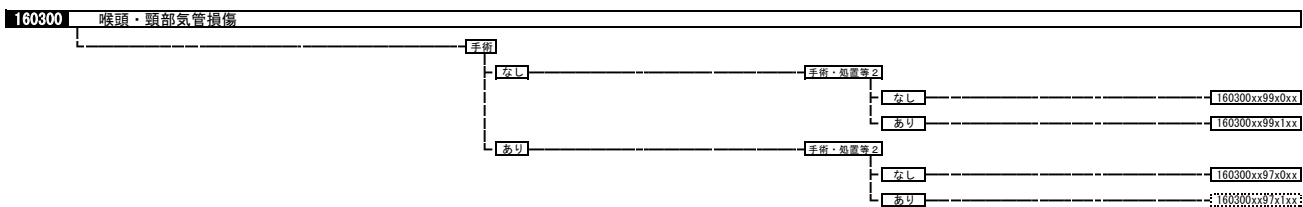


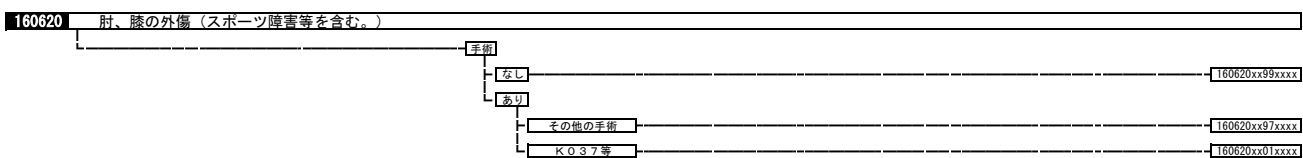
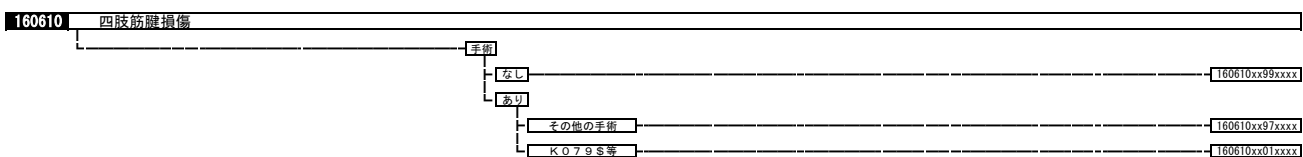
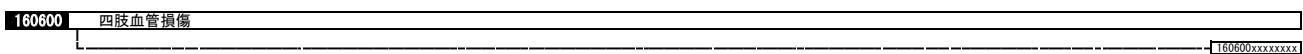
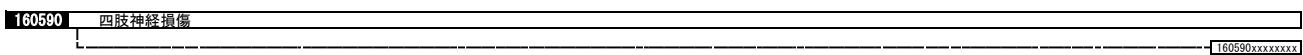
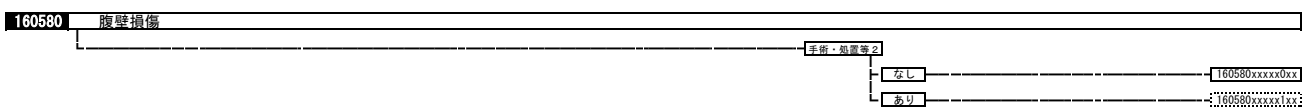
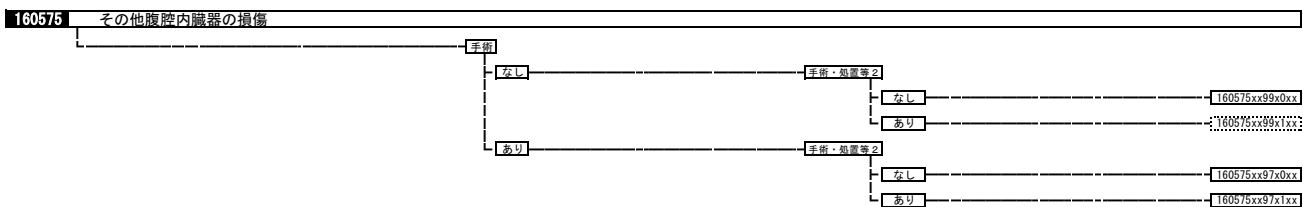
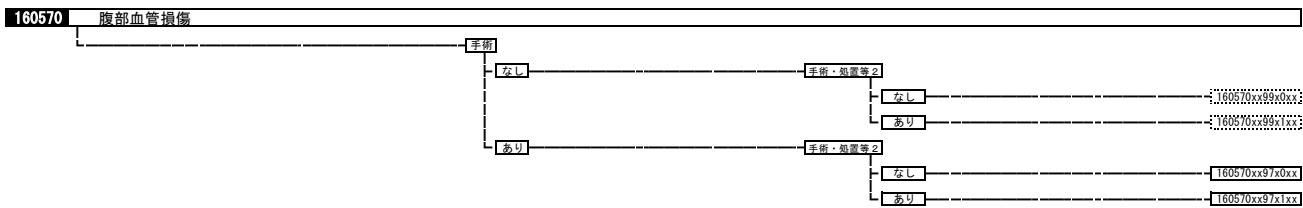
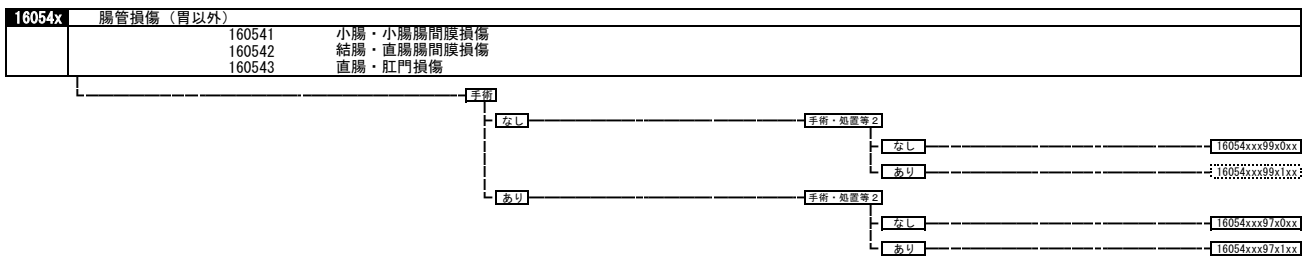
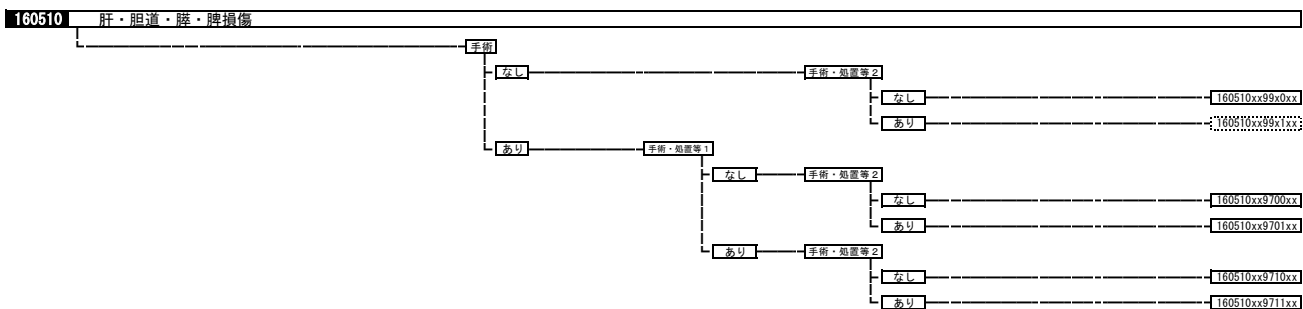
160200 顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）

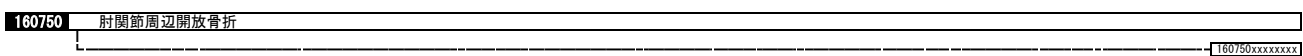
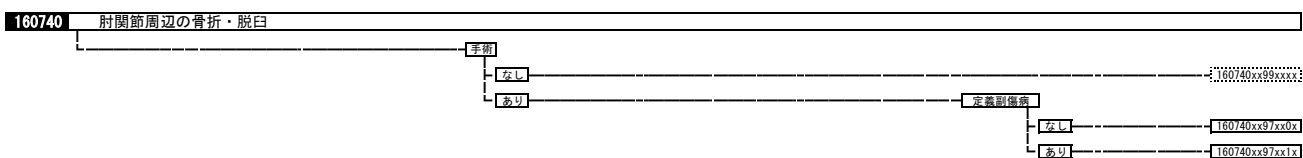
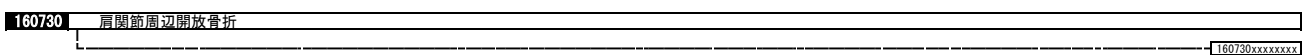
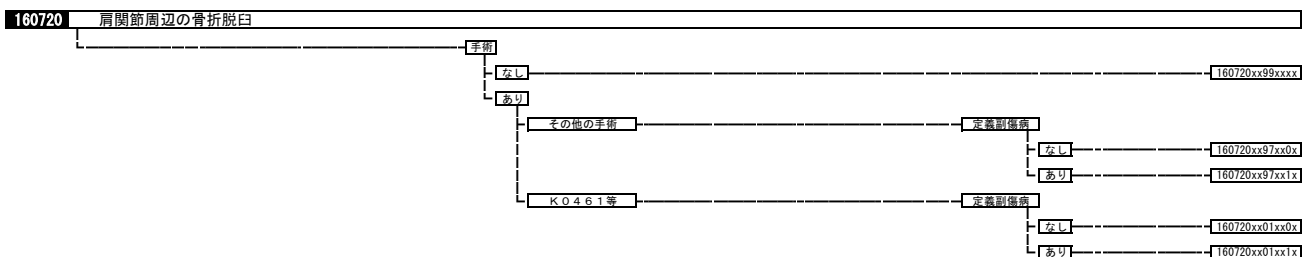
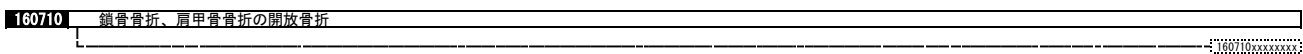
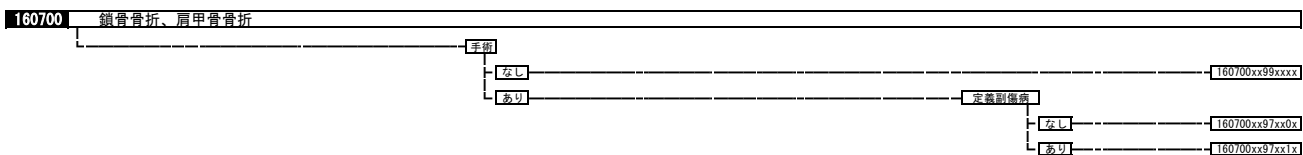
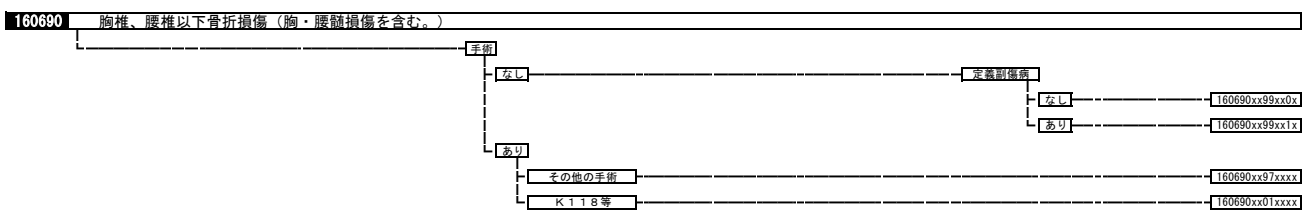
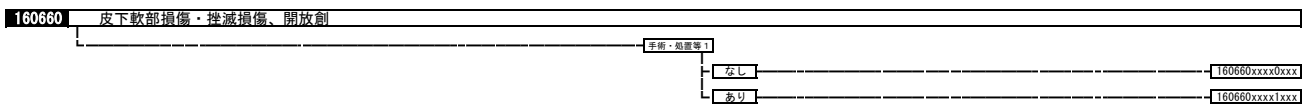
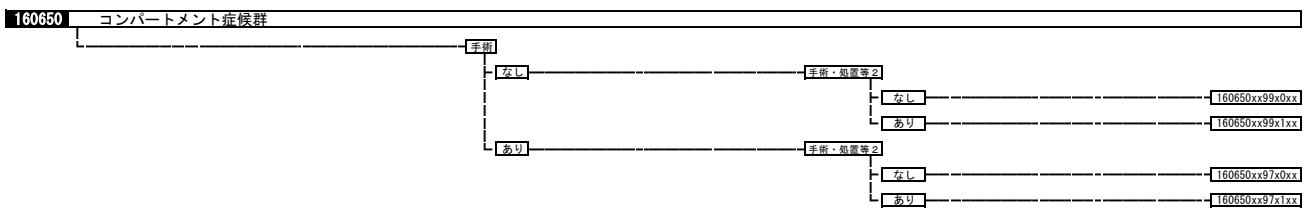
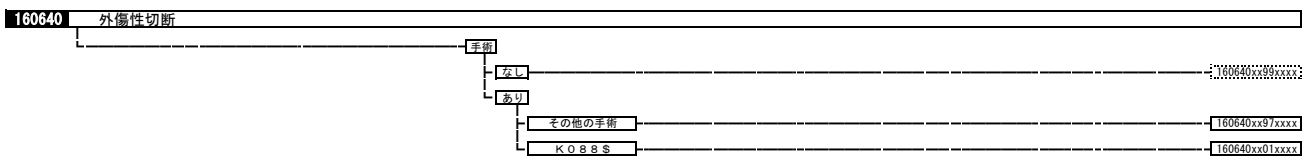


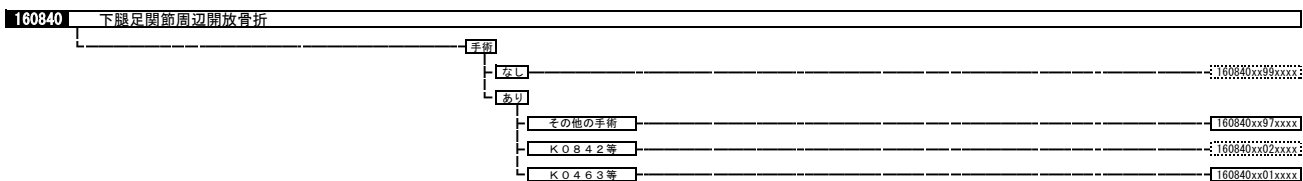
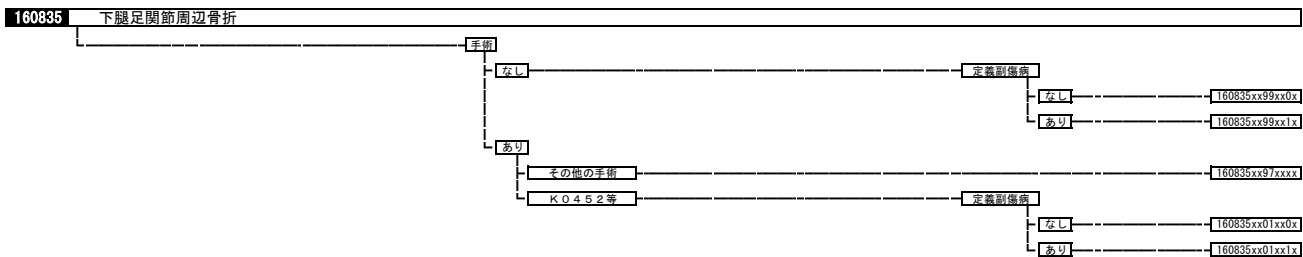
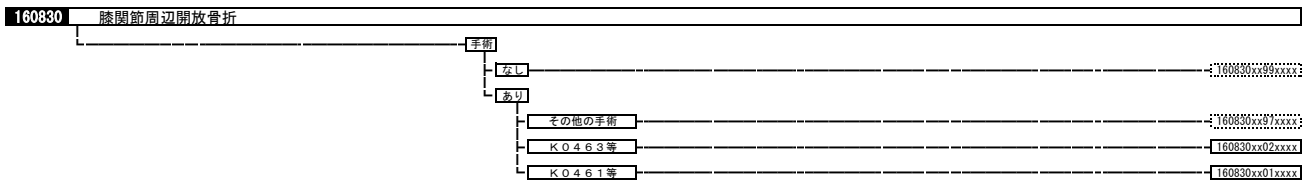
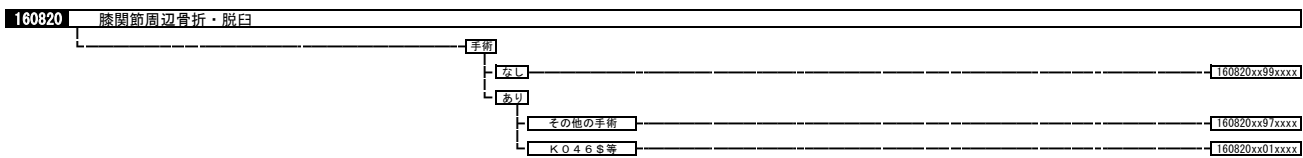
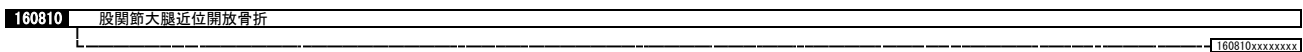
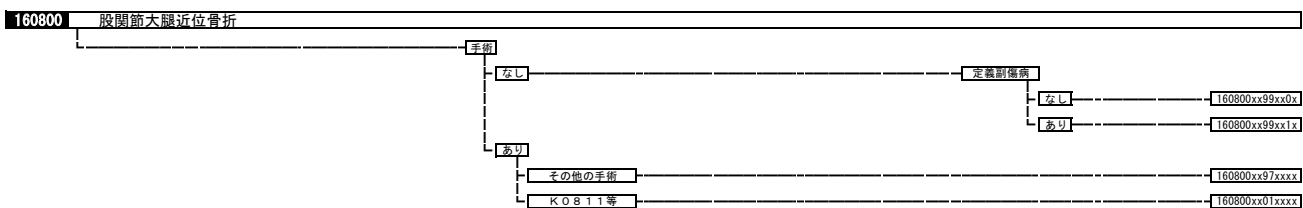
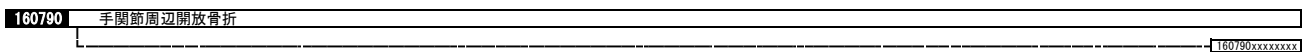
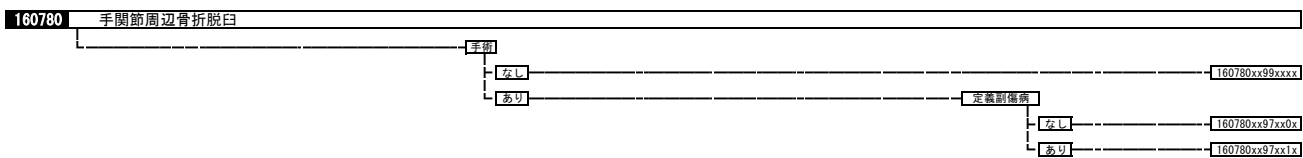
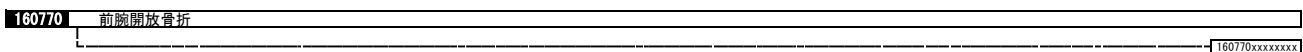
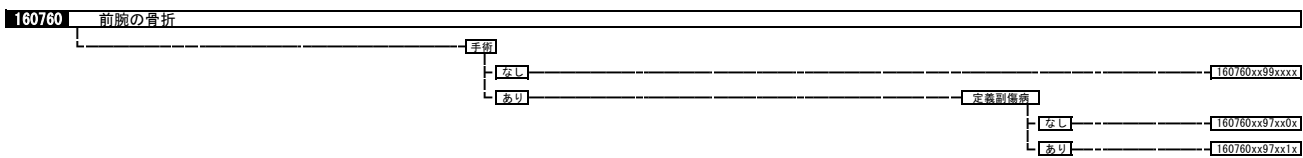
160250 眼損傷

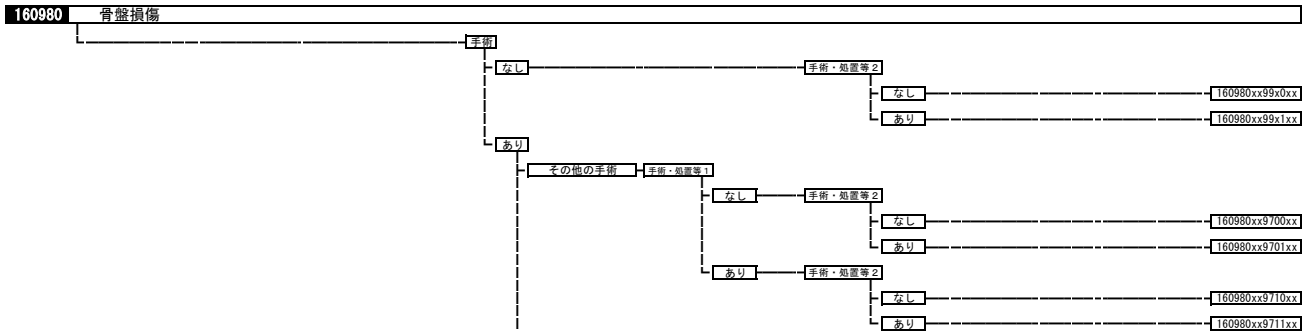
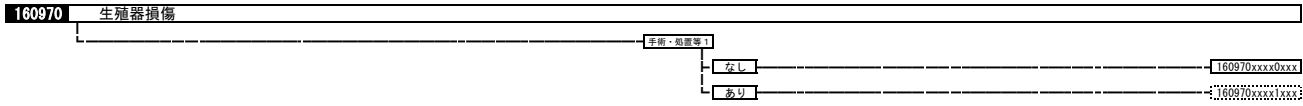
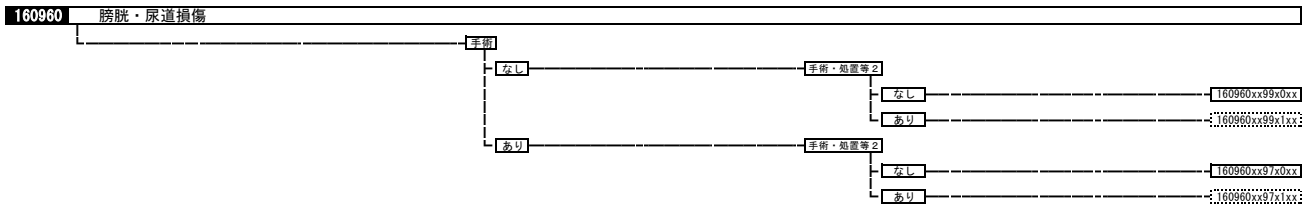
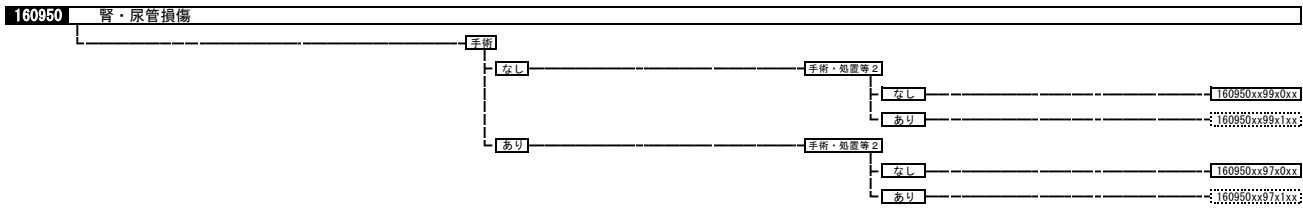
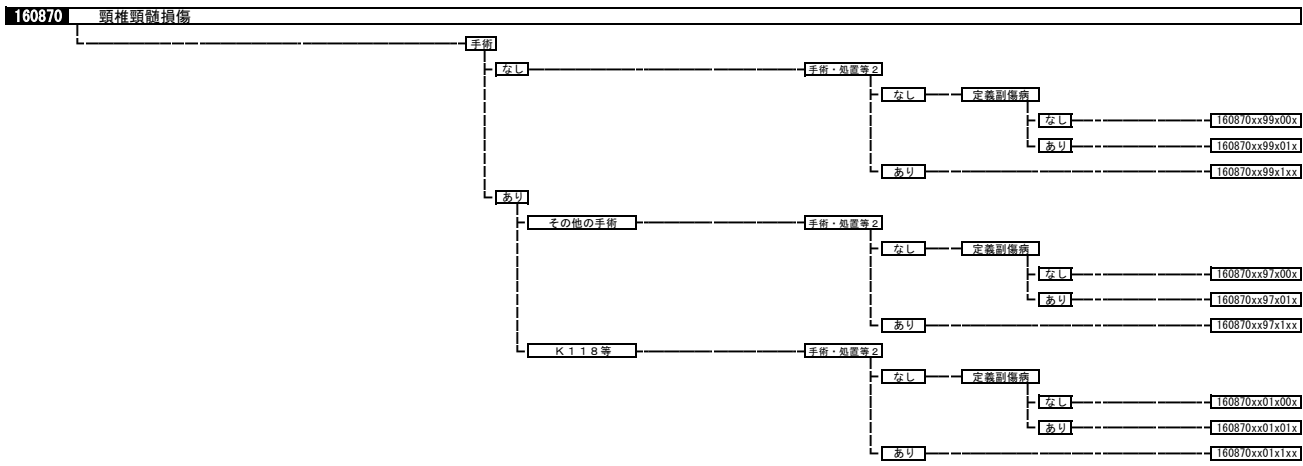
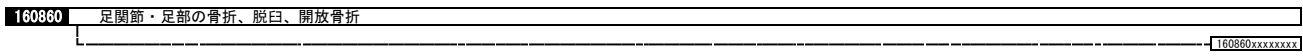
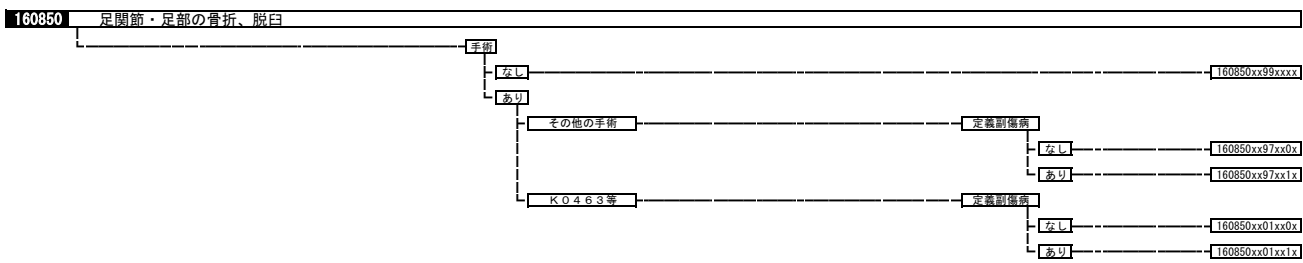


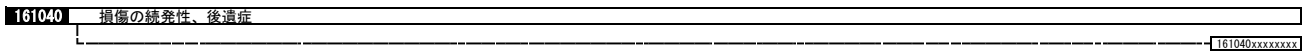
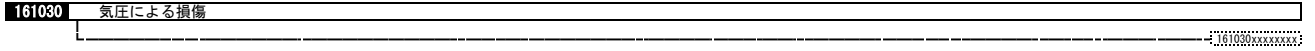
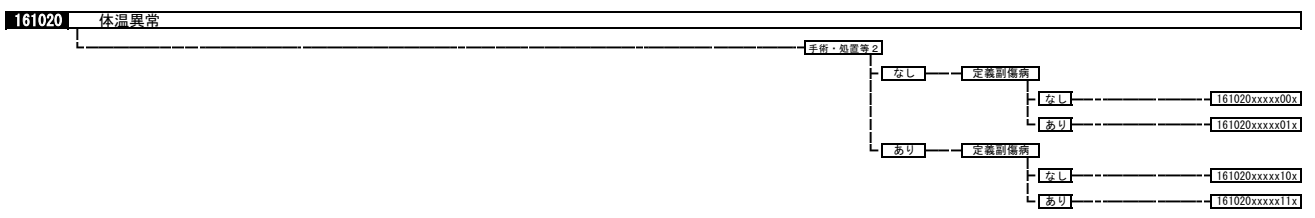
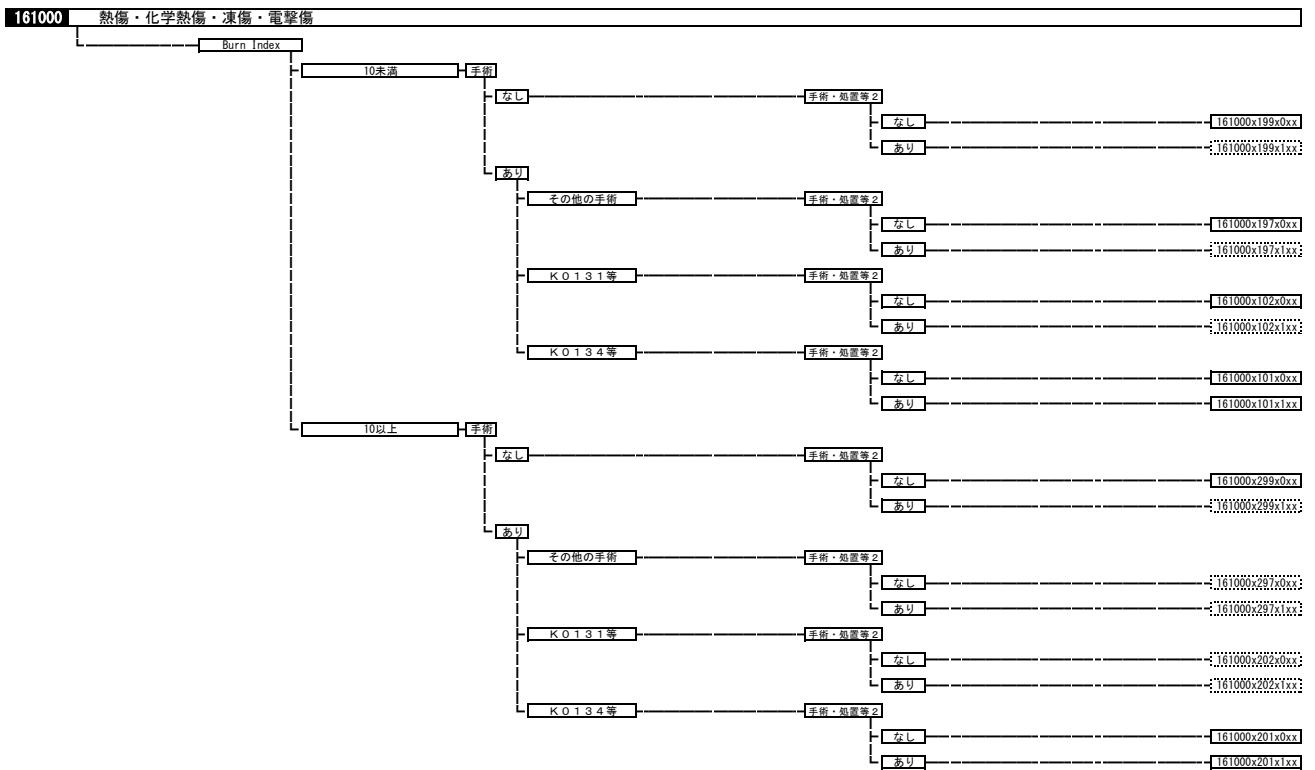
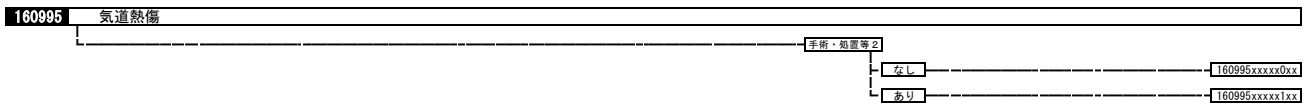
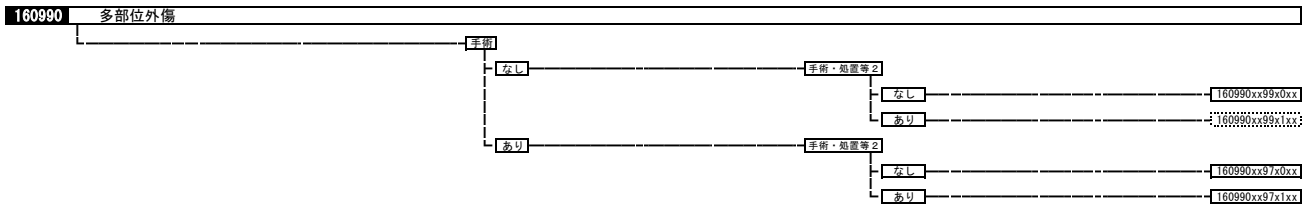
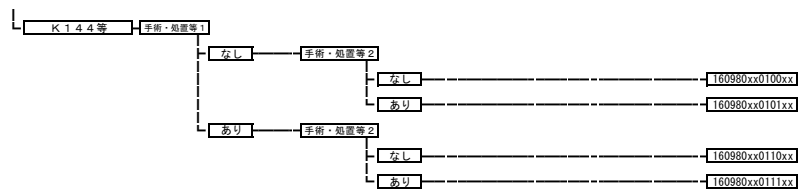


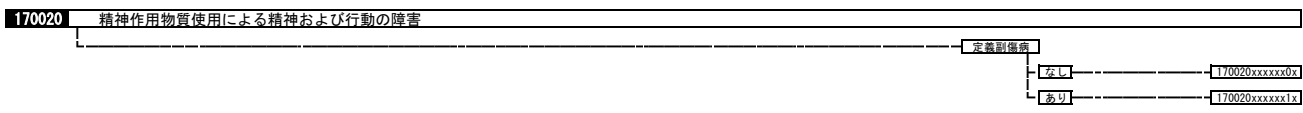
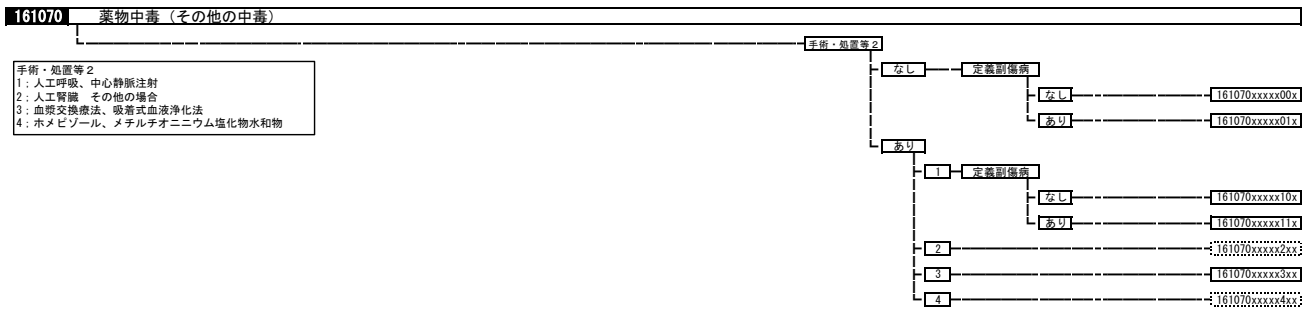
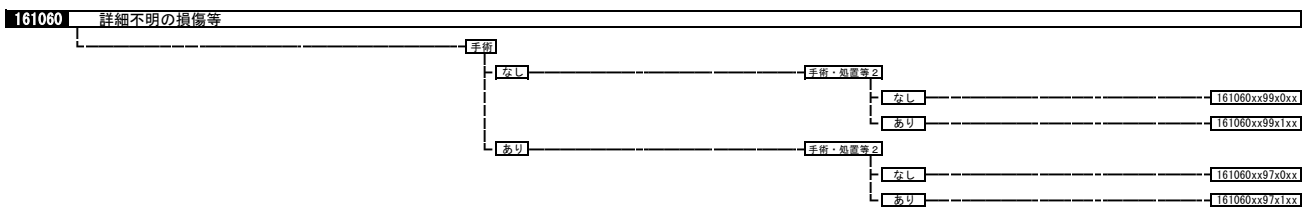












170030 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害

170030xxxxxxxxxx

170040 気分〔感情〕障害

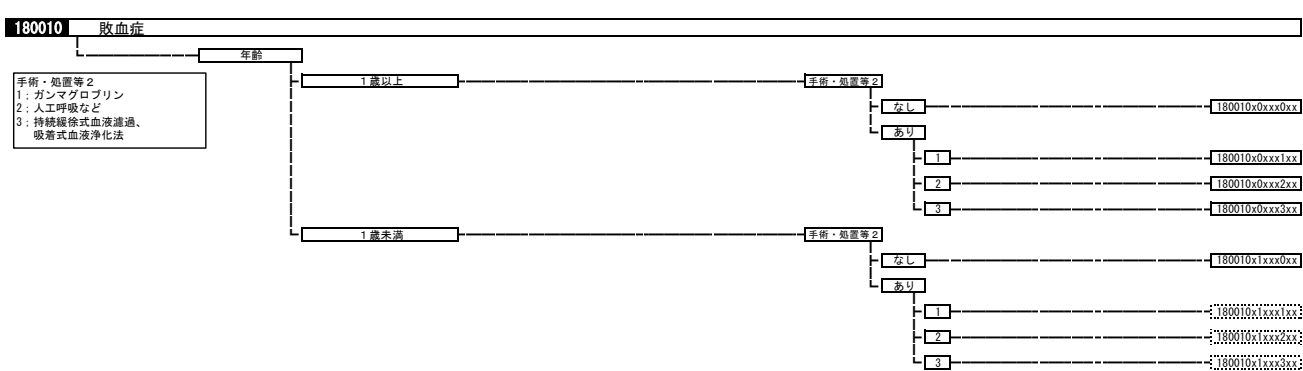
170040xxxxxxxxxx

170050 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害

170050xxxxxxxxxx

170060 その他の精神及び行動の障害

170060xxxxxxxxxx



180020 性感染症

180020xxxxxxxxxx

180030 その他の感染症（真菌を除く。）

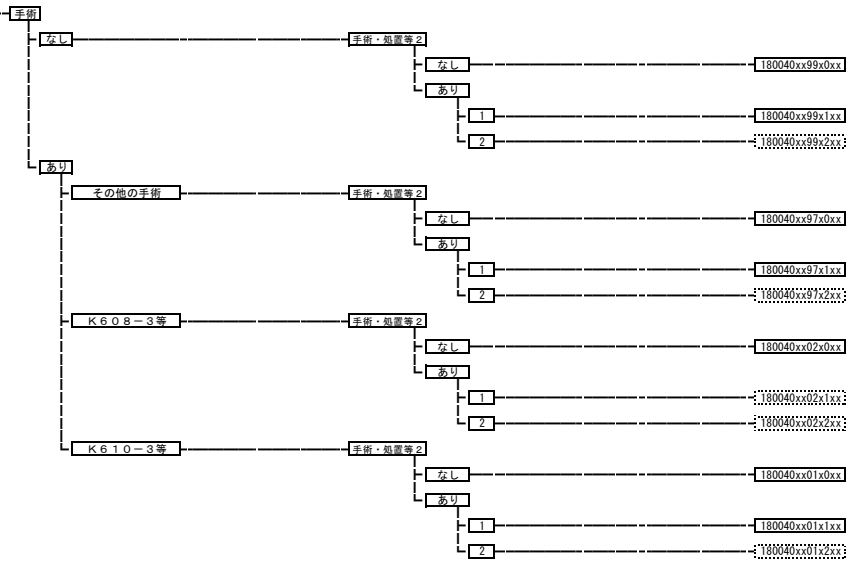
180030xxxxxxxxxx

180035 その他の真菌感染症

180035xxxxxxxxxx

180040 手術・処置等の合併症

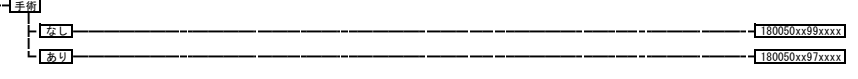
手術・処置等2
1:人工呼吸など
2:デクスラゾキサソ



180041 移植臓器および組織の不全および拒絶反応

180041xxxxxxxxxx

180050 その他の悪性腫瘍



180060 その他の新生物



診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等								
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
											01 03			動脈血栓内臓摘出術	K609\$			1 1	人工呼吸	J045\$			1 1		脳性麻痺	150120		
											01 04			減圧開頭術 その他の場合	K1492													
											01 04			頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの	K1643													
											01 04			定位的脳内血腫除去術	K164-4													
											01 04			内視鏡下脳内血腫除去術	K164-5													
											01 04			動脈形成術、吻合術 その他の動脈	K6105													
01	0061	一過性脳虚血発作	一過性脳虚血発作および関連症候群	G45\$				0 0	JCS10未満					手術なし				1 1	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影 した場合	E0033						0 0	リハビリなし	
								1 1	JCS10以上					97 97	手術あり				1 4	SPECT	E101					1 1	リハビリあり	
01	0069	脳卒中の続発症	脳血管疾患の続発・後遺症	I69\$				0 0	JCS10未満					手術なし				1 1	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影 した場合	E0033							0 0	リハビリなし
			循環器系のその他の処置後障害、他に分類されないもの	I978				1 1	JCS10以上					手術あり				2 4	SPECT	E101						1 1	リハビリあり	
01	0070	脳血管障害	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	G46\$				0 0	JCS10未満					手術なし				1 1	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影 した場合	E0033							0 0	リハビリなし
			脳卒中、脳出血または脳梗塞と明示されないもの	I64				1 1	JCS10以上					その他の手術あり				2 4	PET	E101-2\$						1 1	リハビリあり	
			脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I65\$										97 02	頭蓋骨形成手術 硬膜形成を伴うもの	K1802			2 4	非放射性キセノン脳血流動態検査	E201					1 2	認知症	
			脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I66\$										97 02	頭蓋骨形成手術 骨移動を伴うもの	K1803			1 3	人工腎臓 その他の場合	J0383				1 2	てんかん		
			脳動脈のアテローム<じゅくく粥>状<硬化(症)>	I672										97 03	穿頭脳室ドレナージ術	K145			1 2	中心静脈注射	G005				1 2	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)		
			もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	I675										97 03	水頭症手術	K174\$			1 1	人工呼吸	J045\$				1 2	頻脈性不整脈		
			頭蓋内静脈系の非化膿性血栓症	I676										97 05	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)	K181\$			1 3	腎臓または尿路の感染症	110310							
			脳動脈炎、他に分類されないもの	I677										97 97	その他のKコード													
			その他の明示された脳血管疾患	I678										02 11	経皮的動脈ステント留置術	K609-2												
			脳血管疾患、詳細不明	I679										01 01	脳血管内手術	K178\$												
			他に分類される感染症および寄生虫症における脳動脈炎	I681										01 06	動脈血栓内臓摘出術 内頸動脈	K6092												
			他に分類されるその他の疾患における脳動脈炎	I682										01 07	動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈	K6101												
			他に分類される疾患におけるその他の脳血管障害	I688										01 08	経皮的脳血管形成術	K178-2												
														01 09	脳新生血管造成術	K610-2												
														01 10	四肢の血管拡張術・血栓除去術	K610												
01	0080	脳脊髄の感染を伴う炎症	アメーバ性脳膿瘍	A066				0 0	JCS10未満					手術なし				1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664							0 0	リハビリなし
			リステリア性髄膜炎および髄膜炎	A321				1 1	JCS10以上					手術あり					1 4	インターフェロン						1 1	リハビリあり	
			髄膜炎菌性髄膜炎	A390										97 01	頭蓋内腫瘍摘出術	K167			1 2	中心静脈注射	G005					1 2	脊椎骨粗鬆症	
			急性灰白髄炎<ポリオ>	A80\$										97 02	水頭症手術	K174\$			1 1	人工呼吸	J045\$					1 2	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)	
			狂犬病	A82\$										97 03	穿頭脳室ドレナージ術	K145										1 2	下部尿路疾患	
			蚊媒ウイルス(性)脳炎	A83\$										97 03	脳膿瘍排膿術	K150										1 2	敗血症	

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			タニ媒介ウイルス(性)脳炎	A84\$						97	05	減圧開頭術 その他の場合	K1492															
			その他のウイルス(性)脳炎、他に分類されないもの	A85\$						97	06	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓切除	K1425															
			詳細不明のウイルス(性)脳炎	A86						97	07	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓形成	K1426															
			ウイルス(性)髄膜炎	A87\$						97	08	鼻性頭蓋内合併症手術	K153															
			中枢神経系のその他のウイルス感染症、他に分類されないもの	A88\$						97	09	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型(選択的(複数洞)副鼻腔手術)	K340-5															
			中枢神経系の詳細不明のウイルス感染症	A89						97	09	上顎洞篩骨洞根治手術	K358															
			ヘルペスウイルス(性)髄膜炎	B003						97	97	その他のKコード																
			ヘルペスウイルス(性)脳炎	B004																								
			ヘルペスウイルス(性)眼疾患	B005																								
			水痘髄膜炎	B010																								
			水痘脳炎	B011																								
			帯状疱疹(性)脳炎	B020																								
			帯状疱疹(性)髄膜炎	B021																								
			麻疹 脳炎を合併するもの	B050																								
			麻疹 髄膜炎を合併するもの	B051																								
			風疹 神経合併症を伴うもの	B060																								
			ムンプス髄膜炎	B261																								
			ムンプス脳炎	B262																								
			カンジダ性髄膜炎	B375																								
			コクシジオイデス性髄膜炎	B384																								
			フェオモコーシス性脳膿瘍	B431																								
			トキソプラズマ髄膜炎	B582																								
			細菌性髄膜炎、他に分類されないもの	G00\$																								
			他に分類されるその他の感染症および寄生虫症における髄膜炎	G02\$																								
			その他および詳細不明の原因による髄膜炎	G03\$																								
			熱帯性けいこく瘧疾	G041																								
			細菌性髄膜炎および髄膜脊髄炎、他に分類されないもの	G042																								
			その他の脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎	G048																								
			脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎、詳細不明	G049																								
			他に分類される疾患における脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎	G05\$																								
			頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	G06\$																								
			他に分類される疾患における頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	G07																								
			頭蓋内および脊椎管内の静脈炎および血栓(性)静脈炎	G08																								
			中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症	G09																								
			脳症<エンセファロパチ<シ>->、詳細不明	G934																								
			その他の明示された脊髄疾患	G95\$																								
01	0083	結核性髄膜炎、髄膜脳炎	神経系結核	A17\$						99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664			1	9	ガンマグロブリン			0	0	リハビリなし	
			他に分類される細菌性疾患における髄膜炎	G01						97	97	手術あり									1	3	人工腎臓 その他の場合	J0383	1	1	リハビリあり	
			中心静脈注射	G005																	1	2	人工呼吸	J045\$				
			人工呼吸	J045\$																								
01	0086	プリオン病	クロイツフェルト・ヤコブ<Creutzfeldt-Jakob>病	A810						99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664			1	3	人工腎臓 その他の場合	J0383			0	0	リハビリなし
			進行性多巣性白質脳症	A812						97	97	手術あり									1	2	中心静脈注射	G005	1	1	リハビリあり	
			中枢神経系のその他の非定型ウイルス感染症	A818																	1	1	人工呼吸	J045\$				
			中枢神経系の非定型ウイルス感染症、詳細不明	A819																								
01	0089	亜急性硬化性全脳炎	亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	A811						99	99	手術なし		1	1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664			1	3	人工腎臓 その他の場合	J0383			0	0	リハビリなし
										97	97	手術あり									1	2	中心静脈注射	G005	1	1	リハビリあり	
																					1	1	人工呼吸	J045\$				

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等												
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等				
01	0140	筋疾患(その他)	中毒性神経筋障害 先天性および発達上の筋無力症 その他の明示された神経筋障害 神経筋障害、詳細不明 原発性筋障害 その他のミオパチ<シ>— 内分泌疾患における筋無力(症)症候群 新生物性疾患におけるその他の筋無力(症)症候群 他に分類されるその他の疾患における筋無力(症)症候群 他に分類される感染症および寄生虫症におけるミオパチ<シ>— 内分泌疾患におけるミオパチ<シ>— 代謝疾患におけるミオパチ<シ>— 他に分類されるその他の疾患におけるミオパチ<シ>—	G701 G702 G708 G709 G715 G723 G730 G732 G733 G734 G735 G736 G737				00 0 15歳以上 15 1 15歳未満				99 99 手術なし 97 04 創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル未満) 97 04 小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5センチメートル未満) 97 04 小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5センチメートル以上5センチメートル未満) 97 97 手術あり					1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	K664 G005 J045\$												0 0 リハビリなし 1 1 リハビリあり				
01	0155	運動ニューロン疾患等	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G12\$							99 99 手術なし 97 97 手術あり					1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	K664 G005 J045\$									1 1 肺炎等 1 1 膵臓性肺炎	040080 040081	0 0 1 1		0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり			
01	0160	パーキンソン病	パーキンソン<Parkinson>病 続発性パーキンソン<Parkinson>症候群 他に分類される疾患におけるパーキンソン<Parkinson>症候群	G20 G21\$ G22							手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 機能的定位脳手術 97 01 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 97 02 脳刺激装置交換術 97 03 脳血管内手術 97 97 手術あり				1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	K664 G005 J045\$									1 1 膵臓性肺炎 1 3 肺炎等	040081 040080	0 0 1 1		0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり			
01	0170	基底核等の変性疾患	ハンチントン<Huntington>病 基底核のその他の変性疾患 薬物誘発性舞蹈病 その他の舞蹈病 その他の明示された錐体外路障害および異常運動 神経系の変性疾患、詳細不明 多系統変性(症)	G10 G23\$ G254 G255 G258 G319 G903							手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 機能的定位脳手術 97 01 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 97 02 脳刺激装置交換術 97 97 手術あり				1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	K664 G005 J045\$									1 2 膵臓性肺炎 1 2 腎臓または尿路の感染症	040081 110310	0 0 1 1		0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり			
01	0180	不随意運動	けいこ瘻>性斜頸 眼瞼けいれん<痙攣> 本態性振戦 薬物誘発性振戦 その他の明示された型の振戦 ミオクローヌス 薬物誘発性チックおよびその他の器質的原因によるチック 他に分類される疾患における錐体外路障害および異常運動	G243 G245 G250 G251 G252 G253 G256 G26							手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 機能的定位脳手術 97 01 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 97 02 脳刺激装置交換術 97 97 手術あり				1 9 A型ボツリヌス毒素														0 0 1 1		0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり	
01	0190	遺伝性運動失調症	遺伝性運動失調(症)	G11\$							99 99 手術なし 97 97 手術あり					1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 1 人工呼吸	K664 J045\$														0 0 1 1		0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり
01	0200	水頭症	水頭症	G91\$							手術なし その他の手術あり 水頭症手術 脳室穿破術(神経内視鏡手術によるもの)等	99 99 手術なし 97 97 手術あり 01 01 水頭症手術 脳室穿破術(神経内視鏡手術によるもの)等				1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 1 胃瘻閉鎖術 1 1 胃瘻除去術	K664 K665 K665-2									1 2 てんかん 1 3 脳脊髄の感染を伴う炎症 1 3 肺炎等	010230 010080 040080	0 0 1 1 1 3		0 0 1 1 1 3	リハビリなし リハビリあり リハビリあり			

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等															
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等									
											01 02			水頭症手術 シヤント手術	K174Z											1 3	膜嚢性肺炎	040081											
01	021x	認知症	010210 アルツハイマー型認知症 アルツハイマー病の認知症 F00\$ 010211 血管性認知症 血管性認知症 F01\$ 010212 その他の認知症 他に分類されるその他の疾患の認知症 F02\$ 詳細不明の認知症 F03\$ 010213 アルツハイマー病 アルツハイマー<Alzheimer>病 G30\$								99 99			手術なし		1 1		SPECT	E101	1 5		リハビリテーション		1 1		肺炎等	040080	0 0			リハビリなし								
											97 01			機能的定位脳手術	K154\$							1 5		精神科専門療法		1 1		膜嚢性肺炎	040081	1 1		リハビリあり							
											97 97			その他のKコード								1 3		人工腎臓 その他の場合	J0383	1 1		腎臓または尿路の感染症	110310										
																					1 2		中心静脈注射	G005															
																					1 1		人工呼吸	J045\$															
01	0220	その他の変性疾患	他に分類されるその他の疾患における主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 眼局性脳萎縮(症) G310 老人性脳変性、他に分類されないもの G311 神経系のその他の明示された変性疾患 G318 他に分類される疾患における脊髄の亜急性連合変性症 G320 進行性血管性白質脳症 I673 高血圧性脳症 I674	G138\$ G310 G311 G318 G320 I673 I674							99 99			手術なし		1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1 4		SPECT	E101	1 1		肺炎等	040080	0 0			リハビリなし								
											97 01			機能的定位脳手術	K154\$							1 3		人工腎臓 その他の場合	J0383	1 1		リハビリあり											
											97 97			その他のKコード								1 2		中心静脈注射	G005														
																					1 1		人工呼吸	J045\$															
01	0230	てんかん	てんかん G40\$ てんかん重積(状態) G41\$					00 0		1歳以上	手術なし	99 99		手術なし		1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	2 4		SPECT	E101	1 1		肺炎等	040080	0 0			リハビリなし								
								01 1		1歳未満	手術あり	97 01		機能的定位脳手術	K154\$							2 4		PET	E101-2\$	1 1		膜嚢性肺炎	040081	1 1		リハビリあり							
											97 01			顕微鏡使用によるてんかん手術(焦点切除術、側頭葉切除術、脳梁離断術)	K154-2						1 2		中心静脈注射	G005	1 1		腎臓または尿路の感染症	110310											
											97 01			脳切除術(開頭して行うもの)	K155							1 1		人工呼吸	J045\$	1 2		薬疹、中毒疹	080100										
											97 01			脳切除術	K168																								
											97 01			脳刺装装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)	K181\$																								
											97 02			迷走神経刺激装置植込術	K181-4																								
											97 02			迷走神経刺激装置交換術	K181-5																								
											97 97			その他のKコード																									
01	0240	片頭痛、頭痛症候群(その他)	片頭痛 G43\$ その他の頭痛症候群 G44\$								99 99			手術なし																				0 0		リハビリなし			
											97 97			手術あり																					1 1		リハビリあり		
01	0250	アルコール依存症候群	アルコール使用<飲酒>による精神および行動の障害 依存症候群 F102 アルコール使用<飲酒>による精神および行動の障害 残遺性および選発性の精神病性障害 F107								99 99			手術なし																					0 0		リハビリなし		
											97 97			手術あり																						1 1		リハビリあり	
01	0260	ウェルニッケ脳症	ウェルニッケ<Wernicke>脳症<エッセファロパチ<シ>→> E512					0 0		JCS10未満	99 99			手術なし		1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1 2		中心静脈注射	G005												0 0		リハビリなし		
								1 1		JCS10以上	97 97			手術あり																					1 1		リハビリあり		
01	0270	中毒性脳症	ボツリスム<ボツリス中>毒> A051 中毒性脳症 G92					0 0		JCS10未満	99 99			手術なし		1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1 5		血漿交換療法	J039													0 0		リハビリなし	
								1 1		JCS10以上	97 97			手術あり																						1 1		リハビリあり	
											99 99			手術なし		1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1 9		A型ボツリス毒素															0 0		リハビリなし
											97 01			機能的定位脳手術	K154\$																					1 1		リハビリあり	
											97 02			脳刺装装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)	K181\$																								
											97 03			脳刺装装置交換術	K181-2																								
											97 97			その他のKコード																									
01	0290	自律神経系の障害	特発性持続性自律神経ニューロパチ<シ>→ G900								99 99			手術なし		1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1 3		人工腎臓 その他の場合	J0383														0 0		リハビリなし

診断分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等														
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等							
			020013 ぶどう膜の悪性黒色腫 脈絡膜の悪性新生物 C693 毛様体の悪性新生物 C694							手術なし 手術あり	97 02 97 02	皮膚悪性腫瘍切除術 角膜表層除去併用結膜被覆術 虹彩腫瘍切除術	K007\$ K257 K265	1 1 1	1 1	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	K0172 K019 K020																			
			020014 眼の悪性腫瘍(その他) 角膜の悪性新生物 C691 眼および付属器の悪性新生物 眼および付属器の境界部病巣 C698 眼の悪性新生物、部位不明 C699 眼の上皮内癌 D092							手術なし 手術あり	97 03 97 03 97 03 97 04 97 04 97 04 97 06 97 07	涙嚢摘出術 眼窩内容除去術 眼球摘出術 結膜腫瘍冷凍凝固術 結膜肉芽腫摘除術 眼球摘出及び組織又は義眼台充填術 網膜光凝固術 通常のもの(一連につき)	K203 K233 K241 K225 K225-3 K245 K2761 その他のKコード	1 1 1 1 1 1 1	1 1	粘膜移植術 粘膜弁手術 組織拡張器による再建手術(一連につき) その他の場合 骨移植術(軟骨移植術を含む。) リンパ節摘出術 脾摘出術	K021\$ K021-\$ K0222 K059\$ K626\$ K711																			
02	0040	網膜芽細胞腫	網膜の悪性新生物 C692							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 04 97 05 97 06 97 07	手術なし 網膜光凝固術 通常のもの(一連につき) 網膜冷凍凝固術 眼球摘出及び組織又は義眼台充填術 眼球摘出術 義眼台包埋術 眼窩内容除去術	K626\$ K711 K277 K245 K241 K243 K233 その他のKコード	1 1	1 1	リンパ節摘出術 脾摘出術	K626\$ K711			化学療法 放射線療法 中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$							0 0 1 1	片眼 両眼							
02	006x	眼の良性腫瘍	020061 眼瞼の良性腫瘍 眼瞼の上皮内黒色腫、眼角を含む D031 眼瞼のメラニン細胞性母斑の良性新生物、眼角を含む D221 眼瞼の皮膚の良性新生物、眼角を含む D231 020062 結膜・角膜腫瘍 結膜の良性新生物 D310 角膜の良性新生物 D311 020063 虹彩・毛様体・脈絡膜・網膜腫瘍 網膜の良性新生物 D312 脈絡膜の良性新生物 D313 毛様体の良性新生物 D314 020064 眼の良性腫瘍(その他) 眼の良性新生物、部位不明 D319							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 02 97 03 97 04 97 04 97 05 97 07	手術なし 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 虹彩腫瘍切除術 結膜嚢形成手術 毛様体腫瘍切除術、脈絡膜腫瘍切除術 眼瞼結膜腫瘍手術 結膜腫瘍冷凍凝固術 網膜光凝固術 通常のもの(一連につき) 角膜移植術 網膜冷凍凝固術 結膜腫瘍摘出術	K005\$ K265 K223\$ K266 K215-2 K225 K2761 K259 K277 K225-2 その他のKコード	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1	分層植皮術 25平方センチメートル未満 全層植皮術 25平方センチメートル未満 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 25平方センチメートル未満 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 粘膜移植術 骨移植術(軟骨移植術を含む。)	K0131 K013-21 K0151 K016 K019 K020 K021\$ K059\$			放射線療法								0 0 1 1	片眼 両眼							
02	0080	眼窩腫瘍	眼窩の良性新生物、部位不明 D316							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 05 97 07	手術なし 眼窩内腫瘍摘出術(深在性) 眼窩内腫瘍摘出術(表在性) 眼窩内容除去術	K235 K234 K233 その他のKコード	1 1 1 1 1	1 1	分層植皮術 25平方センチメートル未満 全層植皮術 25平方センチメートル未満 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 25平方センチメートル未満 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 粘膜移植術 骨移植術(軟骨移植術を含む。)	K0131 K013-21 K0151 K016 K019 K020 K021\$ K059\$													0 0 1 1 1 1	片眼 片眼 両眼					
02	0100	涙嚢腫瘍	涙腺および涙管の悪性新生物 C695 涙腺および涙管の良性新生物 D315							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 07	手術なし 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 涙嚢摘出術	K005\$ K203 その他のKコード	1 1 1 1	1	化学療法 放射線療法											0 0 0 0 1 1 1 1	初回 片眼 再手術 両眼								
02	0110	白内障、水晶体の疾患	老人性白内障 H25\$ 乳児、若年および初老期白内障 H260 外傷性白内障 H261 併発白内障 H262 薬物誘発性白内障 H263 後発白内障 H264 その他の明示された白内障 H268 白内障、詳細不明 H269 水晶体のその他の障害 H27\$ 他に分類される疾患における白内障 H28\$ および水晶体のその他の障害 先天性(性)水晶体奇形 Q12\$							手術なし 手術あり	99 99 97 02 97 07 97 07	手術なし 水晶体再建術 後発白内障手術	K282\$ K282-2 その他のKコード	1 1 1 1	1	角膜移植術	K259										0 0 1 1	片眼 両眼								
02	0120	急性前部ぶどう膜炎	急性および亜急性虹彩毛様体炎 H200 虹彩毛様体炎、詳細不明 H209							手術なし	99 99	手術なし	K269 その他のKコード	1												0 0 1 1	片眼 両眼									

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等								
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
02	0130	原田病	その他の網脈絡膜の炎症	H308							手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり						1 5	5	全身麻酔						0 0 1 1	0 1	初回 再手術			
02	0140	網脈絡膜炎・網脈炎・急性網脈壊死	網脈絡膜の局在性炎症 網脈絡膜の散在性炎症 後部毛様体炎 網脈絡膜の炎症、詳細不明	H300 H301 H302 H309							手術なし	99 99	手術なし						1 1	1	水晶体再建術	K282\$	1 5	5	全身麻酔				0 0 1 1 1 1	0 1 1	初回 再手術 両眼	
02	0150	斜視(外傷性・癒着性を除く。)	麻痺性斜視 共同性内斜視 共同性外斜視 上下斜視 間欠<歌>性斜視 その他および詳細不明の斜視 斜位 機械的斜視 その他の明示された斜視 斜視、詳細不明	H49\$ H500 H501 H502 H503 H504 H505 H506 H508 H509							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 04 97 05 97 06 97 97	手術なし 眼筋移動術 斜視手術 直筋の前後転法及び斜筋手術の併施 斜視手術 斜筋手術 斜視手術 前転法及び後転法の併施 斜視手術 後転法 斜視手術 前転法	K244 K2425 K2424 K2423 K2422 K2421 その他のKコード				1 5	5	全身麻酔									0 0 1 1 1 1	0 1 1	初回 片眼 再手術 両眼	
02	0160	網膜剥離	網膜剥離、網膜裂孔を伴うもの 漿液性網膜剥離 網膜裂孔、剥離を伴わないもの 牽引性網膜剥離 その他の網膜剥離	H330 H332 H333 H334 H335							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 04 97 05 97 97	手術なし 網膜復位術 硝子体茎顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 増殖性硝子体網膜症手術 網膜光凝固術 網膜冷凍凝固術	K275 K280\$ K280-2 K281 K276\$ K277 その他のKコード	1 1	1	水晶体再建術	K282\$	1 5	5	全身麻酔									0 0 1 1	0 1	片眼 両眼
02	0180	糖尿病性増殖性網膜症	糖尿病(性)網膜症	H360							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 97	手術なし 増殖性硝子体網膜症手術 硝子体茎顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 網膜光凝固術	K281 K280\$ K280-2 K276\$ その他のKコード	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1	緑内障手術 毛様体光凝固術 毛様体冷凍凝固術 水晶体再建術	K268\$ K271 K272 K282\$	2 6 2 6 1 5 1 3	6 6 5 3	アフリベルセプト ラニズマブ 全身麻酔 人工腎臓 その他の場合	J0383				0 0 1 1	0 1	片眼 両眼				
02	0190	未熟児網膜症	未熟児網膜症	H351							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 04 97 97	手術なし 網膜光凝固術 その他特殊なもの(一連につき) 増殖性硝子体網膜症手術 網膜冷凍凝固術 網膜復位術	K2762 K281 K277 K275 その他のKコード				1 5	5	全身麻酔								0 0 1 1	0 1	片眼 両眼		
02	0200	黄斑、後極変性網膜障害、詳細不明	黄斑および後極の変性網膜障害、詳細不明	H353 H359							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 04 97 05 97 97	手術なし 黄斑下手術 硝子体茎顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含むもの 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 硝子体茎顕微鏡下離断術 その他のもの 増殖性硝子体網膜症手術 網膜光凝固術	K277-2 K2801 K280-2 K2802 K281 K276\$ その他のKコード	1 1	1	水晶体再建術	K282\$	4 9 4 9 3 8 2 7 1 5	9 9 8 7 5	アフリベルセプト ラニズマブ ベガブタニブナトリウム ベルテポルフィン 全身麻酔						0 0 1 1	0 1	片眼 両眼			
02	0210	網膜血管閉塞症	網膜血管閉塞症 背景網膜症および網膜血管変化 その他の増殖性網膜症	H34\$ H350 H352							手術なし その他の手術あり	99 99 97 02 97 02 97 03 97 04 97 05 97 07 97 97	手術なし 硝子体茎顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含むもの 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 硝子体茎顕微鏡下離断術 その他のもの 網膜光凝固術 その他特殊なもの(一連につき) 硝子体切除術 網膜冷凍凝固術	K2801 K280-2 K2802 K2762 K279 K277 その他のKコード	1 2 1 1	2 1	緑内障手術 水晶体再建術	K268\$ K282\$	1 1 1 1	1 1	アフリベルセプト ラニズマブ					0 0 1 1	0 1	片眼 両眼				
02	0220	緑内障	緑内障の疑い	H400							手術なし	99 99	手術なし						1 1	1	水晶体再建術	K282\$	1 3	3	人工腎臓 その他の場合	J0383			0 0	0	片眼	

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等												
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等					
			原発開放隅角緑内障 原発閉塞隅角緑内障 眼の外傷に続発する緑内障 眼の炎症に続発する緑内障 その他の眼疾患に続発する緑内障 薬物による続発緑内障 その他の緑内障 緑内障、詳細不明 内分泌、栄養および代謝疾患における緑内障 他に分類されるその他の疾患における緑内障 眼球の変性病態 前眼部の先天奇形 先天(性)緑内障	H401 H402 H403 H404 H405 H406 H408 H409 H420 H428 H445 Q13\$ Q150							手術あり	97 04 97 05 97 06 97 07 97 07 97 07 97 07		緑内障手術 虹彩切除術 虹彩光凝固術 毛様体光凝固術 緑内障手術 流出路再建術 緑内障手術 濾過手術 緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのないもの) 緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの) 毛様体冷凍凝固術 隅角光凝固術 虹彩修復・瞳孔形成術 眼球摘出術 眼球内容除去術 義眼台包埋術 その他のKコード	K2681 K270 K271 K2682 K2683 K2684 K2685 K272 K273 K269 K241 K239 K243 その他のKコード																			1 0 1 1	両眼
02	0230	眼瞼下垂	眼瞼下垂 先天(性)眼瞼下垂	H024 Q100							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 97		手術なし 眼瞼下垂症手術 眼筋移動術 その他のKコード	K219\$ K244 その他のKコード		1 5	全身麻酔											0 0 1 1	片眼 両眼					
02	0240	硝子体疾患	硝子体の障害	H43\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 03 97 97		手術なし 増殖性硝子体網膜症手術 硝子体茎顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 硝子体切除術 その他のKコード	K282\$ K281 K280\$ K280-2 K279 その他のKコード		1 1	水晶体再建術	K282\$										0 0 1 1	片眼 両眼					
02	0250	結膜の障害	トラコーマ クラミア結膜炎 アデノウイルスによる結膜炎 急性流行性出血性結膜炎(エンテロウイルス性) その他のウイルス(性)結膜炎 ウイルス(性)結膜炎、詳細不明 結膜炎 結膜のその他の障害 他に分類される疾患における結膜の障害	A71\$ A740 B301 B303 B308 B309 H10\$ H11\$ H13\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 04 97 05 97 97		手術なし 翼状片手術(弁の移植を要するもの) 結膜囊形成手術 結膜結石除去術 結膜下異物除去術 結膜腫瘍冷凍凝固術 その他のKコード	K224 K223\$ K221\$ K222 K225 その他のKコード												0 0 1 1	片眼 両眼							
02	0270	強膜の障害	強膜の障害	H15\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 97		手術なし 強膜移植術 その他のKコード	K260 その他のKコード													0 0 1 1	片眼 両眼						
02	0280	角膜の障害	アデノウイルスによる角結膜炎 角膜炎 角膜瘻痕および混濁 角膜のその他の障害 他に分類される疾患における強膜および角膜の障害	B300 H16\$ H17\$ H18\$ H19\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 04 97 06 97 07 97 08 97 09 97 10 97 11 97 97		手術なし 角膜移植術 角膜新生血管手術(冷凍凝固術を含む。) 顕微鏡下角膜移植術 角膜潰瘍掻爬術、角膜潰瘍焼灼術 角膜切開術 角膜潰瘍結膜被覆術 角膜表層除去併用結膜被覆術 治療的角膜切除術 強角膜瘻孔閉鎖術 角膜形成手術 皸線縫合術(皸板縫合術を含む。) その他のKコード	K259 K248 K248-2 K249 K250 K256 K257 K254\$ K255 K261 K207 その他のKコード																0 0 1 1	片眼 両眼			
02	0290	涙器の疾患	涙道の急性および詳細不明の炎症 涙道の慢性炎症 涙道の狭窄および不全 涙道におけるその他の変化	H043 H044 H045 H046							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 02 97 03 97 04 97 05 97 06 97 07 97 08 97 97		手術なし 涙嚢鼻腔吻合術 涙嚢鼻腔切開術 涙点、涙小管形成術 涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術 涙管チューブ挿入術 涙嚢切開術 先天性鼻涙管閉塞開放術 涙嚢摘出術 涙小管形成手術 その他のKコード	K204 K209 K199 K200-2 K202\$ K200 K201 K203 K206 その他のKコード															0 0 0 0 1 1 1 1	初回 片眼 再手術 両眼				
02	0320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	麦粒腫およびさん<囊>粒腫 眼瞼のその他の炎症	H00\$ H01\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01		手術なし 眼瞼内反症手術 K217\$			1 5	全身麻酔										0 0 1 1	片眼 両眼						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等				手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病				重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等			
04	0190	胸水、胸膜の疾患(その他)	胸水、他に分類されないもの 他に分類される病態における胸水 胸膜斑(ブランク) 線維胸 その他の明示された胸膜病態 胸膜病態、詳細不明	J90 J91 J92\$ J941 J948 J949							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 97	手術なし 手術なし その他の手術あり	99 99 97 01 97 04 97 97	手術なし 手術なし その他のKコード										1 1	人工呼吸	J045\$						
04	0200	気胸	気胸	J93\$				00 0	15歳以上		手術なし その他の手術あり 肺切除術等	99 99 97 04 97 97 01 01 01 02 01 03	手術なし 手術なし 気管支瘻孔閉鎖術 その他のKコード 肺切除術 肺縫縮術 胸腔鏡下肺切除術	99 99 97 04 97 97 01 01 01 02 01 03	手術なし 手術なし その他のKコード K511\$ K517 K513\$										1 1	人工呼吸	J045\$	1 1	肺炎等	040080	0 0	片側	
04	0210	気管支拡張症	気管支拡張症	J47				15 1	15歳未満		手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 97	手術なし 手術なし 肺葉切除 区域切除(1肺葉に満たないもの) その他のKコード	99 99 97 01 97 02 97 97	手術なし 手術なし その他のKコード		1 1	血管塞栓術(頭部、胸部、腹腔内血管等)	K615\$				1 1	人工呼吸	J045\$					0 0 1 1	片側 両側		
04	0220	横隔膜腫瘍・横隔膜疾患(新生児を含む。)	横隔膜障害 横隔膜ヘルニア 出産損傷による横隔膜神経麻痺 先天性食道裂孔ヘルニア 先天性横隔膜ヘルニア 横隔膜のその他の先天奇形	J986 K44\$ P142 Q401 Q790 Q791				00 0	15歳以上		手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 03 97 03 97 97	手術なし 手術なし 胸腹裂孔ヘルニア手術 後胸骨ヘルニア手術 食道裂孔ヘルニア手術 横隔膜縫合術 胸腔鏡下(腹腔鏡下を含む。)横隔膜縫合術 腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術 その他のKコード	99 99 97 01 97 02 97 03 97 03 97 03 97 97	手術なし 手術なし その他のKコード			1 1	経皮的心臓補助法(1日につき)	K602\$				1 1	人工呼吸	J045\$							
04	0230	血胸、血気胸、乳び胸	乳び(痰)(胸膜)滲出 血胸 外傷性続発性出血および再発性出血	J940 J942 T792				00 0	15歳以上		手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 02 97 97	手術なし 手術なし 乳糜胸手術 胸腔鏡下胸管結紮術(乳糜胸手術) 胸腔内(胸膜内)血腫除去術 その他のKコード	99 99 97 01 97 01 97 02 97 97	手術なし 手術なし その他のKコード										1 2 1 1	中心静脈注射 人工呼吸	G00\$ J045\$						
04	0240	肺循環疾患	(脊柱)後弯側弯性心疾患 その他の明示された肺性心疾患 その他の肺血管の疾患 肺水腫	I271 I278 I28\$ J81				00 0	15歳以上		手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり										1 9 1 1	プロスタグランジンI2製剤(注射薬に限る。) 人工呼吸	J045\$						
04	0250	急性呼吸窮乏症	成人呼吸窮乏症 成人呼吸窮乏症<促>迫症候群<ARDS> >迫症候群	J80				00 0	15歳以上		手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり										1 9 1 1	プロスタグランジンI2製剤(注射薬に限る。) 人工呼吸	J045\$						
04	026x	肺高血圧性疾患	040261 肺動脈性肺高血圧症 原発性肺高血圧(症) 040262 その他の二次性肺高血圧症 その他の二次性<続発性>肺高血圧(症) 肺性心疾患、詳細不明	I270 I272 I279				15 1	15歳未満		手術なし その他の手術あり 経皮的肺動脈形成術 経皮的肺動脈弁拡張術	99 99 97 97 01 01 01 01	手術なし 手術なし その他の手術あり 経皮的肺動脈形成術 経皮的肺動脈弁拡張術 その他のKコード	99 99 97 97 01 01 01 01	手術なし 手術なし その他のKコード		1 1	心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について)	D206\$						4 9 4 9 3 3 3 3 3 3 2 2 2 2	プロスタグランジンI2製剤(注射薬に限る。) トレボロステニル マシテンタン アンプリセンタン リオシグアト ボセンタン水和物 シルデナフィルクエン酸塩 タダラフィル 人工呼吸	J045\$						
04	0310	その他の呼吸器の障害	処置後呼吸器障害、他に分類されないもの 間質性気腫 代償性肺気腫 肺のその他の障害 その他の明示された呼吸器障害	J95\$ J982 J983 J984 J988							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 97	手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 97	手術なし 手術あり										1 1	人工呼吸	J045\$						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病				重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
														01 02 冠動脈、大動脈バイパス移植術 K552\$ 01 03 冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの) K552-2\$ 01 04 冠動脈形成術(血栓内臓摘除) K551\$																	
05	0060	心筋症(拡張型心筋症を含む。)	拡張型心筋症 閉塞性肥大型心筋症 その他の肥大型心筋症 心内膜心筋(好酸球性)疾患 心内膜線維硬性症 その他の拘束型心筋症 アルコール性心筋症 薬物およびその他の外的因子による心筋症 その他の心筋症 心筋症、詳細不明 他に分類される疾患における心筋症 心筋変性(症)	1420 1421 1422 1423 1424 1425 1426 1427 1428 1429 1435 1515							手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 植込型補助人工心臓(非拍動流型) K604-2\$ 97 02 弁形成術 K554\$ 97 02 弁置換術 K555\$ 97 03 左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 K553-2\$ 97 04 大動脈弁下狭窄切除術(線維性、肥厚性を含む。) K557-2 97 05 経皮的カテーテル心筋焼灼術 K595\$ 97 05 経皮的中隔心筋焼灼術 K595-2 97 06 ベースメーカー移植術 K597\$ 97 06 ベースメーカー交換術 K597-2 97 06 両心室ペースメーカー移植術 K599-1 97 06 植込型除細動器移植術 K599-2 97 06 両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術 K599-3 97 06 両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術 K599-4 97 97 その他のKコード	K552\$ K552-2\$ K551\$ K604-2\$ K554\$ K555\$ K553-2\$ K557-2 K595\$ K595-2 K597\$ K597-2 K599-1 K599-2 K599-3 K599-4 その他のKコード		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) K600\$ 5 5 経皮的心臓補助法(1日につき) K602\$ 5 5 補助人工心臓(1日につき) K603\$ 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) D206\$ 0 0 体外ペースメーカー移植術 K596 0 1 人工呼吸 J045\$ 0 1 心大血管リハビリテーション料 H000\$		2 6 シンチグラム E100\$ 2 6 SPECT E101 2 4 持続緩徐式血液濾過 J038-2 2 4 人工腎臓 その他の場合 J0383 1 3 中心静脈注射 G005 1 2 人工呼吸 J045\$ 0 1 心大血管リハビリテーション料 H000\$		1 2 呼吸不全(その他) 040130												
05	0070	頻脈性不整脈	早期興奮症候群 発作性頻拍(症) 心房細動および粗動 心室細動および粗動 心房(性)早期脱分極 房室接合部早期脱分極 心室性早期脱分極 その他および詳細不明の早期脱分極 その他の明示された不整脈	1456 147\$ 148 1490 1491 1492 1493 1494 1498							手術なし その他の手術あり	99 99 手術なし 97 02 不整脈手術 K594\$ 97 03 ベースメーカー移植術 K597\$ 97 03 ベースメーカー交換術 K597-2 97 03 植込型除細動器移植術 K599\$ 97 03 植込型除細動器交換術 K599-2 97 97 その他のKコード	K594\$ K597\$ K597-2 K599\$ K599-2 その他のKコード		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) K600\$ 5 5 経皮的心臓補助法(1日につき) K602\$ 5 5 補助人工心臓(1日につき) K603\$ 3 3 心臓電気生理学的検査 K599-1 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) D206\$ 0 0 体外ペースメーカー移植術 K596		1 4 持続緩徐式血液濾過 J038-2 1 4 人工腎臓 その他の場合 J0383 1 3 中心静脈注射 G005 1 2 人工呼吸 J045\$		1 1 肺炎等 040080 1 2 膜嚢性肺炎 040081 1 3 心筋症(拡張型心筋症を含む。) 050060 1 3 徐脈性不整脈 050210												
05	0080	弁膜症(連合弁膜症を含む。)	リウマチ性僧帽弁疾患 リウマチ性大動脈弁疾患 リウマチ性三尖弁疾患 連合弁膜症 非リウマチ性僧帽弁障害 非リウマチ性大動脈弁障害 非リウマチ性三尖弁障害 肺動脈弁障害	105\$ 106\$ 107\$ 108\$ 134\$ 135\$ 136\$ 137\$							手術なし その他の手術あり	99 99 手術なし 97 06 経カテーテル大動脈弁置換術 K555-2\$ 97 97 その他のKコード	K555-2\$ その他のKコード		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) K600\$ 5 5 経皮的心臓補助法(1日につき) K602\$ 5 5 補助人工心臓(1日につき) K603\$ 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) D206\$ 0 0 体外ペースメーカー移植術 K596		2 4 持続緩徐式血液濾過 J038-2 2 4 人工腎臓 その他の場合 J0383 1 3 中心静脈注射 G005 1 2 人工呼吸 J045\$		1 3 肺炎等 040080 1 3 敗血症 180010	0 0 初回 1 1 再手術											
05	0090	心内膜炎	急性および亜急性心内膜炎	133\$							手術なし	99 99 手術なし				5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) K600\$		2 4 持続緩徐式血液濾過 J038-2		0 0 初回											

診断分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態分類		年齢、出生時体重等			手術					手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			下肢の動脈の塞栓症および血栓症 詳細不明の(四)肢の動脈の塞栓症および血栓症 腸骨動脈の塞栓症および血栓症 その他の動脈の塞栓症および血栓症 詳細不明の動脈の塞栓症および血栓症	1743 1744 1745 1748 1749																								
05	0180	静脈・リンパ管疾患	静脈炎および血栓(性)静脈炎 遊走性血栓(性)静脈炎 その他の明示された静脈の塞栓症および血栓症 部位不明の静脈の塞栓症および血栓症 潰瘍を伴う下肢の静脈瘤 炎症を伴う下肢の静脈瘤 潰瘍および炎症の両者を伴う下肢の静脈瘤 潰瘍または炎症を伴わない下肢の静脈瘤 その他の明示された部位の静脈瘤 静脈炎後症候群 静脈機能不全(症)(慢性)(末梢) 静脈のその他の明示された障害	180\$ 1821 1828 1829 1830 1831 1832 1839 1868 1870 1872 1878						手術なし その他の手術あり	99 99 97 04 97 04 97 05 97 05 97 06 97 07 97 08 97 08 97 09 97 09 97 09 97 09 97 09 97 10 97 97 01 01 01 02 01 03	手術なし 下肢静脈瘤手術 大伏在静脈除去術 静脈瘤切除術(下肢以外) リンパ管吻合術 総腸骨静脈及び股静脈血栓除去術 静脈血栓摘出術 開腹を伴うもの 交感神経節切除術 胸部 静脈形成術、吻合術 その他の静脈 分層植皮術 全層植皮術 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 下肢静脈瘤血管内焼灼術 四肢の血管拡張術・血栓除去術 四肢の血管拡張術・血栓除去術等	K617\$ K617-2 K617-3 K628 K619-2 K6191 K1962 K6233 K013\$ K013-2\$ K015\$ K016 K0172 K617-4 その他のKコード K616 K6192 K620		1 1 1 4 1 3 1 2	心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 持続緩徐式血液濾過 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	D206\$ J038-2 J0383 G005 J045\$	1 3 1 4 1 3 1 2	心不全 肺塞栓症 中心静脈注射 人工呼吸	050130 050190								
05	0190	肺塞栓症	肺塞栓症 大静脈の塞栓症および血栓症 空気塞栓症(外傷性) 脂肪塞栓症(外傷性)	126\$ 1822 1790 1791						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 03 97 04 97 05 97 06 97 07 97 97	手術なし 下大静脈フィルター留置術 静脈血栓摘出術 その他のもの(観血的なもの) 下大静脈フィルター留置術 大動脈バルーンパンピング法(IABP法) 経皮的肺補助法(1日につき) 補助人工心臓(1日につき) 肺動脈塞栓除去術 その他のKコード	K600\$ K620 K6192 K592 その他のKコード		5 5 5 5 5 5 1 1 0 0	大動脈バルーンパンピング法(IABP法) 経皮的肺補助法(1日につき) 補助人工心臓(1日につき) 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 体外ペースメーカーキック術	K600\$ K602\$ K603\$ D206\$ K596	3 9 2 6 2 6 1 4 1 4 1 2	tPA シンチグラム SPECT 持続緩徐式血液濾過 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	E100\$ E101	J038-2 J0383 G005 J045\$							
05	0200	循環器疾患(その他)	急性リウマチ性心内膜炎 急性リウマチ性心筋炎 急性リウマチ性心疾患、詳細不明 リウマチ性舞蹈病 その他のリウマチ性心疾患 その他の明示された動脈の動脈瘤 動脈および細動脈のその他の障害 低血圧(症) 心(臓)切開後症候群 心臓手術に続発するその他の機能障害 循環器系の処置後障害、詳細不明 心血管梅毒 他に分類されるその他の感染症および寄生虫における心血管障害 他に分類される疾患における循環器系のその他の明示された障害 循環器系のその他および詳細不明の障害	1011 1012 1019 102\$ 109\$ 1728 177\$ 195\$ 1970 1971 1979 1980 1981 1988 199							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 03 97 04 97 05 97 06 97 07 97 97	手術なし 皮膚、皮下、粘膜炎血管腫摘出術(露出部) 皮膚、皮下、粘膜炎血管腫摘出術(露出部以外) 分層植皮術 全層植皮術 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)	K003\$ K004\$ K013\$ K013-2\$ K015\$ K016 K0172 K615\$ その他のKコード		1 5 1 5 1 5 1 1 0 0	大動脈バルーンパンピング法(IABP法) 経皮的肺補助法(1日につき) 補助人工心臓(1日につき) 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 体外ペースメーカーキック術	K600\$ K602\$ K603\$ D206\$ K596	1 4 1 4 1 3 1 2 1 2	持続緩徐式血液濾過 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸 体外ペースメーカーキック術	J038-2 J0383 G005 J045\$							
05	0210	徐脈性不整脈	房室ブロック、第1度 房室ブロック、第2度 房室ブロック、完全 その他および詳細不明の房室ブロック	1440 1441 1442 1443						手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 04	手術なし 冠動脈、大動脈バイパス移植術 2吻合以上のもの 両心室ペースメーカー移植術 ペースメーカー移植術	K5522 K598 K597\$		5 5 5 5 5 5 3 3	大動脈バルーンパンピング法(IABP法) 経皮的肺補助法(1日につき) 補助人工心臓(1日につき) 心臓電気生理学的検査	K600\$ K602\$ K603\$	2 4 2 4 2 3 1 2	持続緩徐式血液濾過 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J038-2 J0383 G005 J045\$	1 1 1 1 1 2 1 3	肺炎等 顕微鏡性肺炎 低カリウム血症 呼吸不全(その他)	040080 040081 100391 040130					

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
										01 03 食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの) 腹部の操作によるもの			K5293																
										01 04 食道切除後2次的再建術			K531\$																
										01 05 頸部郭清術			K469\$																
										01 05 食道悪性腫瘍手術(単に切除のもの)			K527\$																
06	0020	胃の悪性腫瘍	胃の悪性新生物	C16\$						手術なし	99	99	手術なし												1	肺炎等	040080		
			胃の上皮内癌	D002						その他の手術あり	97	08	胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。)	K662	1	3	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	K702-2\$	6	11	トラスズマブ		1	1	膵臓性肺炎	040081			
											97	08	腹腔鏡下胃腸吻合術	K662-2	1	2	脾摘出術	K711	5	10	オキサリプラチン		1	1	ヘルニアの記載のない膈閉塞	060210			
											97	09	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	1	胆嚢摘出術	K672	4	9	バクリタキセル		1	1	敗血症	180010			
											97	09	経皮経食道胃管挿入術(PTEG)	K664-2					4	9	ドセタキセル水和物		1	3	後腹膜疾患	110050			
											97	11	内視鏡的消化管止血術	K654					3	8	化学療法ありかつ放射線療法なし		1	3	播種性血管内凝固症候群	130100			
											97	97	その他のKコード						2	6	放射線療法								
			内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術							04	10	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	K653\$						1	2	中心静脈注射	G005							
			試験開腹術等							03	07	試験開腹術	K636						1	1	人工呼吸	J045\$							
										03	07	腹腔鏡下試験開腹術	K636-3																
										03	07	腹腔鏡下試験切除術	K636-4																
			胃切除術 悪性腫瘍手術等							02	03	胃切除術 悪性腫瘍手術	K6552																
										02	03	噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	K655-42																
										02	03	腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	K655-52																
										02	04	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	K655-22																
										02	05	胃局所切除術	K654-2																
										02	06	腹腔鏡下胃局所切除術	K654-3\$																
			胃全摘術 悪性腫瘍手術等							01	01	胃全摘術 悪性腫瘍手術	K6572																
										01	02	腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	K657-22																
06	0030	小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍	小腸の悪性新生物	C17\$						手術なし	99	99	手術なし												1	1	ヘルニアの記載のない膈閉塞	060210	
			その他および部位不明の消化器の悪性新生物 消化器系の境界部病巣	C268						その他の手術あり	97	97	その他のKコード		1	4	残存尿管摘出術	K784	4	9	カルボプラチン+バクリタキセルあり		1	3	膵臓炎、腹腔内臓器(女性生殖器を除く。)	060370			
			腹膜中皮腫	C451						小腸切除術等	01	01	小腸切除術	K716\$	1	4	尿管膀胱吻合術	K786	3	8	化学療法ありかつ放射線療法なし		1	3	白血球疾患(その他)	130070			
			後腹膜の悪性新生物	C480							01	02	腹腔鏡下小腸切除術	K716-2\$	1	4	尿管尿管吻合術	K787	2	6	放射線療法		1	3	敗血症	180010			
			腹膜の明示された部位の悪性新生物	C481							01	03	後腹膜悪性腫瘍手術	K643	1	3	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置	K611\$	1	2	中心静脈注射	G005							
			腹膜の悪性新生物、部位不明	C482							01	03	腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術	K643-2	1	2	人工肛門形成術	K736\$	1	1	人工呼吸	J045\$							
			後腹膜および腹膜の悪性新生物 後腹膜および腹膜の境界部病巣	C488							01	04	試験開腹術	K636	1	1	カプセル型内視鏡												
			腹腔内リンパ節の悪性新生物	C772							01	04	腹腔鏡下試験開腹術	K636-3															
			小腸の続発性悪性新生物	C784							01	04	腹腔鏡下試験切除術	K636-4															
			その他の明示された消化器の上皮内癌	D017							01	05	腸吻合術	K724															
											01	06	胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。)	K662															
											01	06	腹腔鏡下胃腸吻合術	K662-2															
											01	07	人工肛門造設術	K726															
											01	08	リンパ節群郭清術	K627\$															
											01	08	腹腔鏡下骨盤内リンパ節群郭清術	K627-2															
06	0035	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	結腸の悪性新生物	C18\$						手術なし	99	99	手術なし												0	0	白血球疾患(その他)	130070	
			腸管の悪性新生物、部位不明	C260						その他の手術あり	97	13	下部消化管ステント留置術	K735-4	1	4	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	K725-2	7	10	セツキシマブ		1	1	肺炎等	040080			
			消化器系の悪性新生物、部位不明	C269							97	14	内視鏡的消化管止血術	K654	1	3	経皮的腎(腎盂)瘻造設術	K775	7	10	レゴラフェニブ水和物		1	1	膵臓性肺炎	040081			
			大腸および直腸の続発性悪性新生物	C785							97	97	その他のKコード		1	3	残存尿管摘出術	K784	6	9	ペバズマブ		1	1	ヘルニアの記載のない膈閉塞	060210			

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
									腹腔鏡下胆嚢摘出術等	04	05	腹腔鏡下胆嚢摘出術	K672-2	1	3	腹腔鏡下膈傷、虫垂嚢造設術	K725-2											
									胆嚢摘出術	04	05	胆嚢摘出術	K672	1	3	人工肛門造設術	K726											
									胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に限局するもの(リンパ節郭清を含む。)	03	04	胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に限局するもの(リンパ節郭清を含む。)	K6751	1	2	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用縫込型カテーテル設置 開腹して設置した場合	K6111											
									胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(亜区域切除以上)を伴うもの	03	04	胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(亜区域切除以上)を伴うもの	K6752	1	2	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用縫込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	K6112											
									胆管悪性腫瘍手術	03	04	胆管悪性腫瘍手術	K677\$	1	2	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)	K615\$											
									膵頭部腫瘍切除術等	02	02	膵頭部腫瘍切除術	K703\$	1	1	動脈形成術、吻合術 その他の動脈	K6105											
									胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(葉以上)を伴うもの	02	03	胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除(葉以上)を伴うもの	K6753	1	1	胆管形成手術(胆管切除術を含む。)	K673											
									胆嚢悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除を伴うもの	02	03	胆嚢悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除を伴うもの	K6754	1	1	胆管外瘻造設術 開腹によるもの	K6821											
									肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	02	03	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	K677-22	1	1	胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	K6822											
									肝切除術 部分切除	02	03	肝切除術 部分切除	K6951	1	1	経皮的胆管ドレナージ術	K682-2											
									肝切除術 亜区域切除	02	03	肝切除術 亜区域切除	K6952	1	1	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)	K682-3											
									肝切除術 外側区域切除	02	03	肝切除術 外側区域切除	K6953	1	1	内視鏡的胆道ステント留置術	K688											
									肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。)	02	03	肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。)	K6954	1	1	経皮経肝胆管ステント挿入術	K689											
									肝切除術 2区域切除	02	03	肝切除術 2区域切除	K6955	1	1	肝内胆管外瘻造設術 開腹によるもの	K6971											
									肝切除術 3区域切除以上のもの	02	03	肝切除術 3区域切除以上のもの	K6956	1	1	肝内胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	K6972											
									腹腔鏡下肝切除術	02	03	腹腔鏡下肝切除術	K695-2\$															
									肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの等	01	01	肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの	K6957															
									胆嚢悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの	01	01	胆嚢悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの	K6755															
									肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり	01	01	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり	K677-21															
									肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり+膵頭部腫瘍切除術	01	01	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり+膵頭部腫瘍切除術	K677-21+K703\$															
									肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし+膵頭部腫瘍切除術	01	01	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし+膵頭部腫瘍切除術	K677-22+K703\$															
									肝切除術 亜区域切除+膵頭部腫瘍切除術	01	01	肝切除術 亜区域切除+膵頭部腫瘍切除術	K6952+K703\$															
									肝切除術 外側区域切除+膵頭部腫瘍切除術	01	01	肝切除術 外側区域切除+膵頭部腫瘍切除術	K6953+K703\$															
									肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。)+膵頭部腫瘍切除術	01	01	肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。)+膵頭部腫瘍切除術	K6954+K703\$															
									肝切除術 3区域切除以上のもの+膵頭部腫瘍切除術	01	01	肝切除術 3区域切除以上のもの+膵頭部腫瘍切除術	K6956+K703\$															
									肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの+膵頭部腫瘍切除術	01	01	肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの+膵頭部腫瘍切除術	K6957+K703\$															
									腹腔鏡下肝切除術 部分切除+膵頭部腫瘍切除術	01	01	腹腔鏡下肝切除術 部分切除+膵頭部腫瘍切除術	K695-21+K703\$															
06	007x	膵臓、膵臓の腫瘍	080071 膵臓の腫瘍						手術なし	99	99	手術なし		1	4	限局性腹腔腫瘍手術	K6378	8	12	オクトレオチド酢酸塩 徐放性		0	0	播種性血管内凝固症候群	130100			
			膵の悪性新生物	C25\$					その他の手術あり	97	05	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	K651	1	4	経皮的腹腔腫瘍ドレナージ術	K637-2	7	11	フルオロウラシル+レボホルリナドカルシウム+イリリテカン塩酸塩水和物+オキサリプラチンあり		1	1	肺炎等	040080			
			膵の良性新生物	D136					胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。)	97	05	胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。)	K662	1	4	急性汎発性腹膜炎手術	K639	6	10	バクリタキセル(アルブミン懸濁液)		1	1	膵癌性肺炎	040081			
			内分泌膵の良性新生物	D137					腹腔鏡下胃腸吻合術	97	05	腹腔鏡下胃腸吻合術	K662-2	1	4	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	K639-3	5	9	スニチニプリング酸		1	1	ヘルニアの記載のない腸閉塞	060210			
			その他の消化器の性状不詳または不明の新生物	D377					胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	97	05	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1	4	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	5	9	エベロリムス		1	1	敗血症	180010			
			080072 膵臓の腫瘍						経皮的胆管ドレナージ術	97	05	経皮的胆管ドレナージ術	K682-2	1	4	胃瘻閉鎖術	K665	4	8	化学療法ありかつ放射線療法なし		1	3	腹膜炎、腹腔内腫瘍(女性生殖器を除く。)	060370			

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等											
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等			
			腹膜の中皮組織の良性新生物	D191							内視鏡的消化管止血術等	04	04	内視鏡的消化管止血術	K654			人工呼吸	J045\$					1	3	ヘルニアの記載のない腸閉塞	060210						
			その他の部位の中皮組織の良性新生物	D197							04	04	小腸結腸内視鏡的止血術	K722											1	3	腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性生殖器を除く。)	060370					
			中皮組織の良性新生物、部位不明	D199							04	05	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。)	K7391																			
			腹膜の良性新生物	D201							04	05	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。)	K7392																			
			小腸の性状不詳または不明の新生物	D372							04	05	経肛門的内視鏡下手術(直腸腫瘍に限る。)	K739-2																			
			虫垂の性状不詳または不明の新生物	D373							04	05	低侵襲経肛門的局所切除術(MITAS)	K739-3																			
			結腸の性状不詳または不明の新生物	D374							04	05	肛門良性腫瘍、肛門ポリープ、肛門尖圭コンジローム切除術	K747																			
			直腸の性状不詳または不明の新生物	D375							早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	03	03	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	K721-4																		
			肛門ポリープ	K620							小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術等	02	01	小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	K7161																		
			直腸ポリープ	K621							02	01	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術(メッケル憩室炎手術を含む。)	K717																			
			大腸<結腸>のポリープ	K635							02	01	結腸切除術	K719\$																			
											02	01	全結腸・直腸切除術 肛門吻合術	K719-5																			
											02	01	結腸腫瘍(回盲部腫瘍摘出術を含む。)、結腸憩室摘出術、結腸ポリープ切除術(開腹によるもの)	K720																			
											02	01	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。)	K7393																			
											02	01	直腸切除・切断術	K740\$																			
											02	02	腹腔鏡下小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	K716-21																			
											02	02	腹腔鏡下結腸切除術	K719-2\$																			
											02	02	腹腔鏡下直腸切除・切断術	K740-2\$																			
											01	07	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	K721\$																			
06	0102	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	穿孔または膿瘍を伴わない小腸の憩室性疾患	K571							手術なし	99	99	手術なし				1	1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)	K615\$		1	3	人工腎臓 その他の場合	J0383							
			穿孔または膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	K573							その他の手術あり	97	05	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	K721\$									1	2	中心静脈注射	G005						
			穿孔または膿瘍を伴わない小腸および大腸両者の憩室性疾患	K575							97	05	直腸腫瘍摘出術(ポリープ摘出を含む。)	K739\$									1	1	人工呼吸	J045\$							
			腸の憩室性疾患、部位不明、穿孔および膿瘍を伴わないもの	K579							97	05	経肛門的内視鏡下手術(直腸腫瘍に限る。)	K739-2																			
											97	05	低侵襲経肛門的局所切除術(MITAS)	K739-3																			
											97	97	その他のKコード																				
											人工肛門造設術	03	04	人工肛門造設術	K726																		
											小腸結腸内視鏡的止血術等	02	03	小腸結腸内視鏡的止血術	K722																		
											02	03	内視鏡的消化管止血術	K654																			
											小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術等	01	01	小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	K7161																		
											01	01	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術(メッケル憩室炎手術を含む。)	K717																			
											01	01	結腸切除術	K719\$																			
											01	01	結腸腫瘍(回盲部腫瘍摘出術を含む。)、結腸憩室摘出術、結腸ポリープ切除術(開腹によるもの)	K720																			
											01	01	直腸切除・切断術	K740\$																			
											01	02	腹腔鏡下小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	K716-21																			
											01	02	腹腔鏡下結腸切除術	K719-2\$																			
											01	02	腹腔鏡下直腸切除・切断術	K740-2\$																			
06	0110	肝の良性腫瘍	肝の良性新生物	D134							手術なし	99	99	手術なし				1	3	限局性腹腔膿瘍手術	K637\$		1	3	人工腎臓 その他の場合	J0383							
											手術あり	97	01	肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの	K6957								1	2	中心静脈注射	G005							
											97	02	肝切除術 2区域切除	K6955									1	1	人工呼吸	J045\$							
											97	02	肝切除術 3区域切除以上のもの	K6956									1	3	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	K639-3							

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等								
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等			
			胆のうく囊>の開塞	K820							胆嚢摘出術	01	01	胆嚢摘出術	K672			1 2 内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)	K682-3			1 3 肝腫瘍(細菌性・寄生虫性疾患を含む。)	060310						
			胆のうく囊>水腫	K821														1 2 内視鏡的胆道ステント留置術	K688			1 3 腹膜炎、腹腔内腫瘍(女性器臓器を除く。)	060370						
			胆のうく囊>の穿孔	K822														1 2 肝内胆管(肝管)胃(腸)吻合術	K696			1 3 敗血症	180010						
			胆のうく囊>瘻(孔)	K823														1 1 胆嚢外瘻造設術	K681										
			胆のうく囊>のコレステロール沈着症	K824														1 1 胆管外瘻造設術 開腹によるもの	K6821										
			胆のうく囊>のその他の明示された疾患	K828														1 1 胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	K6822										
			胆のうく囊>の疾患、詳細不明	K829														1 1 経皮的胆管ドレナージ術	K682-2										
			胆のうく囊>胞	K835																									
			他に分類される疾患における胆のうく囊>および胆道の障害	K870																									
06	0340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	胆管炎を伴う胆管結石	K803							手術なし	99	99	手術なし				1 4 限局性腹腔腫瘍手術	K637\$			1 5 腹膜灌流 その他の腹膜灌流	J0422			1 1 膿毒性肺炎	040081		
			胆のうく囊>炎を伴う胆管結石	K804							その他の手術あり	97	97	その他の手術あり				1 4 経皮的腹腔腫瘍ドレナージ術	K637-2			1 3 人工腎臓 その他の場合	J0383			1 3 肺炎等	040080		
			胆管炎または胆のうく囊>炎を伴わない胆管結石	K805							限局性腹腔腫瘍手術等	03	05	限局性腹腔腫瘍手術	K637\$			1 4 急性汎発性腹膜炎手術	K639			1 2 中心静脈注射	G005			1 3 胸水、胸膜の疾患(その他)	040190		
			胆管炎	K830														1 4 腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	K639-3			1 1 人工呼吸	J045\$			1 3 腹膜炎、腹腔内腫瘍(女性器臓器を除く。)	060370		
			胆管閉塞	K831														1 3 内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)	K682-3					1 3 播種性血管内凝固症候群	130100				
			胆管穿孔	K832														1 3 腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	K639-3										
			胆管瘻(孔)	K833														1 3 内視鏡的胆道拡張術	K686										
			オディ<Oddi>括約筋けいれん<痙攣>	K834														1 3 内視鏡的胆道ステント留置術	K688										
			胆道のその他の明示された疾患	K838														1 3 体外衝撃波胆石破砕術(一連につき)	K678										
			胆道の疾患、詳細不明	K839														1 3 胆管外瘻造設術	K681										
			胆のうく囊>摘出<除>後症候群	K915														1 1 胆嚢外瘻造設術 開腹によるもの	K6821										
																		1 1 胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	K6822										
																		1 1 胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの	K6822										
																		1 1 経皮的胆管ドレナージ術	K682-2										
																		1 1 経皮的胆管ドレナージ術	K682-2										
																		1 1 内視鏡的胆道結石除去術	K685\$										
																		1 1 内視鏡的胆道拡張術	K686										
																		1 1 内視鏡的乳頭切開術	K687\$										
																		1 1 内視鏡的胆道ステント留置術	K688										
																		1 1 経皮経肝胆管ステント挿入術	K689										
																		1 2 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	K672-2										
																		02 04 胆管切開術	K669										
																		02 04 胆管切開結石摘出術(チューブ挿入を含む。)	K6711										
																		胆嚢摘出を含むもの											
																		02 04 腹腔鏡下胆管切開結石摘出術 胆嚢摘出を含むもの	K671-21										
																		02 04 胆嚢摘出術	K672										
																		02 04 胆管形成手術(胆管切除術を含む。)	K673										
																		01 01 肝切除術 部分切除	K6951										
																		01 01 肝切除術 亜区域切除	K6952										
																		01 01 肝切除術 外側区域切除	K6953										
																		01 01 肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。)	K6954										
																		01 01 肝切除術 2区域切除	K6955										
																		01 01 肝切除術 3区域切除以上のもの	K6956										
																		01 01 腹腔鏡下肝切除術	K695-2\$										
																		01 02 総胆管胃(腸)吻合術	K680										
																		01 02 肝内胆管(肝管)胃(腸)吻合術	K696										
																		01 03 肝内結石摘出術(開腹)	K693										
06	0350	急性肺炎	ムンプス肺炎	B263							手術なし	99	99	手術なし				1 4 限局性腹腔腫瘍手術	K637\$			1 4 持続線徐式血液濾過	J038-2			1 1 敗血症	180010	0	軽症
			急性肺炎	K85							その他の手術あり	97	97	その他の手術あり				1 4 経皮的腹腔腫瘍ドレナージ術	K637-2			1 3 人工腎臓 その他の場合	J0383			1 2 胸水、胸膜の疾患(その他)	040190	1	重症
			降仮性のうく囊>胞	K863							急性肺炎手術等	01	01	急性肺炎手術	K698\$			1 4 急性汎発性腹膜炎手術	K639			1 2 中心静脈注射	G005			1 3 腹膜炎、腹腔内腫瘍(女性器臓器を除く。)	060370		
			他に分類される疾患における降仮性のうく囊>胞	K871														1 4 腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	K639-3			1 1 人工呼吸	J045\$			1 3 播種性血管内凝固症候群	130100		

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病				重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			穿孔および膿瘍を伴う小腸の憩室性疾患 穿孔および膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患 穿孔および膿瘍を伴う小腸および大腸両者の憩室性疾患 腸の憩室性疾患、部位不明、穿孔および膿瘍を伴うもの	K570 K572 K574 K578							97 03 97 97			骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術 その他のKコード	K638 その他Kコード																
06	0565	顎変形症	歯顎顔面(先天)異常[不正咬合を含む]	K07\$							99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 02 97 03 97 03 97 03 97 97			手術なし 手術なし 下顎骨部分切除術 下顎骨離断術 上顎骨形成術 単純な場合 上顎骨形成術 複雑な場合及び2次的再建の場合 上顎骨形成術 骨移動を伴う場合 下顎骨形成術 おとが形成の場合 下顎骨形成術 短縮又は伸長の場合 下顎骨形成術 再建の場合 下顎骨形成術 骨移動を伴う場合 下顎骨延長術 顎関節形成術 顎関節門板整位術 顎関節授動術 粘膜移植術 粘膜弁手術 骨移植術(軟骨移植術を含む。)	K437 K438 K4431 K4432 K4433 K4441 K4442 K4443 K4444 K444-2\$ K445 K447\$ K446\$ K021\$ K021-2\$ K059\$ その他Kコード		1 2 1 1	中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$												
06	0570	その他の消化管の障害	歯の発育および萌出の障害 埋伏歯 うく齦>蝕 歯の硬組織のその他の疾患 歯顎および根尖部歯周組織の疾患 歯肉炎および歯周疾患 歯肉および無歯顎堤のその他の障害 歯および歯の支持組織のその他の障害 口腔部のうく齦>蝕、他に分類されないもの 顎骨のその他の疾患 舌の疾患 胃および十二指腸の疾患、詳細不明 便秘 機能性下痢 神経性腸症、他に分類されないもの 肛門けいれん<虚撃> その他の明示された腸の機能障害 腸の機能障害、詳細不明 肛門および直腸の疾患、詳細不明 腹膜のその他の障害 炎症性肝疾患、詳細不明 肝臓紫斑病 肝疾患、詳細不明 消化器系のその他の処置後障害、他に分類されないもの 消化器系の処置後障害、詳細不明	K00\$ K01\$ K02\$ K03\$ K04\$ K05\$ K06\$ K08\$ K09\$ K10\$ K14\$ K319 K500 K591 K592 K594 K598 K599 K629 K66\$ K759 K764 K769 K918 K919										手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 04 97 05 97 06 97 07 97 09 97 09 97 09 97 10 97 10 97 10 97 10 97 10 97 10 97 10 97 11 97 12 97 13 97 14 97 14 97 14 97 14 97 15 97 15 97 97		手術なし 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 骨長調整手術 顎関節形成術 上顎骨形成術 単純な場合 上顎骨形成術 複雑な場合及び2次的再建の場合 上顎骨形成術 骨移動を伴う場合 下顎骨形成術 おとが形成の場合 下顎骨形成術 短縮又は伸長の場合 下顎骨形成術 再建の場合 下顎骨形成術 骨移動を伴う場合 下顎骨延長術 抜歯手術(1歯につき) 顎関節授動術 顎関節門板整位術 胃局所切除術 腹腔鏡下胃局所切除術 胃切除術 単純切除術 腹腔鏡下胃切除術 単純切除術 胃全摘術 単純全摘術 腹腔鏡下胃全摘術 単純全摘術 その他Kコード	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K059\$ K058\$ K445 K4431 K4432 K4433 K4441 K4442 K4443 K4444 K444-2\$ K404\$ K446\$ K447\$ K654-2 K654-3\$ K6551 K655-21 K6571 K657-21 その他Kコード	1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J038\$ G005 J045\$										
07	0010	骨軟部の良性腫瘍(脊椎骨髄を除く。)	肩甲骨および上肢の長骨の良性新生物 上肢の短骨の良性新生物 下肢の長骨の良性新生物 下肢の短骨の良性新生物 頭蓋骨および顔面骨の良性新生物 下顎骨の良性新生物 肋骨、胸骨および鎖骨の良性新生物 骨盤骨、仙骨および尾骨の良性新生物 骨および関節軟骨の良性新生物、部位不明	D160 D161 D162 D163 D164 D165 D167 D168 D169							手術なし 手術あり	99 99 97 05 01 01		手術なし 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部) 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部以外) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術(一連につき) 眼瞼結膜腫瘍手術 四肢・躯幹部腫瘍摘出術	K003\$ K004\$ K005\$ K006\$ K006-4\$ K215-2 その他Kコード K030\$	1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 粘膜移植術 組織拡張器による再建手術(一連につき)その他の場合 骨長調整手術 骨移植術(軟骨移植術を含む。)	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K021\$ K0222 K058\$ K059\$	1 1 1 1 1 1	人工呼吸	J045\$	1 3 130090	貧血(その他)								

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1		手術・処置等2		定義副傷病		重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分枝	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			外反変形、他に分類されないもの 前腕	M2103						97 04		骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	K0461	1		2	神経移植術	K198								
			外反変形、他に分類されないもの 手	M2104						97 04		骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	K0462													
			内反変形、他に分類されないもの 肩甲骨	M2111						97 04		観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの)	K046-2\$													
			内反変形、他に分類されないもの 上腕	M2112						97 04		骨切り術	K054\$													
			内反変形、他に分類されないもの 前腕	M2113						97 04		変形治療骨折矯正手術	K057\$													
			内反変形、他に分類されないもの 手	M2114						97 04		観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	K0762													
			屈曲変形 肩甲骨	M2121						97 04		観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	K0763													
			屈曲変形 上腕	M2122						97 04		観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足	K0782													
			屈曲変形 前腕	M2123						97 04		観血的関節固定術 肩鎖、指(手、足)	K0783													
			屈曲変形 手	M2124						97 04		巨指症手術	K102\$													
			下垂手または下垂足(後天性) 上腕	M2132						97 04		裂手、裂足手術	K105													
			下垂手または下垂足(後天性) 前腕	M2133						97 04		母指化手術	K106													
			下垂手または下垂足(後天性) 手	M2134						97 04		指移植手術	K107													
			後天性わしく藍>手、内反手、鉤爪 足および内反足 上腕	M2152						97 04		神経縫合術	K182\$													
			後天性わしく藍>手、内反手、鉤爪 足および内反足 前腕	M2153						97 04		神経剥離術	K188\$													
			後天性わしく藍>手、内反手、鉤爪 足および内反足 手	M2154						97 05		非観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足	K0752													
			(四)肢不等長(後天性) 肩甲骨	M2171						97 05		非観血的関節授動術 肩鎖、指(手、足)	K0753													
			(四)肢不等長(後天性) 上腕	M2172						97 06		偽関節手術	K056\$													
			(四)肢不等長(後天性) 前腕	M2173						97 07		難治性骨折電磁波電気治療法(一連につき)	K047													
			(四)肢不等長(後天性) 手	M2174						97 07		難治性骨折超音波治療法(一連につき)	K047-2													
			(四)肢のその他の明示された後天性変形 肩甲骨	M2181						97 08		分層植皮術	K013\$													
			(四)肢のその他の明示された後天性変形 上腕	M2182						97 08		全層植皮術	K013-2\$													
			(四)肢のその他の明示された後天性変形 前腕	M2183						97 97		その他のKコード														
			(四)肢のその他の明示された後天性変形 手	M2184						02 02		腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む。)	K028													
			(四)肢の後天性変形、詳細不明 肩甲骨	M2191						02 02		腱切離・切除術(関節鏡下によるものを含む。)	K034													
			(四)肢の後天性変形、詳細不明 上腕	M2192						02 03		骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	K0453													
			(四)肢の後天性変形、詳細不明 前腕	M2193						02 03		骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く。)、足、指(手、足)その他	K0463													
			(四)肢の後天性変形、詳細不明 手	M2194						02 03		骨内異物(挿入物を含む。)除去術	K048\$													
										01 01		皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	K015\$													
										01 01		動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	K016													
										01 01		遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合	K0172													
										01 01		複合組織移植術	K019													
										01 01		自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	K020													
										01 01		組織拡張器による再建手術(一連につき) その他の場合	K0222													
07	0200	手関節症(変形性を含む。)	間欠性関節水腫 上腕	M1242						99 99		手術なし		1		2	動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	K016	1	1	人工呼吸	J045\$				
			間欠性関節水腫 前腕	M1243						97 01		人工関節置換術 胸鎖、肘、手、足	K0822			1		2	自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	K020						
			間欠性関節水腫 手	M1244						97 01		人工関節置換術 肩鎖、指(手、足)	K0823			1		2	骨長調整手術 骨短縮術	K0582						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等			
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			病的骨折、他に分類されないもの 前腕 病的骨折、他に分類されないもの 手 骨の癒合障害、詳細不明 肩甲帯 骨の癒合障害、詳細不明 上腕 骨の癒合障害、詳細不明 前腕 骨の癒合障害、詳細不明 手 腕の骨折の続発・後遺症 手首および手の骨折の続発・後遺症	M8443 M8444 M8491 M8492 M8493 M8494 T921 T922																						
07	1030	その他の筋骨格系・結合組織の疾患	この表の傷病名の欄に掲げるICDコード以外の筋骨格系及び結合組織の疾患に係るICDコード ブドウ球菌性(多発性)関節炎 多部位 ブドウ球菌性(多発性)関節炎 その他 ブドウ球菌性(多発性)関節炎 部位不明 肺炎球菌性(多発性)関節炎 多部位 肺炎球菌性(多発性)関節炎 その他 肺炎球菌性(多発性)関節炎 部位不明 その他のレンサ球菌性(多発性)関節炎 多部位 その他のレンサ球菌性(多発性)関節炎 その他 その他のレンサ球菌性(多発性)関節炎 部位不明 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 多部位 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 その他 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 部位不明 化膿性関節炎、詳細不明 多部位 化膿性関節炎、詳細不明 その他 化膿性関節炎、詳細不明 部位不明 髄膜炎菌性関節炎 多部位 髄膜炎菌性関節炎 その他 髄膜炎菌性関節炎 部位不明 結核性関節炎 多部位 結核性関節炎 その他 結核性関節炎 部位不明 ライム<Lyme>病における関節炎 多部位 ライム<Lyme>病における関節炎 その他 ライム<Lyme>病における関節炎 部位不明 他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 多部位 他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 その他 他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 部位不明 風疹性関節炎 多部位 風疹性関節炎 その他 風疹性関節炎 部位不明 他に分類されるその他のウイルス疾患における関節炎 多部位 他に分類されるその他のウイルス疾患における関節炎 その他	M0000 M0008 M0009 M0010 M0018 M0019 M0020 M0028 M0029 M0080 M0088 M0089 M0090 M0098 M0099 M0100 M0108 M0109 M0110 M0118 M0119 M0120 M0128 M0129 M0130 M0138 M0139 M0140 M0148 M0149 M0150 M0158					手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり					1 1		人工呼吸	J045\$							

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等								
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
08	0105	重症薬疹	水疱性多形紅斑 中毒性表皮えく爛>剥離症[ライエル<ライル><Lyell>病]	L511 L512				00 0		6歳以上		99 99		手術なし				1 2	皮膚作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	K015\$	2 6	乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン									
08	0110	水疱症	天疱瘡 その他のアcantローゼ<棘融解>性障害 類天疱瘡 その他の水疱症 他に分類される疾患における水疱症 表皮水疱症	L10\$ L11\$ L12\$ L13\$ L14 Q81\$								99 99 97 97		手術なし 手術あり								2 6 1 5	ガンマグロブリン 血漿交換療法	J039							
08	0120	紅皮症	剥脱性皮膚炎	L26								99 99 97 97		手術なし 手術あり																	
08	0130	角化症、角皮症	黒色表皮腫 後天性魚りんせんく鱗癬> 後天性掌蹠<手掌足底>角化症[角皮症] 皮膚乾燥症<乾皮症> 先天性魚りんせんく鱗癬> 皮膚のその他の明示された先天奇形	L83 L850 L851 L853 Q80\$ Q828				00 0		15歳以上		99 99 97 97		手術なし 手術あり				1 2	皮膚作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	K015\$	1 1	人工呼吸	J045\$								
08	0140	炎症性角化症	尋常性乾せんく瘡> 全身性膿疱性乾せんく瘡> 稽留性<連続性>先<肢>端皮膚炎 掌蹠<手掌足底>膿疱症 滲状乾せんく瘡> 関節障害性乾せんく瘡> その他の乾せんく瘡> 乾せんく瘡>、詳細不明 類乾せんく瘡> バラ色ひこうく皸瘡>疹 扁平苔せんく瘡> その他の丘疹落せつ<屑><りんせつ><鱗屑>>性障害 その他の乾せんく瘡>性関節障害	L400 L401 L402 L403 L404 L405 L408 L409 L41\$ L42 L43\$ L44\$ M073\$									99 99 97 97		手術なし 手術あり								3 10 3 10 2 9	ウステキスマブ セクキスマブ インフリキシマブ							
08	0150	爪の疾患	かん<嵌>入爪(甲) 爪(甲)剥離症 爪(甲)鉤弯症 爪栄養障害 ポー<Beau>線<爪横溝症> 黄色爪症候群 その他の爪の障害 爪の障害、詳細不明 他に分類される疾患における爪の障害	L600 L601 L602 L603 L604 L605 L608 L609 L62\$								手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 97		手術なし 爪甲除去術 陥入爪手術	K089 K091\$		1 2 1 2 1 2	皮膚作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合	K015\$ K016 K0172											
08	0160	皮膚の萎縮性障害	瘢痕性脱毛症 硬化性萎縮性苔せんく瘡> シュヴェニガー-ブツジイ<Schweninger-Buzzi>の斑状皮膚萎縮症 ヤダツソフ・ペリツァライ<Jadassohn-Pellizzari>の斑状皮膚萎縮症 パシーニ<Pasini>およびピエリーニ<Pierini>の皮膚萎縮症 慢性萎縮性肢端皮膚炎 線状皮膚萎縮症 皮膚のその他の萎縮性障害 皮膚の萎縮性障害、詳細不明	L66\$ L900 L901 L902 L903 L904 L906 L908 L909									99 99 97 01 97 97		手術なし 瘢痕拘縮形成手術	K010\$ その他のKコード		1 2 1 2 1 2 1 2	皮膚作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術	K015\$ K016 K0172 K019											
08	0180	母斑、母斑症	口唇のメラニン細胞性母斑の良性新生物 耳および外耳道のメラニン細胞性母斑の良性新生物 その他および部位不明の顔面のメラニン細胞性母斑の良性新生物	D220 D222 D223								手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01		手術なし 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)	K005\$ K006\$		1 2 1 2 1 2	皮膚作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合	K015\$ K016 K0172				1 5	皮膚レーザー照射療法	J054-2\$					

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			インスリン依存性糖尿病<IDDM>合併症を伴わないもの	E109																						慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	110280			
10	0061	1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全あり。)	インスリン依存性糖尿病<IDDM>末梢循環合併症を伴うもの	E105							手術なし	99	99	手術なし				人工腎臓 その他の場合	J0383	2	3				1	認知症	01021x	0	0	85歳未満
			インスリン依存性糖尿病<IDDM>多発合併症を伴うもの	E107							手術あり	97	97	手術あり											1	閉塞性動脈疾患	050170	1	1	85歳以上
																									1	胃の悪性腫瘍	060020			
																									1	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)	060300			
																									1	膵関節症(変形性を含む。)	070230			
																									1	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	110280			
10	0070	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>腎合併症を伴うもの	E112							手術なし	99	99	手術なし											1	認知症	01021x	0	0	85歳未満
			インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>眼合併症を伴うもの	E113							手術あり	97	97	手術あり											1	閉塞性動脈疾患	050170	1	1	85歳以上
			インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>神経(学的)合併症を伴うもの	E114																					1	胃の悪性腫瘍	060020			
			インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>その他の明示された合併症を伴うもの	E116																					1	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)	060300			
			インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>詳細不明の合併症を伴うもの	E118																					1	膵関節症(変形性を含む。)	070230			
			インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>合併症を伴わないもの	E119																					1	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	110280			
10	0071	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全あり。)	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>末梢循環合併症を伴うもの	E115							手術なし	99	99	手術なし											1	認知症	01021x	0	0	85歳未満
			インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>多発合併症を伴うもの	E117							手術あり	97	97	手術あり											1	閉塞性動脈疾患	050170	1	1	85歳以上
																									1	胃の悪性腫瘍	060020			
																									1	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)	060300			
																									1	膵関節症(変形性を含む。)	070230			
																									1	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	110280			
10	0080	その他の糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)	栄養障害に関連する糖尿病 昏睡を伴うもの	E120							手術なし	99	99	手術なし											1	認知症	01021x	0	0	85歳未満
			栄養障害に関連する糖尿病 ケトアシドーシスを伴うもの	E121							手術あり	97	97	手術あり											1	閉塞性動脈疾患	050170	1	1	85歳以上
			栄養障害に関連する糖尿病 腎合併症を伴うもの	E122																					1	胃の悪性腫瘍	060020			
			栄養障害に関連する糖尿病 眼合併症を伴うもの	E123																					1	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)	060300			
			栄養障害に関連する糖尿病 神経(学的)合併症を伴うもの	E124																					1	膵関節症(変形性を含む。)	070230			

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等										
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
														97 02 腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)	K755-2																
														97 03 大網、膵間膜、後腹膜腫瘍摘出術	K642\$																
														97 03 腹腔鏡下大網、膵間膜、後腹膜腫瘍摘出術	K642-2																
														97 03 腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術	K642-3																
														97 04 胆管形成手術(胆管切除術を含む。)	K673																
														97 04 副腎摘出術(副腎部分切除術を含む。)	K754																
														97 97	その他のKコード																
10	0202	その他の副腎皮質機能低下症	酵素欠損による先天性副腎性器障害	E250										99 99 手術なし									1 2	中心静脈注射	G005						
			原発性副腎皮質機能不全(症)	E271										97 97 手術あり																	
			アジソン<Addison>クラーゼ<発症>	E272																											
			薬物誘発性副腎皮質機能不全(症)	E273																											
			その他および詳細不明の副腎皮質機能不全(症)	E274																											
			治療後副腎皮質(髄質)機能低下症	E896																											
10	0210	低血糖症	非糖尿病性低血糖性昏厥	E15										99 99 手術なし									1 2	中心静脈注射	G005						
			その他の低血糖症	E161										97 01 膵全摘術	K704																
			低血糖症、詳細不明	E162										97 02 膵頭部腫瘍切除術	K703\$																
														97 03 膵中央切除術	K700																
														97 03 膵腫瘍摘出術	K700-2																
														97 03 膵体尾部腫瘍切除術	K702\$																
														97 03 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	K702-2\$																
														97 97	その他のKコード																
10	0220	原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺腫瘍	上皮小体<副甲状腺>の悪性新生物	C750										手術なし	99 99 手術なし								1 1	頸部郭清術	K469\$						
			上皮小体<副甲状腺>の良性新生物	D351										その他の手術あり	97 04 リンパ節摘出術	K826\$															
			原発性副甲状腺<上皮小体>機能亢進症	E210											97 97	その他のKコード															
			その他の副甲状腺<上皮小体>機能亢進症	E212										副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術 副甲状腺(上皮小体)摘出術	03 03	K4641															
			副甲状腺<上皮小体>機能亢進症、詳細不明	E213										03 03 副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術 副甲状腺(上皮小体)全摘術(一部筋肉移植)	03 03	K4642															
			その他の明示された副甲状腺<上皮小体>障害	E214										胸腔鏡下肺切除術 胸腔鏡下肺切除術 其他のもの	01 01	K5132															
			副甲状腺<上皮小体>障害、詳細不明	E215										01 01 肺切除術	K511\$																
														01 02 副甲状腺(上皮小体)悪性腫瘍手術(広汎)	K465																
10	0230	続発性副甲状腺機能亢進症	続発性<二次性>副甲状腺<上皮小体>機能亢進症、他に分類されないもの	E211										手術なし	99 99 手術なし																
			その他の手術あり											97 97	その他のKコード																
			副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	01 01	K464\$																										
10	0240	副甲状腺機能低下症	副甲状腺<上皮小体>機能低下症	E20\$										99 99 手術なし																	
			治療後副甲状腺<上皮小体>機能低下症	E892										97 97 手術あり																	
10	0250	下垂体機能低下症	下垂体機能低下症	E230										手術なし	99 99 手術なし								1 1	下垂体前葉負荷試験	D2871\$	1 9	メカセルミン	1 2	2型糖尿病(糖原病性ケトアシドーシスを除く)(未梢循環不全なし。)	100070	
			薬物誘発性下垂体機能低下症	E231										手術あり	97 01 経鼻的下垂体腫瘍摘出術	K171							1 8	ソマトロピン		1 2	その他の副腎皮質機能低下症	100202			
			その他の下垂体障害	E236										97 01 内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 下垂体腫瘍	K171-21										1 2	尿崩症	100280				
			下垂体障害、詳細不明	E237										97 02 頭蓋内腫瘍摘出術	K169\$										1 2	代謝性疾患(糖尿病を除く。)	100300				
														97 97	その他のKコード																
10	0260	下垂体機能亢進症	下垂体の悪性新生物	C751										手術なし	99 99 手術なし								1 1	下垂体前葉負荷試験	D2871\$	1 9	ソマトスタチンアナログ				
			下垂体の良性新生物	D352										手術あり	97 01 経鼻的下垂体腫瘍摘出術	K171									1 9	ベグピソマント					
			下垂体の性状不詳または不明の新生物	D443										97 01 内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 下垂体腫瘍	K171-21									1 8	化学療法						
			末端肥大症<先端巨大症>および下垂体性巨人症	E220										97 02 頭蓋内腫瘍摘出術	K169\$									1 6	放射線療法						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
			高プロラクチン血症 その他の下垂体機能亢進症 下垂体機能亢進症、詳細不明 下垂体依存性クッシング<Cushing>病 ネルソン<Nelson>症候群	E221 E228 E229 E240 E241								97	97		その他のKコード																	
10	0270	間脳下垂体疾患(その他)	視床下部機能障害、他に分類されないもの 神経性無食欲症 神経性大食症	E233 F500 F502								99	99	手術なし								1	9	LH-RH								
10	0280	尿崩症	尿崩症	E232				00	0	15歳以上 15	1	15歳未満	99	99	手術なし 頭蓋内腫瘍摘出術 経鼻的下垂体腫瘍摘出術 内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 下垂体腫瘍																	
10	0285	ADH分泌異常症	抗利尿ホルモン不適合分泌症候群<SIADH>	E222				00	0	15歳以上 15	1	15歳未満	99	99	手術なし 頭蓋内腫瘍摘出術 経鼻的下垂体腫瘍摘出術 内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 下垂体腫瘍																	
10	0290	グルコース調節・脳内分泌障害、その他の内分泌疾患	先天性ヨード欠乏症候群 甲状腺障害、詳細不明 グルカゴン分泌増加 ガストリンの異常分泌 その他の明示された膵内分泌障害 膵内分泌障害、詳細不明 その他の明示された副腎障害 副腎障害、詳細不明 卵巣機能障害 精巣<睾丸>機能障害 思春期障害、他に分類されないもの 多腺性機能障害 カルチノイド症候群 消化管ホルモンのその他の分泌過剰 異所性ホルモン分泌、他に分類されないもの 体質性高身長 アンドロゲン抵抗性症候群 その他の明示された内分泌障害 内分泌障害、詳細不明 他に分類される疾患における内分泌腺障害 治療後低インスリン血症 治療後下垂体機能低下症 治療後卵巣機能不全(症) 治療後精巣<睾丸>機能低下症 その他の治療後内分泌および代謝障害 治療後内分泌および代謝障害、詳細不明 ターナー<Turner>症候群 クラインフェルター<Klinefelter>症候群、核型 47,XXY クラインフェルター<Klinefelter>症候群、3本以上のX染色体を持つ男性 クラインフェルター<Klinefelter>症候群、46,XX核型を持つ男性 46,XX核型を持つその他の男性<X男性> クラインフェルター<Klinefelter>症候群、詳細不明	E00\$ E079 E163 E164 E168 E169 E278 E279 E28\$ E28\$ E30\$ E31\$ E340 E341 E342 E344 E345 E348 E349 E35\$ E891 E893 E894 E895 E898 E899 Q96\$ Q980 Q981 Q982 Q983 Q984				00	0	15歳以上 15	1	15歳未満	99	99	手術なし 頭蓋内腫瘍摘出術 経鼻的下垂体腫瘍摘出術 内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術 下垂体腫瘍 膵全摘術 膵頭部腫瘍切除術 膵中央切除術 膵腫瘍摘出術 膵尾部腫瘍切除術																	
10	0300	代謝性疾患(糖尿病を除く。)	リボたんぱく<蛋白>代謝障害およびその他の脂(質)血症 炎症性関節炎および痛風結節性疾患の徴候を伴わない高尿酸血症 ポルフィリンおよびビリルビン代謝障害 顯代謝障害 顕代謝障害	E740 E78\$ E790 E80\$ E830 E831																												
												99	99	手術なし								1	5	血漿交換療法	J039							
												97	97	手術あり								1	3	人工腎臓 その他の場合	J0383							

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病				重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			重鉛代謝障害 リン代謝障害 マグネシウム代謝障害 その他のミネラル<鉱質>代謝障害 ミネラル<鉱質>代謝障害、詳細不明	E832 E833 E834 E838 E839																											
10	0310	腎血管性高血圧症	腎血管性高血圧(症) 腎動脈のアテローム<しゅく>粥>状<硬化(症)> 腎動脈瘤	I150 I701 I722							手術なし	99	99	手術なし				1	1	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影 した場合	E0033										
10	0320	内分泌性高血圧症(その他)	その他の腎障害による二次性<続発性>高血圧(症) 内分泌障害による二次性<続発性>高血圧(症) その他の二次性<続発性>高血圧(症) 二次性<続発性>高血圧(症)、詳細不明	I151 I152 I158 I159							手術なし	99	99	手術なし																	
10	0330	栄養障害(その他)	クワシオルコル 栄養性消耗症<マラスムス> 消耗症(性)クワシオルコル 詳細不明の重度たんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症) 中等度および軽度のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症) たんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)に続発する発育遅延 詳細不明のたんぱく<蛋白>エネルギー性栄養失調(症) ビタミン欠乏症 脚気 その他のチ<サイ>アミン欠乏症の症状発現 チ<サイ>アミン欠乏症、詳細不明 ナイアシン欠乏症[ペラグラ] その他のビタミンB群の欠乏症 アスコルビン酸欠乏症 ビタミンD欠乏症 その他のビタミン欠乏症 食事性カルシウム欠乏症 食事性セレン欠乏症 食事性亜鉛欠乏症 その他の栄養素欠乏症 その他の栄養欠乏症 栄養失調(症)およびその他の栄養欠乏症の続発・後遺症 限局性脂肪症<脂肪過多症> その他の過栄養<過剰摂食> 過栄養<過剰摂食>の続発・後遺症	E40 E41 E42 E43 E44\$ E45 E46 E50\$ E511 E518 E519 E52 E53\$ E54 E55\$ E56\$ E58 E59 E60 E61\$ E63\$ E64\$ E65 E67\$ E68		00 0 15歳以上 15 1 15歳未満					手術なし	99	99	手術なし									1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	G005 J045\$							
10	0335	代謝障害(その他)	芳香族アミノ酸代謝障害 側鎖<分枝鎖>アミノ酸代謝および脂 肪酸代謝障害 その他のアミノ酸代謝障害 乳糖不耐症 フルクトース<果糖>代謝障害 ガラクトース代謝障害 その他の糖質腸吸収障害 ビルベート<ビルビン酸>代謝および糖新生障害 その他の明示された糖質代謝障害 糖質代謝障害、詳細不明 スフィンゴリド代謝障害およびその他の脂質蓄積障害 グリコサミノグリカン代謝障害 糖たんぱく<蛋白>代謝障害	E70\$ E71\$ E72\$ E73\$ E741 E742 E743 E744 E748 E749 E75\$ E76\$ E77\$							手術なし	99	99	手術なし									3 12 酵素補充療法 2 11 エリグルスタット酒石酸塩 2 10 ニチシノン 2 9 システアミン酒石酸塩 2 8 メトレプレチン 2 7 ミグルスタット 2 6 フェニル酪酸ナトリウム 2 5 ドルナーゼ アルファ 2 4 トブラマイシン(吸入薬に限る。) 1 3 人工腎臓 その他の場合 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	J0383 G005 J045\$			1 2 胸水、胸膜の疾患(その他) 1 2 腎臓または尿路 110310の感染症				

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			レスシュ・ナイハン<Lesch-Nyhan>症候群 E791 その他のプリンおよびピリミジン代謝障害 E798 プリンおよびピリミジン代謝障害、詳細不明 E799 のう胞性線維症<システックファイブローシス> E84\$ その他の代謝障害 E88\$ 他に分類される疾患における栄養および代謝障害 E90																											
10	0360	小人症	低身長、他に分類されないもの E343									99 99 手術なし 97 01 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 97 97	K059\$ その他のKコード																	
10	0370	アミロイドーシス	アミロイドーシス<アミロイド症> E85\$					00 0 15歳以上 15 1 15歳未満		手術なし 手術あり		99 99 手術なし 97 01 血管結紮術 その他のもの 97 97	K6072 その他のKコード				1 1 タファミジメグルミン													
10	0380	体液量減少症	体液量減少(症) E86									99 99 手術なし 97 97 手術あり																		
10	0391	低カリウム血症	その他のアルドステロン症 E268 低カリウム<K>血症 E876									99 99 手術なし 97 97 手術あり																		
10	0392	カルシウム代謝障害	カルシウム代謝障害 E835									手術なし 手術あり																		
10	0393	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	高浸透圧および高ナトリウム血症 E870 低浸透圧および低ナトリウム血症 E871 アシドーシス E872 アルカローシス E873 混合型酸塩基平衡障害 E874 高カリウム<K>血症 E875 体液過負荷 E877 その他の電解質および体液障害、他に分類されないもの E878									手術なし 手術あり																		
11	001x	腎腫瘍	110011 腎の悪性腫瘍 腎盂を除く腎の悪性新生物 C64 腎および腎盂の続発性悪性新生物 C790 110012 腎の良性腫瘍 腎の良性新生物 D300 腎の性状不詳または不明の新生物 D410							手術なし その他の手術あり		99 99 手術なし 97 03 血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 97 04 静脈血栓摘出術 97 97 腎(尿管)悪性腫瘍手術 01 01 腎(尿管)悪性腫瘍手術 01 02 腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術 01 02 腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術 01 02 腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	K615\$ K619\$ その他のKコード K773 K773-2 K773-3 K773-4		1 1 造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 E0033\$ 3 10 テムシロリムス 2 9 パソパニブ塩酸塩 2 8 スニチニブリンゴ酸 2 8 エベロリムス 2 7 アクシチニブ 2 7 ソラフェニブトシル酸塩 1 6 化学療法 1 6 放射線療法 1 5 インターフェロン 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	4 11 IL-2 3 10 テムシロリムス 2 9 パソパニブ塩酸塩 2 8 スニチニブリンゴ酸 2 8 エベロリムス 2 7 アクシチニブ 2 7 ソラフェニブトシル酸塩 1 6 化学療法 1 6 放射線療法 1 5 インターフェロン 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	G005 J045\$	1 3 肺の悪性腫瘍 040040 1 3 骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。) 070040												
11	002x	生殖器の悪性腫瘍	110021 陰茎の悪性腫瘍 陰茎の悪性新生物 C60\$ 陰茎の上皮内癌 D074 110022 陰嚢の悪性腫瘍 男性生殖器の境界部病巣の悪性新生物 C638 男性生殖器の悪性新生物、部位不明 C639 腎原路の境界部病巣の悪性新生物 C688 尿管の悪性新生物、部位不明 C689 その他および部位不明の男性生殖器の上皮内癌 D076							手術なし 手術あり		99 99 手術なし 97 11 陰茎悪性腫瘍手術 97 12 リンパ節群郭清術 鼠径部及び股部 97 13 リンパ節群郭清術 後腹膜 97 13 リンパ節群郭清術 骨盤 97 15 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 97 16 尿道下裂形成手術 97 16 陰茎形成術 97 17 包茎手術	K827\$ K8276 K8277 K8278 K059\$ K819 K819-2 K828\$		1 1 デブリードマン K002\$ 1 1 分層植皮術 K013\$ 1 1 全層植皮術 K013-2\$ 1 1 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 K015\$ 1 1 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 K016 1 1 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) K0172 その他の場合 1 1 複合組織移植術 K019 1 1 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) K020 1 1 粘膜移植術 K021\$	2 9 ニボルマブ 1 8 化学療法 1 6 放射線療法														

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等												
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分枝	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等					
			過長包皮、包茎およびかんく嵌>頤包茎 除蓋のその他の障害 N48\$ 110223 除蓋内疾患(悪性、炎症性疾患を除く。) 陰のうく囊>の良性新生物 D294 陰のうく囊>静脈瘤 I861 精巣<睾丸>水腫および精液瘤 N43\$ 精巣<睾丸>捻転 N44\$ 110224 男性生殖腺の障害 男性不妊(症) N46 男性生殖器のその他の明示された障害 N508								97 09 精管切断、切除術(両側) K829 97 10 前立腺腫瘍切開術 K839 97 97 その他のKコード 04 05 包茎手術 K828\$ 03 03 精索静脈瘤手術 K834 03 04 腹腔鏡下内精索静脈結紮術 K834-2 02 02 陰囊水腫手術 K835\$ 02 02 ヘルニア手術 鼠径ヘルニア K6335 02 02 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側) K634 01 01 精索捻転手術 K838\$																								
11	0260	ネフローゼ症候群	ネフローゼ症候群	N04\$				00 0 2歳以上 02 1 2歳未満			手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 97		手術なし 動脈形成術、吻合術 その他の動脈 その他のKコード	K6105	1 1		経皮的針生検法 D412	3 6 2 5 1 3				リツキシマブ 血漿交換療法 J039 人工腎臓 その他の場合 J0383												
11	0270	急速進行性腎炎症候群	急速進行性腎炎症候群	N01\$				00 0 2歳以上 02 1 2歳未満			手術なし 手術あり	99 99 97 97		手術なし 手術あり	K6105	1 1		動脈形成術、吻合術 その他の動脈 K6105	3 5 1 3				血漿交換療法 J039 人工腎臓 その他の場合 J0383												
11	0275	急性腎炎症候群	急性腎炎症候群	N00\$				00 0 2歳以上 02 1 2歳未満			手術なし 手術あり	99 99 97 97		手術なし 手術あり	K6105	1 1		動脈形成術、吻合術 その他の動脈 K6105																	
11	0280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	腎不全を伴う高血圧性腎疾患 I120 腎不全を伴わない高血圧性腎疾患 I129 反復性および持続性血尿 N02\$ 慢性腎炎症候群 N03\$ 詳細不明の腎炎症候群 N05\$ 明示された形態学的病変を伴う単独たんぱく<蛋白>尿 N06\$ 遺伝性腎症<ネフロパシー>、他に分類されないもの N07\$ 他に分類される疾患における糸球体障害 N08\$ 慢性原細管間質性腎炎 N11\$ 原細管間質性腎炎、急性または慢性と明示されないもの N12 薬物および重金属により誘発された尿細管間質および原細管の病態 N14\$ 慢性腎不全 N18\$ 持続性たんぱく<蛋白>尿、詳細不明 N391 起立性たんぱく<蛋白>尿、詳細不明 N392					00 0 2歳以上 02 1 2歳未満				手術なし その他の手術あり 内シャント血栓除去術等 経皮的シャント拡張術・血栓除去術 血管結紮術 その他のもの 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 内シャント又は外シャント設置術 血管移植術、バイパス移植術 その他の動脈 連続移行式腹腔灌流用カテーテル腹腔内留置術 連続移行式腹腔灌流用カテーテル腹腔内留置術	99 99 97 97 03 06 03 07 03 08 02 02 02 03 02 04 02 05 01 01		手術なし その他の動脈 その他のKコード K608-3 K616-4 K6072 K6105 K610-3 K6147 K607-3 K635-3	1 1		経皮的針生検法 D412	4 6 3 5 2 4 1 3					血漿交換療法 J039 持続緩徐式血液濾過 J038-2 腹腔灌流 連続移行 J0421 式腹腔灌流 J0383 人工腎臓 その他の場合	1 1 1 1 1 3 1 3			肺炎等 040060 膵嚢性肺炎 040081 胸水、胸膜の疾患(その他) 040190 敗血症 180010							
11	0290	急性腎不全	肝腎症候群 K767 急性腎不全 N17\$								手術なし その他の手術あり	99 99 97 02 97 97		手術なし 動脈形成術、吻合術 その他の動脈 その他のKコード	K6105	1 1		経皮的腎(腎盂)瘻造設術等 経尿道的尿管ステント留置術 経尿道的尿管ステント抜去術 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術 経尿道的尿管凝血除去術(バスケットワイヤーカテーテル使用)	K775 K783-2 K783-3 K7981 K798-2	3 5 1 3			持続緩徐式血液濾過 J038-2 人工腎臓 その他の場合 J0383												
11	0310	腎臓または尿路の感染症	急性原細管間質性腎炎 N10 膿腎(症) N136 腎臓痛および腎周囲膿瘍 N151 尿路感染症、部位不明 N390								手術なし その他の手術あり	99 99 97 02 97 02 97 03 97 97		手術なし 腎摘出術 腹腔鏡下腎摘出術 腹腔鏡下小切開腎摘出術 腎周囲膿瘍切開術 その他のKコード	K772 K772-2 K772-3 K758 その他のKコード K775	1 1 1 3									膵嚢性肺炎 040061 肺炎等 040080										

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			既知の胎児骨盤不均衡またはその疑いのための母体ケア 既知の母体骨盤臓器の異常またはその疑いのための母体ケア 既知の胎児異常および傷害またはその疑いのための母体ケア その他の既知の胎児側の問題またはその疑いのための母体ケア 羊水過多症 羊水および羊膜のその他の障害 前期破水 胎盤障害 分娩前出血、他に分類されないもの 遷延妊娠	O33\$ O34\$ O35\$ O36\$ O40 O41\$ O42\$ O43\$ O46\$ O48							内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 胎児外回転術 胎児内(双合)回転術 骨盤位娩出術等 骨盤位娩出術 吸引娩出術 鉗子娩出術 胎児縮小術(娩出術を含む。) 臍帯還納術 脱重肢整復術 子宮双手指圧迫術(大動脈圧迫術を含む。) 胎盤用手剥離術 分娩時頭部切開術(縫合を含む。) 会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時) 会陰(陰壁)裂創縫合術(分娩時) 頭管裂創縫合術(分娩時) 子宮頰管縫縮術 子宮全摘術 子宮破裂手術 妊婦子宮摘出術(ポロ―手術) 子宮筋腫摘出(核出)術 腹式 帝王切開術 子宮内反症整復手術(腹式、腹式)	K910-2 K907 K908 K892 K893 K894\$ K899 K900 K900-2 K901 K902 K891 K895 K896\$ K897 K906\$ K877 K903\$ K904 K8721 K898\$ K905\$		腹腔鏡下試験切除術 胆嚢摘出術 腸管癒着症手術 小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術 虫垂切除術 結腸切除術 血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 子宮付属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの 子宮双手指圧迫術(大動脈圧迫術を含む。) 胎盤用手剥離術 分娩時頭部切開術(縫合を含む。) 会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時) 会陰(陰壁)裂創縫合術(分娩時) 頭管裂創縫合術(分娩時) 子宮頰管縫縮術 子宮全摘術 子宮破裂手術 妊婦子宮摘出術(ポロ―手術) 子宮筋腫摘出(核出)術 腹式 帝王切開術 子宮内反症整復手術(腹式、腹式)	K636-4 K672 K714 K7161 K718\$ K719\$ K615\$ K8881 K900-2 K901 K902 K891 K895 K896\$ K897 K906\$ K877 K903\$ K904 K8721 K898\$ K905\$		1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸	G005 J045\$								
12	0182	前置胎盤および低置胎盤	前置胎盤	O44\$							手術なし その他の手術あり	99 99 手術なし 97 04 骨盤位娩出術 97 04 吸引娩出術 97 04 鉗子娩出術 97 04 胎児縮小術(娩出術を含む。) 97 04 臍帯還納術 97 04 脱重肢整復術 97 04 子宮双手指圧迫術(大動脈圧迫術を含む。) 97 04 胎盤用手剥離術 97 05 分娩時頭部切開術(縫合を含む。) 97 05 会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時) 97 05 会陰(陰壁)裂創縫合術(分娩時) 97 05 頭管裂創縫合術(分娩時) 97 06 胎児外回転術 97 06 胎児内(双合)回転術 97 97 子宮筋腫摘出(核出)術 子宮等 02 02 帝王切開術 02 02 子宮内反症整復手術(腹式、腹式) 子宮全摘術等 01 01 子宮全摘術 01 01 子宮破裂手術 01 01 妊婦子宮摘出術(ポロ―手術)	K892 K893 K894\$ K899 K900 K900-2 K901 K902 K891 K895 K896\$ K897 K907 K908 その他のK K8722 K898\$ K905\$ K877 K903\$ K904		1 4 試験開腹術 1 4 腹腔鏡下試験開腹術 1 4 腹腔鏡下試験切除術 1 4 胆嚢摘出術 1 4 腸管癒着症手術 1 4 小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術 1 4 虫垂切除術 1 4 結腸切除術 1 3 血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 1 2 子宮筋腫摘出(核出)術 腹式 1 2 子宮付属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの 1 1 子宮頰管縫縮術	K636 K636-3 K636-4 K672 K714 K7161 K718\$ K719\$ K615\$ K8721 K8881 K906\$		1 4 人工腎臓 その他の場合 1 4 血漿交換療法 1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸	J0383 J039 G005 J045\$					1 3 早産、切迫早産 120170		
12	0185	(常位)胎盤早期剥離	(常位)胎盤早期剥離	O45\$							手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 子宮全摘術 97 01 子宮破裂手術 97 01 妊婦子宮摘出術(ポロ―手術) 97 02 帝王切開術	K877 K903\$ K904 K898\$		1 4 試験開腹術 1 4 腹腔鏡下試験開腹術 1 4 腹腔鏡下試験切除術 1 4 胆嚢摘出術 1 4 腸管癒着症手術	K636 K636-3 K636-4 K672 K714		1 4 人工腎臓 その他の場合 1 4 血漿交換療法 1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸	J0383 J039 G005 J045\$							

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病				重症度等				
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラッグ	病態区分	コード	フラッグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラッグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラッグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラッグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラッグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラッグ	重症度等	
			急性骨髄性白血病 骨髄性肉腫	C920 C923								97 04 97 97		リンパ節摘出術 その他のKコード	K626\$ その他のKコード				6 11 5 10			ホステニブ水和物 三酸化ヒ素製剤									
			急性前骨髄球性白血病 急性骨髄単球性白血病 その他の骨髄性白血病 骨髄性白血病、詳細不明 急性単球性白血病 その他の単球性白血病 単球性白血病、詳細不明 急性赤血病および赤白血病 急性巨核芽球性白血病 急性汎骨髄症 急性骨髄線維症 その他の明示された白血病 細胞型不明の急性白血病 細胞型不明のその他の白血病 白血病、詳細不明	C924 C925 C927 C929 C930 C937 C939 C940 C942 C944 C945 C947 C950 C957 C959															4 9 3 8 2 7 1 6 1 3 1 2 1 1				ゲムツマブオゾガマインシン イマチニブメシル酸 化学療法 放射線療法 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0383 G005 J045\$							
13	0020	ホジキン病	ホジキン<Hodgkin>病 リンパ球優勢型 ホジキン<Hodgkin>病 結節硬化型 ホジキン<Hodgkin>病 混合細胞型 ホジキン<Hodgkin>病 リンパ球減少型 その他のホジキン<Hodgkin>病 ホジキン<Hodgkin>病、詳細不明	C810 C811 C812 C813 C817 C819							手術なし 手術あり	99 99 97 03 97 03 97 04 97 97		手術なし 脾摘出術 腹腔鏡下脾摘出術 リンパ節摘出術 その他のKコード	K711 K711-2 K626\$ その他のKコード				4 9 3 8 2 6 1 3 1 2 1 1				プレニツキシマブ ベドチン 化学療法ありかつ放射線療法なし 放射線療法 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0383 G005 J045\$							
13	0030	非ホジキンリンパ腫	中細胞型、ろく濾> 陰性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 中細胞および大細胞混合型、ろく濾> 陰性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 大細胞型、ろく濾> 陰性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 ろく濾> 陰性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫の他の型 ろく濾> 陰性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫、詳細不明 びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 小細胞型(びまん性) びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 小切れ込み核細胞型(びまん性) びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 小細胞および大細胞混合型(びまん性) びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 大細胞型(びまん性) びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 免疫芽球型(びまん性) びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 リンパ芽球型(びまん性) びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫 未分化型(びまん性) バーキット<Burkitt>腫瘍 びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫の他の型 びまん性非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫、詳細不明 腫状息肉症 セザリー<Sézary>病 Tゾーン<T-zone>リンパ腫	C820 C821 C822 C827 C829 C830 C831 C832 C833 C834 C835 C836 C837 C838 C839 C840 C841 C842				手術なし 手術あり	99 99 97 03 97 03 97 03 97 03 97 03 97 04 97 04 97 04 97 05 97 97				手術なし 胃局所切除術 腹腔鏡下胃局所切除術 胃切除術 腹腔鏡下胃切除術 噴門側胃切除術 腹腔鏡下噴門側胃切除術 脾摘出術 腹腔鏡下脾摘出術 リンパ節摘出術 その他のKコード	K654-2 K654-3\$ K655\$ K655-2\$ K655-4\$ K655-5\$ K711 K711-2 K626\$ その他のKコード				8 12 8 12 7 11 6 10 5 9 4 8 3 7 2 6 1 3 1 2 1 1				イブリツモブテウキセタン塩化イットリウム イブリツモブテウキセタン塩化インジウム プレニツキシマブ ベドチン モガムリズマブ ベンダムステン塩酸塩 リツキシマブ 化学療法ありかつ放射線療法なし 放射線療法 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	1 1 1 3 J0383 G005 J045\$	180010 010010							

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等			
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			薬物誘発性再生不良性貧血 D611 その他の外的因子による再生不良性貧血 D612 特発性再生不良性貧血 D613 無形成性貧血、詳細不明 D619															1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	G005 J045\$							
13	0090	貧血(その他)	失血による鉄欠乏性貧血(慢性) D500 鉄欠乏性へんく腫>下障害 D501 その他の鉄欠乏性貧血 D508 鉄欠乏性貧血、詳細不明 D509 ビタミンB12欠乏性貧血、内因子欠乏によるもの D510 ビタミンB12欠乏性貧血、たんぱく< 蛋白>尿を伴う選択的ビタミンB12吸収不良によるもの D511 トランスコバラミンII欠乏症 D512 その他の食事性ビタミンB12欠乏性貧血 D513 その他のビタミンB12欠乏性貧血 D518 ビタミンB12欠乏性貧血、詳細不明 D519 食事性葉酸欠乏性貧血 D520 薬物誘発性葉酸欠乏性貧血 D521 その他の葉酸欠乏性貧血 D528 葉酸欠乏性貧血、詳細不明 D529 たんぱく<蛋白>欠乏性貧血 D530 その他の巨赤芽球性貧血、他に分類されないもの D531 壊血病性貧血 D532 その他の明示された栄養性貧血 D538 栄養性貧血、詳細不明 D539 グルコース-6-リン<燐>酸脱水素 酵素[G6PD]欠損による貧血 D550 その他のグルタチオン代謝障害による貧血 D551 解糖系酵素障害による貧血 D552 酵素障害による貧血、詳細不明 D559 アルファサラセミア<地中海貧血> D560 ベータサラセミア<地中海貧血> D561 デルタ・ベータサラセミア<地中海貧血> D562 サラセミア<地中海貧血>保因者 D563 遺伝性高鉛見ヘモグロビン<血色素> 症[HPFH] D564 サラセミア<地中海貧血>、詳細不明 D569 鎌状赤血球性貧血、クリーゼを伴うもの D570 鎌状赤血球性貧血、クリーゼを伴わないもの D571 重複ヘテロ複合型鎌状化障害 D572 鎌状赤血球保因者 D573 遺伝性鎌状赤血球症 D580 遺伝性精円赤血球症 D581 その他の異常ヘモグロビン<血色素> 症 D582 その他の明示された遺伝性溶血性貧血 D588 遺伝性溶血性貧血、詳細不明 D589 薬物誘発性自己免疫性溶血性貧血 D590 その他の自己免疫性溶血性貧血 D591 薬物誘発性非自己免疫性溶血性貧血 D592 溶血性尿毒症候群 D593 その他の非自己免疫性溶血性貧血 D594 発作性夜間ヘモグロビン<血色素> 尿症[マルキヤファーヴァ・ミケリ<Marchiafava-Micheli>症候群] D595 その他の外因による溶血性ヘモグロビン<血色素>尿症 D596 後天性溶血性貧血、詳細不明 D599 急性出血後貧血 D62 遺伝性鉄芽球性貧血 D640 続発性鉄芽球性貧血、疾病によるもの D641 続発性鉄芽球性貧血、薬物および毒素によるもの D642 その他の鉄芽球性貧血 D643 先天性赤血球生成障害性貧血 D644 その他の明示された貧血 D648 貧血、詳細不明 D649						手術なし 99 99 手術なし 手術あり 97 03 脾摘出術 97 03 腹腔鏡下脾摘出術 97 97 K711 K711-2 その他のKコード			2 10 エクシズマフ 1 9 人ハプトグロビン 1 5 血漿交換療法 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	J039 G005 J045\$													

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
			新生児黄疸、詳細不明 P599 胎児および新生児の播種性血管内凝固 P60 その他の周産期の血液障害 P61\$ 胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害 P70\$ カルシウムおよびマグネシウム代謝の一過性新生児障害 P71\$ その他の一過性新生児内分泌障害 P72\$ その他の一過性新生児電解質障害および代謝障害 P74\$ 胎児<メコニウム>-イレウス P75 新生児のその他の腸閉塞 P76\$ 胎児および新生児の<壊>死性肺炎 P77 周産期の腸穿孔 P780 その他の新生児腹膜炎 P781 母体血液のえんく壊>下による新生児吐血およびメレナ P782 新生児非感染性下痢症 P783 その他の明示された周産期の消化器系障害 P788 周産期の消化器系障害、詳細不明 P789 新生児低体温 P80\$ 新生児のその他の体温調節機能障害 P81\$ 胎児および新生児に特異的な外皮のその他の病態 P83\$ 新生児のけいれん<痙攣> P90 新生児の脳その他の機能障害 P91\$ 新生児の哺乳上の問題 P92\$ 胎児および新生児に投与された薬物による反応および中毒 P93 新生児の筋緊張障害 P94\$ 原因不明の胎児死亡 P95 周産期に発生したその他の病態 P96\$																													
14	0070	頭蓋、顔面骨の先天異常	顔面非対称 Q670 顔面圧縮<圧迫顔面> Q671 長頭(症) Q672 斜頭(蓋)(症) Q673 頭蓋および顔面骨のその他の先天奇形 Q75\$ 先天奇形症候群、主として顔貌異常を伴うもの Q870								手術なし 99 99 手術なし その他の手術あり 97 97 上顎骨形成術 単純な場合等 02 02 上顎骨形成術 単純な場合 K4431 02 02 上顎骨形成術 複雑な場合及び2次の再建の場合 K4432 02 02 上顎骨形成術 骨移動を伴う場合 K4433 02 02 下顎骨形成術 おとがしい形成の場合 K4441 02 02 下顎骨形成術 短縮又は伸長の場合 K4442 02 02 下顎骨形成術 再建の場合 K4443 02 02 下顎骨形成術 骨移動を伴う場合 K4444 02 02 下顎骨延長術 K444-2\$ K445 02 02 顎関節形成術 K052\$ 02 03 骨腫瘍切除術 K237 02 03 眼窩縮形成手術(骨移植によるもの) K1801 頭蓋骨形成手術 頭蓋骨のみのもの等 01 01 頭蓋骨形成手術 頭蓋骨のみのもの K1802 01 01 頭蓋骨形成手術 骨移動を伴うもの K1803			1 1 分層植皮術 K013\$ 1 1 全層植皮術 K013-2\$ 1 1 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 K015\$ 1 1 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 K016 1 1 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) K0172 その他の場合 K019 1 1 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) K020 1 1 粘膜移植術 K021\$ 1 1 粘膜弁手術 K021-2\$ 1 1 骨移植術(軟骨移植術を含む。) K059\$		1 1 人工呼吸 J045\$																
14	0080	脳、脊髄の先天異常	無脳症および類似先天奇形 Q00\$ 脳瘤 Q01\$ 小頭症 Q02 先天性水頭症 Q03\$ 脳のその他の先天奇形 Q04\$ 二分脊椎<脊椎披く破>裂> Q05\$ 脊髄のその他の先天奇形 Q06\$ 神経系のその他の先天奇形 Q07\$ 潜在性二分脊椎<脊椎披く破>裂> Q780								手術なし 99 99 手術なし 手術あり 97 01 脊髄腫瘍摘出術 K191\$ 97 02 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 椎弓切除 K1425 97 02 穿頭脳室ドレーナージ術 K145 97 02 減圧開頭術 キアリ奇形、脊髄空洞症の場合 K1491 97 02 水頭症手術 K174\$ 97 03 脊椎披裂手術 K138\$ 97 97 その他のKコード		1 2 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 K015\$ 1 2 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 K016 1 2 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) K0172 その他の場合 K019 1 2 複合組織移植術 K020 1 2 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) K022 1 2 組織拡張器による再建手術(一連につき) K0222 その他の場合 K059\$ 1 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。) K059\$ 1 1 分層植皮術 K013\$ 1 1 全層植皮術 K013-2\$		1 5 リハビリテーション 1 1 人工呼吸 J045\$																	
14	0090	先天性鼻涙管閉塞	涙管の先天(性)狭窄 Q105								99 99 手術なし 97 01 先天性鼻涙管閉塞開放術 K201 97 01 涙囊摘出術 K203																					0 0 初回 0 0 片側 1 1 再手術

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病				重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
			大腿骨のその他の部位の骨折 開放性 大腿骨骨折、部位不明 開放性	S7281 S7291							97 97			その他のKコード			2	組織拡張器による再建手術(一連につき) その他の場合	K0222													
16	0820	膝関節周辺骨折・脱臼	大腿骨遠位端骨折 閉鎖性 膝蓋骨骨折 閉鎖性 脛骨近位端骨折 閉鎖性 下腿の多発骨折 閉鎖性	S7240 S8200 S8210 S8270							手術なし その他の手術あり	99 99 97 02		手術なし 骨折非観血的整復術 前腕、下腿 骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他 鋼線等による直達牽引(初日、観血的に行なった場合の手術料を含む。)(1局所につき)			2 1 1 1	骨折植術(軟骨移植術を含む。) 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 分層植皮術 全層植皮術	K0598 K0138 K013-2\$			1 1 1 1	3 2 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0383 G005 J045\$							
16	0830	膝関節周辺開放骨折	大腿骨遠位端骨折 開放性 膝蓋骨骨折 開放性 脛骨近位端骨折 開放性 下腿の多発骨折 開放性	S7241 S8201 S8211 S8271							手術なし その他の手術あり	99 99 97 97		手術なし 骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く)、足、指(手、足)その他 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿 骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨 観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 前腕、下腿	K0463 K046-23 K0461 K0462 K046-21 K046-22		1 2 1 1 1 1 1	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 組織拡張器による再建手術(一連につき) 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 分層植皮術 全層植皮術 超音波骨折治療法(一連につき)	K0158 K016 K0172 K020 K0222 K0598 K0138		1 1 1 1 1 1 1	3 2 1 1 1 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0383 G005 J045\$								
16	0835	下腿足関節周辺骨折	疲労骨折、他に分類されないもの 下腿 脛骨骨幹部骨折 閉鎖性 脛骨遠位端骨折 閉鎖性 腓骨のみの骨折 閉鎖性 下腿の骨折、部位不明 閉鎖性	M8436 S8220 S8230 S8240 S8290							手術なし その他の手術あり	99 99 97 97		手術なし 骨折経皮的鋼線刺入固定術 前腕、下腿 骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨 観血的整復固定術(インプラント周囲骨折に対するもの) 前腕、下腿 関節脱臼観血的整復術 胸鎖、肘、手、足 関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘 関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足 関節鏡下関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘 関節鏡下関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足 観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足 骨折非観血的整復術 前腕、下腿 関節脱臼非観血的整復術 胸鎖、肘、手、足 鋼線等による直達牽引(初日、観血的に行なった場合の手術料を含む。)(1局所につき)	K0452 K0462 K046-22 K0632 K0731 K0732 K073-21 K073-22 K0782 K0442 K0612 K083		1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 組織拡張器による再建手術(一連につき) 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 分層植皮術 全層植皮術 超音波骨折治療法(一連につき)	K0158 K016 K0172 K019 K020 K0222 K0598 K0138 K013-2\$ K047-3		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0383 G005 J045\$	1	0	脊椎骨粗鬆症	070370	0	0	片側 両側	
16	0840	下腿足関節周辺開放骨折	脛骨骨幹部骨折 開放性 脛骨遠位端骨折 開放性 腓骨のみの骨折 開放性	S8221 S8231 S8241							手術なし その他の手術あり	99 99 97 03 97 97		手術なし デブリードマン その他のKコード			1 1 1	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	K0158 K016 K0172		1 1 1	3 2 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0383 G005 J045\$								

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病				重症度等	
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術区分	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名称	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			部位不明の脱臼、捻挫およびストレッチ T143 部位不明の神経損傷 T144 部位不明の血管損傷 T145 部位不明の筋および腱の損傷 T146 部位不明のその他の損傷 T148 損傷、詳細不明 T149 消化管内異物、部位不明 T189 内部尿路生殖器の腐食 T288 その他および詳細不明の内臓の腐食 T289 放射線の作用、詳細不明 T66 窒息 T71 その他の欠乏・消耗の作用 T73\$ 溺死および死に至らない溺水 T751 動脈炎 T753 外国のその他の明示された作用 T758 アナフィラキシーショック、詳細不明 T782 血管神経浮腫 T783 アレルギー、詳細不明 T784 その他の有害作用、他に分類されないもの T788 有害作用、詳細不明 T789 外傷性ショック T794 外傷性無尿 T795 外傷性皮下気腫 T797 外傷のその他の早期合併症 T798 外傷の詳細不明の早期合併症 T799																							
16	1070	薬物中毒(その他の中毒)	全身性抗生物質による中毒 T36\$ その他の全身性抗感染薬および抗寄生虫薬による中毒 T37\$ ホルモン類、その合成代替薬および拮抗薬による中毒、他に分類されないもの T38\$ 非オピオイド系鎮痛薬、解熱薬および抗リウマチ薬による中毒 T39\$ 麻薬および精神変容薬[幻覚発現薬]による中毒 T40\$ 麻酔薬および治療用ガス類による中毒 T41\$ 抗てんかん薬、鎮静・催眠薬および抗パーキンソン病薬による中毒 T42\$ 向精神薬による中毒、他に分類されないもの T43\$ 主として自律神経系に作用する薬物による中毒 T44\$ 主として全身および血液に作用する薬物による中毒、他に分類されないもの T45\$ 主として心血管系に作用する薬物による中毒 T46\$ 主として消化器系に作用する薬物による中毒 T47\$ 主として平滑筋、骨格筋および呼吸器系に作用する薬物による中毒 T48\$ 主として皮膚および粘膜に作用する局所用薬物、眼科用薬、耳鼻咽喉科用薬および歯科用薬による中毒 T49\$ 利尿薬、その他および詳細不明の薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒 T50\$ アルコールの毒作用 T51\$ 有機溶剤の毒作用 T52\$ 脂肪酸および芳香族炭化水素のハロゲン誘導体の毒作用 T53\$ 腐食性物質の毒作用 T54\$ 石鹼および洗浄剤の毒作用 T55\$ 金属の毒作用 T56\$ その他の無機物質の毒作用 T57\$ 一酸化炭素の毒作用 T58\$ その他の気体、フュームおよび蒸気の毒作用 T59\$ 農薬の毒作用 T60\$ 海産食品として摂取された有害物質の毒作用 T61\$							99 99 手術なし							4 7 メチルチオニウム塩化物水和物				1 1 肺炎等	040080				
												97 97 手術あり					4 6 ホメビゾール				1 1 膜嚙性肺炎	040081				
																	3 5 吸着式血液浄化法	J041			1 1 頻脈性不整脈	050070				
																	3 4 血漿交換療法	J039			1 1 心不全	050130				
																	2 3 人工腎臓 その他の場合	J0383			1 1 急性腎不全	110290				
																	1 2 中心静脈注射	G005								
																	1 1 人工呼吸	J045\$								

